

【決定事項】

		資料頁
1. 我孫子市第四次総合計画後期基本計画策定方針の策定について	企画総務部 (企画政策課)	P. 3
2. 令和7年度施策及び事務事業の事後評価における事務事業の改善策について	企画総務部 (企画政策課)	P. 7
3. 我孫子市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	企画総務部 (人事課)	P. 23
4. 我孫子市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	企画総務部 (行政管理課)	P. 25
5. 我孫子市集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市民生活部 (市民協働推進課)	P. 30
6. 我孫子市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市民生活部 (市民協働推進課)	P. 36
7. 我孫子市障害者福祉センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	健康福祉部 (障害者支援課 障害者福祉センター)	—
8. 我孫子市中小企業資金融資条例の一部を改正する条例の制定について	環境経済部 (企業立地推進課)	P. 38
9. 我孫子市都市計画審議会条例の一部を改正する条例の制定について	都市部 (都市計画課)	P. 39
10. 我孫子市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	消防本部 (総務課)	P. 40
11. 我孫子市水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	水道局 (経営課)	P. 43
12. 我孫子市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例の制定について	教育総務部 (学校教育課)	P. 45

【報告事項】

		資料頁
1. 令和8年度指定事務事業問題点・対応報告書について	企画総務部 (企画政策課)	P. 50
2. 令和7年度行政評価の事後評価結果について	企画総務部 (企画政策課)	P. 51
3. 令和8年第3回我孫子市議会定例会提出予定議案	企画総務部 (行政管理課)	P. 335
4. 新型インフルエンザ等発生時の我孫子市業務継続計画の改訂について	企画総務部 (行政管理課)	P. 341

【その他事項】

Ⅰ. 令和8年8月13日・14日の大雨に関する状況報告

市民生活部
(市民安全課)

資料頁

—

第四次総合計画 後期基本計画策定方針

1. 後期基本計画の役割と策定の基本的な考え方

1) 策定の背景とねらい

我孫子市は、我孫子市総合計画条例に基づき、令和3年3月に、令和4年度を初年度とし、令和15年度を目標年次とする基本構想を市議会の議決を経て策定しました。

また、基本構想が掲げる将来都市像を実現するための基本目標及び基本施策について、具体的な展開内容や指標を体系的に示した前期基本計画（令和4年度～令和9年度）を策定し、総合的かつ効果的に施策を推進してきました。

前期基本計画の計画期間が令和9年度に満了することから、令和10年度から15年度までを計画期間とする後期基本計画を、令和8年度から9年度までの2か年で策定します。

策定にあたっては、前期基本計画からの連続性を考慮しつつ、基本構想が掲げる将来都市像の実現に向けた取り組みをより発展的に進めていくため、前期基本計画の成果や課題の検証を確実に行之、人口動態、財政状況、市民の意識やニーズなど、我孫子市を取り巻く環境の変化や、それらの今後の動向を見定めながら、後期基本計画期間中に取り組むべき施策の展開内容や指標を明確に設定します。

さらに、計画を市民と共有できるよう、表現をわかりやすく工夫します。

2) 計画期間

計画期間は、令和10年度から令和15年度までの6年間とします。

ただし、大きな社会情勢の変化や国の動向等により、大幅な修正が必要となった場合には、期間満了の前であっても見直しを行います。

(案)

2. 計画策定の進め方

1) 計画策定組織

ア. 総合計画審議会

基本計画の策定について調査・審議を行うため、公募の市民、市民団体に属する方、学識経験者など25人以内で構成する総合計画審議会を設置します。

構 成	所 属
公募委員	市民
公共的団体に属する者	福祉関係団体、商業関係団体、地域活動団体、農業関係団体、環境関係団体、官公庁関係、子ども関係団体等
市民団体に属する者	公益活動団体、市民活動関係団体等
学生	大学生等
学識経験を有する者	大学教授等
その他市長が必要と認める者	民間事業者関係、金融機関関係、高齢者福祉関係等

イ. 庁内組織（全体調整）

課長で構成する総合計画（後期基本計画）策定委員会を設置し、基本目標や施策単位の垣根を超えた計画記載内容の調整や計画全体を俯瞰した意見交換を行います。

ウ. 庁内組織（施策単位）

総合計画策定委員会設置要綱に基づき、必要に応じて実務担当者で構成するワーキングチームを施策単位毎に組織します。ワーキングチームは前期基本計画における各施策の総括や、後期基本計画（素案）の検討・起草を主眼とした調査検討と報告を行います。

2) 計画策定への市民参加と情報共有

ア. 市民参加

(案)

より広範な市民参加による基本計画とするため、計画策定組織である総合計画審議会の委員に公募の市民を加えるほか、市民アンケート、パブリックコメント等を実施して、広く市民の意見を聴いていきます。

イ．情報共有

情報の共有化を図るため、広報あびこやホームページを利用して、市民への情報公開を徹底します。また、議会への情報提供を策定段階において随時行っていきます。さらに、策定組織への職員の参加やグループウェアの活用などにより、庁内の情報の共有化を図ります。

3) 計画策定のスケジュール

次頁のとおり策定作業を進め、令和10年3月の完了を目指します。

(案)

◆ 第四次総合計画後期基本計画策定に伴うスケジュール（策定方針添付用）

年月	総合計画審議会	庁議	策定委員会	全庁 (ワーキング※1)	市 民	議会	事務局
8年度（前期基本計画の総括、後期基本計画の素案作り）	5						・人口推計準備
	6					・一般報告	・市民アンケート準備
	7		第1回委員会		・市民アンケート		
	8	策定方針決定				下旬：策定方針配布	人口推計業務委託
	9		前期基本計画の総括に係る全庁依頼				・市民アンケートとりまとめ
	10			前期基本計画の総括			
	11		第2回委員会				
	12			後期基本計画（素案）の検討・起草			・財政シュミとりまとめ ・素案まとめ
	1					下旬：総括配布	・人口推計データ受領
	2		第3回委員会				・序論づくり
3	3月末 序論、「後期基本計画（素案）」策定						委員選考 素案配布 人口推計報告書納品
9年度（後期基本計画の策定）	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10	10月末 「後期基本計画（案）」策定					レイアウト・デザイン・印刷製本等入札
	11	基本計画案の答申					
	12				・パブリックコメント		
	1						
2		基本計画の決定					
3	「後期基本計画」策定						総合計画冊子印刷

※1 ワーキングについては、必要に応じて施策ごとに主管課中心に組織し実施します。

※2 総合計画審議会については、審議状況により変動します。

令和7年度事務事業の事後評価結果と改善策

資料1

令和7年度の事務事業の事後評価結果と改善策について、次のとおり決定します。
ただし、令和9年度以降に行う改善策については、当該年度の予算編成の中で決定します。

1. 令和7年度事後評価概要

令和8年6月から7月にかけて、令和7年度に人件費および事業費等の経費を要した事業のうち、第四次総合計画に位置付けている施策に紐づく事務事業189件について、担当部課による事後評価を行いました。事務事業の評価結果の概要は、次のとおりです。

※令和4年度からスタートした「第四次総合計画」に合わせて事務事業を見直し、細分化していた事務事業を集約しています。（参考：令和3年度事務事業数 941件）

事務事業の総合的な評価	件数
順調	109件
ほぼ順調	77件
順調とはいえない	3件
事後評価実施件数	189件

事後評価における今後の方向性	件数
現状通り推進する	177件
事業内容を見直す	7件
事業を拡大する	4件
事業を縮小する	1件
事後評価実施件数	189件

※総合的な評価と今後の方向性の相関

	現状通り推進する	事業内容を見直す	事業を拡大する	事業を縮小する	計
順調	105	1	3	0	109
ほぼ順調	71	4	1	1	77
順調とはいえない	1	2	0	0	3
計	177	7	4	1	189

2. 事後評価結果に基づく改善の方向性

今後の方向性として、改善を要する(事業内容を見直す・事業を拡大する・事業を縮小する)と評価した事務事業は、次の20件です。

1	事業名	高齢者の生きがいと健康づくり		担当部課	健康福祉部 高齢者支援課
	事務事業の目的・概要	高齢者が生きがいを持って充実した生活を送ることができるよう、地域で住民同士が交流できる場や健康づくりに参加できる環境を整えるとともに、就労機会の確保に努めます。			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	高齢者福祉センターの利用者数は、2施設を統合したことにより減少していますが、一定の利用者がつつじ荘に移行しています。前期高齢者の生活様式の変化や後期高齢者の増加などにより目標値に届かない事業があるが、市内の高齢者の年齢構成や60代の就労状況を鑑みれば概ね順調であると考えられます。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	高齢者福祉センターの統合は受け入れられつつあるものの、事業と前期高齢者の生活様式の変化や後期高齢者の増加などにより目標値に届かない事業があります。高齢者の生きがいと健康づくりのために今後も推進していく必要がありますが、内容等は適宜見直していきます。		

2	事業名	高齢者在宅支援事業		担当部課	健康福祉部 高齢者支援課
	事務事業の目的・概要	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、市民団体や福祉サービス事業所など、あらゆる主体と協力しながら、身近な場所で必要な生活支援サービスを利用できる環境をつくります。			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	後期高齢者の増加などにより要介護認定の状況や生活状況が変化し、目標値に届かないと考えられる事業がありますが、市内の高齢者の年齢構成を鑑みれば概ね順調と考えられます。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	前期高齢者が減少し後期高齢者が増加する傾向が続いており、要介護認定の状況や生活状況が変化することに伴い、サービスなどの要望も変化していくと考えられます。高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けるためには必要な事業であり、内容については適宜、見直していきます。		

3	事業名	障害者の社会参加・自立支援		担当部課	健康福祉部 障害者福祉センター
	事務事業の目的・概要	・地域の公共施設やサービス提供機関、市民団体などと連携を図り、障害のある人が自立できるよう、日常生活訓練や運動機能訓練を行います。 ・障害のある人がイベントなどに参加できるよう支援し、障害に対する理解を深めます。			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	民間施設と連携を図りながら社会参加支援ができました。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を縮小する	令和8年度をもって施設の利用を終了することから、障害者福祉センターで実施している各事業について方針を決定していきます。		

4	事業名	介護保険制度の運営		担当部課	健康福祉部 高齢者支援課
	事務事業の目的・概要	・介護を必要とする人に適切なサービスを提供できるよう、要支援・要介護者の状態に合わせた認定とサービスの質の向上に努めます。 ・介護保険制度を健全に運営するため、納付方法の多様化により利便性を向上させるとともに、保険料の収納率向上を図ります。			
	事業に対する評価／コメント	順調とはいえない	高齢化の進展により要介護申請から認定まで30日超えてさらに長期化しています。今後市民のサービス利用状況に影響が出ることを防ぐため、手法を見直しつつ迅速な要介護度の認定が出来るようにしていきます。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	必要な方に必要な支援を届けられるようにするため、要介護申請から調査、認定までの流れを見直し、より迅速に要介護度の認定が出来るよう進めていきます。		

5	事業名	子ども総合相談の推進		担当部課	子ども部 子ども相談課
	事務事業の目的・概要	虐待、育児、不登校、非行、いじめ、健康、障害、教育など子どもに関するあらゆる相談に対して、児童相談所や学校、警察などの関係機関との連携を強化し、適切に対応できる体制の充実を図ります。			
	事業に対する評価／コメント	順調	LINEによる相談が軌道に乗ったことや、年間相談受付件数が増加したものの、一つひとつの相談に対して丁寧に対応できているため、順調と評価しています。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を拡大する	こども家庭センターを設置し、児童福祉機能と母子保健機能が連携することで、妊産婦、子育て世帯、子どもへの切れ目のない相談支援体制を整備します。		

6	事業名	企業が進出・操業しやすい環境づくり(住工混在の解消、企業が進出しやすい環境整備)		担当部課	環境経済部 企業立地推進課
	事務事業の目的・概要	・地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図るため、産業用地を創出し、企業誘致や住工混在の解消などに取り組みます。 ・企業立地を促進させるため、新規立地による設備投資及び雇用を創出する企業に対して支援を行うとともに、再投資により事業の拡大及び雇用の拡大を図る既存企業に対して支援を行います。			
	事業に対する評価／コメント	順調とはいえない	事業主体である共同企業体から事業撤退の意向が示され、今後の事業の先行きが見えない状況となりました。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	共同企業体と成果物の引渡しを含めた事業終了に向けた協議を進めていくとともに、計画地における盛土層など課題を踏まえながら、新たな活用方法を検討していきます。		

7	事業名	景観まちづくりの普及啓発		担当部課	都市部 都市計画課
	事務事業の目的・概要	景観づくりを進める市民団体などと協働で景観に関する情報発信や景観ポイントの魅力化に取り組み、市民・事業者の景観に対する関心と理解を深めていきます。			
	事業に対する評価／コメント	順調	景観まちづくりの普及啓発事業について、全ての個別事務事業を概ね問題なく実施し、かつ、「我孫子のいろいろ八景歩き」や「景観まち探検」は参加者から好評であったため、順調と評価しています。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	「我孫子のいろいろ八景歩き」は、10年以上の実施により一定の成果を得ることができたことから、令和8年度からは若年層の景観に対する意識啓発に注力することとし、引き続き市民団体との協働による小学生対象の普及啓発事業「景観まち探検」の定着と充実を図っていきます。		

8	事業名	古利根沼水質汚濁防止		担当部課	環境経済部 手賀沼課
	事務事業の目的・概要	古利根沼の水質汚濁を防止するため、浄化施設を適正に管理するとともに、市民の協力を得て水辺の清掃を実施します。			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄化施設停止後の水質状況に影響は出ていますが、引き続き、水質・底質監視を継続していきます。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。		

9	事業名	男女共同参画プランの推進		担当部課	市民生活部 市民協働推進課
	事務事業の目的・概要	・性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスを払拭するための情報発信を強化します。 ・性別に関わらず、家事や育児、地域活動に主体的に参画できるよう、社会全体の意識の醸成を図ります。 ・性別に関わらず、被害が潜在化しやすいDVや性被害をはじめ、あらゆる暴力やハラスメントのない社会を目指し、その啓発に取り組みます。			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	男女共同参画プランに計上した77事業はおおむね順調に進んでいることから、ほぼ順調と評価します。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業内容を見直す	男女共同参画情報誌の発行については、これまでの紙媒体からホームページや公式SNS投稿等インターネットでの情報発信に手法を変更します。		

10	事業名	自殺対策事業		担当部課	健康福祉部 社会福祉課
	事務事業の目的・概要	自殺を未然に防ぐための周知啓発を図るとともに、自分の周りにいる自殺を考えている人の存在に気づき、声をかけ、必要に応じて適切な相談機関などにつないでいけるよう、地域の支援者としてゲートキーパーを養成していきます。			
	事業に対する評価／コメント	順調	庁内職員や小中学校の教職員を対象に研修を行い、自殺予防に関する知識を高めることができました。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を拡大する	自殺者数を減らすため、新たに自殺対策啓発用ショート動画を作成するなど、活動を強化していきます。		

11	事業名	人材育成の推進		担当部課	企画総務部 人事課
	事務事業の目的・概要	複雑高度化する行政需要に対応していくため、多様で質の高い人材を確保するとともに、職員研修や人事評価制度などにより、人材育成に努めています。			
	事業に対する評価／コメント	ほぼ順調	管理職登用試験の受験者数が前年度に比べ減少したが、職員研修は研修計画のとおり実施し、その受講者数が前年度に比べ増加したことを踏まえ、ほぼ順調と判断しました。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を拡大する	窓口開庁時間短縮の試行運用における課題等の検証を進め、対象施設を拡大を経て、本格実施に努めています。		

12	事業名	ふるさと納税の推進		担当部課	企画総務部 企画政策課
	事務事業の目的・概要	歳入の確保策としてふるさと納税寄附金をより多く募るため、ポータルサイトを効果的に活用するとともに、広報及びシティプロモーションと連動させ情報を発信します。あわせて、寄附受入額の増加に繋がるよう市内事業者と共に魅力ある返礼品の企画・発掘を進めます。			
	事業に対する評価／コメント	順調	現地決済型ふるさと納税の拡充により、寄附額を増加させることができました。また、より戦略的に寄附額を集めるため、新規事業者への訪問やプロポーザルによる中間委託事業者の変更などを行い、事業の活性化を図りました。		
	今後の方向性／理由及び今後の課題等	事業を拡大する	返礼品提供に協力する事業者と寄附額増加を目指すと共に、寄附者に対して我孫子市をプロモーションする取り組みも進めます。		

令和7年度事務事業の事後評価結果一覧

資料2

No.	第四次総合計画 基本施策	事業 コード	事務事業名	課名 (令和7年度の所管課)	事業に対する評価	今後の方向性
1	1-1 防災・減 災対策の推進	150	災害予防・初動対策事業	市民安全課	ほぼ順調	現状通り推進する
2		151	河川防災の強化に向けた取り組み	治水課	順調	現状通り推進する
3		152	道路障害発生時（災害時）の規制・ 対策	道路課	順調	現状通り推進する
4		153	応急給水体制の充実	給水課	ほぼ順調	現状通り推進する
5		154	建築物に係る防災対策事業	建築住宅課	ほぼ順調	現状通り推進する
6		155	国民保護計画の推進	市民安全課	順調	現状通り推進する
7		156	地域防災力の向上	市民安全課	順調	現状通り推進する
8		157	消防団活動の推進	警防課	ほぼ順調	現状通り推進する
9		158	宅地耐震化推進事業	市街地整備課	ほぼ順調	現状通り推進する
10	1-2 浸水対策 の推進	165	排水区の整備	治水課	ほぼ順調	現状通り推進する
11		166	排水施設の維持管理	治水課	ほぼ順調	現状通り推進する
12		167	市民・事業者による雨水流出抑制の 推進	治水課	ほぼ順調	現状通り推進する
13	1-3 防犯対策 の推進	175	防犯活動の推進	市民安全課	順調	現状通り推進する
14		176	小中学生非行対策	指導課	順調	現状通り推進する
15		177	消費者啓発事業	商業観光課	ほぼ順調	現状通り推進する
16	1-4 消防力の 強化	185	消防体制の強化	警防課	順調	現状通り推進する
17		186	消防庁舎・装備の整備・維持管理	総務課	ほぼ順調	現状通り推進する
18		187	消防組織体制の強化	総務課	ほぼ順調	現状通り推進する
19		188	火災予防業務	予防課	ほぼ順調	現状通り推進する
20	1-5 交通安全 の推進	195	交通安全普及啓発活動の推進	交通政策課	ほぼ順調	現状通り推進する
21		196	交通安全施設整備	道路課	順調	現状通り推進する
22	2-1 地域福祉 の推進	200	地域住民の福祉活動支援	社会福祉課	ほぼ順調	現状通り推進する
23		201	外出・移動支援事業	社会福祉課	ほぼ順調	現状通り推進する

No.	第四次総合計画 基本施策	事業 コード	事務事業名	課名 (令和7年度の所管課)	事業に対する評価	今後の方向性
24	2-1 地域福祉 の推進	202	孤立死防止対策事業	社会福祉課	順調	現状通り推進する
25		203	成年後見制度利用の支援	高齢者支援課	順調	現状通り推進する
26		204	高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集 事業	生活衛生課	順調	現状通り推進する
27		205	献血・骨髄ドナー推進事業	社会福祉課	順調	現状通り推進する
28		206	社会福祉法人の法人運営に対する指 導監査	社会福祉課	順調	現状通り推進する
29		207	健康福祉総合計画の策定及び進行管 理	社会福祉課	ほぼ順調	現状通り推進する
30	2-2 健康づく りの推進	220	保健センターの維持管理	健康づくり支援課	順調	現状通り推進する
31		221	心も身体も健康プランの推進	健康づくり支援課	ほぼ順調	現状通り推進する
32		222	市民の自主的な健康づくりの推進	健康づくり支援課	ほぼ順調	現状通り推進する
33		223	市民の自主的な健康づくりの推進 (国保)	国保年金課	順調	現状通り推進する
34		224	地域医療体制の充実	健康づくり支援課	順調	現状通り推進する
35		225	感染症対策事業	健康づくり支援課	ほぼ順調	現状通り推進する
36	2-3 高齢者福 祉の推進	240	高齢者の生きがいと健康づくり	高齢者支援課	ほぼ順調	事業内容を見直す
37		241	介護予防の推進	高齢者支援課	ほぼ順調	現状通り推進する
38		242	高齢者のための地域福祉の推進	高齢者支援課	順調	現状通り推進する
39		243	高齢者在宅支援事業	高齢者支援課	ほぼ順調	事業内容を見直す
40		244	認知症高齢者の支援	高齢者支援課	順調	現状通り推進する
41		245	社会福祉施設入所支援	高齢者支援課	順調	現状通り推進する
42	2-4 障害者福 祉の推進	260	障害者プランの策定・推進	障害者支援課	ほぼ順調	現状通り推進する
43		261	障害福祉サービスに関する相談・支 援の実施	障害者支援課	ほぼ順調	現状通り推進する
44		262	障害者への経済的支援	障害者支援課	ほぼ順調	現状通り推進する
45		263	生活介護対象者支援事業	あらか園	ほぼ順調	現状通り推進する
46		264	障害者の社会参加・自立支援	障害者福祉センター	ほぼ順調	事業を縮小する
47	2-5 生活支援 の推進	280	介護保険制度の運営	高齢者支援課	順調とはいえない	事業内容を見直す
48		281	国民健康保険制度の運営	国保年金課	順調	現状通り推進する

No.	第四次総合計画 基本施策	事業 コード	事務事業名	課名 (令和7年度の所管課)	事業に対する評価	今後の方向性
49	2－5 生活支援 の推進	282	後期高齢者医療制度の運営	国保年金課	順調	現状通り推進する
50		283	国民年金制度の運営	国保年金課	順調	現状通り推進する
51		284	生活・福祉に関する総合的な相談・ 支援の実施	社会福祉課	順調	現状通り推進する
52	3－1 妊娠・出 産・子育てへの切 れ目ない支援	300	子ども総合計画の策定及び進行管理	子ども支援課	順調	現状通り推進する
53		301	地域での子育て支援の充実	保育課	順調	現状通り推進する
54		302	未就学児の教育・保育環境の充実	保育課	ほぼ順調	現状通り推進する
55		303	親と子の健康づくりの推進	健康づくり支援課	ほぼ順調	現状通り推進する
56		304	小児等予防接種事業	健康づくり支援課	順調	現状通り推進する
57		305	子ども総合相談の推進	子ども相談課	順調	事業を拡大する
58		306	放課後対策事業	子ども支援課	ほぼ順調	現状通り推進する
59		308	子育てへの経済的支援	子ども支援課	順調	現状通り推進する
60		309	子どもの貧困対策事業	社会福祉課	順調	現状通り推進する
61		310	教育扶助（要保護・準要保護児童生 徒就学援助）事業	学校教育課	順調	現状通り推進する
62	3－2 子どもの 成長に応じた発達 への支援	330	切れ目のない発達支援体制の充実	こども発達センター	順調	現状通り推進する
63		331	児童発達支援事業	子ども相談課	順調	現状通り推進する
64		332	地域と連携した子どもの発達への支 援	こども発達センター	ほぼ順調	現状通り推進する
65		333	発達支援が必要な子どもの早期発見	こども発達センター	ほぼ順調	現状通り推進する
66		334	自分らしい学校生活を送るための教 育支援	教育相談センター	ほぼ順調	現状通り推進する
67	3－3 魅力ある 学校づくり	350	学校教育環境の充実	学校教育課	順調	現状通り推進する
68		351	児童・生徒の保健衛生事業	学校教育課	順調	現状通り推進する
69		352	小中学校施設の維持管理	総務課	順調	現状通り推進する
70		353	総合教育会議運営事務	秘書広報課	順調	現状通り推進する
71		354	地域とともにある学校づくり推進事 業	指導課	順調	現状通り推進する
72		355	幼児期教育と小学校教育との連携・ 小中一貫教育の推進	指導課	順調	現状通り推進する
73		356-1	教職員資質向上推進事業	指導課・（教育相談 センター）	順調	現状通り推進する
74		356-2	教職員資質向上推進事業	（指導課）・教育相 談センター	ほぼ順調	現状通り推進する

No.	第四次総合計画 基本施策	事業 コード	事務事業名	課名 (令和7年度の所管課)	事業に対する評価	今後の方向性
75	3-3 魅力ある 学校づくり	357	長期欠席児童生徒対策事業	教育相談センター	ほぼ順調	現状通り推進する
76		358	いじめ防止対策事業	指導課	ほぼ順調	現状通り推進する
77		359	学力向上推進事業	指導課	順調	現状通り推進する
78		360	小中学校 I C T 教育の推進	指導課	順調	現状通り推進する
79		361	学校給食管理運営事業	学校教育課	順調	現状通り推進する
80	3-4 心豊かに する体験・活動の 推進	380	子どもの自主性を育むイベントの実施	子ども支援課	順調	現状通り推進する
81		381	子どもの居場所づくり（あびっ子クラブ）	子ども支援課	順調	現状通り推進する
82		382	子どもの読書活動の推進	図書館	順調	現状通り推進する
83		383	子どもの文化・芸術活動の推進	文化・スポーツ課	順調	現状通り推進する
84	4-1 企業立地の 推進	400	企業が進出・操業しやすい環境づくり（住工混在の解消、企業が進出しやすい環境整備）	企業立地推進課	順調とはいえない	事業内容を見直す
85	4-2 就労支援 の充実	420	就労支援・雇用環境の充実	企業立地推進課	順調	現状通り推進する
86		421	障害者の一般就労に関する相談・支援の実施	障害者就労支援センター	ほぼ順調	現状通り推進する
87	4-3 商工業の 振興	440	中小企業の支援	企業立地推進課	順調	現状通り推進する
88		441	商業活性化策の推進	商業観光課	ほぼ順調	現状通り推進する
89		442	起業・創業の支援	企業立地推進課	順調	現状通り推進する
90	4-4 農業の振 興	460	農業の生産性の維持向上	農政課	ほぼ順調	現状通り推進する
91		461	農業経営の安定化	農政課	ほぼ順調	現状通り推進する
92		462	手賀沼沿い農地の保全活用と農業者支援	農政課	順調	現状通り推進する
93		463	農業者と消費者の交流促進	農政課	ほぼ順調	現状通り推進する
94	4-5 交流・関 係人口の拡大	480	観光振興策の推進	商業観光課	ほぼ順調	現状通り推進する
95		481	ジャパンバードフェスティバルの開催	手賀沼課	ほぼ順調	現状通り推進する
96		482	親水広場の運営・活用	手賀沼課	ほぼ順調	現状通り推進する
97		483	高野山新田エリア活用事業	農政課	ほぼ順調	現状通り推進する
98		484	手賀沼遊歩道の再整備	公園緑地課	順調	現状通り推進する
99		485	地域資源を活かした都市ブランド化	企画政策課	順調	現状通り推進する

No.	第四次総合計画 基本施策	事業 コード	事務事業名	課名 (令和7年度の所管課)	事業に対する評価	今後の方向性
100	4－5 交流・関係人口の拡大	486	観光情報の発信	商業観光課	ほぼ順調	現状通り推進する
101		487	スポーツを通じた交流人口の拡大	文化・スポーツ課	順調	現状通り推進する
102	5－1 適正な土地利用の推進	500	都市計画に関する総合調整	都市計画課	順調	現状通り推進する
103		501	開発行為に係る指導・許可等の事務	市街地整備課	順調	現状通り推進する
104		502	建築行為に係る審査・指導・認定等の業務	建築住宅課	ほぼ順調	現状通り推進する
105	5－2 住環境の 保全とまちなみの 魅力向上	520	住居に関する相談・支援	建築住宅課	ほぼ順調	現状通り推進する
106		521	市営住宅の管理・運営	建築住宅課	ほぼ順調	現状通り推進する
107		522	景観形成に係る規制誘導	都市計画課	順調	現状通り推進する
108		523	景観まちづくりの普及啓発	都市計画課	順調	事業内容を見直す
109	5－3 公共交通の 利便性向上	540	地域公共交通維持確保と利便性向上	交通政策課	ほぼ順調	現状通り推進する
110		541	鉄道の輸送力と利便性向上	企画政策課	順調	現状通り推進する
111		542	駅施設整備・維持・管理業務	交通政策課	ほぼ順調	現状通り推進する
112	5－4 安全で快適な道路の整備	550	幹線道路網などに関する調査・検討	都市計画課	順調	現状通り推進する
113		551-1	道路の整備・改良	道路課、(交通政策課)	ほぼ順調	現状通り推進する
114		551-2	道路の整備・改良	(道路課)、交通政策課	順調とはいえない	現状通り推進する
115		552	移動しやすい歩道の整備	道路課	順調	現状通り推進する
116		553	道路空間の魅力化	道路課	ほぼ順調	現状通り推進する
117		554-1	道路環境の維持	道路課、(交通政策課)	順調	現状通り推進する
118		554-2	道路環境の維持	(道路課)、交通政策課	順調	現状通り推進する
119	5－5 利用したくなる公園の整備	570	公園の再整備	公園緑地課	ほぼ順調	現状通り推進する
120		571	公園の維持管理	公園緑地課	順調	現状通り推進する
121	5－6 下水道の 整備と普及	580	下水道事業の健全経営	下水道課	ほぼ順調	現状通り推進する
122		581	下水道施設の維持管理	下水道課	ほぼ順調	現状通り推進する
123		582	下水道管路の整備	下水道課	順調	現状通り推進する

No.	第四次総合計画 基本施策	事業 コード	事務事業名	課名 (令和7年度の所管課)	事業に対する評価	今後の方向性
124	5－7 安全な水道水の安定供給	590	水道事業の健全経営	経営課	ほぼ順調	現状通り推進する
125		591	お客様センターの運営	給水課	順調	現状通り推進する
126		592	浄水場施設の更新・維持管理	工務課	順調	現状通り推進する
127		593	水道管路の更新・維持管理	工務課	順調	現状通り推進する
128		594	専用水道・簡易専用水道・小規模水道の管理等指導事業	生活衛生課	順調	現状通り推進する
129	6－1 地球環境の保全	600	環境基本計画の進行管理	手賀沼課	順調	現状通り推進する
130		601	ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みの推進	手賀沼課	順調	現状通り推進する
131		602	新クリーンセンターの整備・運営	資源循環推進課	順調	現状通り推進する
132		603-1	ごみ減量と資源化の推進	資源循環推進課、 (生活衛生課)	順調	現状通り推進する
133		603-2	ごみ減量と資源化の推進	(資源循環推進課)、生活衛生課	順調	現状通り推進する
134	6－2 自然環境の保全	640	手賀沼の浄化・再生	手賀沼課	順調	現状通り推進する
135		641	環境学習の推進	手賀沼課	順調	現状通り推進する
136		642	古利根沼水質汚濁防止	手賀沼課	ほぼ順調	事業内容を見直す
137		643	高度処理型合併浄化槽設置整備補助事業	資源循環推進課	順調	現状通り推進する
138		644	河川愛護事業	治水課	順調	現状通り推進する
139		645	緑の基本計画の進行管理	公園緑地課	順調	現状通り推進する
140		646	緑地の保全と緑化推進	公園緑地課	順調	現状通り推進する
141		647-1	適正な生態系の維持	手賀沼課、(生活衛生課)	順調	現状通り推進する
142		647-2	適正な生態系の維持	(手賀沼課)、生活衛生課	ほぼ順調	現状通り推進する
143		648	谷津ミュージアム事業の推進	手賀沼課	順調	現状通り推進する
144	6－3 生活環境の保全	670	典型7公害対策事業	生活衛生課	ほぼ順調	現状通り推進する
145		671-1	生活環境に関する相談業務	手賀沼課、(生活衛生課)	順調	現状通り推進する
146		671-2	生活環境に関する相談業務	(手賀沼課)、生活衛生課	ほぼ順調	現状通り推進する
147		672-1	不法投棄・路上喫煙防止対策事業	資源循環推進課、 (生活衛生課)	順調	現状通り推進する
148		672-2	不法投棄・路上喫煙防止対策事業	(資源循環推進課)、生活衛生課	順調	現状通り推進する
149		673	石けん利用の推進	商業観光課	ほぼ順調	現状通り推進する

No.	第四次総合計画 基本施策	事業 コード	事務事業名	課名 (令和7年度の所管課)	事業に対する評価	今後の方向性
150	7-1 生涯学習 の推進	700	生涯学習推進事業	生涯学習課	ほぼ順調	現状通り推進する
151		701	図書館の管理運営	図書館	順調	現状通り推進する
152		702	図書館の利用促進	図書館	順調	現状通り推進する
153		703	鳥の博物館による環境学習の推進	鳥の博物館	ほぼ順調	現状通り推進する
154		704	鳥の博物館の管理運営	鳥の博物館	ほぼ順調	現状通り推進する
155	7-2 歴史・文化の 保存・継承と 文化の振興	740	発掘調査及び記録保存	文化・スポーツ課	順調	現状通り推進する
156		741	文化財の保存と活用	文化・スポーツ課	順調	現状通り推進する
157		742	文化芸術活動の推進	文化・スポーツ課	順調	現状通り推進する
158		743	新たな文化交流拠点施設整備の検討	生涯学習課	ほぼ順調	現状通り推進する
159	7-3 スポーツ の振興	770	スポーツの奨励	文化・スポーツ課	順調	現状通り推進する
160		771	体育施設の管理運営	文化・スポーツ課	順調	現状通り推進する
161	8-1 男女共同 参画の推進	800	男女共同参画プランの推進	市民協働推進課	ほぼ順調	事業内容を見直す
162		801	DV相談	社会福祉課	順調	現状通り推進する
163	8-2 人権尊重 社会の推進	820	人権相談・啓発活動	社会福祉課	順調	現状通り推進する
164		821	自殺対策事業	社会福祉課	順調	事業を拡大する
165	8-3 平和社会 の推進	830	平和事業の実施	企画政策課	順調	現状通り推進する
166		831	平和祈念事業	社会福祉課	順調	現状通り推進する
167	8-4 国際交 流・多文化共生の 推進	840	国際交流活動への支援	企画政策課	順調	現状通り推進する
168	市民とともにつくる 協働によるまち づくり	900	地域コミュニティ活性化の推進	市民協働推進課	ほぼ順調	現状通り推進する
169		901	市民公益活動の推進	市民協働推進課	ほぼ順調	現状通り推進する
170		902	行政情報の発信	秘書広報課	順調	現状通り推進する
171		903	市民ニーズの把握と反映	秘書広報課	ほぼ順調	現状通り推進する
172		904	情報公開の推進	行政管理課	順調	現状通り推進する
173		905	統計データ整備	行政管理課	ほぼ順調	現状通り推進する

No.	第四次総合計画 基本施策	事業 コード	事務事業名	課名 (令和7年度の所管課)	事業に対する評価	今後の方向性
174	効率的・効果的な 行財政運営の推進	910	総合計画及びまち・ひと・しごと総合戦略の策定と進行管理	企画政策課	ほぼ順調	現状通り推進する
175		911	公共施設設備の管理運営	資産管理課	順調	現状通り推進する
176		912	行政改革・業務改善の推進	企画政策課	順調	現状通り推進する
177		913	電子行政の推進	デジタル戦略課	順調	現状通り推進する
178		914	機能的な組織運営	行政管理課	順調	現状通り推進する
179		915	人材育成の推進	人事課	ほぼ順調	事業を拡大する
180		916	庁内総合調整と行政の見える化	企画政策課	順調	現状通り推進する
181		917	広域行政の推進	企画政策課	順調	現状通り推進する
182		918	健全で安定した財政運営	財政課	ほぼ順調	現状通り推進する
183		919	財源の確保	財政課	ほぼ順調	現状通り推進する
184		920	効率的な市税の収納	収税課	ほぼ順調	現状通り推進する
185		921	ファシリティマネジメントの推進	資産管理課	順調	現状通り推進する
186		922	リスクマネジメントの推進	行政管理課	ほぼ順調	現状通り推進する
187		923	電子行政の維持・運営	デジタル戦略課	順調	現状通り推進する
188		924	ふるさと納税の推進	企画政策課	順調	事業を拡大する
189	戦略的なシティプロモーション	930	シティプロモーションの推進	秘書広報課	順調	現状通り推進する

我孫子市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

我孫子市一般職の職員の給与に関する条例（昭和32年条例第6号）の一部を次のように改正する。

改正後		改正前	
別表第3（第12条関係）		別表第3（第12条関係）	
種類	支給額	種類	支給額
略	略	略	略
防災作業手当	日額 <u>1,440円</u> 以内	防災作業手当	日額 <u>1,000円</u> 以内
略	略	略	略
緊急消防援助隊 出動手当	日額 <u>2,880円</u> 以内	緊急消防援助隊 出動手当	日額 <u>2,160円</u> 以内

附 則

（施行期日等）

- この条例は、公布の日から施行し、この条例による改正後の我孫子市一般職の職員の給与に関する条例（以下「改正後の条例」という。）の規定は、令和8年4月1日から適用する。

（特殊勤務手当の内払）

- 改正後の条例の規定を適用する場合には、この条例による改正前の我孫子市一般職の職員の給与に関する条例の規定に基づいて支給された特殊勤務手当は、改正後の条例の規定による特殊勤務手当の内払とみなす。

我孫子市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例に関する資料

(1) 改正内容

我孫子市一般職の職員の特殊勤務手当支給に関する規則の一部を改正する規則（案）

■防災作業手当（第3条関係）

災害対策本部等の指示により次の作業に従事した職員に支給する手当

内 容	1日あたりの支給額	
	改定後	改定前
(1) 水防・災害救助、罹災者対策等の業務における著しく危険な作業	1,000 円	1,000 円
(2) 災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）が適用された市町村（特別区を含み、本市を除く。）の区域内における応急救助の事務又は災害復旧のための作業	<u>1,440 円</u>	1,000 円

■緊急消防援助隊出動手当（第9条関係）

消防組織法（昭和 22 年法律第 226 号）第 45 条第 1 項に規定する緊急消防援助隊として同法第 44 条第 1 項に規定する消防の応援等の業務に従事した消防職員に支給する手当

内 容	1日あたりの支給額	
	改定後	改定前
(1) 通常の場合	<u>1,440 円</u>	1,080 円
(2) 著しく危険であると市長が認める区域で行われた場合	<u>2,880 円</u>	2,160 円

(2) 実施時期

条例の公布の日から施行し、令和 8 年 4 月 1 日から適用する。

我孫子市行政手続条例の一部を改正する条例

我孫子市行政手続条例（平成９年条例第９号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
（聴聞の通知の方式） 第15条 略 2 略 3 行政庁は、不利益処分の名宛人となるべき者の所在が判明しない場合においては、第１項の規定による通知を、<u>公示の方法</u>によって行うことができる。	（聴聞の通知の方式） 第15条 略 2 略 3 行政庁は、不利益処分の名宛人となるべき者の所在が判明しない場合においては、第１項の規定による通知を、<u>その者の氏名、同項第３号及び第４号に掲げる事項並びに当該行政庁が同項各号に掲げる事項を記載した書面をいつでもその者に交付する旨を当該行政庁の事務所の掲示場に掲示すること</u>によって行うことができる。<u>この場合においては、掲示を始めた日から２週間を経過したときに、当該通知がその者に到達したものとみなす。</u>
4 <u>前項の公示の方法による通知は、不利益処分の名宛人となるべき者の氏名、第１項第３号及び第４号に掲げる事項並びに当該行政庁が同項各号に掲げる事項を記載した書面をいつでもその者に交付する旨（以下この項において「公示事項」という。）を規則で定める方法により不特定多数の者が閲覧すること</u>	

ができる状態に置くとともに、公示事項が記載された書面を当該行政庁の事務所の掲示場に掲示し、又は公示事項を当該事務所に設置した電子計算機の映像面に表示したものの閲覧をすることができる状態に置く措置をとることによって行うものとする。この場合においては、当該措置を開始した日から2週間を経過したときに、当該通知がその者に到達したものとみなす。

(代理人)

第16条 前条第1項の通知を受けた者（同条第4項後段の規定により当該通知が到達したものとみなされる者を含む。以下「当事者」という。）は、代理人を選任することができる。

2 から4まで 略

(続行期日の指定)

第22条 略

2 略

3 第15条第3項及び第4項の規定は、前項本文の場合において、当事者又は参加人の所在が判明しないときにおける通知の方法について準用する。この場合において、同条第3項及び第4項中「不利益処分の名宛人となるべき者」とあるのは「当事者又は参加人」と、同項中「と

(代理人)

第16条 前条第1項の通知を受けた者（同条第3項後段の規定により当該通知が到達したものとみなされる者を含む。以下「当事者」という。）は、代理人を選任することができる。

2 から4まで 略

(続行期日の指定)

第22条 略

2 略

3 第15条第3項の規定は、前項本文の場合において、当事者又は参加人の所在が判明しないときにおける通知の方法について準用する。この場合において、同条第3項中「不利益処分の名宛人となるべき者」とあるのは「当事者又は参加人」と、「掲示を始めた日から2週間を経過し

き」とあるのは「とき（同一の当事者又は参加人に対する２回目以降の通知にあつては、当該措置を開始した日の翌日）」と読み替えるものとする。

（聴聞に関する手続の準用）

第29条 第15条第３項及び**第４項並びに**第16条の規定は、弁明の機会の付与について準用する。この場合において、第15条第３項中「第１項」とあるのは「第28条」と、**同条第４項中「第１項第３号及び第４号」とあるのは「第28条第３号」と**、第16条第１項中「前条第１項」とあるのは「第28条」と、「**同条第４項後段**」とあるのは「第29条において準用する**第15条第４項後段**」と読み替えるものとする。

たとき」とあるのは「**揭示を始めた日から２週間を経過した**とき（同一の当事者又は参加人に対する２回目以降の通知にあつては、**揭示を始めた**日の翌日）」と読み替えるものとする。

（聴聞に関する手続の準用）

第29条 第15条第３項及び第16条の規定は、弁明の機会の付与について準用する。この場合において、第15条第３項中「第１項」とあるのは「第28条」と、**「同項第３号」及び第４号**とあるのは「**同条第３号**」と、第16条第１項中「前条第１項」とあるのは「第28条」と、「**同条第３項後段**」とあるのは「第29条において準用する**第15条第３項後段**」と読み替えるものとする。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例による改正後の第15条第３項及び第４項（これらの規定を改正後の第22条第３項及び第29条において準用する場合を含む。）の規定は、この条例の施行の日以後にする通知について適用し、同日前にした通知については、なお従前の例による。

我孫子市行政手続条例の一部を改正する条例に関する資料

1 改正の趣旨

- 不利益処分（許可の取消し等）を行う場合は、その名宛人に対し、聴聞又は弁明の機会の付与を行う必要がある。
- 聴聞及び弁明の機会の付与を行うときは、その旨を書面により処分の相手方に通知する必要があるが、その者の所在が判明しない場合においては、我孫子市役所掲示場及び布佐行政サービスセンター掲示場に、必要事項を記載した書面を掲示することで、当該通知がその者に到達したとみなす、公示送達を行っている。
- この公示送達について、行政手続法が改正されたことで、国の法令に基づく処分等については、インターネットによる公表が可能となった。
- 市でも、条例等に基づく処分等について、インターネットによる公表を可能とするため、法と同様の改正を行う。

2 改正の内容

公示送達の方法について、これまでは、我孫子市役所掲示場及び布佐行政サービスセンター掲示場に掲示するのみであった。今後は、従来の掲示場への掲示に加え、不特定多数の者が閲覧することができるようインターネットにより公表する方法を追加するとともに、求められた場合には窓口でのパソコン等での画面表示も行えるよう改正する。

【公示送達の方法イメージ図】

現行	1	掲示場への掲示 ・ 我孫子市役所掲示場 ・ 布佐行政サービスセンター掲示場
----	---	---



改正案	1	規則で定める方法（条例第15条第4項） インターネットによる公表を想定。我孫子市ホームページにおいて不利益処分に係る通知内容を閲覧できるようにする。
	2	○掲示場への掲示 ・我孫子市役所掲示場 ・布佐行政サービスセンター掲示場
		又は
		○窓口でのパソコン等による画面表示（条例第15条第4項）

3 施行予定日

条例の公布の日から施行する。

我孫子市集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

第 1 条 我孫子市集会施設の設置及び管理に関する条例（昭和51年条例第31号）の一部を次のように改正する。

改正後					改正前					
別表（第 8 条関係）					別表（第 8 条関係）					
1 市民センター使用料					1 市民センター使用料					
湖北台市民センター					湖北台市民センター					
区分	午前		午後		夜間		時間	午前 9 時～正午	午後 1 時～午後 5 時	午後 6 時～午後 9 時
略	略	略	略	略	略	略	略	略	略	略
2 近隣センター使用料					2 近隣センター使用料					
(1) 布佐南近隣センター					(1) 布佐南近隣センター					
区分	午前		午後		夜間		時間	午前 9 時～正午	午後 1 時～午後 5 時	午後 6 時～午後 9 時
略	略	略	略	略	略	略	略	略	略	略
区分	午前	午前	午後	午後	夜間	時間	午前 9 時～午前 11 時	午前 11 時～午後 1 時	午後 1 時～午後 3 時	午後 3 時～午後 5 時
	1	2	1	2						
	午前 9 時～午前 11 時	午前 11 時～午後 1 時	午後 1 時～午後 3 時	午後 3 時～午後 5 時	午後 5 時～午後 7 時					
					(5 月～8 月に限る。)					(6 月～8 月に限る。)
テニスコート	略	略	略	略	略	施設	略	略	略	略

(2) 天王台北近隣センター

区分	午前	午後	夜間
	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
略	略	略	略

(3) 根戸近隣センター

区分	午前	午後	夜間
	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
略	略	略	略

(4) 新木近隣センター

区分	午前	午後	夜間
	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
略	略	略	略

(5) 湖北台近隣センター

ア 施設使用料

区分	午前	午後	夜間
	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
略	略	略	略

イ 設備使用料

略

(6) 久寺家近隣センター

(2) 天王台北近隣センター

時間	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
施設			
略	略	略	略

(3) 根戸近隣センター

時間	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
施設			
略	略	略	略

(4) 新木近隣センター

時間	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
施設			
略	略	略	略

(5) 湖北台近隣センター

ア 施設使用料

時間	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
施設			
略	略	略	略

イ 設備使用料

略

(6) 久寺家近隣センター

<u>区分</u>	<u>午前</u>	<u>午後</u>	<u>夜間</u>
	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
略	略	略	略

(7) 近隣センターこもれび

ア 施設使用料

<u>区分</u>	<u>午前</u>	<u>午後</u>	<u>夜間</u>
	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
略	略	略	略

イ 設備使用料

略

(8) 我孫子南近隣センター

<u>区分</u>	<u>午前</u>	<u>午後</u>	<u>夜間</u>
	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
略	略	略	略

(9) 近隣センターふさの風

ア 施設使用料

<u>区分</u>	<u>午前</u>	<u>午後</u>	<u>夜間</u>
	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
略	略	略	略

イ 設備使用料

<u>時間</u>	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
<u>施設</u>	略	略	略

(7) 近隣センターこもれび

ア 施設使用料

<u>時間</u>	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
<u>施設</u>	略	略	略

イ 設備使用料

略

(8) 我孫子南近隣センター

<u>時間</u>	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
<u>施設</u>	略	略	略

(9) 近隣センターふさの風

ア 施設使用料

<u>時間</u>	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
<u>施設</u>	略	略	略

イ 設備使用料

略

(10) 我孫子北近隣センター並木
本館

区分	午前	午後	夜間
	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
略	略	略	略

(11) 我孫子北近隣センターつく
し野館

区分	午前	午後	夜間
	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
略	略	略	略

略

(10) 我孫子北近隣センター並木
本館

時間	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
施設	略	略	略

(11) 我孫子北近隣センターつく
し野館

時間	午前 9 時 ～ 正午	午後 1 時 ～ 午後 5 時	午後 6 時 ～ 午後 9 時
施設	略	略	略

第 2 条 我孫子市集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を次のように
改正する。

改正後	改正前										
(設置) 第 2 条 本市は、市民の福祉増進を図 るため、次のとおり集会施設を設置 する。	(設置) 第 2 条 本市は、市民の福祉増進を図 るため、次のとおり集会施設を設置 する。										
<table><tr><th>名 称</th><th>所在地</th></tr><tr><td>我孫子市布佐 南近隣センタ</td><td>我孫子市布佐平和 台 4 丁目 1 番 30 号</td></tr></table>	名 称	所在地	我孫子市布佐 南近隣センタ	我孫子市布佐平和 台 4 丁目 1 番 30 号	<table><tr><th>名 称</th><th>所在地</th></tr><tr><td>我孫子市湖北 台市民センタ 二</td><td>我孫子市湖北台 3 丁目 1 番 1 号</td></tr><tr><td>我孫子市布佐 南近隣センタ</td><td>我孫子市布佐平和 台 4 丁目 1 番 30 号</td></tr></table>	名 称	所在地	我孫子市湖北 台市民センタ 二	我孫子市湖北台 3 丁目 1 番 1 号	我孫子市布佐 南近隣センタ	我孫子市布佐平和 台 4 丁目 1 番 30 号
名 称	所在地										
我孫子市布佐 南近隣センタ	我孫子市布佐平和 台 4 丁目 1 番 30 号										
名 称	所在地										
我孫子市湖北 台市民センタ 二	我孫子市湖北台 3 丁目 1 番 1 号										
我孫子市布佐 南近隣センタ	我孫子市布佐平和 台 4 丁目 1 番 30 号										

一	
略	略

別表（第8条関係）

1 布佐南近隣センター

略

2 天王台北近隣センター

略

3 根戸近隣センター

略

4 新木近隣センター

略

5 湖北台近隣センター

(1) 施設使用料

一	
略	略

別表（第8条関係）

1 市民センター使用料

湖北台市民センター

<u>区分</u>	<u>午前</u>	<u>午後</u>	<u>夜間</u>
	<u>午前9時～正午</u>	<u>午後1時～午後5時</u>	<u>午後6時～午後9時</u>
<u>会議室</u>	<u>510円</u>	<u>700円</u>	<u>510円</u>
<u>1</u>			
<u>会議室</u>			
<u>2</u>			
<u>会議室</u>			
<u>3</u>			
<u>会議室</u>	<u>630円</u>	<u>860円</u>	<u>630円</u>
<u>4</u>			

2 近隣センター使用料

(1) 布佐南近隣センター

略

(2) 天王台北近隣センター

略

(3) 根戸近隣センター

略

(4) 新木近隣センター

略

(5) 湖北台近隣センター

ア 施設使用料

略	略
<u>(2) 設備使用料</u>	<u>イ 設備使用料</u>
略	略
<u>6 久寺家近隣センター</u>	<u>(6) 久寺家近隣センター</u>
略	略
<u>7 近隣センターこもれび</u>	<u>(7) 近隣センターこもれび</u>
<u>(1) 施設使用料</u>	<u>ア 施設使用料</u>
略	略
<u>(2) 設備使用料</u>	<u>イ 設備使用料</u>
略	略
<u>8 我孫子南近隣センター</u>	<u>(8) 我孫子南近隣センター</u>
略	略
<u>9 近隣センターふさの風</u>	<u>(9) 近隣センターふさの風</u>
<u>(1) 施設使用料</u>	<u>ア 施設使用料</u>
略	略
<u>(2) 設備使用料</u>	<u>イ 設備使用料</u>
略	略
<u>10 我孫子北近隣センター並木本館</u>	<u>(10) 我孫子北近隣センター並木本館</u>
略	略
<u>11 我孫子北近隣センターつくし野館</u>	<u>(11) 我孫子北近隣センターつくし野館</u>
略	略

附 則

この条例は、令和 9 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 1 条の規定は、公布の日から施行する。

我孫子市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正
する条例

我孫子市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例（平成7年条例第24号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
（登録） 第4条 市長は、前条第1項の申請があつたときは、当該申請をした者が当該申請に係る認可地縁団体の代表者等であることを確認するとともに、当該申請に係る書面に記載されている事項等について当該認可地縁団体につき地方自治法施行規則（昭和22年内務省令第29号。以下「施行規則」という。）第18条の3第1項の規定により作成された台帳（以下「地縁団体台帳」という。）の記載事項及び個人印鑑に係る印鑑登録原票の印影その他の登録事項との照合その他の審査をした上、認可地縁団体印鑑登録原票（以下「登録原票」という。）に登録するものとする。 2 略 （代理人による申請） 第11条 地縁団体台帳に施行規則第18条の3第1項第7号の代理人の氏名及び住所の記載がある認可地縁	（登録） 第4条 市長は、前条第1項の申請があつたときは、当該申請をした者が当該申請に係る認可地縁団体の代表者等であることを確認するとともに、当該申請に係る書面に記載されている事項等について当該認可地縁団体につき地方自治法施行規則（昭和22年内務省令第29号。以下「施行規則」という。）第21条第2項の規定により作成された台帳（以下「地縁団体台帳」という。）の記載事項及び個人印鑑に係る印鑑登録原票の印影その他の登録事項との照合その他の審査をした上、認可地縁団体印鑑登録原票（以下「登録原票」という。）に登録するものとする。 2 略 （代理人による申請） 第11条 施行規則第19条第1項第1号トの規定により代表者等の代理人の告示が行われている認可地縁

団体にあっては、委任の旨を証する 書面を添えて、当該代理人によりこ の条例に基づく申請をすることが できる。	団体にあっては、委任の旨を証する 書面を添えて、当該代理人によりこ の条例に基づく申請をすることが できる。
2 略	2 略

附 則

この条例は、令和 8 年10月 1 日から施行する。

我孫子市中小企業資金融資条例の一部を改正する条例

我孫子市中小企業資金融資条例（昭和35年条例第21号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
（定義） 第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。 （1） 略 （2） 創業者 産競法<u>第2条第32項</u><u>各号</u>に規定する者をいう。 （3）から（8）まで 略	（定義） 第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。 （1） 略 （2） 創業者 産競法<u>第2条第31項</u><u>各号</u>に規定する者をいう。 （3）から（8）まで 略

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

我孫子市都市計画審議会条例の一部を改正する条例

我孫子市都市計画審議会条例（平成12年条例第42号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
（組織） 第2条 審議会は、次に掲げる者につき市長が任命する委員で組織する。 （1） 略 （2） 市議会議員 <u>2人</u>以内 （3）及び（4） 略 2 及び 3 略	（組織） 第2条 審議会は、次に掲げる者につき市長が任命する委員<u>12人以内</u>で組織する。 （1） 略 （2） 市議会議員 <u>4人</u>以内 （3）及び（4） 略 2 及び 3 略

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例による改正後の我孫子市都市計画審議会条例の規定は、この条例の施行の日以後に委員の任期満了に伴い新たに組織される審議会の委員について適用し、同日前に組織された審議会の委員については、なお従前の例による。

議案第 8 号

我孫子市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

我孫子市職員定数条例の一部を改正する条例を次のように制定する。

令和 8 年 9 月 2 日提出

我孫子市長 星 野 順一郎

提案理由

定年延長制度導入への対応、育児休業取得などワーク・ライフ・バランスの推進及び消防学校等研修に伴う代替職員の確保を図り、消防力を維持・強化していくために消防職員の定数を増員するため提案するものです。

我孫子市職員定数条例の一部を改正する条例

我孫子市職員定数条例（昭和43年条例第3号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
（職員の定数） 第2条 職員の定数は、次に掲げるとおりとする。 （1）から（6）まで 略 （7） 消防本部及び消防署の職員 <u>188人</u> （8） 略	（職員の定数） 第2条 職員の定数は、次に掲げるとおりとする。 （1）から（6）まで 略 （7） 消防本部及び消防署の職員 <u>174人</u> （8） 略

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

我孫子市職員定数条例の一部を改正する条例に関する資料

(1) 要旨

消防体制の維持・強化のために、我孫子市消防審議会の答申をふまえ、我孫子市職員定数条例第2条第1項第7号にある消防本部及び消防署の職員定数を現在の174人から14人を増員する188人に改めるもの。

(2) 増員14人の根拠について

ア 定年延長への対応について

定年延長制度により、定数外であった再任用職員が減少し、定数内の定年延長職員が増加する。定数内の職員のみで消防体制を維持しなくてはならないため現在の条例定数174名に9名追加し消防体制の維持を図る。

イ 職員の休業、休暇取得への対応について

育児休業、子育て休暇取得者が増加傾向にあるため、条例定数に3名分追加し取得者の勤務分を補完し、消防体制の維持を図る。

ウ 消防学校等研修への対応について

職員が入庁し、初任教育を完了した後、より専門的な知識や技術を得るための専科教育を実施してることから、その専科教育入校者の勤務分を補完するために条例定数に2名分追加し、消防体制の維持を図る。

(3) 消防審議会の概要

ア 諮問 令和8年4月14日（火）

イ 答申 令和8年7月16日（木）

ウ 審議会の開催

（ア）第1回 令和8年4月14日（火）

（イ）第2回 令和8年5月25日（月）

（ウ）第3回 令和8年6月23日（火）

エ 審議会委員 6名

我孫子市水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例

（我孫子市水道事業の設置等に関する条例の一部改正）

第1条 我孫子市水道事業の設置等に関する条例（昭和43年条例第7号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
（議会の同意を要する賠償責任の免除） 第5条 法第34条において準用する 地方自治法（昭和22年法律第67号） 第243条の2の9第8項 の規定により、水道事業の業務に従事する職員の賠償責任の免除について当該賠償責任に係る賠償額が50万円以上である場合は、議会の同意を得なければならない。	（議会の同意を要する賠償責任の免除） 第5条 法第34条において準用する 地方自治法（昭和22年法律第67号） 第243条の2の8第8項 の規定により、水道事業の業務に従事する職員の賠償責任の免除について当該賠償責任に係る賠償額が50万円以上である場合は、議会の同意を得なければならない。

（我孫子市監査委員に関する条例の一部改正）

第2条 我孫子市監査委員に関する条例（平成20年条例第16号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
（職員の賠償責任の監査等） 第8条 監査委員は、法 第243条の2の9第3項 及び第8項並びに地方公営企業法第34条の規定により、監査又は意見を求められたときは、60日以内に監査結果報告書又は意見書を市長に提出するものとする。ただし、特別な理由があると認めるときは、この限りでない。	（職員の賠償責任の監査等） 第8条 監査委員は、法 第243条の2の8第3項 及び第8項並びに地方公営企業法第34条の規定により、監査又は意見を求められたときは、60日以内に監査結果報告書又は意見書を市長に提出するものとする。ただし、特別な理由があると認めるときは、この限りでない。

（我孫子市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正）

第 3 条 我孫子市下水道事業の設置等に関する条例（令和元年条例第13号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
（議会の同意を要する賠償責任の免除） 第 5 条 法第34条において準用する地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の2の9第8項の規定により下水道事業の業務に従事する職員の賠償責任の免除について議会の同意を得なければならない場合は、当該賠償責任に係る賠償額が50万円以上である場合とする。	（議会の同意を要する賠償責任の免除） 第 5 条 法第34条において準用する地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の2の8第8項の規定により下水道事業の業務に従事する職員の賠償責任の免除について議会の同意を得なければならない場合は、当該賠償責任に係る賠償額が50万円以上である場合とする。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

我孫子市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例

（趣旨）

第1条 この条例は、本市が設置する学校における学校給食法（昭和29年法律第160号）第4条の規定に基づく学校給食の実施及び学校給食費の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- （1） 学校給食 学校給食法第3条第1項に規定する学校給食をいう。
- （2） 学校給食費 学校給食法第11条第2項に規定する学校給食費をいう。
- （3） 保護者 学校教育法（昭和22年法律第26号）第16条に規定する保護者をいう。
- （4） 学校給食費負担者 学校給食を受ける児童又は生徒の保護者その他学校給食の提供を受ける者をいう。

（学校給食の実施）

第3条 市は、市が設置する小学校及び中学校において学校給食を実施するものとする。

（学校給食費の徴収及び納付）

第4条 市長は、学校給食費負担者から学校給食費を徴収することができる。

2 学校給食費の額は、規則で定める。

3 学校給食費負担者は、規則で定める日までに学校給食費を納付しなければならない。

（学校給食費の減免）

第5条 市長は、特別の理由があると認めるときは、学校給食費を減額し、又は免除することができる。

（委任）

第 6 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、令和 9 年 4 月 1 日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

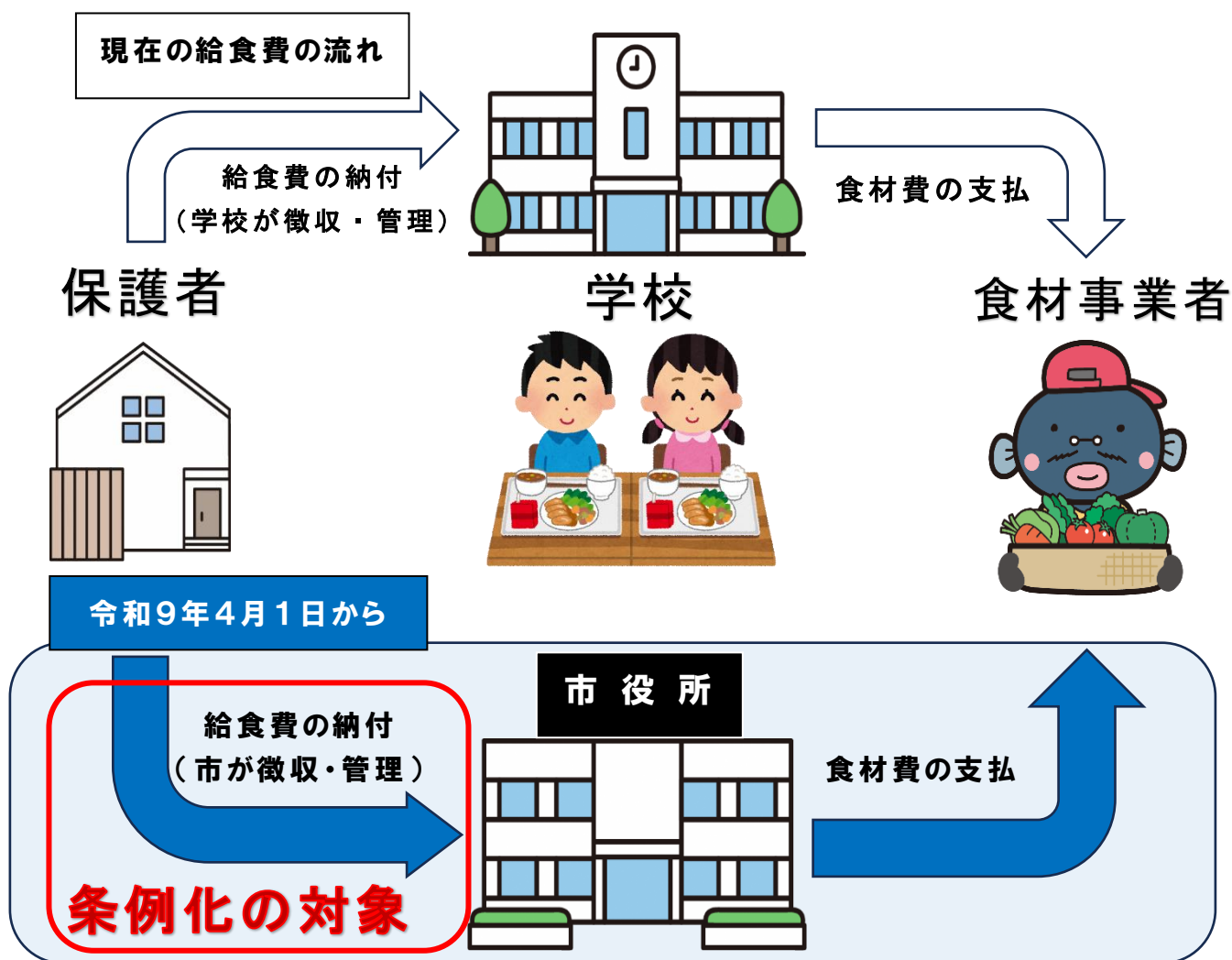
- 2 この条例を施行するために必要な準備行為は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

我孫子市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例に関する資料

1 目的

学校給食法に基づく学校給食費について、現在、学校ごとに管理しているものを、令和9年4月から市が管理する一般会計に移行することにより、教職員の業務負担を軽減するとともに、会計の透明性の向上、公平性の確保及び学校給食の安定的な実施を図る。

2 公会計化のイメージ



3 条例の主な内容

(1) 学校給食費の徴収及び納付（第4条関係）

市長は、学校給食費負担者から学校給食費を徴収するものとし、学校給食費負担者は、納期限までに規則で定める額の学校給食費を納付する。

(2) 学校給食費の減免（第5条関係）

市長は、特別の理由があると認めるときは、学校給食費を減額し、又は免除することができる。

4 我孫子市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例施行規則（案）の概要

(1) 学校給食費の額

学校給食費の額は、1食当たりの給食材料費及び飲用の牛乳に要する経費（以下「牛乳代」という。）の合計額とする。

(2) 学校給食費の納期限及び納付額

ア 児童生徒の保護者及び教職員等に係る納期限及び納付額

期別	対象月	納期限	納付額
第1期	4月及び5月分	7月末日	1か月分の納付額は、 (1食当たりの給食材料費+牛乳代)×182回(年間実施回数)÷11か月(8月を除く) ※10円未満の端数は切上げ ※第1期は2か月分を徴収
第2期	6月分	8月末日	
第3期	7月分	9月末日	
第4期	9月分	10月末日	
第5期	10月分	11月末日	
第6期	11月分	12月末日	
第7期	12月分	1月末日	
第8期	1月分	2月末日	
第9期	2月及び3月分	3月末日	第9期の納付額は、 (年間納付額)－(第1期～第8期の納付額)

- イ 体験入学者及び来校者に係る納期限及び納付額
申込みの都度、学校給食費を徴収

(3) 学校給食費の減免の要件

- ア 中学校の生徒の保護者が子を3人以上扶養している場合であって、当該子のうち、第3子以降の子に市が設置している学校で学校給食を受けさせているとき。
- イ 災害等により学校給食費負担者に学校給食費を納付する資力がな
い場合
- ウ ア及びイに掲げるもののほか、市長が特に必要と認める場合

(4) 届出による学校給食の停止等

- ア 傷病、事故等により連続して学校給食を受けることができないとき。
- イ 食物アレルギーその他やむを得ない理由により、継続的に学校給食の一部又は全部の提供を受けることができないとき。

(5) 学校給食費に関する特例

- 当分の間、小学校の児童に係る学校給食費を無料とし、中学校の生徒に係る学校給食費を一部減額する。

指定事務事業問題点・対応報告書

次の指定事務事業について問題が生じたので、問題点とその対応策について報告します。

指定事務事業名： 小中学校施設維持管理

基本施策名： 3-3 魅力ある学校づくり

担当部課名： 教育総務部 総務課

報告日： 令和8年7月28日

1. 問題点及び問題点が生じた理由等

白山中学校屋内運動場の吊下式バスケットゴール修繕について、中東情勢の影響による材料調達の遅れから、当初予定していた夏休み期間中の施工が困難となりました。

2. 今後の対応策

施工にあたっては、通常授業や部活動への影響を最小限に抑えるため、授業が行われない夏休み期間中の施工を前提に調整を進めていました。

しかし、材料の納入が遅れるため、施工時期を冬休み期間中にスライドして実施し、令和9年2月末までの完了を目指します。

令和7年度 部の運営方針管理書

部 局 名	企画総務部
部 局 長 名	高見澤 隆
部の運営方針	・第四次総合計画第2期実施計画に位置づけた事業を適切に進行管理するとともに、計画策定当初に想定されていなかった事案についても、市民サービスへの影響等を勘案しながら都度適切に対応し、総合的かつ効果的な行政経営を行います。さらに、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける施策や事業を着実に進め人口減少対策に取り組みます。 ・歳入の確保策としてふるさと納税寄附金をより多く募るため、ポータルサイトを効果的に活用するとともに、広報及びシティプロモーションと連動させ情報の発信を強化します。あわせて、寄附受入額の増加に繋がるよう市内事業者と共に魅力ある返礼品の企画・発掘を進めます。 ・行政評価制度を活用し、事業の適切な進行管理を行うとともに、行政改革の取り組みとも連動しながら事業の改善に引き続き努めます。 ・湖北台地区公共施設の第2期整備について、令和8年度以降の跡地の活用などに向けた検討を進めます。 ・新たな文化交流拠点施設については、関係課と情報共有しながら、施設のあり方について引き続き検討していきます。 ・成田線の増発や常磐線特別快速列車の我孫子駅への停車など、鉄道の利便性の向上に取り組みます。また、成田線の活性化に向けた取り組みについては、沿線自治体6市町とＪＲ東日本と連携しながら進めていきます。 ・市民サービスの向上や効率的・効果的な行財政運営を図るため、近隣市町等と連携しながら、公共施設の相互利用など広域行政を一層推進します。また、手賀沼・手賀川を活かして交流人口の拡大を図る取り組みを、引き続き進めていきます。 ・連携協定を結んでいる大学や企業と連携し、相互連携の取り組みを充実していきます。 ・平和事業を市民の協力と参加のもとに戦後80周年の節目の年として平和事業を拡大実施し、平和の大切さについて市民とともに考えます。 ・国際交流・多文化共生を推進するため、引き続き、国際交流協会（ＡＩＲＡ）と連携し、市民と在住外国人が互いに理解・交流を深める機会を提供するとともに、在住外国人が安心して生活できるよう支援していきます。 ・行政施策の情報を広報あびこやホームページだけでなく、新聞、テレビ、ラジオ、ＳＮＳ、アプリ等のさまざまな媒体を積極的に活用し、迅速かつ的確に提供していきます。 ・市民ニーズを市政への手紙やメール、市政ふれあい懇談会などを通じて把握し、関係部局等との調整を図りながら市政に反映していきます。 ・若い世代の移住・定住化の促進や交流人口の増加を図るため、あびこの魅力を広く市内外に効果的に発信します。 ・令和7年7月1日に迎える市制施行55周年を多くの市民とともに祝うため、記念式典で市政功労者表彰を行うほか、様々な記念事業を実施します。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 情報公開制度に対応する文書管理として、ファイリングシステムにおける維持管理を徹底し、行政情報資料室等において市政に関する情報を適切に公開します。・ 多様な採用方法や募集方法を検討し、優れた人材の確保に努めるとともに、職員研修の実施、人事評価や多面評価の活用、職員派遣や人事交流を進めることにより、人材育成を図ります。さらに社会情勢や行政課題に的確に対応できるよう、継続して組織体制を見直し、柔軟で機能的な組織としていきます。・ 働き方改革を推進し、柔軟な働き方に対応する多様な勤務体制を検討するとともに、在宅勤務などテレワークの継続・活用を図ります。・ 事務処理誤りの発生を防止するため、作成した対応策（リスク評価及びリスク対応策）を継続するとともに、対応策に対する評価を行い、職員一人ひとりのリスクマネジメントの取り組みを推進していきます。・ 行政や市民、NPO、企業などの多様な主体が、市民ニーズに適合した質の高いサービスを提供していけるよう、多様な手法を検討・活用し、事業の民営化や委託化を進めます。・ 事業の必要性や実施主体のあり方などについて、市民の視点を取り入れ、根本から事務事業の見直しを行うとともに、市民サービスの利便性向上や業務効率化に取り組めます。・ 行政手続きのオンライン化やキャッシュレス化を推進するとともに、行政事務の効率化をこれまで以上に図るため、生成AIの活用促進に努めます。また、マイナンバーカードの活用拡大に取り組めます。・ 住民記録や税業務等の基幹システムを、ガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへ今年度末までに移行します。・ DXを推進するため、全庁的なDXに対する基礎的な共通理解の形成、実践意識の醸成を図り、人材育成に努めます。 |
|--|---|

部 局 名	企画総務部
部 局 長 名	高見澤 隆
部の運営方針 に対する総合 評価	・第四次総合計画第２期実施計画に位置づけた事業を適切に進行管理するとともに、第２期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけた施策や事業の進行管理を適正に行いました。 ・ふるさと納税では、魅力ある返礼品の拡充や情報の発信の強化に努め、前年度を大きく上回る寄附金の受け入れを達成することができました。 ・行政改革では、行政改革推進委員会により第５次行政改革推進プランの進行管理を行うとともに、行政事業点検を実施し、事業の改善を進めました。 ・鉄道の利便性向上では、成田線の増発や接続改善、常磐線特別快速列車の我孫子駅への停車などについてＪＲ東日本に対し要望を行いました。また、成田線沿線の活性化に向け、沿線自治体で構成する「成田線活性化推進協議会」において、駅からハイキングの実施や B. B. BASE の誘致などを行い、各市町の魅力を市内外に発信したほか、令和８年が成田線(我孫子～成田間)の開業１２５周年にあたることから、記念事業の検討を行いました。 ・手賀沼・手賀川を活かした交流人口の拡大を図る取組では、千葉県と連携し地域づくり推進事業を活用し、農産物を活用した地産地消メニューの開発や新たなブランド「手賀さんち」の認証制度を開始しました。 ・連携協定を結んでいる中央学院大学と協力し、昨年に引き続き２回目となる学生による施策提案に取り組みました。 ・平和の大切さを市民とともに考えるため、市民の協力と参加のもと「平和の集い」や「リレー講座」などを実施したほか、中学生派遣事業では、広島市への派遣を行いました。また、戦後８０年を迎えたことから、平和のうたの制作や被爆体験伝承講話などの記念事業を実施しました。 ・国際交流・多文化共生を推進するため、国際交流協会（ＡＩＲＡ）と連携し、外国人相談窓口の設置や国際交流まつりなどのイベントを実施するなど、市民と在住外国人が互いに理解・交流を深める機会を提供しました。また、やさしい日本語によるマナー啓発パンフレットの作成や市内日本人学校での講話会の実施など、在住外国人が安心して生活できるよう支援を行いました。 ・行政情報の発信及び市民ニーズを把握する事業では、広報の多言語対応やＳＮＳの活用、市政ふれあい懇談会の開催など、必要な見直しを行いながら推進しました。 ・魅力発信事業では、転入者のさらなる増加を図るため、従来のプロモーション施策に加え、市内東部地区への移住促進施策にも取り組みました。

- ・市制施行５５周年記念事業では、記念式典を開催し、市民文化スポーツ栄誉章の贈呈、市政功労者の表彰を行ったほか、１年間を通して様々な記念事業を実施しました。特に１２月には、市制施行５５周年のフィナーレイベントとして『手賀沼ランタンＸｍａｓフェスティバル』を開催し、多くの市民とともに市制施行５５周年を祝うことができました。
- ・職員採用試験について、有資格（免許）者・経験者枠及び公務員経験者枠を新設し、即戦力となる人材の確保に向けた取組を推進しました。
- ・人事評価制度を中心とする人事管理を行うとともに、各種研修や国、県等との人事交流を通じ、職員の人材育成に努めました。
- ・男性職員の育児休業の取得促進に向けた取組を推進するなど、職員のワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、ノー残業デーを実施し、時間外勤務の削減に努め、やむを得ず長時間労働を行った職員に対しては、産業医による面接指導を実施し、職員の健康維持に努めました。
- ・職員の時間外勤務の常態化を解消することで、経費の削減や職員の働き方改革の推進等を図るため、令和８年１月５日より市役所本庁舎・分館・東別館、各行政サービスセンターの窓口において、窓口開庁時間短縮の試行運用を開始しました。実施に向けて市民をはじめサービスを利用する方々への周知の徹底に努めました。
- ・情報公開制度に対応するため、適正な文書管理に努めるとともに、市政情報を適切に公開しました。
- ・第四次総合計画を効果的に推進するため、こども家庭センターを設置するなど、令和８年度の組織体制を構築しました。
- ・行政手続きのオンライン化やキャッシュレス化を着実に推進し、生成ＡＩの活用促進によって行政事務の効率化をこれまで以上に実現しました。また、住民記録や税業務などの基幹システムを、ガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへ無事に移行させ、行政の基盤となる重要なシステムの標準化を実現しました。これにより、今後の安定的かつ柔軟な行政サービスの提供につながります。さらに、全庁的なＤＸに対する基礎的な共通理解の形成や実践意識の醸成に加え、人材育成にも注力し、組織全体のデジタル化推進体制を着実に強化しました。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：企画政策課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・基本構想・基本計画・実施計画に基づき、総合的・計画的な行政運営を推進するため、実施計画に位置づけた事業を適切に進行管理していきます。さらに、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づける施策や事業を着実に進め、人口減少対策に取り組みます。

・行政評価制度を活用し、事業の適切な進行管理を行うとともに、行政改革の取り組みとも連動しながら事業の改善に引き続き努めます。

・第5次行政改革推進プランに基づき、行政改革推進委員会での意見を踏まえながら、民間活力の導入やBPRを推進し、行政の効率化を図ります。

・「湖北台地区公共施設の整備方針」に基づき、引き続き事業の進行管理をしていくとともに、第2期整備に向けた検討を進めます。

・新たな文化交流拠点施設については、関係課と情報共有するとともに、施設の交流支援機能について情報収集していきます。

・ふるさと納税による寄附額の増加に向け、様々なツールを活用してPRを効果的に行うとともに、魅力的な返礼品の充実を図ります。

・常磐線市内各駅へのホームドアの整備や成田線の増発など、鉄道の利便性の向上に努めます。また、成田線の活性化に向けた取り組みについては、沿線自治体6市町とJR東日本と連携しながら進めていきます。

・市民サービスの向上や効率性・効果的な行政運営を図るため、近隣市町等と連携しながら、公共施設の相互利用など広域行政を一層進めます。東葛中部地区総合開発事務組合については、我孫子市より職員1名を派遣するとともに、柏市・流山市と連携しながら、今後の運営手法について検討していきます。また、手賀沼・手賀川を活かして交流人口の拡大を図る取り組みを、引き続き進めていきます。

・協定を締結している大学や企業と相互連携の取り組みを充実していきます。

・平和の大切さについて引き続き市民とともに考えます。また、令和7年は戦後80年の節目の年であるため、市民会議を拡大し、記念事業を実施します。

・国際交流・多文化共生を推進するため、国際交流協会（AIRA）と連携し、在住外国人が安心して生活できるよう引き続き支援していきます。

2. 課の目標への取組結果

課の取組全体としては、特に大きな支障はなく、概ね当初の目標どおり実施できました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

細かな遅延等はあるものの、所管する全事務事業において「順調」または「ほぼ順調」と評価しており、全体を通して適切に業務を実施できているものと評価します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

時間外勤務の縮小を図るため、課内での適切な業務配分や業務の効率化を進めます。また、ふるさと納税寄附額の更なる向上を目指し、取り組みを強化します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域資源を活かした都市ブランド化		
	担当部署名	企画総務部 企画政策課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－5 交流・関係人口の拡大		
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。		
事務事業の目的 ・概要	・千葉県、柏市、印西市と連携して水面を含めた手賀沼・手賀川周辺の観光資源を活用するとともに、常磐線・成田線沿線の自治体や大学などと連携して広域で地域資源を活用することで魅力向上を図ります。 ・我孫子駅と手賀沼公園を結ぶ公園坂通りが、まちのにぎわいを生むシンボルロードとなるよう検討を進めます。 ・五本松公園周辺地域の魅力向上を図るため、公園とふれあいキャンプ場など周辺施設との一体的な活用について検討していきます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	手賀沼・手賀川の活用		
		J O B A Nアートライン協議会事業の実施		
		成田線沿線活性化事業の推進		
		公園坂通り活性化検討		
		五本松公園周辺地域の魅力向上に関する検討		
		常磐線沿線4市地域活性化事業の実施		
		柏版図柄入りナンバープレートの普及		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	420	0	令和5年度（年度末時点）		0.65	0.00
令和6年度	決算見込額	484	0	令和6年度（年度末時点）		0.55	0.00
令和7年度	当初予算額	431	0	令和7年度	4月1日時点	0.85	0.00
	補正後予算額	331	0				
	決算額	327	0		年度末時点	0.85	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	成田線沿線活性化イベントの実施数	件	目標値		4	4	4	4	4	4
			実績値	6	4	6	4	4		
成果 指標	柏版図柄入りナンバープレート申込数（寄付あり）	件	目標値		4,500	5,500	6,500	7,500	8,500	9,500
			実績値	3,596	4,840	6,145	7,472	8,753		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	県や近隣市等とイベントや会議を実施することにより、自治体の魅力を発信することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、市の魅力を発信するため、県や各構成市町等と協力して事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	鉄道の輸送力と利便性向上		
	担当部署名	企画総務部 企画政策課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－3 公共交通の利便性向上		
	施策の展開内容	誰もが安全に安心して快適に地域で暮らせるよう、鉄道やバス、タクシーなどの利便性向上とバリアフリー化を進めています。		
事務事業の目的 ・概要	・市民が快適に鉄道を利用し、沿線地域が活性化されるよう、沿線自治体などと連携し、重要な公共交通機関であるJR常磐線やJR成田線の輸送力の強化と利便性の向上を図ります。			
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（天王台駅南口市有地の活用）			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 常磐線・成田線の利便性向上			
	成田空港活用協議会への参画			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,029	0	令和5年度（年度末時点）		0.70	0.00
令和6年度	決算見込額	529	0	令和6年度（年度末時点）		0.65	0.00
令和7年度	当初予算額	857	0	令和7年度	4月1日時点	0.90	0.00
	補正後予算額	789	0		年度末時点	0.90	0.00
	決算額	777	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	JR東日本への要望活動実施数	回	目標値	4	4	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	鉄道や駅の利便性向上に向けて、JR首都圏本部、千葉支社に要望を行いました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、鉄道や駅の利便性の向上に向けて、要望活動に取り組んでいきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	平和事業の実施	
	担当部署名	企画総務部 企画政策課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8－3 平和社会の推進	
	施策の展開内容	「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、市民とともに平和事業に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	・「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、被爆地である広島・長崎へ中学生を派遣します。 ・派遣中学生OB・OGによるリレー講座を継続するほか、若い世代が参加しやすく、平和について考えるきっかけとなるよう工夫しながら、市民とともに平和事業に取り組みます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	被爆地への中学生派遣、リレー講座、戦後80年事業	
		平和事業推進市民会議の運営	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,368	0	令和5年度（年度末時点）		0.70	0.00
令和6年度	決算見込額	3,116	0	令和6年度（年度末時点）		0.70	0.00
令和7年度	当初予算額	3,719	0	令和7年度	4月1日時点	0.90	0.00
	補正後予算額	3,433	0				
	決算額	3,022	0		年度末時点	0.90	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	平和事業推進市民会議の開催数	回	目標値	5	5	5	5	10	5	5
			実績値	5	5	5	7	9		
活動 指標	広島・長崎派遣中学生リレー講座の実施回数	回	目標値	13	13	13	13	13	13	13
			実績値	6	13	13	13	13		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	戦後80年・我孫子市平和都市宣言40年記念事業などを通して、平和の尊さを伝える輪が広がっています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、戦争の恐ろしさや平和の尊さを若い世代へ受け継ぐよう事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	国際交流活動への支援		
	担当部署名	企画総務部 企画政策課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8－4 国際交流・多文化共生の推進		
	施策の展開内容	在住外国人と市民との国際交流を進め、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生社会の実現を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	・我孫子市国際交流協会をはじめとする関係団体などと連携して、市民と在住外国人が互いに理解・交流を深める機会の提供や情報発信に取り組みます。 ・多言語による行政情報の提供や相談支援などを推進し、在住外国人が安心して暮らせる環境の整備を図ります。			
関連する市の計画等	第三次国際化推進基本方針			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	在住外国人の支援			
	国際交流・国際理解の推進			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	2,375	0	令和5年度（年度末時点）	0.80 0.00
令和6年度	決算見込額	2,397	0	令和6年度（年度末時点）	0.45 0.00
令和7年度	当初予算額	2,444	0	令和7年度 4月1日時点	0.85 0.00
	補正後予算額	2,444	0		
	決算額	2,440	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	0.85 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	国際交流イベントの共催数	事業	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	2	2	2		
活動 指標	外国人のための日本語教室開催数	回	目標値	70	70	70	70	70	70	70
			実績値	70	70	70	70	70		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	国際交流スピーチ大会や国際交流まつりを我孫子市国際交流協会と協力して開催し、在住外国人と市民との交流の場を設けることができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、多文化共生社会の実現のため我孫子市国際交流協会と協力し事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	総合計画及びまち・ひと・しごと総合戦略の策定と進行管理		
	担当部署名	企画総務部 企画政策課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進		
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。		
事務事業の目的 ・概要		・総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略を着実に推進するため、PDCAサイクルに基づき計画の進捗状況を確認し、継続的な見直しを行っていきます。 ・計画年度の終了に合わせ、市民ニーズやこれまでの計画の進捗状況による評価などに基づき、次期計画の策定を行います。		
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	第四次総合計画の進行管理			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理と有識者による評価			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	254	0	令和5年度（年度末時点）		1.05	0.10
令和6年度	決算見込額	1,800	0	令和6年度（年度末時点）		0.85	0.00
令和7年度	当初予算額	81	0	令和7年度	4月1日時点	1.00	0.00
	補正後予算額	449	0				
	決算額	449	0		年度末時点	1.00	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	まち・ひと・しごと創生有識者会議の実施回数	回	目標値	4	4	4	4	4	4	4
			実績値	4	5	4	5	4		
成果 指標	まち・ひと・しごと創生有識者会議で「順調」「ほぼ順調」と評価された施策の割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	77	40	85	75	92		
成果 指標	全事務事業の「総合的な評価」が「順調」「ほぼ順調」となった割合	%	目標値		90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
			実績値	－	98.4	99.5	98.4	98.4		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	有識者会議は分科会を4回開催し、全施策の評価を実施しました。新たな指標による評価を行ったことにより、実効性を高めることができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	前期基本計画の施策の進行管理については、有識者による評価を全庁に共有し、施策の推進に繋げていきます。また、令和10年度からの総合計画後期基本計画に向けて令和8年度及び令和9年度において、市民アンケートの実施・前期基本計画の総括・後期基本計画の草案・庁内策定委員会での確認・総合計画審議会での審議を実施し、策定作業を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	行政改革・業務改善の推進	
	担当部署名	企画総務部 企画政策課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行政運営を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	市民の視点を取り入れた事業自体の見直し、BPRの手法を活用した業務の効率化、PPP／PFIなどの官民連携手法を通じた民間の創意工夫の取入れなどを進め、行政改革を推進します。		
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（成果運動型民間委託契約方式（PFS）の検証、民間提案の対応ガイドラインの推進）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	行政改革推進プランの推進		
	行政事業点検		
	地方分権		
	民間提案の庁内総合調整		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	94	0	令和5年度（年度末時点）		1.80	0.00
令和6年度	決算見込額	184	0	令和6年度（年度末時点）		1.60	0.00
令和7年度	当初予算額	108	0	令和7年度	4月1日時点	1.00	0.00
	補正後予算額	0	0				
	決算額	0	0		年度末時点	1.00	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	行政改革推進委員会による行政改革推進推進プランの進行管理実施回数	回	目標値	2	1	1	2	1	1	2
			実績値	2	1	1	2	1		
活動 指標	民間提案制度策定進捗率 ※方針転換によりR7から指標を廃止	%	目標値	50	100	100	100	-	-	-
			実績値		75	90	-	-	-	-
成果 指標	民間提案制度による提案採用件数 ※方針転換によりR7から指標を廃止	件	目標値			1	0	-	-	-
			実績値			0	0	-	-	-
活動 指標	行政事業点検実施回数 ※R7から指標を追加	回	目標値	-	-	-	-	1	1	1
			実績値	0	0	1	1	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	行政改革推進プランの進行管理については前期アクションプランと連続性をもった後期プランを行政改革推進委員会に確認した上で策定し、全庁に周知し取組を推進しました。行政事業点検では、後期プランから改革項目として位置付けた「窓口開庁時間」について集中審議し、取組の加速化を図りました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	行政改革推進プランについては、後期アクションプランに基づき、庁内向けに策定したガイドラインの活用推進やP F Sの検討含め、引き続き行政改革を推進していきます。行政事業点検については、適宜実施し、取組の加速化等を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	庁内総合調整と行政の見える化		
	担当部署名	企画総務部 企画政策課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進		
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	・市が行う政策や事業について、定期的に内容や行政評価の結果を市民にわかりやすく伝えます。 ・複数の部門が関わる事業について、効率的・効果的に実施できるよう、方法や役割などについての調整を行います。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	施政方針・市政一般報告等の作成			
	市議会答弁検討会の運営及び答弁書の調整、答弁内容の進行管理			
	庁議の調整及び運営			
	行政評価結果の公表			
	政策的事業の実施に関する調整			
	部門横断事業に関する調整			
	活力ある地域づくり推進会議の運営			
	子ども議会			
	湖北台地区公共施設整備（第2期整備）の検討			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	1.90 0.10
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	2.05 0.10
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度	4月1日時点 1.50 0.10
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	1.50 0.10

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	答弁検討会における調整率	%	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	施政方針・市政一般報告の調整率	%	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	施政方針・市政一般報告、答弁検討会、行政評価などの定例業務について、実施目的の達成を念頭に滞りなく実施することができました。また、庁内の横断的な調整を適宜行い、各施策を推進することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	業務の改善を図りながら、現状通り推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	広域行政の推進	
	担当部署名	企画総務部 企画政策課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	近隣や共通課題を有する自治体、民間事業者、大学などと連携し、スケールメリットやそれぞれの強みを活かした行政運営の推進を図ります。		
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（市の施策への学生参加の推進、企業等との連携）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	近隣市等とのまちづくり連絡協議会の運営事業		
	大学・企業等との連携事業		
	東葛中部地区総合開発事務組合の運営		
	東葛広域行政連絡協議会による連携事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	114,804	0	令和5年度（年度末時点）	0.65 0.30
令和6年度	決算見込額	121,597	0	令和6年度（年度末時点）	0.50 0.40
令和7年度	当初予算額	116,373	0	令和7年度	4月1日時点 0.65 0.40
	補正後予算額	116,695	0		
	決算額	116,689	0		
	次年度へ繰越	0	0	令和7年度	年度末時点 0.65 0.40

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	相互利用している公共施設の数	件	目標値	10	10	10	11	11	11	11
			実績値	10	11	13	11	11		
活動 指標	協定を結んでいる大学・企業及び新たな連携を希望する大学・企業との調整会議実施回数	回	目標値	9	12	13	13	14	14	15
			実績値	12	17	14	20	17		
成果 指標	企業と締結している協定書に記載されている項目の実施率（実施項目／記載項目）	%	目標値	—	65.0	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0
			実績値	62.0	47.0	64.5	61.1	62.5		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	他市町との公共施設の相互利用や、ウイングホール柏斎場の運営等、広域的な行政間の取り組み及び、企業・大学との連携を行うことにより、市だけでは解決できない事業や、市民サービスの向上といった事項に取り組むことができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	必要に応じて業務改善を行いながら、新たな連携の検討も含めて、推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	ふるさと納税の推進		
	担当部署名	企画総務部 企画政策課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進		
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	歳入の確保策としてふるさと納税寄附金をより多く募るため、ポータルサイトを効果的に活用するとともに、広報及びシティプロモーションと連動させ情報を発信します。あわせて、寄附受入額の増加に繋がるよう市内事業者と共に魅力ある返礼品の企画・発掘を進めます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	ふるさと納税		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	ふるさと納税業務一括代行委託 R5～R7年度 寄付金額の8%に消費税・地方消費税を加えた額及び返礼品（送料を含む）代金相当額			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	15,272	0	令和5年度（年度末時点）		0	0
令和6年度	決算見込額	25,732	0	令和6年度（年度末時点）		0.95	0.00
令和7年度	当初予算額	29,571	0	令和7年度	4月1日時点	1.00	0.00
	補正後予算額	43,168	0		年度末時点	1.00	0.00
	決算額	38,531	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果 指標	ふるさと納税寄附額	千円	目標値	-	-	-	-	65,000	75,000	85,000
			実績値	-	-	32,008	55,358	74,693		
成果 指標	返礼品提供事業者数	事業者	目標値	-	-	-	-	72	76	80
			実績値	-	-	46	68	84		
活動 指標	市内事業者への新規訪問件数	件	目標値	-	-	-	-	5	5	5
			実績値	-	-	-	-	26		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	現地決済型ふるさと納税の拡充により、寄附額を増加させることができました。また、より戦略的に寄附額を集めるため、新規事業者への訪問やプロポーザルによる中間委託事業者の変更などを行い、事業の活性化を図りました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業を拡大する	返礼品提供に協力する事業者と寄附額増加を目指すと共に、寄附者に対して我孫子市をプロモーションする取り組みを進めます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名 : デジタル戦略課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

■LINEを活用した行政手続きのオンライン申請システムを構築し、市民が行政手続きをオンラインで簡単に行えるようにするとともに電子決済によるキャッシュレス化を推進します。これにより、市民サービスの利便性の向上と行政事務の効率化を図ります。

■生成AI等のデジタル技術の活用により、行政事務を効率化し、職員にその利用方法を周知することで、更なる向上を目指します。また、マイナンバーカードの普及促進と利活用を推進します。

■住民記録や税業務などの基幹システムを、ガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへ移行することで、システムの安定性とセキュリティの向上を図ります。

■全庁的・横断的なデジタル推進体制を構築することにより、市のデジタル化を推進します。全職員がデジタル化に対する共通理解を持ち、必要なデジタルスキルを身につけるための取り組みを強化し、デジタル人材の育成を進めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

行政手続きのオンライン化やキャッシュレス化を推進し、生成AI活用による行政事務の効率化を更に推進しました。基幹システムの標準準拠システムへの移行を完了し、情報システムの基盤を整備しました。人材育成基本方針にデジタル人材の育成・確保を盛り込み、組織のデジタル化推進体制を明確化しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

全ての個別事務事業を問題なく実施できたため、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	電子行政の推進	
	担当部署名	企画総務部 デジタル戦略課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	・革新的な技術を活用した取組について調査・研究を進め、市民サービスの充実や業務の効率化、情報セキュリティの強化を図ります。 ・マイナンバー制度の更なる普及、DXの推進など、デジタル時代に対応した地域社会の実現を目指します。 ・組織としてデジタル・ガバメントを推進するためにデジタル人材の確保・育成に取り組みます。		
関連する市の計画等	デジタル化基本方針、デジタル戦略、第5次行政改革推進プラン（行政手続きのオンライン化（フロントヤード改革）、内部事務のデジタル化（バックヤード改革）、マイナンバーカードの利活用の検討、窓口DXの検討）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	スマート申請の推進	
		生成AIの活用による業務効率化の推進□	
		デジタル技術による業務の改善・効率化	
		マイナンバーカードの普及促進・利活用	
		デジタル推進体制の構築とデジタル人材の育成	
		R P Aの活用による業務効率化の推進	
		窓口のデジタル化の検討	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	スマート申請サービス使用 R6～R8年度 45,346千円、生成AIシステム使用 R7年度 2,200千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	42,088	0	令和5年度（年度末時点）		0.63	0.20
令和6年度	決算見込額	21,668	0	令和6年度（年度末時点）		0.90	0.00
令和7年度	当初予算額	25,439	0	令和7年度	4月1日時点	3.70	0.50
	補正後予算額	23,573	0				
	決算額	23,502	0		年度末時点	3.70	0.50
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	オンライン申請が可能な手続きの数	個	目標値		100	200	200	200	230	230
			実績値	42	72	106	173	237		
活動 指標	R P Aシナリオ数	個	目標値		10	30	-	-	-	-
			実績値	4	5	0	0	0		
成果 指標	オンライン申請が可能な手続きの平均オンライン申請率	%	目標値		5	10	40	45	50	55
			実績値		30.4	40.0	61.1	64.3		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	電子事業の推進について、全ての個別事務事業を問題なく完了しました。スマート申請については、利用者からも好評であったため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	デジタル化は、今後の持続可能な行財政運営に有効な手段と認識しており、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	電子行政の維持・運営		
	担当部署名	企画総務部 デジタル戦略課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進		
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率のかつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	・革新的な技術を活用した取組について調査・研究を進め、市民サービスの充実や業務の効率化、情報セキュリティの強化を図ります。			
関連する市の計画等	我孫子市情報セキュリティポリシー			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業		庁内インフラの運用・セキュリティ対策の実施		
		電算システムの運用		
	指	標準化移行業務		
		水道局・教育委員会庁内LAN無線化構築		
		電算室空調工事		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	第2期基幹システム運用委託 R3～R8年度 1,603,164千円、庁内インフラ・セキュリティ業務委託 R3～R13年度 1,808,962千円、ちば電子申請システムサービス利用 R3～R7年度 1,955千円、ちば施設予約システムサービス利用 R3～R7年度 17,695千円、グループウェアシステム使用 R4～R8年度 14,987千円、アンケート分析システム使用 R5～R8年度 17,468千円、複合機賃貸借 R6～R13年度 88,698千円、標準化関連システム導入・運用保守業務委託 R7～R12年度 1,896,560千円、ちば電子調達システム使用 R7～R13年度 28,711千円、ガバメントクラウドネットワーク構築業務委託 R7年度 28,704千円、複合機賃貸借（令和7年度契約分） R8～R13年度 7,293千円、ちば電子申請システムサービス使用 R7～R12年度 6,510千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	502,841	0	令和5年度（年度末時点）		3.70	1.80
令和6年度	決算見込額	679,058	0	令和6年度（年度末時点）		4.16	2.40
令和7年度	当初予算額	1,120,815	10,186	令和7年度	4月1日時点	4.16	2.40
	補正後予算額	0	0				
	決算額	0	0		年度末時点	0.00	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	基幹システムの重大障害発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0	0	0
			実績値	0	1	5	5	1		
活動 指標	セキュリティ対策の実施数（種類）	件	目標値	11	11	11	11	11	11	11
			実績値	11	11	11	11	11		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	電子行政の維持・推進について、全ての個別事務事業を問題なく完了しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	デジタル化は、今後の持続可能な行財政運営に有効な手段と認識しており、引き続き推進します。

令和7年度 課の目標管理書

課 名 : 秘書広報課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

■行政情報の発信…広報あびこやホームページ、LINE、メール配信、Facebook、X（旧Twitter）、報道機関への情報提供、記者会見等を行い、市の情報を発信します。また、広報あびこについて、ペーパーレス化の進展や在住外国人の急増などの状況を踏まえ、多言語対応の電子配信サービスの導入や配布方法の見直しを含めた検討を行います。

■市民ニーズの把握と反映…市政の手紙やメール、市政ふれあい懇談会等の広聴活動の充実を図るとともに、制度開始から10年を経過するeモニターアンケートを休止し、制度を見直します。また、パブリックコメントを引き続き推進し、施策策定過程における市民の意見反映を進めます。

■シティプロモーションの推進…移住情報リーフレットやWEB広告によるPR、フィルムコミッション等を通じて、市の魅力を積極的に市外に発信し、転入者の獲得と交流人口の増加を目指します。

■総合教育会議の運営…「我孫子市教育大綱」を踏まえ、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、教育委員会と連携し、総合教育会議を運営します。

■秘書事務…令和7年7月1日に迎える市制施行55周年を多くの市民とともに祝うため、記念式典で市政功労者表彰を行うほか、様々な記念事業を実施します。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

行政情報の発信では、多言語対応の電子配信サービスアプリを導入しましたが、より安価で、かつより多くの多言語に対応できるアプリが開発されたことから、令和8年4月から切り替えを行います。

秘書事務では、令和7年7月1日に市制施行55周年を多くの市民とともに祝うため、記念式典で市民文化スポーツ栄誉章の贈呈や市政功労者表彰を行いました。

また、中央学院大学の学生から提案を受けたスカイランタンイベントを、市制施行55周年フィナーレイベント『手賀沼ランタンXmasフェスティバル』として、12月に中央学院大学との共催で開催し、多くの人の心に残るイベントを実施することができました。

その他の事業については、概ね予定どおり執行することができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

市政ふれあい懇談会については、今後も開催地区の統合や年間開催回数について検討を続けていきます。

その他の事業については概ね順調に推進できていることから、今後も現状どおり取り組みます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	総合教育会議運営事務	
	担当部署名	企画総務部 秘書広報課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・ 概要	教育に関する予算の編成や執行、条例提案などの重要な権限を有する市長と教育委員会が地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、地域に根差した学校教育環境の充実を図ります。		
関連する市の計画等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条～第1条の4、我孫子市総合教育会議に関する規定、我孫子市教育大綱（令和5年度～令和8年度）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	総合教育会議の運営		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.20 0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	0.20 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度	4月1日時点 0.30 0.00 年度末時点 0.30 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	総合教育会議の開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3	3	3
			実績値	2	3	3	3	3		
成果 指標	法第1条の4に掲げる協議事項、協議・調整事項の合意率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	総合教育会議において、市長と教育委員会とが様々な意見交換を通じて、地域の教育の課題やあるべき姿を共有することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	我孫子市教育大綱に基づいて教育行政を推進するためには、市長と教育委員会との連携強化や情報共有が必要不可欠であり、その役割を担う総合教育会議を引き続き推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	行政情報の発信		
	担当部署名	企画総務部 秘書広報課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	市民とともにつくる協働によるまちづくり		
	施策の展開内容	市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	・市民と市が情報を共有できるよう、広報あびこや市ホームページなどの充実を図ります。 ・市政や市民のくらしに関する情報を正確にわかりやすく伝えるため、新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなどのさまざまな媒体を積極的に活用し、情報を提供します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan）	指	広報電子配信サービス		
		ホームページの管理・充実		
		LINEによる情報発信		
		広報の編集・発行		
		報道機関への情報提供		
指：指定事務事業				
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	広報紙「広報あびこ等」作成業務委託（うち広報あびこ分） R5～7年度 119,160千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	47,597	0	令和5年度（年度末時点）		4.30	0.80
令和6年度	決算見込額	48,888	0	令和6年度（年度末時点）		4.65	0.80
令和7年度	当初予算額	46,429	0	令和7年度	4月1日時点	4.40	0.80
	補正後予算額	46,155	0				
	決算額	44,772	0		年度末時点	4.40	0.80
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	「広報あびこ」年間発行件数	件	目標値	24	24	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24	24	24		
活動 指標	報道機関への情報提供件数	件	目標値	85	85	85	85	85	85	85
			実績値	172	165	208	195	193		
活動 指標	LINE友だち数	件	目標値	事業未実施	10,000	23,000	19,800	21,600	55,894	61,894
			実績値	事業未実施	9,061	18,228	36,095	49,894		
成果 指標	トップページアクセス件数 ※実績値は新型コロナの影響を受けたもの	件	目標値	設定なし	1,024,000	1,059,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
			実績値	3,767,722	2,932,737	3,332,746	3,322,005	3,390,175		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	広報あびこ及びホームページ、各SNSを活用して適切に情報提供を行うことができました。広報あびこの電子配信サービスを開始し、デジタル化及び多言語化を推進できたことや、市制施行55周年に合わせた広報の強化など新たな取組も実施できたこと、さらに各指標が目標値を達成していることから、順調と評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和7年度に実施した広報あびこの宅配意向調査の結果を基に宅配件数の適正化を図り、ペーパーレス化を推進するほか、広報の多言語対応を拡大するため、新たなアプリを導入します。またSNS運用に関するガイドラインを整備するとともに庁内への情報提供・協力依頼を行い、適切かつ効果的な運用を推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市民ニーズの把握と反映	
	担当部署名	企画総務部 秘書広報課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	市民とともにつくる協働によるまちづくり	
	施策の展開内容	市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	・多様化する市民ニーズを的確に把握して市政に反映できるよう、市政への手紙・メール、市政ふれあい懇談会、パブリックコメントなど、広く市民の意見や要望を聴く機会の充実を図ります。また、一時休止となっているeモニターアンケートについては、再開に向けて事業内容の見直しを行います。 ・会議の開催の工夫や公募市民の登用拡大などにより、政策形成過程全般への市民参加を進めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業		パブリックコメント	
		eモニター制度	
		市政ふれあい懇談会	
		市政への手紙・メール	
		庁内調整を要する要望・陳情	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	124	0	令和5年度（年度末時点）		1.00	0.70
令和6年度	決算見込額	175	0	令和6年度（年度末時点）		1.00	0.80
令和7年度	当初予算額	50	0	令和7年度	4月1日時点	1.70	0.00
	補正後予算額	50	0				
	決算額	30	0		年度末時点	1.70	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	パブリックコメント手続き（意見公募1件当たりの提出意見数）	件	目標値	10	10	10	10	10	10	10
			実績値	4	2	3	3	4		
活動 指標	eモニター制度（モニター登録者数）	人	目標値	300	400	400	400	400	400	400
			実績値	368	397	404	440	0		
活動 指標	市政ふれあい懇談会（参加人数）	人	目標値	390	200	200	200	200	200	200
			実績値	172	162	149	212	130		
活動 指標	市政への手紙・メール（受付件数）	件	目標値	440	500	500	500	500	500	500
			実績値	461	325	285	320	279		
活動 指標	庁内調整を要する要望・陳情（受付人数）	件	目標値	55	70	70	70	70	70	70
			実績値	46	47	46	38	22		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	市政ふれあい懇談会は、第2回から出席人数が少ない地区を統合し、延べ10か所から8か所としました。参加人数は減少したものの順調に事業を進めることができました。このほか、パブリックコメント手続き、市政への手紙・メール、陳情・要望については、概ね順調に実施することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	市政ふれあい懇談会については、今後も開催地区の統合や年間開催回数について検討を続けていきます。また、eモニターアンケートの再開又は廃止について、引き続き検討を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	シティプロモーションの推進		
	担当部署名	企画総務部 秘書広報課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	戦略的なシティプロモーション		
	施策の展開内容	市の魅力を伝える情報発信を戦略的に行うことで、市民の定住と市外の方の移住促進を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	・市の知名度向上とイメージアップ、市民の郷土愛を醸成するため、都心への交通利便性や子育てのしやすさ、手賀沼に代表される豊かな自然、白樺派の文人たちが集った地ならではの歴史文化資源など、さまざまな魅力の発信を戦略的に進めます。 ・子育て世代や若者が「住みたい」「住み続けたい」、親世代が「住むことをすすめてい」と思えるよう、情報の受け取り方や興味、関心に合わせ、あらゆる媒体を活用して市の魅力を効果的に発信していきます。 ・市民、団体、大学、事業者などと連携して市の魅力の創出・発信に取り組みます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	シティプロモーション（不動産ポータルサイトへの広告掲載、移住PR冊子制作）		
		シティプロモーションの推進		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	15,355	0	令和5年度（年度末時点）		2.30	0.00
令和6年度	決算見込額	15,805	0	令和6年度（年度末時点）		2.35	0.00
令和7年度	当初予算額	17,595	0	令和7年度	4月1日時点	2.20	0.00
	補正後予算額	18,223	0				
	決算額	18,200	0		年度末時点	2.20	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	シティプロモーション事業の取組件数	件	目標値	設定なし	155	155	160	160	160	160
			実績値	232	508	600	640	374		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	事業の取組件数は減少したものの、転入者のさらなる増加を図るため、市内東部地区に特化した「住み替えあびこナビEAST」を発行するなど、新たな取り組みを実施したことから順調と評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、SUUMOへの広告掲載及びシティリビング東京（WEB版含む）での情報発信を実施します。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：人事課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

多様な採用方法や募集方法など柔軟な採用を検討し、優れた人材の確保に努めます。
人事評価制度を中心とする人事管理、職員派遣や研修、職場環境の整備を柱に総合的・効果的に人材育成を進めます。
複雑・多様化する行政課題に対応するため、求められる職員像を明確化するとともに、人材育成方針を改訂します。
公務能率の向上を図るため、職員のワーク・ライフ・バランスの実現や総労働時間の短縮など働き方改革を推進し、柔軟な働き方に対応する多様な勤務体制を検討するとともに、在宅勤務などテレワークの継続・活用を図ります。

2. 課の目標への取組結果

即戦力となる人材の確保に向けて、職員採用試験に有資格（免許）者・経験者枠及び公務員経験者枠を新設しました。
また、社会情勢等の変化により複雑高度化する行政需要に対応可能な人材育成を推進するため、人材育成・確保基本方針として改訂しました。
さらに、職員の時間外勤務の常態化を解消することで、経費の削減や職員の働き方改革の推進等を図るため、令和8年1月5日より市役所本庁舎・分館・東別館、各行政サービスセンターの窓口において、窓口開庁時間短縮の試行運用を開始しました。
上記以外の項目については、課の目標で示したとおり、取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

土木職等の技術職や社会福祉士等の専門職については、応募がない職種もあり、必要な人員が確保できていない状況にあることから、試験の一部を免除することで受験しやすくするための有資格（免許）者・経験者枠、公務員経験者枠を新設し、新設した枠で人材を確保することが出来ましたが、依然として必要な人員に達していない職種があるため、新設した枠を広く認知してもらうために周知方法及び技師等の専門職の待遇の見直し等を行っていく必要があります。
また、人事評価制度の活用に加え、研修計画に沿った階層別の研修をはじめ各種研修を実施するとともに、国、千葉県等への研修派遣を行い、職員の人材育成に努めました。
さらに、男性職員の育児休業の取得促進に向けた取組を推進するなど、職員のワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、ノー残業デーを実施し、時間外勤務の削減に努め、やむを得ず長時間労働を行った職員に対しては、産業医による面接指導を実施し、職員の健康維持に努めました。
窓口開庁時間短縮の試行運用の実施に向けて、市民をはじめサービスを利用する方々への周知の徹底に努めました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

引き続き公務能率の向上、職員の健康増進及びワーク・ライフ・バランスの実現のため、時間外勤務の削減をはじめとした労働時間の短縮を推進するとともに、改訂した人材育成・確保基本方針に基づき、複雑高度化する行政需要に対応可能な人材を育成していきます。
また、窓口開庁時間短縮の試行運用における課題等の検証を進め、対象施設を拡大を経て、本格実施に努めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	人材育成の推進	
	担当部署名	企画総務部 人事課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	複雑高度化する行政需要に対応していくため、多様で質の高い人材を確保するとともに、職員研修や人事評価制度などにより、人材育成に努めていきます。		
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（窓口開庁時間、人材育成による職員の資質向上・組織ビジョンの策定、人材の確保、働き方改革の推進）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	職員研修		
	管理職登用試験制度の実施		
	人事評価の実施		
	人材育成方針の改訂		
	市役所の窓口開庁時間の短縮		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	3,495	0	令和5年度（年度末時点）		1.70	0.00
令和6年度	決算見込額	3,150	0	令和6年度（年度末時点）		1.70	0.00
令和7年度	当初予算額	4,052	0	令和7年度	4月1日時点	1.70	0.00
	補正後予算額	3,229	0				
	決算額	2,827	0		年度末時点	1.70	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果 指標	職員研修の年間延べ受講者数	人	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			実績値	1,596	2,468	2,266	2,222	2,375		
活動 指標	人事評価における苦情相談窓口への相談件数	件	目標値	0	0	0	0	0	0	0
			実績値	0	1	0	0	0		
活動 指標	管理職登用試験受験者数	人	目標値	30	30	30	30	30	30	30
			実績値	23	17	22	28	19		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	管理職登用試験の受験者数が前年度に比べ減少しましたが、職員研修は研修計画のとおり実施し、その受講者数が前年度に比べ増加したことを踏まえ、ほぼ順調と判断しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業を拡大する	窓口開庁時間短縮の試行運用における課題等の検証を進め、対象施設を拡大を経て、本格実施に努めていきます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名 : 行政管理課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

■事務処理誤りの発生を防止するため、個別事例における防止策を検討・実施し、リスクマネジメントを推進します。

■社会情勢等の変化に柔軟に対応し、効率的・効果的な組織体制を構築していきます。

■行政運営の基本情報となるデータ集計を行うため、基幹統計調査を適確に実施します。

■情報公開の徹底を図り、市民との情報の共有化を進めるとともに、個人情報の適切な保護に努めます。その方策として、ファイリングシステムによる文書管理を徹底します。

■請負金額が200万円を超える工事に対して、施工・出来高・中間検査を実施するとともに、工事成績評価を実施し、工事請負者の施工技術の水準の向上を図ります。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

組織改編の実施や、事務処理誤りの発生防止対策など、順調に事業を執行しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

社会情勢等の変化に柔軟に対応していくため、必要に応じた組織体制の見直しを進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	情報公開の推進	
	担当部署名	企画総務部 行政管理課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	市民とともにつくる協働によるまちづくり	
	施策の展開内容	市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	市民の知る権利を確保し、市民と市との情報の共有化を図るため、市民が必要とする市政情報を公開していきます。		
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（文書管理のデジタル化）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	行政情報資料室の管理・運営		
	情報公開に係る総合調整事務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	289	0	令和5年度（年度末時点）	1.86 0.00
令和6年度	決算見込額	303	0	令和6年度（年度末時点）	1.86 0.00
令和7年度	当初予算額	148	0	令和7年度 4月1日時点	1.90 0.00
	補正後予算額	148	0		
	決算額	109	0	令和7年度 年度末時点	1.90 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	審査請求に対する認容裁決の件数	件	目標値	0	0	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	予定どおり事業を実施し、審査請求もなかったことから、順調と判断しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	情報公開制度による市政情報の市民への提供は、市民と市が協働でまちづくりを進める上で不可欠であるため、今後も引き続き推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	統計データ整備	
	担当部署名	企画総務部 行政管理課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	市民とともにつくる協働によるまちづくり	
	施策の展開内容	市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	まちづくりの基礎資料となる我孫子市の人口・産業・教育・文化などの統計データについて市民との共有化を図るため、国勢調査などの統計調査を実施するとともに、統計書を作成します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	統計書作成		
	基幹統計調査		
	千葉県毎月常住人口調査・年齢別・町丁字別人口調査		
	統計調査員確保対策事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	5,975	0	令和5年度（年度末時点）	0.50 0.62
令和6年度	決算見込額	3,492	0	令和6年度（年度末時点）	1.10 0.32
令和7年度	当初予算額	69,308	0	令和7年度	4月1日時点 1.40 1.60
	補正後予算額	69,754	0		
	決算額	69,146	0	令和7年度	年度末時点 1.80 1.60
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	統計書作成率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	基幹統計調査数	調査	目標値	4	3	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3		
活動 指標	千葉県毎月常住人口調査・年齢別・町丁字別人口調査回数	回	目標値	12	12	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12	12		
活動 指標	統計調査員確保対策事業登録者数	名	目標値	150	130	130	130	130	130	130
			実績値	147	98	91	73	114		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	予定のとおり実施しました。引き続き調査員の確保に努めます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	法定受託業務のため現状どおり推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	機能的な組織運営	
	担当部署名	企画総務部 行政管理課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	・社会情勢や行政課題に的確に対応できるよう、柔軟で機能的な組織運営を進めます。		
関連する市の計画等	定員管理計画、第5次行政改革推進プラン（組織の見直し、適正な定員管理）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	組織の見直し		
	定員管理事務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.73 0.10
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	1.05 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	1.15 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	1.25 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	常勤職員数	人	目標値	857	857	868	906	912	925	920
			実績値	859	862	876	889	904		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	予定どおり事業を実施しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	社会情勢等の変化に柔軟に対応するためには、的確な執行体制を確保することが必要である。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	リスクマネジメントの推進		
	担当部署名	企画総務部 行政管理課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進		
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	・市民の利益を損なうことのないよう、業務上のリスクを識別・評価し対応策を講じるリスクマネジメントを推進します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	リスクマネジメントの推進			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	160	0	令和5年度（年度末時点）		0.63	0.20
令和6年度	決算見込額	160	0	令和6年度（年度末時点）		0.90	0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度	4月1日時点	1.05	0.00
	補正後予算額	0	0				
	決算額	0	0		年度末時点	1.45	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	リスク評価を実施した全庁共通の業務数	件	目標値	3	5	10	10	10	10	10
			実績値	1	1	1	1	1		
活動 指標	準公金取扱要領順守状況実地調査数（年間）	回	目標値				1	1	1	1
			実績値				1	1		
活動 指標	リスクマネジメント研修実施回数	回	目標値				1	1	1	1
			実績値				1	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	リスク一覧における実例を更新し、全庁でリスクについて共有しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	事務処理誤り防止に向け、組織的に対応していくため、今後も現状どおり推進していく。

部 局 名	財政部
部 局 長 名	中光 啓子
部の運営方針	・ 厳しい財政状況が続く中、持続可能な財政運営を図るため、中期財政計画を指針として、限られた財源を効率的・効果的に活用しながら、計画的な予算の編成と執行を進めます。 ・ 予算編成では、経常的予算において多額の収支不足が見込まれるため、歳入に見合った歳出が基本であるとの認識のもと、持続可能な財政運営に向けて一層の財源確保と、経常的経費の抜本的な見直しに取り組みます。 ・ 予算編成状況や決算状況、財務書類、財政白書、健全化判断比率等の公表など、市の財政状況を広報やホームページなどを通じて市民にわかりやすくお知らせします。 ・ 市の歳入の根幹をなす市税の確保に向け、税目ごとの的確な賦課・徴収を行い、自主財源の確保に努めます。市税の徴収では、滞納整理等の強化に向けた取り組みを進めます。また、個人市民税の特別徴収の推進に引き続き取り組むとともに、納付方法の拡充やその周知を図り徴収率の向上に努めます。 ・ 財政調整基金の活用について長期的な視点も含めて検討し、持続可能な財政運営を目指します。 ・ 各種税証明書の発行手数料等のキャッシュレス決済への対応について、引き続き周知していきます。 ・ ファシリティマネジメントを推進するため、公共施設等総合管理計画及び各所管部局において策定した個別施設計画を踏まえ、その基本方針に沿って施設の適正な管理を推進します。 ・ 固定資産台帳の更新等により公有財産情報を管理し、公有財産の有効活用と適正な管理を推進します。 ・ 契約制度を適切に運用し、さらに契約の適正化を図ります。

部 局 名	財政部
部 局 長 名	中光 啓子
部の運営方針 に対する総合 評価	・ 厳しい財政状況が続く中、持続可能な財政運営を図るため、中期財政計画を指針として、限られた財源を効率的・効果的に活用しながら、計画的な予算の編成と執行に努めました。 ・ 予算編成では、経常的予算において多額の収支不足が見込まれたため、歳入に見合った歳出が基本であるとの認識のもと、持続可能な財政運営に向けて一層の財源確保と、経常的経費の抜本的な見直しに取り組みました。 ・ 予算編成状況や決算状況、財務書類、財政白書、健全化判断比率等の公表など、市の財政状況を広報やホームページなどを通じて市民にわかりやすくお知らせしました。 ・ 市の歳入の根幹をなす市税の確保に向け、税目ごとに的確な賦課・徴収を行い、自主財源の確保に努めました。市税の徴収では、滞納整理等の強化に向けた取り組みを進めました。また、個人市民税の特別徴収の推進に引き続き取り組むとともに、納付方法の拡充やその周知を図り徴収率の向上に努めました。 ・ 財政調整基金の活用について長期的な視点も含めて検討し、持続可能な財政運営を目指しました。 ・ 各種税証明書の発行手数料等のキャッシュレス決済への対応について、引き続き周知しました。 ・ ファシリティマネジメントを推進するため、公共施設等総合管理計画及び各所管部局において策定した個別施設計画を踏まえ、その基本方針に沿って施設の適正な管理を推進しました。 ・ 固定資産台帳の更新等により公有財産情報を管理し、公有財産の有効活用と適正な管理を推進しました。 ・ 契約制度を適切に運用し、さらに契約の適正化に努めました。

令和7年度
課の目標管理書

課 名： 財政課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・財政運営の健全性を確保するための指針となる中期財政計画では、地方税制や社会保障制度の改正、景気動向に伴って変動する収収等の財源を的確に捉えています。また、第2期実施計画に位置付けた事業を進めるための財源を確保するとともに、新たに発生する財政需要に対応できるよう適切な見直しを行っていきます。

・予算編成では、経常的予算において収支が非常に厳しい状況となっているため、歳入に見合った歳出が基本であるとの認識のもと、持続可能な財政運営に向けて一層の財源確保と、経常的経費の抜本的な見直しを行います。また、引き続き国・県支出金に関する情報収集に努め、積極的な活用を図ります。

・財政調整基金の活用について長期的な視点も含めて検討し、持続可能な財政運用を目指します。

・市の財政状況や予算編成状況について、市民により深く理解していただくために、広報・ホームページ・出前講座を活用してお知らせします。

・複式簿記を前提とした統一的な基準による財務書類等については、関係課（会計課、資産管理課）との調整を図りながら作成し、予算編成等での活用方法について検討していきます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

課の目標で示した事項については全取組を実施できたものの、今後も厳しい財政状況が見込まれるため、引き続き歳入確保・効率的な財政運営に努めます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

今後の厳しい財政状況が続くことが見込まれる中で、適切な財政規律の下での地方債の活用や歳入確保、効率的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	健全で安定した財政運営	
	担当部署名	財政部 財政課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	・限られた財源を効率的・効果的に活用するため、当初予算編成にあたっては、社会情勢の変化に対応した経常的経費の適切な配分と、事業の必要性や優先度を踏まえた政策的経費の計画的な選択を進めます。 ・当初予算編成後には中期財政計画の見直しを行い、中期的な財政見通しに基づく計画的な財政運営を進めます。 ・決算後はその状況を財政白書等にまとめ、わかりやすい内容で提供するとともに、国の定める統一的な基準による財務書類を作成し、財政運営に活用します。		
関連する市の計画等	中期財政計画、第4次総合計画第2期実施計画、予算編成方針、予算要求基準		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	決算事務		
	債務負担行為支払事務		
	財政事務		
	統一的な基準による財務書類の作成		
	補助金事務		
	予算編成		
	財政情報の提供		
	中期財政計画の見直し		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	新財務会計システム整備 R3～R9年度 167,359千円、財務会計システム保守業務委託 R4～R8年度 23,364千円、財務会計システム改修業務委託 R7～R8年度 2,277千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	378,821	0	令和5年度（年度末時点）	6.85 0.00
令和6年度	決算見込額	218,342	0	令和6年度（年度末時点）	6.85 0.00
令和7年度	当初予算額	114,415	0	令和7年度 4月1日時点	6.75 0.00
	補正後予算額	160,234	0		
	決算額	149,652	0	令和7年度 年度末時点	6.75 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	標準財政規模に対する財政調整基金残高の割合	%	目標値	10	10	10	10	10	10	10
			実績値	12.6	16.8	15.2	13.8	15.4		
成果 指標	中期財政計画における計画2・3年度の経常収支の平均	百万円	目標値	10	10	10	10	10	10	10
			実績値	-130	-231	32	-886	-401		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	財政調整基金残高は一定程度確保できているものの、今後高齢化の進行に伴い経常的歳出の増加も見込まれるため、引き続き財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努めます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	高齢化の進行等に伴い、今後も経常的歳出の増加が見込まれるため、持続可能な行財政運営を行うためには、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努めることが今後も必要となるため、現状通り取組みを推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	財源の確保	
	担当部署名	財政部 財政課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	・ 持続可能な財政運営と世代間の公平性を保つため、基金や返済時に交付税措置のある地方債を有効に活用するほか、国・県の補助金の活用を考慮した事業の組み立てなど、さまざまな手法による歳入の確保に努めます。 ・ 国と地方間の税財源の配分の適正化などを国に働き掛けるほか、市のサービス提供に対する使用料・手数料などについて、定期的に見直します。		
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（歳入の確保、受益者負担）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	ネーミングライツに関する事務		
	基金の管理事務		
	起債事務		
	交付税事務		
	受益者負担の見直し		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	3,153,382	0	令和5年度（年度末時点）		2.40	0.00
令和6年度	決算見込額	3,029,892	0	令和6年度（年度末時点）		2.40	0.00
令和7年度	当初予算額	3,122,379	0	令和7年度	4月1日時点	1.45	0.00
	補正後予算額	3,106,283	0		年度末時点	1.45	0.00
	決算額	3,101,282	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	臨時財政対策債等と大規模事業に係る市債を除いた新規市債の実発行額	億円	目標値	13	12	11	12	14	12	13
			実績値	11.1	14.4	10.1	21.3	33.9		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	湖北消防署建設や、時限的かつ交付税措置率の高い緊急防災・減災事業債、緊急自然防止対策事業債等の借入が多くなったことにより、目標値を下回る実績となりましたが、適切な財政規律に基づく新規地方債の発行は、効率的な財政運営を行うにあたり必要不可欠なものであるため、引き続き目標達成に努めます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	適切な財政規律の下での新規地方債の発行は、世代間負担の公平性の担保や計画的な財政運営のために必要不可欠なものであるため、現状通り取り組みを推進します。

令和7年度
課の目標管理書

課 名 : 収税課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

納付方法の拡充を図り、徴収率と納税者の利便性の向上に努めます。

自主財源である市税を確保するため、滞納整理を強化するとともに、徴収率の向上に努めます。

- ・滞納処分を前提とした財産調査の実施
- ・相続財産清算人制度による債権の回収
- ・回収不可能な債権の見極めによる執行停止の強化

公金徴収一元化を行うことで、所管課と連携し、より効率的、効果的な徴収に取り組みます。

- ・所管課から移管を受けた滞納者に対する、滞納処分の効率的な実施

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

地方税統一QRコードを活用した電子決済をはじめ、多様な納付手段の拡充により、納税者の利便性が向上するとともに、併せて、滞納者に対しては財産調査および生活実態の把握に積極的に取り組み、的確かつ迅速な滞納整理を推進したことで徴収率は上昇しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

自主財源である市税の適正な確保を図るため、今後も現行の取り組みを継続して推進するとともに、納税者の利便性の向上及び徴収率の上昇に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	効率的な市税の収納		
	担当部署名	財政部 収税課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進		
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	多様な支払い方法を取入れ納税者の利便性向上を図るとともに、滞納処分を実施し収納率の向上を図ります。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	市税の収納			
	市税の滞納整理			
	公金徴収の一元化の実施			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	69,978	0	令和5年度（年度末時点）	11.90 4.00
令和6年度	決算見込額	85,704	0	令和6年度（年度末時点）	11.90 2.40
令和7年度	当初予算額	88,737	0	令和7年度 4月1日時点	12.20 2.40
	補正後予算額	93,236	0		
	決算額	89,477	0	令和7年度 年度末時点	12.20 2.40
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	広報やHP等の媒体で多様な納付方法の周知	回	目標値	10	10	10	10	10	10	10
			実績値	10	10	10	10	10		
活動 指標	休日納税相談（徴収率向上の為）の開催	日	目標値	4	4	4	4	-	-	-
			実績値	2	4	2	1	0		
活動 指標	所管課からの移管滞納者の滞納処分	件	目標値	50	50	50	50	50	50	50
			実績値	47	52	51	51	31		
成果 指標	市税の徴収率	%	目標値	99.00	99.10	99.20	99.20	99.20	99.20	99.30
			実績値	99.04	98.95	98.92	99.00	99.04		
成果 指標	滞納繰越分徴収率（徴収税額÷調定額）	%	目標値	33.38	33.39	33.40	33.40	33.40	33.40	33.50
			実績値	35.95	32.86	35.42	36.72	35.60		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	納税者の利便性向上を目的として、地方税統一QRコードによる収納を運用しています。市税全体の徴収率においては、前年度を上回る水準を確保しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	自主財源である市税の適正な確保を図るため、今後も現行の取り組みを継続して推進するとともに、納税者の利便性の向上及び徴収率の上昇に努めます。

令和 7 年度
課の目標管理書

課 名 : 資産管理課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

市有建築物の工事にあたり、所管部署と連携を図りながら、建築物に求められる機能・性能を確保できるよう適切な工事設計と工事監督業務を実施します。

ファシリティマネジメントを推進するため、公共施設等総合管理計画及び各所管部局において策定した個別施設計画を踏まえ、その基本方針に沿って施設の適正な管理を推進します。

公有財産情報を一元管理することで、公有財産の有効活用と適正な管理を推進します。

新たな広告収入の調査・研究を行います。

契約制度を適切に運用し、さらに契約の適正化を図ります。公契約条例の運用については、公契約審議会での議論を十分反映し、厳格に運用していきます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

掲げた目標については、すべて取り組むことができました。引き続き、施設の保全業務をはじめ、公有財産の有効活用と適正管理に努めます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

今後、公共施設の老朽化が一層進むことは確実であり、それらの課題に対応するための人員が不足しています。技師の増員等、体制の拡充が必要です。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	公共施設設備の管理運営	
	担当部署名	財政部 資産管理課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進	
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	庁舎の老朽化対策として、長寿命化に向けた必要な工事や修繕を実施し、施設等の計画的な予防保全を行います。 来庁者や職員が庁舎を安全かつ快適に使用できるよう環境整備を行います。 市有地等の公有財産の適正な維持管理を行います。 市有建築物の工事監督に携わり、契約の適正な履行を確保するとともに、建築物の機能、形態及び工事費等設計段階で指導し、市有建築物として質の高い設計を完成させます。 公共施設を包括管理することにより、経費削減と事務の効率化を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市公共施設等総合管理計画、我孫子市役所庁舎整備計画（個別施設計画）、第5次行政改革推進プラン（公用車の一括管理の検討）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 庁舎等の老朽化対策		庁舎他維持補修
	庁舎維持管理		電話関連機器更新事業
	財産管理		
	市有建築物の設計指導・工事監督		
	公共施設等包括管理業務		
	議会棟維持補修		
	我孫子市役所本庁舎防災設備更新事業		
	我孫子市役所本庁舎2階市長応接室壁等修繕		
	我孫子市役所外灯更新事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	公共施設等包括管理業務委託 R3～R7年度 530,190千円、庁舎総合管理業務委託 R4～R8年度 275,978千円、低炭素設備賃貸借 H31～R10年度 303,160千円、公共施設等包括管理業務委託（令和7年度契約分） R7～R12年度 686,190千円、IP電話システム関連機器保守業務委託及び賃貸借 R7～R12年度 82,765千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	412,620	0	令和5年度（年度末時点）		6.95	0.00
令和6年度	決算見込額	486,277	19,058	令和6年度（年度末時点）		6.95	0.00
令和7年度	当初予算額	370,228	0	令和7年度	4月1日時点	7.85	0.00
	補正後予算額	361,965	0				
	決算額	356,191	0		年度末時点	7.85	0.80
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	庁舎施設等の工事の完了件数	件	目標値		6	6	7	7	7	7
			実績値	3	6	6	5	2		
成果 指標	庁舎施設等の工事の適正な完了率	%	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	予算要求時をはじめ、年間を通じて施設設備関連事業の全庁的な調整を行う等、施設の適正な維持管理や個別施設計画に位置付けた取り組みを着実に実施しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	人口減少や厳しい財政状況が続く状況下においても、公共施設等の持続可能な運営を目指すうえでは、公共施設等全体の適正な管理を推進していく必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	ファシリティマネジメントの推進
	担当部署名	財政部 資産管理課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	効率的・効果的な行財政運営の推進
	施策の展開内容	多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。
事務事業の目的 ・概要	老化が進む公共施設を、財政負担の平準化を図りながら適正に維持管理していくため、長寿化につながる保全や更新を計画的に実施するとともに、人口の推移や市民ニーズの変化に合わせて、複合化や集約化など、公共施設の最適な配置について検討します。	
関連する市の計画等	我孫子市公共施設等総合管理計画、第5次行政改革推進プラン（個別施設計画の統括推進、遊休資産を活用した歳入確保、根戸福祉センターの活用検討、旧湖北分署・旧湖北台行政サービスセンター・湖北台市民センターの活用検討、）	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	我孫子市公共施設等総合管理計画の進行管理	
	個別施設計画の全体進行管理	
	公共施設等の老化化対策に係る総合調整	
	公共施設等の適正な配置・管理に係る総合調整及び庁内啓発	
	公共施設マネジメントシステムの導入及び運用	
	湖北台地区公共施設整備事業	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	28	0	令和5年度（年度末時点）		1.15	0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）		1.15	0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度	4月1日時点	1.35	0.00
	補正後予算額	0	0				
	決算額	0	0		年度末時点	1.35	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	公共施設等の老化化対策に係る事業の調整率	%	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	ファシリティマネジメントに係る庁内啓発の実施回数	回	目標値		1	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	0	0	0		
活動 指標	個別施設計画の進行管理手法検討の進捗率	%	目標値		100					
			実績値		100					
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	庁舎施設等の維持に必要な工事や修繕を計画通り実施することで、長期的な保全に繋がりました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	庁舎の老化化対策として、長寿化に向けた必要な工事や修繕を持続し、計画的な予防保全を行っていきます。

部 局 名	市民生活部
部 局 長 名	海老原 郁夫
部の運営方針	○激甚化する自然災害や新たな感染症など、市民の生命、身体及び財産に危険が及ぶ非常事態に迅速に対応できるよう、国・県・関係機関からの情報収集及び適切な情報伝達に努めるとともに、防災体制の整備と危機管理体制の強化に取り組みます。 ・防災訓練の実施や防災リーダーなどの人材育成を推進し、防災・減災情報の積極的な提供を行うことにより、市民の防災意識の向上を図り、自主防災組織の設置を自治会に働きかけます。また、防災力の向上を図るため、地域防災計画に基づく防災関連設備及び非常用備蓄品の計画的な整備に取り組みます。 ・安全な避難行動に向けた周知活動に取り組むとともに、自治会・自主防災組織を中心に自助・共助の体制強化と地域防災力の向上を図ります。 ・災害時における要配慮者に対する支援方策を整備していくとともに、支援体制の強化を図ります。 ○市民の防犯意識や地域防犯力の向上を図りながら、警察署等と連携し、誰もが安全で安心して暮らすことのできる犯罪の起こりにくい環境づくりに努めます。また、地域での防犯パトロール等自主的な防犯活動への支援を行います。 ○「空家等対策計画」に基づき、適切な管理が行われていない空家等の対策に取り組みます。 ○地域コミュニティ活性化の推進 ・地域活動の拠点となるコミュニティ施設の活用の充実を図るとともに、地域の様々な主体が連携する地域会議を通してコミュニティ活性化を推進します。 ・地域住民の相互の交流・親睦が図れるように、自治会やまちづくり協議会の取り組みを支援します。 ○市民公益活動の推進 ・「市民公益活動支援指針」に基づく推進施策に取り組み、市民が主体的に取り組む市民公益活動を支援します。 ・市民活動推進基金を通して、市民活動の活性化と市民活動のための寄付文化の醸成に取り組みます。 ○男女共同参画の推進 ・第3次男女共同参画プランに基づき、男女共同参画社会の実現に向けての取り組みを進めます。 ○総合窓口では「歩かせない・待たせない・迷わせない」を目標に、来庁者へのサービス向上と個人情報保護の徹底を図り、戸籍簿及び住民基本台帳等を適正に維持管理します。 ○民間の接客スキルを活用し、質の高い窓口サービスを推進するため、我孫子行政サービスセンター窓口業務委託を開始します。

	委託化による、サービスの品質、市民満足度の向上等の成果を検証し、本庁市民課と国保窓口の一体化委託等も検討していきます。 ○マイナンバーカードの普及促進のため、カードの利活用を周知し、休日開庁や出張申請サービス等を継続していきます。また、マイナンバーカードの電子証明書の有効期限を迎える市民が増えることから、更新手続きやマイナンバーと保険証の紐づけを行える端末を我孫子、天王台、湖北台、新木行政サービスセンターに設置し、市民サービスの向上に努めていきます。
--	---

部 局 名	市民生活部
部 局 長 名	海老原 郁夫
部の運営方針 に対する総合 評価	○国・県・関係機関との連携を密に図り、情報収集及び適切な情報伝達に努めるとともに、防災体制の整備と危機管理体制の強化に取り組みました。 ・防災リーダーなどの人材育成を推進し、防災・減災情報の積極的な提供を行うことにより、市民の防災意識の向上を図り、自主防災組織の設立を自治会に働きかけました。また、資器材の交付等を行い計画的な非常用備蓄品の整備に取り組みました。 ・安全な避難行動に向けた周知活動に取り組むとともに、自治会・自主防災組織を中心に自助・共助の体制強化と地域防災力の向上を図るため、小学校２校で避難所運営訓練を実施しました。 ・災害時における要支援者を支援するため、支援体制の強化を図りました。 ○市民の防犯意識や地域防犯力の向上を図りながら、警察等と連携し、犯罪の起こりにくい環境づくりに努め、地域での防犯パトロール等自主的な防犯活動への支援を行いました。 ○「空家等対策計画」に基づき、適切な管理が行われていない空家等の対策に取り組みました。 ○地域コミュニティ活性化の推進 ・地域活動の拠点となるコミュニティ施設の活用の充実を図るとともに、地域の様々な主体が連携する地域会議を通してコミュニティ活性化を推進しました。 ・地域住民の相互の交流・親睦が図れるように、自治会やまちづくり協議会の取り組みを支援しました。 ○市民公益活動の推進 ・「市民公益活動支援指針」に基づく推進施策に取り組み、市民が主体的に取り組む市民公益活動を支援しました。 ・市民活動推進基金を通して、市民活動の活性化と市民活動のための寄付文化の醸成に取り組みました。また、若い世代の市民活動への参画を促進し、市民活動によるまちづくりを推進するため、若い世代の市民活動応援助成金交付制度を開始しました。 ○男女共同参画の推進 ・第３次男女共同参画プランに基づき、男女共同参画社会の実現に向けての取り組みを進めました。 ○総合窓口では「歩かせない・待たせない・迷わせない」を目標に、来庁者へのサービス向上と個人情報保護の徹底を図り、戸籍簿及び住民基本台帳等を適正に維持管理しました。 ○民間の接客スキルを活用し、質の高い窓口サービスを推進するため、我孫子行政サービスセンター窓口業務委託を開始しました。また、委

	託化による、サービスの品質、市民満足度の向上を図ることができました。 ○マイナンバーカードの普及促進のため、カードの利活用を周知し、休日開庁や出張申請サービス等を継続しました。また、マイナンバーカードの電子証明書の有効期限を迎える市民が増えることから、更新手続きやマイナンバーと保険証の紐づけを行える端末を我孫子、天王台、湖北台、新木行政サービスセンターに設置し、市民サービスの向上に努めました。
--	--

令和7年度 課の目標管理書

課 名： 市民協働推進課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

○地域コミュニティ活性化の推進

近隣・市民センターが快適に利用できるよう適切な維持管理を行います。また地域内での連携や協力を進めるため地域会議の支援や地域活動の情報を発信していきます。

まちづくり協議会のコミュニティ活動の情報発信、自治会活動への助成金や集会所の維持管理への補助金交付など、地域の活動を支援します。

我孫子北地区のコミュニティ施設等のあり方について、地域のコミュニティ力の維持・推進を前提にしながら検討します。

○市民公益活動の推進

令和6年度に新たに設置した我孫子市市民活動推進基金を活用し、市民活動への若い世代の参画を促し活性化を図るとともに、市民活動のための寄付文化の醸成に取り組みます。

○男女共同参画プランの推進

第3次男女共同参画プランに基づき施策を推進するとともに、性別を問わず多様性を認め合う社会づくりに向けて取り組みます。

2. 課の目標への取組結果

令和7年10月に若い世代の市民活動応援助成金交付事業を立ち上げ、当初予定していた事業とともに滞りなく実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

所管する事務事業は全て滞りなく実施し、いずれも「ほぼ順調」とすることができました。目標未達となっている指標はあるものの、多くは前年度と同等以上となっています。また、新規に立ち上げた若い世代の市民活動応援助成金交付事業は、10月～3月に6事業で活用され、若い世代の参画を促進することができました。これらの点を踏まえ、市民と協働のまちづくりが着実に進んでいると評価します。

また、男女共同参画プランの推進においては、男女共同参画月間におけるイベントや新たな情報誌の発行を含み、全庁的に取り組んでいる77事業の多くが順調に進んでいることから、男女共同参画社会の実現に向けて進んでいると評価します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

引き続き、市民と協働で地域コミュニティの活性化及び市民公益活動を推進します。そのために、地域コミュニティの担い手である自治会やまちづくり協議会、市民公益活動団体等への支援を行うと共に、必要に応じて団体同士でも相互連携できるように調整します。一方で、市と地域コミュニティの関わり方について、時代に応じた変更が必要であるか適宜見直します。また、コミュニティ施設の老朽化が進んでいる中で、当初策定した個別施設計画の最終年が近いことから、計画を更新するとともに、必要な工事を行っています。

男女共同参画プランの推進は、引き続き目標達成に向けて全庁的な取組を推進するとともに、第4次プランの策定に向けた準備にも取り組みます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	男女共同参画プランの推進	
	担当部署名	市民生活部 市民協働推進課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8－1 男女共同参画の推進	
	施策の展開内容	性別にとらわれず、あらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を十分発揮し、活躍できる環境づくりに取り組みます。 また、男女平等に関する国際的な評価や潮流、国の新たな法律の整備を踏まえ、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	・性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスを払拭するための情報発信を強化します。 ・性別に関わらず、家事や育児、地域活動に主体的に参画できるよう、社会全体の意識の醸成を図ります。 ・性別に関わらず、被害が潜在化しやすいDVや性被害をはじめ、あらゆる暴力やハラスメントのない社会を目指し、その啓発に取り組みます。		
関連する市の計画等	我孫子市第3次男女共同参画プラン		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	男女共同参画プラン進行管理業務		
	男女共同参画啓発事業の実施		
	パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度の実施		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	805	0	令和5年度（年度末時点）	0.55 0.80
令和6年度	決算見込額	985	0	令和6年度（年度末時点）	0.55 0.80
令和7年度	当初予算額	974	0	令和7年度 4月1日時点	0.60 0.80
	補正後予算額	974	0		
	決算額	851	0	令和7年度 年度末時点	0.60 0.80
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	我孫子市第三次男女共同参画プラン計上事業数	件	目標値	77	77	77	77	77	77	77
			実績値	77	77	77	77	77		
活動 指標	男女共同参画情報誌の発行部数	部	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績値	2,000	2,000	2,000	1,500	2,500		
成果 指標	我孫子市第三次男女共同参画プラン計上事業の実施率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	市の男性職員の育児休業取得率（市長事務部局等取得率（1週間以上の取得））	%	目標値				85	85	85	85
			実績値				60	67		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	男女共同参画プランに計上した77事業はおおむね順調に進んでいることから、ほぼ順調と評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	男女共同参画情報誌の発行については、これまでの紙媒体からホームページや公式SNS投稿等インターネットでの情報発信に手法を変更します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域コミュニティ活性化の推進
	担当部署名	市民生活部 市民協働推進課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	市民とともにつくる協働によるまちづくり
	施策の展開内容	市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。
事務事業の目的 ・概要	・自治会やまちづくり協議会、地区社会福祉協議会、市民活動団体、事業者などのさまざまな主体と連携する仕組みを通してコミュニティの活性化に取り組みます。 ・近隣センターなど、地域活動の拠点となるコミュニティ施設の活用を充実させることで地域の活性化に取り組みます。 ・自治会が地域のさまざまな課題解決に取り組み、地域住民相互の交流・親睦が図れるよう、活動を支援します。	
関連する市の計画等	我孫子市近隣センター等個別施設計画、第5次行政改革推進プラン（我孫子北地区のコミュニティ施設等のあり方検討）	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	自治会活動助成事業	
	自治会集会所整備事業	
	まちづくり協議会への近隣センター施設運営	
	市民・近隣センター等施設維持管理	
	市民プラザの施設運営	
	地域コミュニティ活性化の推進	
	自治会等自動体外式除細動器設置補助金	
	指 近隣センターの老朽化対策	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業	我孫子市民プラザ指定管理委託 R6～R9年度 121,213千円、近隣センター給排水設備更新工事 R7年度 16,258千円	

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	445,337	0	令和5年度（年度末時点）		3.90	1.10
令和6年度	決算見込額	347,814	0	令和6年度（年度末時点）		3.70	1.10
令和7年度	当初予算額	346,003	0	令和7年度	4月1日時点	3.45	1.10
	補正後予算額	337,436	0				
	決算額	327,350	0		年度末時点	3.45	1.10
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	補助金申請の交付率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	まちづくり協議会主催事業実施率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	80	86	95	93	94		
成果 指標	市民プラザ有料室稼働率	%	目標値	50	51	60	62	64	66	68
			実績値	33	59	59	63	63		
成果 指標	地域会議の設置数	地域	目標値	6	6	6	7	7	7	7
			実績値	5	5	5	5	5		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	各地域のまちづくり協議会では年間を通して様々なイベントを開催し、多くの参加があることで活性化が図れています。また、地域会議では、参加者がお互いの取組を知ることができたり、情報を共有するために有効な場となっています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	地域コミュニティづくりの主体となっている、まちづくり協議会、地域会議、自治会、市民プラザなどへの支援を継続します。 また、R6行政事業点検の対象となった、我孫子北地区におけるコミュニティづくりの拠点施設数、施設のあり方等について、地域住民との対話などにより、方向性を決定していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市民公益活動の推進	
	担当部署名	市民生活部 市民協働推進課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	市民とともにつくる協働によるまちづくり	
	施策の展開内容	市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	・ 学生など若い世代が市民公益活動に参加するための効果的なアプローチ手法を検討するなど、市民公益活動への参加を促し担い手づくりに取り組むとともに、あびこ市民活動ステーションで実施するイベントや担い手対策事業などを通して市民公益活動を支援します。 ・ 市民公益活動への理解促進を図るため、若い世代や子育て世代、高齢者など、各年代に応じた情報発信を実施します。 ・ 市民活動団体が自立した活動を行えるよう、支援していきます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	公募補助金制度の運用		
	市民活動ステーションの管理		
	市民公益活動に関する情報発信		
	市民公益活動の担い手を増やすための取組		
	市民公益活動補償制度の運用		
	地域コーディネーター育成事業		
	若い世代の市民公益活動参画の推進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	あびこ市民活動ステーション指定管理委託 R6～R11年度 116,550千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	20,577	0	令和5年度（年度末時点）		1.40	0.40
令和6年度	決算見込額	20,894	0	令和6年度（年度末時点）		1.10	0.40
令和7年度	当初予算額	26,959	0	令和7年度	4月1日時点	1.10	0.40
	補正後予算額	27,322	0				
	決算額	26,281	0		年度末時点	1.10	0.40
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	一定期間補助金交付後、引き続いて再申請しない団体数	団体	目標値	3	2	2	2	2	2	2
			実績値	1	1	2	1	2		
活動 指標	市民、市民活動団体に対して情報を発信した件数	件	目標値	75	135	140	145	146	148	150
			実績値	131	136	180	259	273		
活動 指標	補償割合（補償件数（支払い件数）/申請件数×100）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	57		
成果 指標	担い手対策事業を通して活動を始めた人の人数	人	目標値	40	45	50	55	56	58	60
			実績値	117	262	127	230	244		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	市民活動ステーションでは、新しい指定管理者が市民活動の入門から運営まで幅広く知ることができる市民向け講座を、体系的に実施することで市民活動の活性化を図っています。また、若い世代が市民公益活動へ参画するためのきっかけとなるように、寄付による基金を財源とした助成金制度を開始しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、市民団体等と行政が役割を分担し、協働してまちづくりを進めるため、市民活動ステーションを通じて団体を支援していきます。また、若い世代の市民公益活動参画を推進するための助成金制度について、活用する団体が増えるようさらなる周知を図ります。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：市民生活部 市民課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

1. 総合窓口の運用

市民課窓口に来られた方の住民異動に伴う、他課の手続きを一つの窓口で行います。市内6カ所のサービスセンターでも同様に言い、市民に寄り添った親切な対応を行います。

2. 戸籍簿及び住民基本台帳の維持管理、マイナンバーカードの交付

戸籍簿及び住民基本台帳の維持管理業務では、個人情報の管理を徹底し正確な事務処理を行います。

マイナンバーカードの交付では、全ての市民がマイナンバーカードを取得できるよう、休日開庁を継続するとともに、マイナンバーカードの利活用についても周知し、カードの申請、交付を円滑に進めていきます。自身では申請が困難な高齢者施設入所者については、引き続き施設と連携し申請サポートを行っていきます。また、要望のあった個人宅への出張申請サービスを新たに開始します。

3. 住居表示の維持管理業務

住居表示維持管理業務では、住居表示街区案内板の維持管理や重複住所の解消に努めていきます。

4. 旅券業務

パスポート窓口では、不正取得の防止に努め、個人情報の管理を徹底し、適正に旅券発給事務を行います。また、令和7年3月から旅券の新規手続きについても、マイナポータルアプリからオンライン申請が可能となったため、申請方法について周知していきます。

5. 窓口業務のあり方検討

つくし野行政サービスセンターのあり方については、市の財政状況、地域性、利用状況等を踏まえ、令和7年度中に方向性を確定します。

2. 課の目標への取組結果

課の目標のとおり、全ての取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

・各事業とも順調に推進しており、マイナンバーカードの普及では休日開庁や出張申請サポートを実施し、交付率の向上に努めました。また、我孫子行政サービスセンター窓口業務委託を4月1日から本格運用し、業務の効率化と市民サービスの維持向上を図りました。

・課の目標について、確実な取組を行い事業を推進できたことにより、おおむね目標を達成できたものと評価します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

・マイナンバーカードの有効期限を迎え、再申請する市民が増えることが予想されるため、各行政サービスセンターでマイナンバーカードを交付する等の利便性の向上を図っていきます。

令和7年度 課の目標管理書

課 名：市民安全課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・激甚化する自然災害や新たな感染症など、市民の生命、身体及び財産に危険が及ぶ非常事態に迅速に対応できるよう、市から緊急情報を正確・迅速に伝えるため、1つの端末から、防災行政無線、メール配信、ホームページ、エックス（旧ツイッター）、フェイスブック、LINEへの一斉配信が行える「防災行政無線多メディア一斉配信システム」を使用し、より確実に正確な情報を市民へ伝えていきます。

・自治会等が行う防災訓練への助成や備蓄品の提供を行い、自主防災組織の更なる活発な活動を促進し自助・共助の意識向上を図ります。

・防災訓練など各種訓練の実施により、関係機関との連携強化及び市民への防災に対する啓発活動を行います。

・「避難行動要支援者避難支援計画」に基づく「避難行動要支援者名簿」の自治会等への提供に取り組めます。

・防災力の向上を図るため、地域防災計画に基づき、湖北地区防災備蓄倉庫を建設します。

・犯罪の無い安全で安心なまちを実現するため、防犯協議会や自治会、警察等関係団体との連携を強化し地域防犯力向上に努めます。

・電話de詐欺対策として、街頭キャンペーンを行うほか電話de詐欺対策機器の配布を継続して行います。

・犯罪被害を受けた市民、その家族等の身体的被害や精神的被害の負担を軽減し、安心できる暮らしを支援するため、見舞金を支給します。

・空家対策として、特別措置法に基づく措置を適切に講ずるとともに、適切に管理されていない空家等の所有者に対し、適切な管理を促します。また、市内にある空家の現状・状況変化・件数等を適切に把握、対応するための調査を行います。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全ての取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

防災対策については、地盤改良工事が遅れたため湖北地区防災備蓄倉庫の整備を令和8年度へ繰越しました。また、非常事態に備えた訓練、情報連携、備蓄品の確保等地域防災計画に基づいた体制の充実を図ることが出来ました。防犯対策については、電話de詐欺対策として簡易型自動録音機器の貸与をはじめ、関係団体と連携を強化し、防犯パトロールの実施等防犯意識の向上と地域の防犯力向上に努めました。空家対策については、市民等からの情報提供に迅速に対応するとともに、所有者等に対し現状等を通知し、適切な管理を促しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

令和8年度はハザードマップの見直しを予定していることから、国や県等からの情報を収集し、新たに盛り込んでいきます。また、防犯対策については引き続き電話de詐欺対策や防犯パトロールに取り組むなど、関係団体等と連携を深め、市民一人ひとりが安全安心に生活できるまちづくりを目指します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	災害予防・初動対策事業	
	担当部署名	市民生活部 市民安全課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－1 防災・減災対策の推進	
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備と危機管理体制の強化に取り組みます。		
関連する市の計画等	我孫子市地域防災計画、我孫子市国土強靱化地域計画、我孫子市ハザードマップ、我孫子市避難行動要支援者避難支援計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	防災無線（固定系・移動系・地震計、J-ALERT）保守点検		
	非常用発電機及び井戸ポンプ自家用電気工作物の保安		
	避難行動要支援者名簿システムの保守点検		
	安否確認・参集メールシステムの訓練		
	災害非常用消耗品の購入		
	防災備蓄備品購入		
	雨水浸水防止措置等工事の助成		
	行政防災無線多メディア保守点検		
	湖北地区防災備蓄倉庫建設工事		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	31,656	0		
令和6年度	決算見込額	54,698	9,794		
令和7年度	当初予算額	101,129	4,563		
	補正後予算額	107,413	4,563		
	決算額	59,181	3,795		
	次年度へ繰越	47,495	0		

年度		人工	
		正職員	会計年度等
令和5年度（年度末時点）		1.60	0.30
令和6年度（年度末時点）		1.60	0.30
令和7年度	4月1日時点	1.60	0.30
	年度末時点	1.60	0.30

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	備蓄食糧数	食	目標値	120,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000
			実績値	139,000	134,000	130,700	120,700	105,052		
活動 指標	安否確認・参集メールの登録率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	85	80	88	92	94		
活動 指標	防災行政無線システム機器点検実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	自然災害などの非常事態に備え、適正な備蓄数の確保や正確な情報伝達など、迅速に対応できる体制づくりが整備され、危機管理体制の強化に取り組むことが出来ました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	非常事態に備え、いざというときに必要な備蓄品の確保など、問題なく対応できるよう危機管理体制強化を引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	国民保護計画の推進	
	担当部署名	市民生活部 市民安全課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－1 防災・減災対策の推進	
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	・地震、風水害等の防災対策及び武力攻撃事態等から市民の生命、身体及び財産の安全を確保するため、市民危機管理対策会議の運営を図る。国民保護法・水防法の推進を図ります。 ・消防庁国民保護室や県より平素から周辺国際情勢などの情報を収集し、武力攻撃事態等の有事には、市民に迅速で的確な情報伝達の強化に取り組みます。		
関連する市の計画等	我孫子市国民保護計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	我孫子市市民危機管理対策会議の開催		
	Jアラート・エムネットの受信訓練		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.60 0.00
令和6年度	決算見込額	36	0	令和6年度（年度末時点）	0.60 0.00
令和7年度	当初予算額	41	0	令和7年度 4月1日時点	0.60 0.00
	補正後予算額	41	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	0.60 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	Jアラート全国一斉情報伝達訓練の適正な受信	回	目標値	4	4	4	4	4	4	4
			実績値	3	3	3	3	4		
活動 指標	市民危機管理対策会議の開催	回	目標値	1	1	1	1	1	1	1
			実績値	2	1	0	2	0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	令和7年度は地域防災計画の改訂や大きな災害がなかったため、市民危機管理対策会議は開催しなかった。なお、全国一斉訓練等の情報伝達訓練については適正に行うことが出来ました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	地震、風水害等の防災対策及び武力攻撃事態等から市民の生命、身体及び財産の安全を確保するため、適正な会議運営が必要となります。また、平素から周辺国際情勢などの情報収集し、有事には市民に迅速で的確な情報伝達に取り組む必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域防災力の向上		
	担当部署名	市民生活部 市民安全課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－1 防災・減災対策の推進		
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	・ 防災訓練の実施や防災・減災情報の積極的な提供を行うことにより、市民の防災意識の向上を図ります。 ・ 安全な避難行動に向けた周知活動に取り組むとともに、自治会・自主防災組織を中心に自助・共助の体制強化と地域防災力の向上を図ります。			
関連する市の計画等	我孫子市地域防災計画、我孫子市ハザードマップ			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	自主防災組織育成事業			
	防災士及び災害救援ボランティアの養成			
	防災訓練の実施			
	避難所運営訓練の実施			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	609	0	令和5年度（年度末時点）	1.40 0.30
令和6年度	決算見込額	1,244	0	令和6年度（年度末時点）	1.40 0.30
令和7年度	当初予算額	1,677	0	令和7年度 4月1日時点	1.40 0.30
	補正後予算額	1,677	0		
	決算額	1,586	0	令和7年度 年度末時点	1.40 0.30
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	自主防災組織数	組織	目標値	136	137	138	139	139	139	140
			実績値	137	138	140	140	140		
活動 指標	総合防災訓練の実施回数	回	目標値	1	1	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	0	1	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	我孫子市総合防災訓練は、約700人を集客し多くの市民の防災意識の向上を図るとともに、各関係機関と連携して防災力の向上に寄与しました。自主防災組織については、各所から必要性等を周知し目標を上回ることが出来ました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、市民の防災意識の向上を図るとともに、自治会・自主防災組織を中心に防災体制の強化と地域防災力の向上を図るため、危機管理体制の強化に取り組む必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	防犯活動の推進	
	担当部署名	市民生活部 市民安全課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－3 防犯対策の推進	
	施策の展開内容	防犯協議会や地域のボランティア団体、警察などと連携強化を図りながら、特殊詐欺などの身近な犯罪の情報提供や相談、啓発活動に取り組み、犯罪の起きにくい環境整備を進めます。 また、地域での防犯パトロールなど自主的な防犯活動への支援を行い、市民の防犯意識の向上を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	・ 防犯協議会や地域のボランティア団体、警察などと連携を図りながら、特殊詐欺などの身近な犯罪の情報提供や相談、啓発活動に取り組み、犯罪の起きにくい環境整備を進めます。 ・ 地域での防犯パトロールなど自主的な防犯活動への支援を行い、市民の防犯意識と地域防犯力の向上を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市防犯計画、我孫子市空家等対策計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	防犯カメラ設置補助事業		
	我孫子市防犯協議会推進事業		
	自主防犯活動の支援		
	空家対策事業		
	犯罪被害者等支援金		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	7,006	0	令和5年度（年度末時点）	2.30 1.60
令和6年度	決算見込額	7,653	0	令和6年度（年度末時点）	2.30 1.60
令和7年度	当初予算額	6,834	0	令和7年度 4月1日時点	2.30 1.60
	補正後予算額	6,963	0		
	決算額	6,399	0	令和7年度 年度末時点	2.30 1.60
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	空家等の情報提供件数	件	目標値	50	55	60	65	67	69	70
			実績値	99	78	102	126	137		
成果 指標	空家等の改善数	件	目標値	55	60	65	70	73	76	80
			実績値	40	43	62	42	74		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	市民からの寄せられた情報提供には、現地を確認し空家等の所有者に対して適宜改善を促し地域防犯の向上を図ることが出来ました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	空家等の改善に加え、地域での防犯パトロールなど自主的な防犯活動への支援を行い、市民の防犯意識と地域防犯力の向上を引き続き推進します。

令和7年度 部の運営方針管理書

部 局 名	健康福祉部
部 局 長 名	飯田 秀勝
部の運営方針	○第四次総合計画の基本目標を推進するため「第7次健康福祉総合計画（令和7年度から令和11年度）」及び各部門の計画に基づき、施策や事業に取り組むとともに、すべての市民を対象に重層的な支援体制による包括的な支援を実施し、複合化した課題の解決を目指します。 ○地域福祉施策は、共に支え合い共に生きるまちづくりを社会福祉協議会等との連携により推進し、「地域共生社会」の実現を目指します。また、成年後見制度の利用促進のため権利擁護体制の整備や自殺対策、孤立死対策などに取り組みます。 ○生活困窮者施策は、生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者への相談支援を実施するとともに、就労支援事業を強化し自立に向けた支援に取り組みます。 ○障害者施策は、障害者が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活ができるように、「第4期障害者プラン（障害者計画・障害福祉計画）」に基づく事業を推進します。特に、障害者就労支援の関係機関と連携し、訓練の充実と雇用の促進を図ります。また、NPO法人や社会福祉法人等の関係機関と連携し、地域生活支援拠点等事業や相談支援体制、障害福祉サービス等の充実を図り、障害者の包括的な支援に取り組みます。 ○健康・医療施策は、健康寿命の延伸を目指し、「第3次心も身体も健康プラン（令和7年度から令和18年度）」に基づく「健康づくり・食育・歯と口腔の健康」に関する各種事業を推進します。特に、病気の原因となる危険因子の一次予防を重要な取り組みとして位置付け、「自ら取り組む、みんなで続ける健康づくり」を基本理念とし、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。また、母子保健にかかる様々な取り組みを推進し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援に取り組みます。さらに、関係機関と連携しながら、小児救急や健（検）診など地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。 ○高齢者施策は、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、「第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画」に基づく事業を推進します。また、高齢者がその有する能力に応じて自立した生活ができるよう、在宅医療と介護の連携、認知症対策、健康寿命延伸施策を推進し、日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケア体制の充実を図ります。さらに、地域住民をはじめとする多様な主体がつながり、活動する地域共生の取組を推進します。 ○国民健康保険事業は、被保険者が必要な医療を安心して受けられるように健全運営を目指し、保険税収納率の向上に取り組むとともに医療費の適正化に努めます。特に、「第3期国民健康保険データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画」に基づいた保健事業を推進し、被保険者の健康増進に努めます。また、国民健康保険の広域化については、引き続き、保険者である県と連携し円滑な運用を図ります。 ○国民健康保険税及び後期高齢者医療保険料、介護保険料の多様な納付方法について周知し、利便性の向上を図ります。また、健康保険証廃止に伴う保険証利用登録がされたマイナンバーカードを基本とする仕組みの周知について引き続き、取り組みます。

部 局 名	健康福祉部
部 局 長 名	根本 久美子
部の運営方針 に対する総合 評価	・第四次総合計画の基本目標を推進するため「健康福祉総合計画」及び各部門の計画に基づき、施策や事業に取り組みました。 ・健康福祉部の各施策や事業の主な取り組みとして、地域福祉施策では、社会福祉協議会との連携により「あんしん生活支援事業」を開始し、共に支え合い共に生きるまちづくりの推進をしました。また、成年後見制度の利用促進のための中核機関設置の準備や自殺対策、孤立死対策などに取り組みました。 生活困窮者施策では、生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者への相談支援を実施するとともに、「就労準備支援事業」及び「家計改善支援事業」を開始し、自立支援の強化を図りました。また、生活保護法に基づき、生活保護制度利用者の自立等へ向けた支援に取り組みました。さらに、国の交付金を活用し「低所得世帯重点支援給付金」の支給を迅速に行いました。 障害者施策では、障害者が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活ができるように、「障害者プラン」に基づく、障害者の自立支援事業等を推進し、障害者が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう取り組みました。また、「チャレンジドオフィスあびこ」において障害者就労支援に係る訓練に引き続き取り組みました。あらき園では、こども発達センターの給食をあらき園で調理するために厨房改修工事を実施しました。 健康・医療施策では、健康寿命の延伸を目指し、「第3次心も身体も健康プラン」に基づき、各種事業を推進しました。県内初の取り組みである小児科診療所等開業促進補助金を活用して、天王台駅南口と我孫子駅南口に1か所ずつ小児科診療所が開業となり、小児医療体制の充実を図りました。妊娠届出時・妊娠8か月時・出産後の面談や幼児健康診査等の機会を通じて妊産婦・乳幼児のニーズを把握し、必要な情報提供や相談、関係機関との連携など切れ目のない支援を行いました。 高齢者施策では、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、「第9期介護保険事業計画・第10期高齢者保健福祉計画」に基づき各事業を進めるとともに、高齢者がその有する能力に応じて自立した生活ができるよう、在宅医療と介護の連携、認知症対策、健康寿命延伸施策などを推進し、日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケア体制の充実を図りました。さらに、今後不足が見込まれる介護従事者の人材確保対策として、市内の福祉事業所が出展する「福祉のしごと相談会」の開催、市内高校の生徒の福祉施設見学会の受入れ、介護職員養成に係る研修費用助成等を行いました。 国民健康保険事業では、保険税収納率の向上や医療費の適正化等に取り組み、被保険者が必要な医療を安心して受けられるように事業の安定した運営に努めました。また、健康保険証廃止に伴う保険証利用登録がされたマイナンバーカードを基本とする仕組みの周知について取り組みました。 ・令和7年度の「健康福祉部の運営方針」に対する総合評価としては、各課が所管する計画に基づき、それぞれの事業を適切に実施・推進するとともに、新たな政策的事業についても円滑に立ち上げ、実施できたことから、運営方針に掲げた各施策の取り組みについては概ね達成で

きたものと評価します。

今後も引き続き、各施策を効果的・効率的に展開できるよう事業の必要性や見直しを図りながら取り組んでいきます。

令和7年度 課の目標管理書

課 名 : 社会福祉課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

令和6年度に策定した「第7次健康福祉総合計画（令和7年度から令和11年度）」に基づき以下の取組みを推進します。

- ・地域福祉の推進を図るため、社会福祉協議会と連携し、民生委員活動の支援や成年後見制度利用促進、身寄りのない高齢者等の課題解決等に取り組み、地域共生社会の実現を目指します。
- ・生活支援の推進では、生活困窮者の相談や支援、住居確保支援、就労支援など自立の促進を図ります。また、子どもの貧困対策としての学習支援やDV相談等、生活・福祉に関する総合的な相談・支援を行います。
- ・人権尊重社会の推進を図るため、人権相談や啓発活動、再犯防止の推進、自殺対策事業に取り組みます。
- ・平和社会の推進を図るため、平和祈念式典や戦没者追悼式等の平和事業に取り組みます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

第7次健康福祉総合計画に基づき施策や事業を実施し、身寄りのない高齢者等を対象に「あんしん生活支援事業」や生活困窮者自立支援事業では「家計改善支援事業」や「就労準備支援事業」を新たに実施しました。また、国の交付金を活用し、「低所得世帯重点支援給付金」の支給を行いました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

関係機関との連携により、総合的な支援体制で複合的な課題のある市民に対応することができました。課の各事業の推進により、おおむね目標を達成することができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

第7次健康福祉総合計画に基づき、施策や事業を実施します。

生活困窮に関する相談や生活保護の世帯数が増加しているため、相談支援体制の充実を図り、関係機関との連携を強化します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域住民の福祉活動支援	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進	
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	障害の有無や年齢、性別に関わらず、すべての市民が地域でともに支え合う意識の啓発や自治会・まちづくり協議会などの連携を強化し、地域で安心して 暮らせる地域共生社会を目指します。		
関連する市の計画等	介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画、障害者プラン、健康福祉総合計画、第5次行政改革推進プラン（社会福祉協議会との連携強化）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	根戸福祉センターの運営管理		
	社会福祉協議会支援事業		
	民生委員推薦		
	社会福祉協議会事業委託		
	成年後見制度利用の支援		
	成年後見制度利用促進基本計画（仮）策定事業		
	成年後見に係る中核機関の設置		
	指 あんしん生活支援事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	114,588	0	令和5年度（年度末時点）		1.06	0.15
令和6年度	決算見込額	132,912	0	令和6年度（年度末時点）		1.21	0.15
令和7年度	当初予算額	130,764	0	令和7年度	4月1日時点	1.04	0.10
	補正後予算額	130,755	0				
	決算額	130,030	0		年度末時点	1.04	0.10
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	民生委員・児童委員協議会活動等援助委託の執行率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	市民後見人養成講座・フォローアップ講座受講者数	人	目標値	5	15	5	10	10	10	10
			実績値	0	3	2	15	2		
成果 指標	根戸福祉センター施設、設備の管理達成率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	市民後見人養成講座の開催しましたが、受講者数が目標値を下回りました。成年後見制度利用促進検討会議の開催による成年後見制度の利用促進に努めました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和8年度より成年後見制度に係る中核機関を設置し、制度利用を更に促進していきます。旧根戸デイサービスセンターの部屋の使用方法については、関係課と協議し進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	外出・移動支援事業		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進		
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。		
事務事業の目的 ・概要	高齢者や障害者が孤立することのないよう、外出や移動がしやすい環境を整備します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	福祉バス運行			
	福祉有償運送運営協議会開催			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	16,235	0	令和5年度（年度末時点）	0.18 0.60
令和6年度	決算見込額	19,519	0	令和6年度（年度末時点）	0.26 0.60
令和7年度	当初予算額	22,009	0	令和7年度 4月1日時点	0.24 0.70
	補正後予算額	24,939	0		
	決算額	23,666	0	令和7年度 年度末時点	0.24 0.70
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	福祉有償運送事業所登録団体数	団体	目標値	6	6	6	6	5	5	6
			実績値	6	6	5	5	6		
活動 指標	福祉バス利用率	%	目標値	20	30	40	50	50	50	50
			実績値	20	35	52	53	53		
成果 指標	福祉有償運送事業所における無事故率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	福祉有償運送事業所登録団体数が増加し、目標値を上回りました。福祉バスは、気候の良い時期に利用率が増加したことから、目標値を上回 りました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	福祉バスは、令和8年度から利用団体から利用料を徴収することから利用団体に周知していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	孤立死防止対策事業	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進	
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	自宅で誰にも気づかれずに亡くなり、死後発見される「孤立死」を防ぐため、市内外のライフライン事業者や配送事業者、福祉事業者と連携し、孤立した 状態で生活困窮に陥っている市民をいち早く発見し支援します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	孤立死防止対策事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.20 0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	0.20 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	0.30 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	0.30 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	孤立死防止連絡協議会参加団体数	団体	目標値	75	78	80	82	84	86	88
			実績値	76	78	79	81	81		
成果 指標	孤立死防止対策ダイヤル受付件数	件	目標値	5	5	5	5	5	5	5
			実績値	5	0	1	3	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	各団体が行っている孤立死防止対策サービスについて、市ホームページ、SNS等を活用し広報・周知活動を進めることができました。また、庁内関係課や関連団体と適宜連携し、 連絡・情報共有・相談支援の実施ができたと評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、庁内関係課や関連団体と適宜連携し、孤立死防止について連絡・情報共有・相談支援を実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	献血・骨髄ドナー推進事業	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進	
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	・血液の安定供給に寄与するため、日本赤十字社の献血事業を支援します。 ・骨髄移植の登録者と提供者を増やすための取組を支援します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	骨髄移植ドナー支援事業		
	日本赤十字社の援護		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	280	0	令和5年度（年度末時点）	0.02 0.10
令和6年度	決算見込額	140	0	令和6年度（年度末時点）	0.02 0.10
令和7年度	当初予算額	140	0	令和7年度 4月1日時点	0.04 0.10
	補正後予算額	280	0		
	決算額	280	0	令和7年度 年度末時点	0.04 0.10
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	協力会員数と献血者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	600	796	790	796	791		
成果 指標	骨髄等の提供件数	件	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	2	1	2	1	2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	献血者数は、目標値を下回ったがここ数年の数値とほぼ変わらず、高い数値を保っています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	献血者については、日本赤十字社と協力し、献血者数を増やしていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	社会福祉法人の法人運営に対する指導監査		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進		
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。		
事務事業の目的 ・概要	福祉サービスを提供する社会福祉法人に対し、運営状況や会計管理状況などについて、指導監査をよりの確に実施していきます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	社会福祉法第56条に基づく社会福祉法人に対する指導監査実施			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	2,848	0	令和5年度（年度末時点）		0.52	0.40
令和6年度	決算見込額	2,021	0	令和6年度（年度末時点）		0.57	0.20
令和7年度	当初予算額	2,961	0	令和7年度	4月1日時点	0.17	0.20
	補正後予算額	2,952	0				
	決算額	2,950	0		年度末時点	0.17	0.20
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	指導監査を実施する社会福祉法人数	法人	目標値	10	5	5	5	5	5	5
			実績値	10	6	5	6	6		
成果 指標	前回の指摘事項が改善されている社会福祉法人 数/監査を実施した社会福祉法人数	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	令和6年度の指導監査実施計画のとおり6つの社会福祉法人について指導監査を行うことができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	社会福祉法人に対する指導監査は、社会福祉法第56条に基づき実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	健康福祉総合計画の策定及び進行管理	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進	
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきま す。	
事務事業の目的 ・概要	健康福祉部門及び子ども部門における方向性を示し推進するとともに、他部門との連携を更に強めることで、社会環境の変化により複合化・複雑化している 社会課題に対して対応し、あらゆる人が受けとめられるまちづくりを推進します。		
関連する市の計画等	健康福祉総合計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	健康福祉総合計画基本目標達成に向けた個別計画及び事業の推進及び進行管理		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	25	0	令和5年度（年度末時点）		0.16	0.10
令和6年度	決算見込額	3,260	0	令和6年度（年度末時点）		0.20	0.10
令和7年度	当初予算額	45	0	令和7年度	4月1日時点	0.10	0.05
	補正後予算額	45	0				
	決算額	27	0		年度末時点	0.10	0.05
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	事後評価における個別計画及び事業の進捗率 （順調に推進している計画及び事業数／計画及 び事業数）	%	目標値	70	75	80	85	80	80	80
			実績値	78	78	69	80	72		
成果 指標	市民アンケート調査における健康福祉改善率 （100%-不満・やや不満の割合％）／7項目	%	目標値	—	—	—	—	—	—	100
			実績値	100	—	—	—	—		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	個別計画及び事業の推進、進行管理を順調に遂行しました。令和7年度は生活相談などが減少したため目標値を下回っています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	第7次健康福祉総合計画に従い、現状通り推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	生活・福祉に関する総合的な相談・支援の実施		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－5 生活支援の推進		
	施策の展開内容	年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	・生活保護制度を適正に運用し、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、日常生活の支援と経済的な自立を促進します。 ・さまざまな要因から生活に困窮している人の経済的な自立を促進するため、関係機関と連携し、相談から自立までの継続的な支援に取り組みます。 ・多様化する相談内容に対応し、適切な支援を提供できるよう、福祉関係団体をはじめ弁護士会やハローワークなどの関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	生活保護事業		医療扶助オンライン資格確認事業	
	被保護者健康管理支援事業		標準化システム移行事業	
	被保護者就労支援事業	指	家計改善支援事業	
	自立相談支援事業	指	就労準備支援事業	
	住居確保給付金事業		低所得世帯重点支援給付金給付事業	
	居住支援事業		生活支援給付金給付事業	
	中国残留邦人生活支援給付費支給事務			
	被災者援護			
	生活一時資金貸付基金制度未償還金の回収事務			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	生活保護システム標準化移行事業 R6～R12 34,848千円 生活保護セプト管理システム標準化移行事業委託及び通信利用 R6～R12 25,201千円 生活支援給付金給付金事業R8～R8 711,077千円			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	3,849,276	0	令和5年度（年度末時点）		20.64	6.35
令和6年度	決算見込額	2,945,574	251,101	令和6年度（年度末時点）		20.95	6.35
令和7年度	当初予算額	2,580,716	232,791	令和7年度	4月1日時点	20.47	6.30
	補正後予算額	2,648,525	232,790		年度末時点	22.47	6.30
	決算額	2,638,591	166,980				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	生活困窮者等に対する相談対応件数	件	目標値	2,200	3,500	3,800	4,000	4,075	4,150	4,200
			実績値	2,543	2,101	1,857	1,615	1,929		
成果 指標	福祉相談窓口受付件数	件	目標値	1,050	1,200	1,400	1,600	1,625	1,650	1,700
			実績値	777	762	783	776	811		
成果 指標	就職につながった件数	件	目標値	48	50	52	54	54	55	56
			実績値	33	52	59	48	41		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	生活困窮者自立支援制度の相談窓口として、経済的な課題だけでなく、複雑化、複合化した相談内容にも対応できる包括的な相談窓口を運営できたため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	誰もが自立した生活を送れるよう、生活困窮者自立支援法に基づく支援や生活保護制度などのサポートは今後も不可欠です。そのため、引き続きこれらの支援を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子どもの貧困対策事業		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援		
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。		
事務事業の目的 ・概要	経済的な理由による格差の解消や子どもと地域の交流を図るため、学習支援や子ども食堂の活動を推進します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	子どもの学習・生活支援事業			
	けやきプラザ１１階の施設運営			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	3,685	0	令和5年度（年度末時点）	0.70 0.00
令和6年度	決算見込額	3,646	0	令和6年度（年度末時点）	0.70 0.00
令和7年度	当初予算額	4,450	0	令和7年度 4月1日時点	1.00 0.00
	補正後予算額	4,450	0		
	決算額	4,261	0	令和7年度 年度末時点	1.00 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	我孫子市学習支援ネットワークへの参加数	人	目標値	25	30	30	30	30	30	31
			実績値	19	19	20	20	20		
成果 指標	我孫子市学習支援教室利用登録者数	人	目標値	90	92	94	96	96	97	98
			実績値	92	91	85	89	99		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	学習支援事業の学習支援教室は、市民団体やNPO法人等により各地域で活発に行われていることから順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、協力登録団体の活動を支援するとともに、利用する子どもが増えるよう広報活動に力を入れ、貧困の連鎖の予防を図っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	DV相談		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8－1 男女共同参画の推進		
	施策の展開内容	性別にとらわれず、あらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を十分発揮し、活躍できる環境づくりに取り組みます。 また、男女平等に関する国際的な評価や潮流、国の新たな法律の整備を踏まえ、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みます。		
事務事業の目的 ・ 概要	DV被害者が安心して自立した生活を送れるよう、相談及び支援体制を充実させます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	DV相談			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.60 0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	0.60 1.60
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	0.70 1.60
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	0.70 1.60
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	DVに関する相談対応件数	件	目標値	600	380	390	395	400	405	410
			実績値	370	305	317	272	251		
成果 指標	DVに関する相談対応率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	各関係機関と連携を図り、DV被害者の様々な相談に対応し、支援することができたため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	DV相談の増加により、DV被害者への総合的な支援が今後必要なことから、引き続き実施します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	人権相談・啓発活動		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8－2 人権尊重社会の推進		
	施策の展開内容	すべての人が人権について理解を深め、お互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、その人らしくいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	・すべての人がお互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性や能力を十分に発揮できるよう、人権についての理解を深めるための啓発活動を推進します。 ・差別や虐待、ハラスメントなど、さまざまな人権問題についての相談を受け付けるため、関係機関と連携し、人権擁護委員による人権相談を実施していきます。 ・非行の防止と罪を犯した人たちの更生について、地域全体で理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築くため、啓発運動に取り組みます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	人権相談			
	人権に対する啓発活動			
	社会を明るくする運動			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	907	0	令和5年度（年度末時点）	0.42 0.50
令和6年度	決算見込額	839	0	令和6年度（年度末時点）	0.46 0.10
令和7年度	当初予算額	1,645	0	令和7年度 4月1日時点	0.52 0.15
	補正後予算額	1,161	0		
	決算額	1,151	0	令和7年度 年度末時点	0.52 0.15
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	相談に対して確実に対応した対応率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	全ての相談に対し適切に対応することができたため順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	様々な人権問題が数多く存在しているため、事業の継続が必要であると捉えています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	自殺対策事業	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8－2 人権尊重社会の推進	
	施策の展開内容	すべての人が人権について理解を深め、お互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、その人らしくいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	自殺を未然に防ぐための周知啓発を図るとともに、自分の周りにいる自殺を考えている人の存在に気づき、声をかけ、必要に応じて適切な相談機関などにつないでいけるよう、地域の支援者としてゲートキーパーを養成していきます。		
関連する市の計画等	我孫子市いのちを支え合う自殺対策計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	我孫子市自殺対策庁内連絡会議		
	我孫子市自殺対策協議会		
	自殺対策啓発物配布		
	自殺対策計画策定事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	2,390	0	令和5年度（年度末時点）	0.51 0.30
令和6年度	決算見込額	323	0	令和6年度（年度末時点）	0.51 0.10
令和7年度	当初予算額	361	0	令和7年度 4月1日時点	0.42 0.10
	補正後予算額	281	0		
	決算額	263	0	令和7年度 年度末時点	0.42 0.10
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果 指標	研修会等に参加して、自殺予防（対策）に関する知識を高めた人の割合	%	目標値	95	95	100	100	100	100	100
			実績値	100	98	98	100	99		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	庁内職員や小中学校の教職員を対象に研修を行い、自殺予防に関する知識を高めることができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業を拡大する	自殺者数を減らすため、新たに自殺対策啓発用ショート動画を作成するなど、活動を強化していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	平和祈念事業		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8－3 平和社会の推進		
	施策の展開内容	「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、市民とともに平和事業に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	・原爆被爆国として記憶を風化させることなく後世に伝えるため、平和祈念式典を開催します。 ・戦没者に対し追悼の意をささげるとともに、二度と戦争を繰り返すことのないよう、恒久平和を市民と祈念するため、遺族会と協力し戦没者追悼式を継続して実施していきます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	原子爆弾被爆者見舞金支給			
	戦没者追悼式			
	原爆被爆平和祈念式典の開催と平和の記念碑の管理			
	戦没者遺族への特別弔慰金取り扱い			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,092	0	令和5年度（年度末時点）	0.35 0.10
令和6年度	決算見込額	1,288	0	令和6年度（年度末時点）	0.30 0.10
令和7年度	当初予算額	968	0	令和7年度 4月1日時点	0.22 0.10
	補正後予算額	1,304	0		
	決算額	1,218	0	令和7年度 年度末時点	0.22 0.10
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	原子爆弾被爆者見舞金申請者への支給率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	特別弔慰金請求取り扱い率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	祈念式典参加人数	人	目標値	100	120	130	150	150	150	150
			実績値	100	70	84	92	85		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	平和祈念式典は、開催日が8月のため数年前から屋内開催としています。そのことから、会場内に入れる人数も制限があることから目標値を下回っています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	平和祈念式典は、屋内開催のため人数の制限はありますが、当日、参加できない市民にも戦争の悲惨さと平和の大切さを広報などで発信していきます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名 : 健康づくり支援課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

小児科診療所開設促進事業等により地域医療体制の推進を図ります。

健康・医療施策は、健康寿命の延伸を目指し、「第3次心も身体も健康プラン（令和7年度から令和18年度）」に基づき、各種事業を推進します。

各種健（検）診時や健康啓発事業などの開催、生活習慣を改善するための情報提供を通じて、市民の自主的な健康づくりを支援します。

特定健康診査やがん検診、脳ドックなどの生活習慣病予防対策に取り組むとともに、その重要性をPRし、受診率の向上を図ります。

生活習慣病のリスクがある人への保健指導等に取り組みます。

市民や事業者、関係機関と連携して地域ぐるみで啓発イベントを開催するなど健康づくりの推進を図ります。

子どもの健やかな成長のため、妊産婦や親子への健康診査や相談などを通して、育児不安の軽減、親子の疾病の早期発見と早期治療・療育など、健康の保持増進につなげる取組を進めます。

感染症にかかることやかかった際の重症化を防ぐため、予防接種についての十分な情報提供を行い、予防接種法に基づく定期接種の接種率を向上させる取組を進めます。また、引き続き、感染症対策に取り組めます。

2. 課の目標への取組結果

・小児科診療所等開業促進事業補助金を活用して、天王台駅南口と我孫子駅南口に1か所ずつ小児科診療所が開業となり、小児医療体制が充実しました。

・妊娠届出時・新生児訪問・幼児健康診査等での相談の機会や妊産婦健康診査・産後ケア事業等を通じて関係機関との連携の中で、妊産婦・乳幼児等の状況を把握し、育児不安や困りごとなど状況やニーズに応じて必要なサービスの情報提供、親子の疾病の早期発見と早期治療・療育など、健康の保持増進につなげる取組を行いました。

・夏休み前等の接種勧奨（就学前・小中学生）、子どもの予防接種の未接種勧通知等を実施しました。また、令和8年度より開始されるRSウイルス感染症の予防接種（妊婦用）について、対象となる妊婦が接種を希望する際に速やかに接種できるように、予診票等の個別送付や医療機関との契約・調整等を行いました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

当初の予定どおり計画していた事業について遂行することができ、課の目標の達成に取り組んだと評価します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

今後も、健康寿命の延伸を目指し、引き続き事業を確実に推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	保健センターの維持管理	
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－2 健康づくりの推進	
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	健康づくりに関する事業を実施するため、保健センターの適切な管理運営を行います。		
関連する市の計画等	我孫子市保健センター・休日診療所長寿命化計画（個別施設計画）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	保健センターの事務管理		
	保健センターの維持管理		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	21,220	0	令和5年度（年度末時点）		1.67	1.65
令和6年度	決算見込額	36,532	0	令和6年度（年度末時点）		1.52	1.65
令和7年度	当初予算額	27,507	0	令和7年度	4月1日時点	1.32	1.66
	補正後予算額	26,636	0				
	決算額	26,098	0		年度末時点	1.24	1.65
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	保健センター保守管理の執行率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができたため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	施設の老朽化に伴い、施設設備に故障等不具合が発生した際は、適正な修繕等を行い、施設の安定した管理運営に努めています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	心も身体も健康プランの推進		
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－2 健康づくりの推進		
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	「心も身体も健康プラン」の進捗報告等を通して、目標値の達成状況を検証し、今後新たな取り組みが必要な分野や事業の検討を実施します。			
関連する市の計画等	第3次心も身体も健康プラン			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	心も身体も健康プランの推進事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	4,373	0	令和5年度（年度末時点）	1.02 0.00
令和6年度	決算見込額	3,706	0	令和6年度（年度末時点）	1.74 0.00
令和7年度	当初予算額	1,169	0	令和7年度 4月1日時点	1.64 0.00
	補正後予算額	1,169	0		
	決算額	1,156	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	1.54 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	健康づくり推進協議会の開催回数	回	目標値	1	1	2	3	1	1	1
			実績値	1	1	2	1	1		
成果 指標	計画に位置づけられた事業の目標達成・改善率	%	目標値	37	39	40	40	50	50	50
			実績値	46	50	46	50	48		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	ほぼ予定どおりに各事業を遂行し、計画に位置づけられた事業の目標達成・改善率は目標値達成には至らないものの、例年と同等に達しています（令和7年度より目標値が大幅に引き上げられたため目標は未達成となりました）。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も継続して、心も身体も健康プランの目標達成に向けて、関係機関と連携し推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市民の自主的な健康づくりの推進	
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-2 健康づくりの推進	
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	市民の健康寿命の延伸を目指して、生活習慣の改善や生活習慣病の発生を予防する一次予防に重点を置き、健康や食育、歯と口腔の健康づくりに関するさまざまな取組を総合的かつ計画的に進めます。 ・各種健（検）診時や健康啓発事業などの開催、生活習慣を改善するための情報提供を通じて、市民の自主的な健康づくりを支援していきます。 ・特定健康診査やがん検診、脳ドックなどの生活習慣病予防対策に取り組むとともに、その重要性をPRし、受診率の向上を図ります。 ・生活習慣病のリスクがある人に保健指導や受診勧奨を行うなど、重症化予防対策に取り組みます。 ・市民や事業者、関係機関と連携して地域ぐるみで啓発イベントを開催するなど健康づくりの推進を図ります。		
関連する市の計画等	第3次心も身体も健康プラン		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	市民の自主的な健康づくりの推進事業		
	特定健診・特定保健指導等事業		
	がん患者アピアランスケア支援事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	361,636	0	令和5年度（年度末時点）	9.57 3.47
令和6年度	決算見込額	327,647	0	令和6年度（年度末時点）	8.00 3.62
令和7年度	当初予算額	400,077	0	令和7年度	4月1日時点 7.83 3.75
	補正後予算額	397,822	0		
	決算額	380,273	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	7.53 3.48

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	胃がん検診受診者数	人	目標値	2,175	2,687	3,192	3,691	4,182	4,671	5,155
			実績値	984	1,062	1,054	932	957		
活動 指標	大腸がん検診受診者数	人	目標値	4,296	4,794	5,286	5,770	6,247	6,725	7,196
			実績値	3,187	3,142	2,977	3,035	3,017		
活動 指標	肺がん検診受診者数	人	目標値	3,076	3,583	4,082	4,574	5,060	5,544	6,023
			実績値	1,121	1,417	1,215	1,192	1,211		
活動 指標	乳がん検診受診者数	人	目標値	10,183	10,643	11,095	11,540	11,978	12,423	12,862
			実績値	4,044	4,325	4,049	4,088	3,939		
活動 指標	子宮頸がん検診受診者数	人	目標値	6,042	6,366	6,683	6,994	7,298	7,630	7,960
			実績値	4,538	4,742	4,624	4,677	4,537		
成果 指標	胃がん検診受診率	%	目標値	4.1	5.1	6.1	7.1	8.1	9.1	10.1
			実績値	1.9	2.0	2.0	1.8	1.8		
成果 指標	大腸がん検診受診率	%	目標値	8.1	9.1	10.1	11.1	12.1	13.1	14.1
			実績値	6.0	5.9	5.6	5.7	5.7		
成果 指標	肺がん検診受診率	%	目標値	5.8	6.8	7.8	8.8	9.8	10.8	11.8
			実績値	2.1	2.7	2.3	2.2	2.3		
成果 指標	乳がん検診受診率	%	目標値	19.2	20.2	21.2	22.2	23.2	24.2	25.2
			実績値	15.4	16.6	15.6	15.8	15.1		
成果 指標	子宮頸がん検診受診率	%	目標値	15.9	16.9	17.9	18.9	19.9	20.9	21.9
			実績値	11.9	12.4	12.0	12.1	11.5		

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
（ほぼ順調	年間として健（検）診事業を予定どおり実施し、対前年受診率を概ね維持できたことから、ほぼ順調と評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和7年度の実績を継続するとともに、受診率向上のために、啓発活動を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域医療体制の充実		
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－2 健康づくりの推進		
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	・休日でも初期的な医療を受けられるよう、関係機関と連携して休日診療所を運営します。 ・小児救急医療を含めた救急医療サービスをいつでも受けられるよう、かかりつけ医などの身近な医療から高度な最先端技術を提供する医療、広域的な医療連携を含めて医療体制を維持していきます。 ・かかりつけ医を持つことの有効性についての周知、症状の軽い人は休日や夜間診療を利用しないなど、救急医療利用の適正化に向けた啓発活動を行います。			
関連する市の計画等	我孫子市保健センター・休日診療所長寿命化計画（個別施設計画）			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業		我孫子市休日診療所運営		
		救急医療整備事業		
	指	小児科診療所開業促進事業		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度	人工	
					正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	122,156	0	令和5年度（年度末時点）	1.91	0.00
令和6年度	決算見込額	126,803	0	令和6年度（年度末時点）	2.05	0.00
令和7年度	当初予算額	139,185	0	令和7年度	4月1日時点	2.05
	補正後予算額	141,037	0			0.00
	決算額	139,778	0	令和7年度	年度末時点	2.00
	次年度へ繰越	0	0			0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	災害医療対策会議の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1		
成果 指標	休日診療所が適切に開所された率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	指定事業を含め、当初予定した事業について遂行することができたため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も継続して医師会・歯科医師会・薬剤師会等と連携し、安定した医療体制を整備していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	感染症対策事業	
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－2 健康づくりの推進	
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	・感染症にかかることやかかった際の重症化を防ぐため、予防対策への啓発を行うとともに、予防接種や結核・肺がん検診などについての情報提供を行い、接種率、受診率の向上を図ります。 ・新たな感染症が発生した際には、予防接種の有効性が期待されることから、予防接種体制の構築に努めます。		
関連する市の計画等	第3次心も身体も健康プラン		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	住民結核健康診査事業		
	感染症対策事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	437,286	0	令和5年度（年度末時点）	4.70 5.26
令和6年度	決算見込額	189,487	4,938	令和6年度（年度末時点）	2.47 1.99
令和7年度	当初予算額	349,988	0	令和7年度	4月1日時点 2.18 2.35 年度末時点 1.61 2.34
	補正後予算額	225,102	0		
	決算額	174,289	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	結核・肺がん検診受診者数	人	目標値	4,936	5,363	5,792	6,224	6,658	7,098	7,541
			実績値	2,731	4,296	4,173	4,217	4,104		
成果 指標	結核・肺がん検診受診率	%	目標値	12	13	14	15	16	17	18
			実績値	6.5	10.2	10	10.1	9.8		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	年間として健（検）診事業を予定どおり実施し、対前年受診率を概ね維持できたことから、ほぼ順調と評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和7年度の実績を継続するとともに、受診率向上のために、啓発活動を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	親と子の健康づくりの推進		
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援		
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。		
事務事業の目的 ・概要	子どもの健やかな成長のため、妊産婦や親子への健康診査や相談などを通して、育児不安の軽減、親子の疾病の早期発見と早期治療・療育など、健康の保持増進につなげる取組を進めます。			
関連する市の計画等	第3次心も身体も健康プラン、こども総合計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	親と子の健康づくり推進事業			
	産後ケア事業の拡充			
	低所得の妊婦に対する妊娠判定料支援事業			
	妊娠届出書提出時面接業務			
	出産・すくすく子育て応援金の給付（経過措置）			
	1か月児健康診査助成			
	妊婦のための支援給付			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	174,736	19,200	令和5年度（年度末時点）	8.71 5.22
令和6年度	決算見込額	197,960	0	令和6年度（年度末時点）	9.54 6.93
令和7年度	当初予算額	199,056	0	令和7年度 4月1日時点	11.37 8.47
	補正後予算額	207,363	0		
	決算額	205,315	0	令和7年度 年度末時点	12.05 6.37
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	新生児訪問実施家庭数	件	目標値	759	744	727	666	650	641	633
			実績値	681	620	669	633	643		
成果 指標	訪問希望者への訪問率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	親と子の健康づくりの推進事業について、各個別推進事業において問題なく実施しており、ほぼ順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	全ての個別事務事業の実施について問題ないため、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	小児等予防接種事業	
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的 ・概要	子どもが感染症にかかることやかかった際の重症化を防ぐため、予防接種についての十分な情報提供を行い、予防接種法に基づく定期接種の接種率を向上させる取組を進めます。		
関連する市の計画等	第3次心も身体も健康プラン、こども総合計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	小児等予防接種事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	260,983	0	令和5年度（年度末時点）	1.60 1.02
令和6年度	決算見込額	319,846	0	令和6年度（年度末時点）	1.98 2.25
令和7年度	当初予算額	270,826	0	令和7年度 4月1日時点	1.50 2.66
	補正後予算額	266,918	0		
	決算額	255,672	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	1.00 2.62

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	BCG接種件数	件	目標値	759	744	727	666	650	641	633
			実績値	740	682	647	652	685		
成果 指標	BCG接種率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	99.5	98.7	99.7	102.8	99.4		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	接種勧奨等を実施し、成果指標は目標の100%に近い数値となり、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	感染症から子どもの健康を守るため、乳幼児・小中学生が国が定める定期の予防接種を受けることは、感染症の発病、重症化予防及び集団感染の予防の視点から必要な事業であることから、今後も推進をしていきます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名 : 健康福祉部 障害者支援課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・障害者のための施策に関する基本的な事項を定めた「第4期我孫子市障害者プラン」を推進するため、プランに定めた施策や事業を適切に管理していきます。

・身近な地域できめ細かい相談支援を実施するため、市内5か所の障害者まちかど相談室と連携を図り相談支援を充実させていきます。

・障害のある方の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、地域生活支援拠点等事業を推進し、障害のある方を地域全体で支えるサービス提供体制の構築に努めます。

・居宅介護、共同生活援助、短期入所等の事業所について、専門的、技術的支援を行うとともに、安定的な運営が継続できるよう支援していきます。

・障害のある方の成年後見制度の利用促進に向けた取り組みを行い、権利擁護事業の推進を図ります。

2. 課の目標への取組結果

障害福祉事業所が、適切なサービスを提供することで、障害のある方が、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるように、障害福祉事業者向けの集団指導及び実地指導を行いました。また、新たに制度の始まった就労選択支援や共同生活援助の施設に義務付けられた地域連携推進会議の開催について支援しました。

障害者まちかど相談室と連携を図り、障害のある方に寄り添った相談支援を行いました。

あらき園については、こども発達センターの給食をあらき園で調理するために厨房改修工事を実施しました。また、チャレンジドオフィスの運営を通じて一般就労に向けた訓練を行うため障害者を雇用しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

障害福祉サービスを提供する事業所の参入が増える中、サービスの質の確保や人材確保について体制整備に取り組むとともに、障害者まちかど相談室と連携し、障害を持った方が地域で自立した生活を送れるよう障害福祉サービスの提供や相談支援を行いました。

『「自分らしく」を応援するまちあびこ』の基本理念を実現し、障害福祉サービスのさらなる充実を図るため、第4期我孫子市障害者プランに基づき事業を推進しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための相談機能を充実させるため、地域生活支援拠点の整備を進めます。

障害者を取り巻く状況の変化を踏まえ、障害を持った方が地域で自立した生活を営めるよう、一人ひとりに寄り添った障害福祉サービスの提供や相談支援を継続して行っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	障害者プランの策定・推進		
	担当部署名	健康福祉部 障害者支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－4 障害者福祉の推進		
	施策の展開内容	障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。		
事務事業の目的 ・概要	障害のある人やその家族などからの相談に対し、専門的・総合的に対応するとともに、障害・子ども・高齢・医療などの関係機関と連携し、支援していきます。			
関連する市の計画等	我孫子市第7次健康福祉総合計画、第4期我孫子市障害者プラン			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	自立支援協議会の運営			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	297	0	令和5年度（年度末時点）	0.70 0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	0.15 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	0.10 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	0.10 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	障害者プランに位置付けている障害者サービス等の見込量の達成率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	101	106	111	102	104		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	障害福祉サービスを提供する事業所の増加や民間事業所の参入により、サービスの質の確保、人材確保が課題となっており、継続して事業所の体制整備に取り組むことが求められる。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	障害者を取り巻く状況や法整備の動向を的確に踏まえ、関係者の意見を反映しながら総合的な支援体制を充実していく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	障害福祉サービスに関する相談・支援の実施		
	担当部署名	健康福祉部 障害者支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－4 障害者福祉の推進		
	施策の展開内容	障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。		
事務事業の目的 ・概要	障害のある人やその家族などからの相談に対し、専門的・総合的に対応するとともに、障害・子ども・高齢・医療などの関係機関と連携し、支援していきます。			
関連する市の計画等	我孫子市第7次健康福祉総合計画、第4期我孫子市障害者プラン			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	日中一時支援事業			
	障害者移動支援事業			
	日常生活用具給付事業			
	障害者地域相談支援事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	244,085	0	令和5年度（年度末時点）	8.95 6.25
令和6年度	決算見込額	277,785	0	令和6年度（年度末時点）	9.25 5.85
令和7年度	当初予算額	270,787	0	令和7年度	4月1日時点 7.65 4.80
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0		
	次年度へ繰越	0	0	令和7年度	年度末時点 7.65 4.80

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	障害者手帳と自立支援医療（精神通院）受付件数	件	目標値		8,400	8,500	8,600	8,700	8,800	8,900
			実績値	8,406	8,644	8,969	8,408	8,636		
活動 指標	日常生活用具給付決定件数	件	目標値		3,200	3,250	3,300	3,350	3,400	3,450
			実績値	3,154	3,080	3,277	3,219	3,204		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	必要に応じた支援が適切にできていると評価できる。今後もニーズは増加していくと見込まれるため、引き続き継続する必要がある。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	障害者手帳所持数や日常生活用具利用者数は、個々の状況に基づき変動はあるものの全体的には増加傾向にある。対象者の増減に関わらず、障害により支援が必要になった方に対し、迅速に福祉サービスの提供や相談支援等できるよう、事業を継続していく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	障害者への経済的支援	
	担当部署名	健康福祉部 障害者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－4 障害者福祉の推進	
	施策の展開内容	障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	障害のある人やその家族などが安心して暮らせるよう、経済的な負担を軽減する支援を行います。		
関連する市の計画等	我孫子市第7次健康福祉総合計画、第4期我孫子市障害者プラン、第5次行政改革推進プラン（福祉手当のあり方検討）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	重度障害者（児）医療費給付事業		
	特別障害者手当		
	障害児福祉手当		
	我孫子市福祉手当		
	補装具給付事業		
	更生医療給付事業		
	障害者自立支援給付事業		
	障害者福祉システムの更新		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	障害者福祉システム運用委託（R6～R11年度 120,480千円）		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	3,012,314	0	令和5年度（年度末時点）	5.10 3.15
令和6年度	決算見込額	3,284,906	0	令和6年度（年度末時点）	5.00 3.15
令和7年度	当初予算額	3,452,204	0	令和7年度	4月1日時点 7.40 4.20
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	7.40 4.20

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	障害福祉サービス延利用人数	人	目標値		16,500	17,000	17,500	18,000	18,500	19,000
			実績値	15,636	16,623	16,552	19,909	20,816		
活動 指標	補装具給付決定件数	件	目標値		310	320	330	340	350	360
			実績値	290	295	315	292	293		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	障害のある方やその家族が地域で安心して暮らし、自立を目指せるような環境を整えることができたことから、概ね指標どおり事業を遂行することができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	多くの障害者は各種手当や年金、少額の福祉的就労工賃等の収入で生活していることから、経済的な負担を軽減する事業は重要である。また、地域で自立した生活を送るうえで、充実した福祉サービスを提供する必要があることから事業を推進していく。

令和7年度 課の目標管理書

課 名 : あらき園

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

あらき園では、障害者の日中活動の場として日常生活において常時介護が必要な方に対し食事や排せつの支援、機能訓練、体力づくり、創作的活動、季節に合わせた行事、各種の余暇活動などの支援を行う生活介護事業を継続して実施していきます。

市で推進する地域生活支援拠点等事業においては、市内のどの福祉サービス事業所でも質の高いサービスが提供できるようにあらき園から専門職員を派遣し、技術的支援を行うことで「専門的人材の確保・育成」を行い、基幹施設としての役割を担います。

我孫子市の障害者支援の基幹施設・重度障害者のセーフティーネット・災害時の指定福祉避難所として事業に取り組んでいきます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

こども発達センターの給食をあらき園厨房で調理するために厨房を改修し、こども発達センターへの渡り廊下を新設しました。また、社会福祉事業基金を活用した摂食嚥下支援やリハビリテーション支援に係る職員を対象とした研修や「アニマルセラピー」を実施し、利用者支援の充実を図りました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

障害者の日中活動の場として、日常生活において常時介護が必要な方に対して、食事や排せつの支援とともに、機能訓練、体力づくり、創作的活動、季節に応じた行事、各種余暇活動の支援を行う生活介護事業を継続して実施しました。

利用者個々の障害特性を配慮し、安定して過ごせるようサービスの提供を行いました。

サービスの提供にあたっては、個々のニーズをくみ取れるよう家庭や相談支援事業所と連携し情報や支援方針の共有を行いました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

多様化、重度化、重複化、高齢化する利用者への支援並びに専門職による他施設への技術支援に対応できるように人員の確保と専門職の確保が必要となってきます。また、利用者の医療的ケアに対応していくために、職員体制を整えておく必要があります。

また、老朽化した分館が令和8年度末をもって使用停止となることから、本館での支援を安全かつ円滑に実施できるよう、準備を進める必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	生活介護対象者支援事業	
	担当部署名	健康福祉部 あらき園	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－4 障害者福祉の推進	
	施策の展開内容	障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	・日常生活上の支援が必要な障害のある人に対し、食事や排せつなどの介護を行うとともに、軽作業などの生産活動や創作活動の機会を提供していきます。 ・障害に対する理解を深めるために、ボランティアなどの受け入れや地域住民との交流を推進します。		
関連する市の計画等	「我孫子市第7次健康福祉総合計画」、「第4期我孫子市障害者プラン」、「我孫子市障害者福祉施設等個別施設計画」、第5次行政改革推進プラン（福祉3施設の給食調理機能の最適化）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	利用者の健康管理		摂食嚥下支援技術向上事業
	利用者送迎サービス		リハビリテーション支援技術向上事業
	給食サービス		アニマルセラピー事業
	支援技術の向上		
	リスクマネジメント		
	地域交流		
	福祉人材の育成		
	あらき園施設の維持管理		
	あらき園厨房改修及びこども発達センター渡り廊下設置工事		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	71,987	0	令和5年度（年度末時点）		10.85	23.45
令和6年度	決算見込額	268,208	0	令和6年度（年度末時点）		11.05	25.80
令和7年度	当初予算額	83,491	0	令和7年度	4月1日時点	9.85	24.52
	補正後予算額	78,673	0				
	決算額	77,466	0		年度末時点	10.75	24.52
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	出席率	%	目標値	100	85	85	85	85	85	85
			実績値	81	80	80	79	78		
活動 指標	個別対応食の対応率（全利用者に対する個別対応食利用者数の割合）	%	目標値		80	82	83	84	84	85
			実績値	80	80	81	81	83		
活動 指標	摂食嚥下スーパーバイザーによる巡回給食指導を受けた延べ件数	件	目標値		30	30	30	30	30	30
			実績値	25	22	25	26	28		
成果 指標	利用者(保護者)の通所満足度	%	目標値		75	76	77	78	79	80
			実績値	75	76	75	88	82		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	実績値は目標に達していませんが、全て問題なく実施し、かつ利用者、保護者の満足度が高いことから順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き事業を推進していきます。また、多様化、重度化、重複化、高齢化する利用者への支援に対応できるよう人員や専門職の確保を検討していきます。 老朽化した分館が令和8年度末をもって使用停止となることから、本館での支援を安全かつ円滑に実施できるよう、準備を進めます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名 : 障害者福祉センター

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・地域活動支援センター事業では、障害のある方の自立と社会参加を促進するため、各種訓練を実施します。

・自立訓練（生活訓練）では、障害のある方の社会生活力を高めるための訓練を実施します。

・基幹機能強化事業では、民間の福祉施設の職員に対し、専門職による技術支援等を行います。

・障害のある方の社会参加を促進するため、手話講習会の開催、市内のバリアフリー情報の提供、失語のある人向け意思疎通支援事業を実施します。

・障害者就労支援センターでは、障害者が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるように、チャレンジドオフィスあびこを実施して障害者の雇用の促進と、職場定着を支援します。

・障害者就労支援センターが中核となって、特別支援学校、ハローワーク、市内外の福祉施設等と連携し、支援体制の構築、強化を図ります。

2. 課の目標への取組結果

障害者福祉センター、障害者就労支援センターの目標で示したとおり、全取り組みを実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

民間の福祉施設と連携を図りながら、障害のある方々の自立と社会参加の促進を図ることができました。

障害者の就労に関わる関係機関と連携しながら、障害者の職場定着を図ることができました。

チャレンジドオフィスあびこの運営を通じて障害者の雇用の促進、就労定着の支援をしました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

障害者福祉センターは、令和8年度末までの施設利用を見込んでおり、関係機関と協議を重ねながら各事業について検討を行い、移行が必要な事業については令和7年度より順次引継ぎを行っています。

障害者就労支援センターは令和7年度の取り組みを今後も継続していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	障害者の社会参加・自立支援	
	担当部署名	健康福祉部 障害者福祉センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－4 障害者福祉の推進	
	施策の展開内容	障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	・地域の公共施設やサービス提供機関、市民団体などと連携を図り、障害のある人が自立できるよう、日常生活訓練や運動機能訓練を行います。 ・障害のある人がイベントなどに参加できるよう支援し、障害に対する理解を深めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	自立訓練（生活訓練）事業		利用者送迎支援
	バリアフリー情報提供事業		地域活動支援センター事業
	基幹機能強化事業		
	失語のある人向け意思疎通支援者の派遣		
	手話講習会		
	障害者（本人及び団体）やボランティアに対する支援		
	障害者スポーツ大会		
	障害者福祉センターの維持管理		
	相談支援事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	障害者福祉センター空調設備賃貸借 H30～R9年度 17,146千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	14,510	0	令和5年度（年度末時点）	3.10 3.50
令和6年度	決算見込額	15,402	0	令和6年度（年度末時点）	3.10 3.50
令和7年度	当初予算額	16,761	0	令和7年度	4月1日時点 3.10 3.50
	補正後予算額	16,247	0		
	決算額	15,675	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	3.10 3.50

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	地域活動支援センター事業の訓練参加人数	人	目標値	80	70	60	50	50	50	－
			実績値	80	71	56	54	52		
活動 指標	自立訓練（生活訓練）の利用者の訓練参加人数	人	目標値	5	5	5	5	5	5	－
			実績値	5	1	0	0	0		
成果 指標	地域活動支援センター事業利用者の社会参加者数	人	目標値	30	25	20	15	15	15	－
			実績値	33	23	21	19	19		
成果 指標	自立訓練（生活訓練）の利用者のうち、社会参加を果たした人数	人	目標値	5	5	5	5	5	5	－
			実績値	4	1	0	0	0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	民間施設と連携を図りながら社会参加支援ができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業を縮小する	令和8年度をもって施設の利用を終了することから、障害者福祉センターで実施している各事業について方針を決定していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	障害者の一般就労に関する相談・支援の実施		
	担当部署名	健康福祉部 障害者福祉センター		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－2 就労支援の充実		
	施策の展開内容	関係機関と連携しながら、求職者に対する就業に向けた情報や相談の場の提供などにより、就労機会の創出と定着を図るとともに、働きやすい職場づくりを実践する事業者に対する支援などを行い、雇用環境の充実を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	・障害者を雇用する事業者を支援し、障害者の雇用を促進していきます。 ・障害のある人がそれぞれの能力や特性に応じて安定して働き続けられるよう、就労に関する個別相談や定着のための支援などを実施するとともに、事業者や社会福祉法人などの関係機関と連携し、就労支援体制を強化します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	障害者の一般就労に関する相談・支援の実施			
	障害者就労支援体制の構築			
	チャレンジドオフィスあびこの実施			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	135	0	令和5年度（年度末時点）	1.80 5.40
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	1.80 5.30
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度	4月1日時点 1.80 6.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	1.80 5.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	支援対象者数	人	目標値	210	210	215	215	215	215	220
			実績値	217	184	152	153	169		
活動 指標	チャレンジドオフィスあびこスタッフ数（令和5年度開始）	人	目標値			3	4	4	5	5
			実績値			3	4	4		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	離職者や就労につながらなかった方もいますが、個々の状態に合わせた個別相談や就労定着支援を実施したためほぼ順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	障害者の雇用の促進および安定を図るためにチャレンジドオフィスあびこの運営、障害者就労支援センターの事業を継続します。

令和7年度 課の目標管理書

課 名： 高齢者支援課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせるように、「第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画」に基づき、引き続き事業を推進します。また、国の指針に基づき「次期介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画」策定に向け、アンケート調査を実施します。

高齢者がその有する能力に応じて自立した生活ができるよう、在宅医療と介護の連携、認知症対策、健康寿命延伸施策を推進し、日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケア体制の充実を図ります。

地域住民やNPO、企業など多様な主体がサービス提供の担い手となり、高齢者の様々なニーズに対応する支援体制の構築・強化を推進します。

さらに、地域住民をはじめとする多様な主体がつながり、活動する地域共生社会の取り組みを推進します。

介護保険料の多様な納付方法について周知し利便性の向上に努め、収納率を上げ安定的に運営します。

災害や感染症対策にかかる支援体制の充実・強化を図ります。

2. 課の目標への取組結果

○「第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画」に基づき各事業を推進しました。高齢者がその有する能力に応じて自立した生活ができるよう、在宅医療と介護の連携、認知症対策などを推進し、日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの充実を図りました。さらに、今後不足する介護従事者の人材の確保対策として、市内の福祉事業所が出展する「福祉のしごと相談会」の開催、市内高校の生徒の福祉施設見学会の受入れ、介護職員の研修費用への助成制度の創設等を行いました。

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の取組を推進し、フレイル予防等の普及啓発活動を実施しました。また、健康状態が不明な高齢者等の健康状態の把握に努め、医療や介護サービス等につなげ、疾病予防・重症化予防に努めました。

○高齢者福祉センターのあり方方針に基づき、老朽化する施設の修繕を行い、1館に統合した影響を確認しながら適切な運営が出来るよう支援しました。

○介護保険料の多様な納付方法については、スマートフォン決済の導入・運用に加え、eLTAXの導入検討等、更なる利便性の向上を目指し取り組みました。

○浸水想定区域や土砂災害警戒区域の介護保険施設において避難確保計画の策定及び避難訓練の実施について支援しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

当初の予定どおり「介護保険事業計画・高齢者福祉計画」に基づき事業を推進したことにより、課の目標達成に向けた取り組みが概ねできたと評価します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域包括ケアシステムのさらなる深化を目指し、引き続き事業を確実に推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	成年後見制度利用の支援		
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進		
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。		
事務事業の目的 ・概要	認知症や障害の状態にともない判断能力が低下し、生活に支障が生じている人が尊厳を持って生活できるよう、成年後見制度活用に対する支援を実施しま す。			
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	成年後見制度利用への支援			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	7,949	0	令和5年度（年度末時点）	0.30 0.25
令和6年度	決算見込額	8,733	0	令和6年度（年度末時点）	0.60 0.25
令和7年度	当初予算額	9,831	0	令和7年度 4月1日時点	0.45 0.25
	補正後予算額	10,036	0		
	決算額	9,860	0		
	次年度へ繰越			年度末時点	0.15 0.25

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	成年後見制度等に係る相談対応件数	件	目標値	なし	480	490	500	510	520	530
			実績値	586	601	614	830	799		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	相談に適宜対応し、成年後見制度の手続きを行える親族が不在の方には市が申立て手続きを行い、滞りなく実施することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も認知症の高齢者は増加が見込まれるため、制度の周知を一層図るとともに現状通り推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高齢者の生きがいと健康づくり	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－3 高齢者福祉の推進	
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	
事務事業の目的 ・概要	高齢者が生きがいを持って充実した生活を送ることができるよう、地域で住民同士が交流できる場や健康づくりに参加できる環境を整えるとともに、就労機会の確保に努めます。		
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	きらめきデイサービスの促進		
	シルバー人材センターへの支援		
	高齢者福祉センターの運営		
	敬老祝金の贈呈		
	高齢社会への対応を探索事業の推進		
	老人クラブ活動の充実		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	老人福祉センターつつじ荘指定管理委託（協定変更分）R7 16,618千円、老人福祉センターつつじ荘指定管理委託 R7～R9年度 192,772千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	119,912	0	令和5年度（年度末時点）		2.30	0.70
令和6年度	決算見込額	120,372	0	令和6年度（年度末時点）		2.20	0.60
令和7年度	当初予算額	109,692	0	令和7年度	4月1日時点	2.10	0.60
	補正後予算額	111,455	0				
	決算額	106,713	0		年度末時点	2.10	0.60
	次年度へ繰越	3,116	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	会員数（シルバー人材センター）	人	目標値	784	800	800	800	800	800	800
			実績値	615	614	594	580	532		
活動 指標	贈呈者数（敬老祝金）	人	目標値	716	762	808	808	808	808	808
			実績値	732	737	882	829	954		
活動 指標	イベント等の来場者数（高齢社会への対応を探索会）	人	目標値	500	500	500	500	500	500	500
			実績値	457	668	767	813	619		
活動 指標	会員数（老人クラブ）	人	目標値	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010
			実績値	1,670	1,539	1,389	1,308	1,309		
活動 指標	年間延べ利用者数（高齢者福祉センター2施設合計）	人	目標値	65,700	65,900	66,100	66,100	38,800	38,800	38,800
			実績値	11,742	25,363	40,692	43,901	34,079		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	高齢者福祉センターの利用者数は、2施設を統合したことにより減少していますが、一定の利用者がつつじ荘に移行しています。前期高齢者の生活様式の変化や後期高齢者の増加などにより目標値に届かない事業があるが、市内の高齢者の年齢構成や60代の就労状況を鑑みれば概ね順調であると考えられます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	高齢者福祉センターの統合は受け入れられつつあるものの、事業と前期高齢者の生活様式の変化や後期高齢者の増加などにより目標値に届かない事業があります。高齢者の生きがいと健康づくりのために今後も推進していく必要がありますが、内容等は適宜見直していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	介護予防の推進	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－3 高齢者福祉の推進	
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	
事務事業の目的 ・概要	高齢者が介護予防の必要性を理解し、身近な地域で自ら介護予防に取り組むことができる環境を整えるとともに、適切なサービスなどにつなぐことで疾病予防・重症化予防を推進します。		
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	一般介護予防事業の推進		
	介護予防・生活支援サービス事業の推進		
	介護予防マネジメントの管理		
	地域介護予防活動の支援		
	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	312,763	0	令和5年度（年度末時点）	2.90 3.60
令和6年度	決算見込額	294,083	0	令和6年度（年度末時点）	2.90 3.20
令和7年度	当初予算額	354,790	0	令和7年度	4月1日時点 2.40 4.00
	補正後予算額	346,706	0		
	決算額	327,849	0		
	次年度へ繰越			年度末時点	2.90 4.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	遊具うんどう教室・介護予防教室・出前講座・講演会の参加者数	人	目標値	1,250	1,270	1,290	1,290	1,290	1,290	1,290
			実績値	1,214	1,376	1,980	2,015	2,379		
活動 指標	要介護認定に至らない高齢者の増加（1号被保険者の介護保険認定率／推定値）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	99	97	100	102	102		
活動 指標	介護予防強化型きらめきディサービスへの参加者数	人	目標値	12,720	13,440	14,040	14,040	14,040	14,040	14,040
			実績値	6,504	7,552	7,738	8,950	9,282		
活動 指標	一体的実施ポピュレーションアプローチにおけるフレイル予防の理解度	%	目標値	95	95	95	95	95	95	95
			実績値	99	99	99	98	99		
活動 指標	介護保険ボランティアポイント制度の登録者数	人	目標値	580	590	600	610	610	610	620
			実績値	450	410	384	335	327		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	ボランティア制度登録者数の減少率が緩やかになり、介護予防事業の参加者は増加傾向、フレイル理解度も目標値以上を維持できており概ね順調です。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	高齢者や要介護（要支援）認定者が増加しているなか、多くの高齢者に介護予防の知識を普及するとともに、早い段階から介護予防への取り組みが重要となります。今後も継続して知識の普及啓発や地域の高齢者の活躍できる機会を確保していく必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高齢者のための地域福祉の推進	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－3 高齢者福祉の推進	
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	
事務事業の目的 ・概要	・高齢者やその家族からの相談に対して、関係機関と連携しながら課題解決に向けた支援を実施します。 ・高齢者の意思を尊重した最適なサービスが利用できるよう、介護サービス計画に係る情報の共有とケアマネジャーの資質の向上を図ります。		
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	ケアマネジャー支援事業		
	高齢者なんでも相談室の運営・支援		
	地域ケア会議の開催		
	生活支援体制整備事業の推進		
	高齢者虐待防止		
	社会福祉法人介護サービス利用料減免の充実		
	新型コロナウイルス感染症への対策事業		
	介護職員養成研修受講費助成事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	163,334	0	令和5年度（年度末時点）		4.60	1.70
令和6年度	決算見込額	178,447	0	令和6年度（年度末時点）		6.30	2.00
令和7年度	当初予算額	181,423	0	令和7年度	4月1日時点	5.70	2.00
	補正後予算額	180,056	0				
	決算額	147,268	0		年度末時点	4.30	2.00
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	地域包括ケア会議の開催回数	回	目標値	15	18	21	24	27	28	33
			実績値	18	23	28	24	33		
成果 指標	市内全指定居宅介護支援事業者への相談支援数 （市内6高齢者なんでも相談室での相談件数）	件	目標値	500	510	520	530	530	540	540
			実績値	1,317	713	2,020	2,911	3,068		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	高齢者数の増加に比例して困難事例の相談も増加傾向にありますが、地域包括ケア会議も適宜開催することで関係機関との連携を図り、順調に実施することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も相談対応件数の増加が見込まれるため、現状通り推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高齢者在宅支援事業	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－3 高齢者福祉の推進	
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	
事務事業の目的 ・概要	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、市民団体や福祉サービス事業所など、あらゆる主体と協力しながら、身近な場所で必要な生活支援サービスを利用できる環境をつくります。		
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画、第5次行政改革推進プラン（緊急通報システムの最適化、配食サービスのあり方検討）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	居宅介護支援助成		
	住宅改修事業の拡大		
	老人福祉電話の推進		
	緊急通報システムの充実		
	高齢者移送サービスの促進		
	高齢者賃貸住宅住み替え助成事業の推進		
	在宅医療・介護連携推進事業		
	配食サービス		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	緊急通報システム運用委託 R6～R7年度 14,099千円、配食サービス事業業務委託 R7～9年度 19,062千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	22,594	0	令和5年度（年度末時点）		0.55	0.20
令和6年度	決算見込額	32,045	0	令和6年度（年度末時点）		0.95	0.20
令和7年度	当初予算額	32,550	0	令和7年度	4月1日時点	0.85	0.20
	補正後予算額	32,360	0				
	決算額	29,704	0		年度末時点	0.75	0.20
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	助成件数（居宅介護支援助成）	件	目標値	1	1	1	1	1	1	1
			実績値	0	0	0	0	-		
活動 指標	助成件数（住宅改修）	件	目標値	1	1	1	0	0	0	0
			実績値	0	1	0	-	-		
活動 指標	設置者数（緊急通報システム）	人	目標値	210	210	210	210	210	210	210
			実績値	192	192	179	165	155		
活動 指標	助成件数（高齢者移送サービス）	件	目標値	3,450	3,460	3,470	3,470	3,470	3,470	3,470
			実績値	2,775	2,900	2,738	3,183	3,063		
活動 指標	助成件数（高齢者賃貸住宅住み替え助成）	件	目標値	1	1	1	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	-	-		
活動 指標	年間延べ貸与台数（老人福祉電話）	台	目標値	13	12	12	12	12	12	12
			実績値	14	16	13	10	9		
活動 指標	年間延べ配食数（配食サービス）	食	目標値	26,700	26,800	26,800	26,800	26,800	26,800	26,800
			実績値	26,002	22,060	23,977	22,732	26,162		

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	後期高齢者の増加などにより要介護認定の状況や生活状況が変化し、目標値に届かないと考えられる事業がありますが、市内の高齢者の年齢構成を鑑みれば概ね順調と考えられます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	前期高齢者が減少し後期高齢者が増加する傾向が続いており、要介護認定の状況や生活状況が変化することに伴い、サービスなどの要望も変化していくと考えられます。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには必要な事業であり、内容については適宜、見直していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	認知症高齢者の支援		
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－3 高齢者福祉の推進		
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。		
事務事業の目的 ・概要	認知症高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症の早期発見、早期支援を行うとともに、認知症を正しく理解し、認知症高齢者とその家族を地域で支える取組を進めます。			
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	SOSネットワーク事業			
	徘徊探知システム			
	認知症高齢者グループホーム利用料助成事業の推進			
	認知症早期発見事業			
	認知症地域支援推進事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	9,373	0	令和5年度（年度末時点）	1.40 0.05
令和6年度	決算見込額	9,880	0	令和6年度（年度末時点）	1.70 0.05
令和7年度	当初予算額	16,519	0	令和7年度	4月1日時点 1.65 0.05
	補正後予算額	12,804	0		
	決算額	11,541	0		
	次年度へ繰越			年度末時点	1.55 0.05

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	認知症に関する相談受付件数	件	目標値	710	720	730	740	740	750	750
			実績値	628	820	835	1,146	911		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	認知症に関する相談は増加傾向にあり、内容に応じて医療・介護サービス等の情報提供、調整を図り、順調に実施することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	認知症の人の増加に対応するため、認知症に関する啓発・制度周知・ネットワーク構築を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	社会福祉施設入所支援	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－3 高齢者福祉の推進	
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	
事務事業の目的 ・概要	・在宅での生活が困難な高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためのサービスを提供する社会福祉施設の整備を進めます。 ・高齢者の状態に応じて、適切な施設に入所できるよう支援します。		
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	社会福祉施設整備促進事業	
		特別養護老人ホーム・養護老人ホーム入所措置	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	49,664	0	令和5年度（年度末時点）	0.35 0.20
令和6年度	決算見込額	127,281	0	令和6年度（年度末時点）	0.55 0.30
令和7年度	当初予算額	124,353	0	令和7年度	4月1日時点 0.55 0.30
	補正後予算額	123,121	0		
	決算額	42,599	0		
	次年度へ繰越	78,845	0	令和7年度	年度末時点 0.45 0.30

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	措置者数（養護老人ホーム）	人	目標値	8	9	9	9	9	9	9
			実績値	8	6	7	5	5		
活動 指標	措置者数（やむを得ない事由）	人	目標値	8	9	9	9	9	9	9
			実績値	19	15	14	14	20		
活動 指標	第8期介護保険事業計画に基づき整備する特別 養護老人ホームの整備	箇所	目標値	0	0	0	1	0	0	0
			実績値	0	0	0	1	0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	措置や、やむを得ない措置が必要な高齢者の生活と権利を守るために、必要な高齢者に対して迅速に居宅サービスを提供することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後、後期高齢者が徐々に増えていく中で、状況を鑑みながら施設入所者の待機者数が増大しないよう施設整備を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	介護保険制度の運営	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－5 生活支援の推進	
	施策の展開内容	年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	・介護を必要とする人に適切なサービスを提供できるよう、要支援・要介護者の状態に合わせた認定とサービスの質の向上に努めます。 ・介護保険制度を健全に運営するため、納付方法の多様化により利便性を向上させるとともに、保険料の収納率向上を図ります。		
関連する市の計画等	第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	介護保険に関する苦情・相談窓口		地域密着型サービス事業者の指定・指導・監督事務
	介護保険サービスの適正化		介護保険事業計画の推進
	介護保険賦課徴収		介護相談員派遣
	住宅改修費・福祉用具購入費支給		居宅介護支援助成
	居宅介護サービス等給付		介護保険事業計画の策定
	高額介護サービス費等支給		
	介護保険受給資格・管理運営		
	介護認定審査会		
	介護認定調査		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	10,752,697	0	令和5年度（年度末時点）	7.20 18.40
令和6年度	決算見込額	10,492,724	0	令和6年度（年度末時点）	8.20 17.60
令和7年度	当初予算額	12,338,306	0	令和7年度	4月1日時点 8.20 17.60
	補正後予算額	12,216,514	0		
	決算額	11,920,504	0		
	次年度へ繰越			年度末時点	8.20 18.40

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	認定申請件数	件	目標値	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
			実績値	5,379	5,319	5,726	5,511	5,919		
活動 指標	介護給付の適正化（認定データと給付データの 突合件数）	件	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績値	5,507	6,064	5,440	5,504	5,782		
活動 指標	介護相談員の活動派遣施設数	施設	目標値	29	29	29	29	29	29	29
			実績値	0	0	0	10	22		
成果 指標	要介護認定申請日から30日以内に決定した割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	12	8	6	5	3		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調とはいえない	高齢化の進展により要介護申請から認定まで30日を超えてさらに長期化しています。今後市民のサービス利用状況に影響が出ることを防ぐため、手法を見直しつつ迅速な要介護度の認定が出来るようにしていきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	必要な方に必要な支援を届けられるようにするため、要介護申請から調査、認定までの流れを見直し、より迅速に要介護度の認定が出来るよう進めていきます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名： 国保年金課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

◎国民健康保険事業は、被保険者の高齢化や医療技術の進歩などに伴い一人当たりの保険給付費の増加傾向が続いている中、被保険者が安心して生活できるように必要な保険給付を適正に行っていきます。また、保健事業にあたっては、第3期データヘルス計画に基づいた糖尿病性腎症重症化予防事業や生活習慣病予防事業などの保健事業を推進するとともに、短期人間ドックなどの助成事業においても適正に実施し、生活習慣病予防に努めます。

特定健康診査・特定保健指導事業についても、受診率の向上を目指し健康づくり支援課と連携を図っていきます。

国民健康保険税は、事業を安定的に運営していく上で重要な財源であることから、公平かつ公正に賦課するとともに、財産調査の結果に基づく滞納処分等を実施し、滞納世帯の減少及び収納率の向上に努めます。

国民健康保険の広域化については、引き続き保険者である県と連携し円滑な運用が図られるよう迅速な対応に努めるとともに、県が算定する標準保険税率や納付金を参考に保険税率の検討を進め、適切に対応していきます。

健康保険証の利用登録がされたマイナンバーカードを基本とする仕組みについて、国が作成したリーフレット等を活用しながら、引き続き周知に努めます。

◎後期高齢者医療制度については、被保険者が安心して医療を受けられるよう千葉県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、きめ細やかな対応や情報提供を行うとともに、制度の運営が適切かつ円滑に行われるよう努めます。

◎国民年金事務については、資格の得喪届出や裁定請求の受理・審査などの法定受託事務及び年金の納付記録に関する問い合わせなどについて、松戸年金事務所と連携を図りながら丁寧な対応に努めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。なお、保健事業については、効果的・効率的な実施を図るため、各種事業を実施しました。また、国民健康保険の広域化については、県が算定する標準保険税率や納付金を参考に保険税率の検討を進めた結果、令和7年度中に令和8年度の税率改定を決定しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

国民健康保険の被保険者の多くは、年齢構成が高く、所得については低い傾向にあります。また、医療技術の高度化や高齢化の進展から一人当たりの医療費は増加傾向となっています。被保険者が必要な医療を安心して受けられるよう、主たる財源である国民健康保険税や後期高齢者医療保険料の収納率の向上を図るとともに、データヘルス計画に基づいた各種事業を実施し、被保険者の健康寿命の延伸を目指した上で医療費の適正化を図り、健全な運営に努めました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

今後も引き続き各制度を適切かつ円滑に運営するため各種事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市民の自主的な健康づくりの推進（国保）	
	担当部署名	健康福祉部 国保年金課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－2 健康づくりの推進	
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	生活習慣病のリスクがある人に保健指導や受診勧奨を行うなど、重症化予防対策に取り組みます。		
関連する市の計画等	第2期我孫子市国民健康保険データヘルス計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	糖尿病性腎症重症化予防事業		
	生活習慣病治療中断者受診勧奨事業		
	特定健康診査未受診者対策事業		
	特定保健指導未利用者対策事業		
	健康課題に応じた健康づくり事業の連携		
	後期高齢者医療被保険者の保健事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	糖尿病性腎症重症化予防事業R6～R8年度 17,457千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	128,522	0	令和5年度（年度末時点）	3.25 0.80
令和6年度	決算見込額	99,830	0	令和6年度（年度末時点）	3.00 0.80
令和7年度	当初予算額	133,755	0	令和7年度	4月1日時点 3.00 0.80 年度末時点 3.00 0.80
	補正後予算額	138,961	0		
	決算額	124,220	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	保健指導参加勧奨通知の発送割合【糖尿病性腎症重症化予防事業】	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	受診勧奨通知の発送割合【糖尿病性腎症重症化予防事業、生活習慣病治療中断者受診勧奨事業】	%	目標値	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100
			実績値	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100		
活動 指標	受診勧奨対象者のうち、電話番号を把握している者への電話勧奨実施率【糖尿病性腎症重症化予防事業、生活習慣病治療中断者受診】	%	目標値	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20
			実績値	【糖】59.0 【生】44.9	【糖】90.7 【生】28.7	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100		
活動 指標	後期高齢者医療被保険者に対するはり・きゅう利用率	%	目標値	95.0	96.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0
			実績値	47.1	50.8	49.9	50.7	52.7		
成果 指標	保健指導完了者のうち、検査結果が維持または改善した者の割合【糖尿病性腎症重症化予防事業】	%	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
			実績値	75.0	66.7	33.0	66.7	67.0		
成果 指標	受診勧奨対象者のうち、受診を再開した者の割合【糖尿病性腎症重症化予防事業、生活習慣病治療中断者受診勧奨事業】	%	目標値	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10
			実績値	【糖】14 【生】17	【糖】8.6 【生】5.3	【糖】9.5 【生】17.4	【糖】12.5 【生】10.6	【糖】12.6 【生】10.2		
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	引き続き、目標達成を目指して取り組んでいきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	目標を達成している事業については、引き続き安定した成果を上げることを目指します。 また、未達成の事業については、目標を達成できるよう事業を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	国民健康保険制度の運営		
	担当部署名	健康福祉部 国保年金課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－5 生活支援の推進		
	施策の展開内容	年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	国民健康保険制度を健全に運営するため、国民健康保険税率や負担割合などについて、被保険者に対して丁寧な説明と正確な情報提供を行っていくとともに、国民健康保険税の収納率向上を図ります。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	国保税の啓発			
	国保税の収納			
	国保税の滞納整理			
	国保税の賦課			
	国保運営協議会			
	国民健康保険窓口業務等の委託事業			
	被保険者証・受給者証の交付更新			
	保険給付事業			
	国民健康保険システム標準準拠システムへの対応			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	国民健康保険窓口等業務委託R6～R8年度 70,383千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	11,261,271	0	令和5年度（年度末時点）	10.75 9.60
令和6年度	決算見込額	10,617,853	0	令和6年度（年度末時点）	10.00 8.40
令和7年度	当初予算額	11,489,566	0	令和7年度	4月1日時点 10.00 8.40 年度末時点 10.00 8.40
	補正後予算額	11,453,208	0		
	決算額	10,945,587	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	来庁に対する民間事業者の窓口受付対応率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	適正な国民健康保険事業の運営ができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	国民健康保険制度を健全に運営するため資格や賦課の適正化に努めるとともに、保険税の徴収率の向上を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	後期高齢者医療制度の運営		
	担当部署名	健康福祉部 国保年金課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－5 生活支援の推進		
	施策の展開内容	年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	後期高齢者医療制度を健全に運営するため、保険料や負担割合などについて、被保険者に対して丁寧な説明と正確な情報提供を行っていくとともに、保険料の収納率向上を図ります。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	後期高齢者医療窓口業務等の委託事業			
	後期高齢者医療広域連合負担金			
	後期高齢者医療事務			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	後期高齢者医療窓口等業務委託R6～R8年度 39,591千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	3,904,179	0	令和5年度（年度末時点）	2.75 0.80
令和6年度	決算見込額	3,733,823	0	令和6年度（年度末時点）	2.80 1.60
令和7年度	当初予算額	4,356,664	0	令和7年度 4月1日時点	2.80 1.60
	補正後予算額	4,460,169	0		
	決算額	4,432,008	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	2.80 1.60

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	来庁に対する民間事業者の窓口受付対応率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	広域連合負担金負担分の支出	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	適正な後期高齢者医療保険事業の運営ができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	後期高齢者医療保険制度を健全に運営するため、資格や賦課の適正化に努めるとともに、保険料の収納率の向上を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	国民年金制度の運営		
	担当部署名	健康福祉部 国保年金課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－5 生活支援の推進		
	施策の展開内容	年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	国民年金制度の長期的な安定を図るため、制度内容の周知や窓口相談体制の充実に努め、制度への加入の促進と保険料の納付率向上を図ります。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	国民年金加入促進及び納付奨励			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	384	0	令和5年度（年度末時点）	4.15 2.40
令和6年度	決算見込額	149	0	令和6年度（年度末時点）	3.20 3.20
令和7年度	当初予算額	250	0	令和7年度	4月1日時点 3.20 3.20
	補正後予算額	1,067	0		
	決算額	935	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	3.20 3.20

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	国民年金の届出・申請等の受理に係る年金機構 への報告率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	日本年金機構と連携を図りながら、適正な国民年金事業の運営ができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	国民年金制度の長期的な安定を図る上で、制度内容の周知や保険料納付率の向上を図る必要があり、今後も推進していきます。

部 局 名	子ども部
部 局 長 名	星 範之
部の運営方針	○我孫子市第四次総合計画基本構想の基本目標3「子どもと子育てにあたたかいまちづくり」に基づき、若い世代が我孫子を選び、移り住んでもらえるよう、また、これからもずっと住み続けてもらえるよう子育て・子育て支援施策を総合的に推進します。さらに、子ども・子育て支援事業計画を兼ねた「第五次我孫子市こども総合計画」の進行管理を行い、乳幼児期の保育と教育や地域の子ども子育て支援策の充実を図ります。 ・少子化対策として、妊娠・出産・子育て・子育てへの切れ目ない支援を推進していきます。 ・子育て支援拠点施設を核とし、妊娠期からを視野に入れ、孤立せず安心して生き活きと子育てができる環境づくりに努めます。また、保育園内に設置された子育て支援拠点施設と地域との連携をさらに密にすることで、地域の子育て力の向上を図り、多様な子育て支援事業を展開します。 ・「第四次我孫子市保育園等整備計画」に基づき、保育園や認定こども園・幼稚園等の認可定員や利用定員の管理に努め、待機児童ゼロを堅持し続ける体制づくりに取り組みます。 ・「我孫子市保育園等長寿命化計画」に基づき、公立保育園の安全及び衛生の確保をはじめとした維持管理を図ります。 ・市内の保育園や認定こども園・幼稚園等と連携し、子育てと就労の両立支援策の充実を図るとともに、乳幼児期に質の高い保育・教育等の提供が受けられるよう指導・調整に努めます。さらに、育ちと学びの接続を重視し、幼児期教育と小学校教育との連携を推進します。 ・「第五次我孫子市こども総合計画」に基づき、学童保育室とあびっ子クラブ、それぞれの事業の目的に沿って、子ども達の放課後が充実するよう施設の環境整備や質の向上に努めます。 ・「子ども家庭総合支援拠点」と「子育て世代包括支援センター」の連携からより一歩前進させるため、令和8年度の「こども家庭センター」設置に向け、準備を進めます。こども家庭センターでは、育児や家庭環境など子どもと家庭に関する相談やサポートプランの作成、児童虐待の早期発見・早期対応に努めるとともに、関係機関との連携を強化し、支援を要する妊産婦等にも積極的に働きかけ指導・助言を行います。また、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止の啓発活動に取り組んでいきます。 ・いじめ問題に対しては、教育委員会と連携し「いじめ問題防止対策連絡協議会」を開催し、関係機関相互の連携強化を図り、いじめ防止等の対策を推進します。 ・子育てを応援するため、子ども医療費助成をはじめ子育て世帯に対する経済的な負担軽減を、引き続き推進します。 ・「第3期我孫子市子ども発達支援計画」に基づき、発達支援、家族支援、地域支援の充実と機能強化を図り、発達に支援が必要な子どもの乳

	幼児期からの一貫した支援体制作りを推進していきます。そのため「療育・教育システム連絡会」において、関係機関との連携を深め、早期発見からライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築を進めます。 ・発達に支援が必要な子どもが早期に適切な療育支援を受けられるよう、公平、適切、迅速に児童通所支援の利用決定を行うとともに、そのための相談支援体制の充実を図ります。 ・子どもたちの生きる力を育むため、子どもの自然体験・生活体験事業の実施や青少年育成団体の活動を支援します。
--	--

部 局 名	子ども部
部 局 長 名	山崎 美弥子
部の運営方針 に対する総合 評価	令和4年度からスタートした第四次総合計画基本構想の基本目標の1つである「子どもと子育てにათათかいまちづくり」や、まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の1つである「あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり」、第五次子ども総合計画の基本理念である「あびこの自然やひとの愛に包まれて、すべての子どもが自分らしく育つまち」に基づき、若い世代が我孫子を選び、移り住んでもらえるよう、また、これからもずっと住み続けてもらえるよう子育て・子育て支援施策を総合的に推進することを念頭に、部の運営方針に基づき、3課が各事業の適正な実施及び充実に遅滞なく取り組み、子育て・子育て支援施策の推進が着実に図れたと評価します。 なお、令和7年度は、令和8年度の「こども家庭センター」設置に向け順調に準備を進めるとともに、物価高騰の影響が長期化するなか、子育て世帯に対し経済的支援として我孫子市物価高対応子育て応援手当を支給することで、物価高騰対策にも取り組みました。

令和7年度
課の目標管理書

課 名 : 子ども支援課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

部の運営方針に基づき、次のとおり取り組みます。

1. 子ども施策を一体的に推進するため、次世代育成支援行動計画、子ども・子育て支援事業計画に加え、子ども・若者計画、こどもの貧困の解消に向けた対策計画、放課後児童対策推進のための行動計画及びひとり親自立促進計画を包含し策定した、第五次こども総合計画（令和7年度～令和11年度）を着実に推進し、子育て・子育て支援策の充実を図ります。
2. 子育てを応援するため、ひとり親家庭への支援、子ども医療費の助成、児童手当及び児童扶養手当等の適正な支給に努め、子育て世帯に対する経済的な負担軽減を推進します。
3. 第五次こども総合計画に基づき、学童保育室とあびっ子クラブの一体的な運営と、保育環境の整備や職員の質の向上、処遇改善に努めます。
4. 子どもの成長や自立を促進するため、青少年育成団体の活動を支援し、子どもの体験活動や子どもが参加するイベントを実施します。

2. 課の目標への取組結果

子育てへの経済的支援のうち県外医療機関での子ども医療受給券の適用については、令和7年7月から1医療機関、8月から周辺の5薬局で受給券適用が可能となりました。また、当初予定していなかった子育て応援手当の支給を含め、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

通常の手当や助成に加え、子育て応援手当の支給を実施し、経済的な支援をすることができました。
学童保育室とあびっ子クラブは民間委託によりスタッフも確保でき、保育環境などの安定化を図ることができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

各事業を引き続き順調に運営していきます。
学童保育室の運営は、共働き世帯の増加に伴いニーズが高まっています。子ども達の安全を確保するための保育環境を整備するなど、引き続き事業を実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子ども総合計画の策定及び進行管理		
	担当部署名	子ども部 子ども支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援		
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。		
事務事業の目的 ・概要	子ども・子育て支援法及び次世代育成支援対策推進法に基づく我孫子市子ども総合計画を策定し、施策や事業が計画的・効率的に進められるよう進行管理を行います。 また、市長の諮問機関として我孫子市子ども・子育て会議を設置し、市民からの意見を計画推進に反映させます。			
関連する市の計画等	第五次我孫子市こども総合計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	こども総合計画の進行管理			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	3,202	0	令和5年度（年度末時点）		2.20	0.09
令和6年度	決算見込額	3,202	0	令和6年度（年度末時点）		2.15	0.00
令和7年度	当初予算額	105	0	令和7年度	4月1日時点	1.55	0.00
	補正後予算額	105	0				
	決算額	85	0		年度末時点	1.55	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	子ども・子育て会議の開催回数	回	目標値	3	4	5	5	3	3	4
			実績値	3	3	4	5	2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	子ども・子育て会議を開催し、第五次我孫子市子ども総合計画に記載されている事業の進行管理を行うことで、各事業の実効性を確保することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	子ども行政を総合的に推進していくため、第五次我孫子市子ども総合計画に記載されている各事業の進行管理を行い、引き続き推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	放課後対策事業	
	担当部署名	子ども部 子ども支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的 ・概要	保護者の就労や子育てを支援するため、児童が安全に安心して放課後を過ごせる学童保育室を運営していきます。		
関連する市の計画等	第五次我孫子市こども総合計画 我孫子市学童保育室・あびっ子クラブ長寿命化計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	学童保育室の運営		
	学童保育室の整備		
	放課後児童支援員等処遇改善		
債務負担行為設定事業	我孫子市学童保育室及びあびっ子クラブ運営管理業務委託 ※すべて「あびっ子クラブ運営管理業務委託料」を含む 一小、布佐小、布佐南小：R5～R7 270,658千円 三小、四小、根戸小：R7～R10 638,485千円 二小、新木小：R7～R11 298,658千円 並木小：R7～R11 152,365千円 一小、布佐小、布佐南小：R7～R12 431,380千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	215,598	0	令和5年度（年度末時点）		1.80	24.90
令和6年度	決算見込額	217,255	0	令和6年度（年度末時点）		2.00	27.82
令和7年度	当初予算額	232,532	0	令和7年度	4月1日時点	2.30	18.43
	補正後予算額	230,905	0		年度末時点	2.30	18.43
	決算額	228,731	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	学童保育室における事故報告件数	件	目標値	20	20	20	20	20	20	20
			実績値	28	18	16	28	24		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	子育て支援として、学童保育室の運営を安全に行うことができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	学童保育室の運営は、共働き世帯の増加に伴いニーズが高まっています。子ども達の安全を確保するための保育環境を整備するなど、引き続き事業を実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子育てへの経済的支援	
	担当部署名	子ども部 子ども支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的 ・概要	子育て家庭の経済的負担を軽減するため、児童手当の支給、子ども医療費の助成を行うほか、家庭環境に応じた各種支援を行います。		
関連する市の計画等	第五次我孫子市こども総合計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	児童手当支給事業		
	子ども医療費助成事業		
	未熟児養育医療		
	ひとり親家庭等医療費助成事業		
	児童扶養手当支給事業		
	母子家庭等相談・自立支援事業		
	指 県外医療機関での子ども医療受給券の適用		
	子育て応援手当		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	2,509,042	0	令和5年度（年度末時点）	7.20 2.15
令和6年度	決算見込額	2,607,544	0	令和6年度（年度末時点）	7.15 2.16
令和7年度	当初予算額	3,242,410	0	令和7年度	4月1日時点 7.00 2.10
	補正後予算額	3,411,605	0		
	決算額	3,355,573	0		
	次年度へ繰越	17,489	0	令和7年度	年度末時点 7.00 2.10

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	支援を必要とする者に対する適正助成率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	児童手当等の各種手当を子育て世帯に対し適正に経済的支援を実施することができました。また、県外医療機関での受給券適用について調整をはかり、JAとりで総合医療センター及び周辺の門前薬局で、子ども医療受給券の現物給付が可能となりました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	子育て世帯への経済的支援は少子化が進む中で必要不可欠であり、国・県・市が一体となって推進していく必要があります。引き続き子育て世帯に必要な利便性の向上に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子どもの自主性を育むイベントの実施		
	担当部署名	子ども部 子ども支援課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－4 心豊かにする体験・活動の推進		
	施策の展開内容	子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、さまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、地域に根差したさまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めるとともに、青少年の健やかな育成に対する地域住民の理解を深める取組を進めます。			
関連する市の計画等	第五次我孫子市こども総合計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	あびこ子どもまつり			
	げんきフェスタ			
	青少年相談員事業への支援			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	830	0	令和5年度（年度末時点）	1.00 0.00
令和6年度	決算見込額	1,174	0	令和6年度（年度末時点）	1.20 0.00
令和7年度	当初予算額	1,108	0	令和7年度 4月1日時点	1.55 0.00
	補正後予算額	913	0		
	決算額	901	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	1.55 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	手賀の丘宿泊事業の参加者数	人	目標値	64	64	64	32	-	-	-
			実績値	中止	中止	53	35			
活動 指標	我孫子市青少年相談員連絡協議会が主催する事業数	回	目標値	4	4	4	4	4	4	4
			実績値	4	3	3	3	4		
成果 指標	手賀の丘宿泊事業参加者アンケートにおける「参加してよかった」人数の割合	%	目標値	中止	90	90	45	-	-	-
			実績値	中止	中止	100	97			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	げんきフェスタやあびこ子どもまつりについては、多くの子どもたちが参加し地域に根差したイベントであることが確認できました。企画内容や運営方法については、年毎に見直しを図り次年度以降に反映し、より一層楽しめるイベントになるよう努めます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	各種イベントや青少年相談員への適切な支援を行い、様々な体験や活動の機会に触れることができる環境づくりに努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子どもの居場所づくり（あびっ子クラブ）	
	担当部署名	子ども部 子ども支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－4 心豊かにする体験・活動の推進	
	施策の展開内容	子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、さまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	放課後の子どもたちが安全に安心して遊ぶことができるよう、あびっ子クラブを運営するとともに、地域住民と連携してさまざまな活動の場を通して交流を図っていきます。		
関連する市の計画等	第五次我孫子市こども総合計画 我孫子市学童保育室・あびっ子クラブ長寿命化計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	あびっ子クラブの運営		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	我孫子市学童保育室及びあびっ子クラブ運営管理業務委託 ※すべて「学童保育室運営管理業務委託料」を含む 一小、布佐小、布佐南小：R5～R7 270,658千円 三小、四小、根戸小：R7～R10 638,485千円 二小、新木小：R7～R11 298,658千円 並木小：R7～R11 152,365千円 一小、布佐小、布佐南小：R7～R12 431,380千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	66,922	0	令和5年度（年度末時点）		1.80	12.32
令和6年度	決算見込額	66,687	0	令和6年度（年度末時点）		2.00	6.45
令和7年度	当初予算額	81,799	0	令和7年度	4月1日時点	2.10	10.19
	補正後予算額	81,364	0				
	決算額	80,945	0		年度末時点	2.10	10.19
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	サポーターの登録数	人	目標値	200	160	165	170	170	170	170
			実績値	135	150	155	161	168		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	地域住民（サポーター）の方や学校と連携しながら、子どもたちが安全・安心して過ごせる居場所の一つとして事業を実施しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	子どもたちの居場所の一つとして、引き続き事業を運営していきます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：保育課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

1. 妊娠期からを視野に入れ、子育て中の親子が孤立することなく、地域の中で安心して子育てできる環境を整えるとともに、地域や保護者の「子育て力」を育むため、子育て支援施設を核とした親子の交流、子育て相談、子育て情報、地域支援活動（出前保育）等、さまざまな子育て支援施策の充実を図ります。また、保育園内に設置された子育て支援拠点施設と地域との連携をさらに密にすることで、地域の子育て力の向上を図り、多様な子育て支援事業を展開します。
2. 「第四次我孫子市保育園等整備計画」に基づき、保育園等の認可定員や利用定員の管理に努め、待機児童ゼロを堅持し続ける体制づくりに取り組みます。
3. 質の高い給食を継続・安定して提供するため、公立保育園の給食調理業務を計画的に民間委託へと切り替えていきます。令和7年度は、つくし野保育園の給食調理委託に向けて給食調理員専用の休憩室を確保するため、内装改修及び給食調理室内の老朽化したトイレの改修工事を行います。
4. 既存の保育園においては、安全・安心な保育環境を確保するため、計画的に施設修繕・改修を進めます。そのため、寿保育園では、昭和46年に建設された園舎の老朽化に伴い、2階保育室床の修繕を行います。
5. 市内の保育園等と連携し、子育てと就労の両立支援策の充実を図るとともに、未就学児に質の高い保育・教育等の提供ができるように指導・調整に努めます。さらに、育ちと学びの接続を重視し、幼児期教育と小学校教育との連携を推進します。
6. 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の本格実施に向け、各施設と協議を進めながら、定員の確保に取り組みます。
7. ファミリーサポートセンター事業及び病児病後児保育事業については、委託事業者と連携を密にし、より利用しやすい事業となるよう努めます。
8. 幼稚園の預かり保育事業については、事業者との連携や補助金の交付により充実を図り、就労・介護などをしやすい環境づくりを進めます。
9. 幼稚園児の安全・安心な教育環境を確保するため、施設修繕の費用の一部を補助します。
10. 幼稚園から認定こども園等に移行希望のある園に対して支援に努めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、予定していた事業を滞りなく実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

在園児保護者をはじめ、子育て家庭の様々なニーズに対応しながら、滞りなく事業を執行しました。
また、保育園等の施設とも連携を密にし、滞りなく事業を執行しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

「第四次我孫子市保育園等整備計画（改定版）」に基づき、保育園等の認可定員や利用定員の管理に努め、待機児童ゼロを堅持し続ける体制づくりに取り組みます。また、妊娠期から出産・子育て・子育てへの切れ目ない支援を推進するため、子育て支援拠点を核とし、孤立せず安心して子育てができる環境づくりに努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域での子育て支援の充実	
	担当部署名	子ども部 保育課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的 ・概要	地域の中で安心して子育てが出来るよう、地域の人や事業者と連携し、乳幼児や保護者同士が交流できる場の提供や一時的に子どもを預けることができる制度など、ニーズに応じたさまざまな事業を行っていきます。		
関連する市の計画等	我孫子市子ども総合計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	ファミリーサポートセンター事業の推進		
	一時預かり事業		
	企業参加の子育て支援		
	子育てサポーターの養成と地域活動の推進		
	利用者支援事業		
	子育て支援拠点事業		
	市立保育園の地域子育て事業		
	病児・病後児保育事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	ファミリーサポートセンター事業運営委託 R7～9年度 39,600千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	66,950	0	令和5年度（年度末時点）	3.20 8.80
令和6年度	決算見込額	61,249	0	令和6年度（年度末時点）	2.60 9.60
令和7年度	当初予算額	76,420	0	令和7年度	4月1日時点 4.20 8.80
	補正後予算額	69,632	0		
	決算額	69,184	0		
	次年度へ繰越	0	0	令和7年度	年度末時点 4.20 10.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	子育て支援センター利用者数	人	目標値	36,861	36,861	36,861	36,861	36,861	36,861	36,861
			実績値	22,100	29,641	36,936	39,698	38,584		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	地域の中で安心して子育てができるよう、様々な子育て支援を提供しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	保護者のニーズに寄り添い、必要な支援を提供していくことが引き続き必要になります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	未就学児の教育・保育環境の充実	
	担当部署名	子ども部 保育課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的 ・概要	・安心して子どもを産み育てられるよう、保育ニーズに応じた人材の確保と保育の質の向上に取り組みます。 ・保護者の多様なニーズに対応するため、幼稚園などさまざまな子育てのための施設の利用者支援や延長保育に対する支援を行います。		
関連する市の計画等	我孫子市子ども総合計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	保育園・幼稚園の放射能対策		市立保育園園舎等補修事業
	産休・育休予約事業		世代間交流事業の促進
	市立保育園運営事業		つくし野保育園休憩室等内装改修工事
	私立保育園・管外保育園への保育実施委託		標準化関連システム（子ども・子育て支援）導入・運用保守業務
	私立保育園運営費補助金交付事業		
	私立保育園等施設整備への補助		
	私立幼稚園の運営支援		
	障害児保育・統合保育事業		
	幼稚園における子育て支援事業の実施		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	湖北台保育園給食調理業務委託 R6～R8年度 38,808千円		

2. 事業費及び人工 (Plan&Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	4,341,028	0	令和5年度 (年度末時点)		73.10	76.00
令和6年度	決算見込額	4,615,012	0	令和6年度 (年度末時点)		74.90	80.80
令和7年度	当初予算額	4,743,601	0	令和7年度	4月1日時点	73.40	79.20
	補正後予算額	4,991,362	0		年度末時点	73.40	79.20
	決算額	4,954,518	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	保育園への入園を希望する児童の入園率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	・必要な家庭に保育を提供し、安心して子育てができる環境を提供しました。 ・標準化関連システム（子ども・子育て支援）導入・運用保守業務については、全国的な標準化対応に伴い委託事業者において従事人員が不足したため、令和7年度中の完了が困難となり、業務の一部を令和8年度に繰り延べることにしました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	私立保育園等及び私立幼稚園への補助金について、全庁的に実施する事業見直しの一環として、令和8年度より一部事業を終了又は事業内容を変更することとしました。

令和7年度 課の目標管理書

課 名 : 子ども相談課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

部の運営方針に基づき、次の通り取り組みます。

1. 「子ども家庭総合支援拠点」としての機能を維持しながら、健康づくり支援課内の「子育て世代包括支援センター」との連携をより強固にするため、令和8年度の「こども家庭センター」開設に向け準備を進めるとともに、子ども自身や保護者からの相談に的確な支援を行います。
2. 子どもへの虐待による重大事態を二度と起こさないよう、保育園や学校等子どもが所属する機関の他、関係機関と連携を取りながら迅速かつ確実な支援を行うとともに、保護者に寄り添う相談を実施します。
3. 子ども自身の悩みごとや子育ての困りごとの相談を受けるために、我孫子市公式LINE上に設置した「子ども・子育て相談窓口」を適切に運営し、ヤングケアラーの相談も受け付けます。
4. 日ごろから関係機関と情報共有、連絡調整を行うとともに、「子ども虐待等防止対策地域協議会」において、支援の方針や方法の確認を行い、問題解決に向けて支援の進行管理を行います。
5. 子ども虐待防止についての啓発活動を進めます。
6. 児童通所支援事業では、子ども相談支援事業所においてサービス利用の支援をしつつ、併せて迅速で適切な支給決定を行うとともに、そのための相談支援体制を整備します。
7. 教育委員会と連携し、「いじめ防止対策連絡協議会」を開催して連携を図るほか、いじめによる重大事態が発生した場合、確実な対応を進めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示した通り、すべての取り組みを実施しました。

令和8年度の「こども家庭センター」開設に向け、順調に準備を進めました。

また、困難な状況にある家庭に必要な支援につなぐため、我孫子市子ども虐待等防止対策地域協議会を開催し、関係機関と情報を共有しながら効果的な支援を行うことができました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

LINE相談によって、匿名で気軽に相談ができる新たな窓口ができたことや、ヤングケアラーに関するアンケートを実施するなど、相談したい方が声を上げやすい仕組みを整備することができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

「こども家庭センター」については、令和8年度4月1日から設置し、児童福祉機能と母子保健機能が連携することで、妊産婦、子育て世帯、子どもへの切れ目のない相談支援体制を整備します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子ども総合相談の推進		
	担当部署名	子ども部 子ども相談課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援		
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。		
事務事業の目的 ・概要	虐待、育児、不登校、非行、いじめ、健康、障害、教育など子どもに関するあらゆる相談に対して、児童相談所や学校、警察などの関係機関との連携を強化し、適切に対応できる体制の充実を図ります。			
関連する市の計画等	子ども総合計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	子ども短期入所事業			
	子ども総合相談の推進（LINEアプリの活用）			
	いじめ問題対策連絡協議会等の運営			
	子ども虐待防止・援助活動の推進			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	4,817	0	令和5年度（年度末時点）	4.29 2.95
令和6年度	決算見込額	8,014	0	令和6年度（年度末時点）	3.30 3.44
令和7年度	当初予算額	5,186	0	令和7年度	4月1日時点 5.50 3.49
	補正後予算額	6,387	0		
	決算額	5,870	0		
	次年度へ繰越	0	0	令和7年度	年度末時点 5.50 3.49

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	虐待相談を含めた子どもに関する年間相談受付 件数	件	目標値	600	700	750	750	750	750	750
			実績値	867	876	878	828	906		
成果 指標	子どもに関する相談のうち、終結件数の割合	%	目標値	73	73	73	73	73	73	73
			実績値	80	80	81	77	75		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	LINEによる相談が軌道に乗ったことや、年間相談受付件数が増加したものの、一つひとつの相談に対して丁寧に対応できているため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業を拡大する	こども家庭センターを設置し、児童福祉機能と母子保健機能が連携することで、妊産婦、子育て世帯、子どもへの切れ目のない相談支援体制を整備します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	児童発達支援事業		
	担当部署名	子ども部 子ども相談課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－2 子どもの成長に応じた発達への支援		
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	発達に支援が必要な子どもが早期に適切な支援を受けられるよう、公平、適切、迅速に児童通所支援の利用可能日数の決定を行うとともに、そのための相談支援体制の充実に努めます。			
関連する市の計画等	子ども総合計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	児童発達支援事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	674,463	0	令和5年度（年度末時点）	1.50 0.76
令和6年度	決算見込額	807,477	0	令和6年度（年度末時点）	1.50 0.74
令和7年度	当初予算額	814,205	0	令和7年度 4月1日時点	1.70 1.24
	補正後予算額	885,233	0		
	決算額	870,600	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	1.70 1.24

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	児童相談支援支給決定者数	人	目標値	360	400	450	450	450	450	450
			実績値	456	489	543	614	672		
成果 指標	児童通所支援利用率	%	目標値	92	93	95	95	95	95	95
			実績値	93	93	97	96	99		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	事業の利用者及び利用日数ともに増加の一途をたっていますが、療育を必要とする子どもに対し、手続きが滞ることなく迅速に支給決定することができたため、順調と評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	発達に支援が必要な子どもに対して、適切にサービスを提供することで、日常生活や社会への適応に効果的な役割を担っているため、引き続き推進します。

令和7年度 課の目標管理書

課 名 : こども発達センター

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

部の運営方針に基づき、次のとおり目標を設定して取り組みます。

○障害が確定されている子どもや発達に支援が必要な子どもが、健やかに成長するためには、早期からの療育的支援が必要です。そのために関係機関が連携し、1歳6ヵ月児健診、3歳児健診、5歳児健診、就学時健診及び子育て相談を実施することで早期発見に努め、個々のニーズに合わせた療育支援を実施します。

○発達に支援が必要な子どもとその家族に対して、早期支援、家族支援、発達支援、地域支援の充実を図ります。

○第3期子ども発達支援計画に基づき、発達に支援が必要な子どもとその家族が乳幼児期から学齢期まで健やかで安定した生活が地域で送れるよう、療育・教育システム連絡会を通じて支援機関の連携を図り、ライフステージに応じた一貫した支援を提供します。

○発達支援の専門性を活かして、地域の幼稚園及び保育園職員や民間児童通所支援事業所の訪問指導や、職員への研修会等を行います。

○ライフダイアリーを有効に活用できるよう、新様式へ変更をしたものを、支援を必要とする子どもを対象として配布をします。また、ライフダイアリーの活用について、利用者と支援者へ周知を図っていきます。

○医療的ケア児等の地域での支援について、実態調査を実施し実数を把握します。

○あらき園厨房から給食を搬入するための工事を実施します。

○施設を安全に利用できるよう、施設の点検と整備を計画的に行います。

2. 課の目標への取組結果

車両購入について、車両の生産中止により入札が不調になり、令和8年度へ予算を繰り越しましたが、そのほかの取り組みは予定通り実施しました。ライフダイアリーの活用について、関係機関や保護者が利用しやすいように様式を見直し配布を開始しました。民間児童通所支援事業所への支援の本格実施に向けて説明会の実施など準備を進めました。あらき園厨房からの給食搬入について工事が完了し、令和8年度からの利用が可能になりました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

「第3期子ども発達支援計画」に基づき、子どもとその家族に対して、療育や相談の支援を行いました。また、「療育・教育システム連絡会」を活用し、関係機関との連携を強化し、切れ目ない支援の推進を行いました。年間を通して、適正な事業の実施ができたと評価しています。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

「第3期子ども発達支援計画」の取り組みを継続するとともに、令和8年度で計画期間が終了するため、「第4期子ども発達支援計画」を令和9年3月までに策定します。令和8年度に「ライフダイアリー」から名称を変更した「ライフサポートファイル」については、利用者と支援者双方へ活用を推進します。その他の事業についても引き続き事業を継続し、市内の親子が安心して療育施設を利用できるように、こども発達センターの事業の充実を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	切れ目のない発達支援体制の充実	
	担当部署名	子ども部　こども発達センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－2　子どもの成長に応じた発達への支援	
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組めます。	
事務事業の目的 ・概要	就学時などライフステージに応じた切れ目のない専門的な発達支援が行えるよう、医療、保健、福祉、教育分野のさらなる連携強化を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市子ども発達支援計画、第5次行政改革推進プラン（こども発達センターの業務手法の見直し）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	こども発達センター施設の維持管理		
	就学に関する相談・支援業務		
	療育・教育システムの構築		
	あらき園・こども発達センター渡り廊下設置工事		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	9,488	0	令和5年度（年度末時点）	1.40 0.80
令和6年度	決算見込額	9,020	0	令和6年度（年度末時点）	1.90 0.60
令和7年度	当初予算額	9,232	0	令和7年度	4月1日時点 2.55 0.60
	補正後予算額	8,715	0		
	決算額	8,340	0		
	次年度へ繰越			年度末時点	2.50 0.65

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	施設の維持管理、運営	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	こども発達センターを利用する年長児童とその 保護者に対して支援した割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	療育・教育システム連絡会の会議開催回数	回	目標値	3	2	3	2	2	3	2
			実績値	1	2	3	2	2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	ライフステージに応じた切れ目のない発達支援を関係機関と連携を図り、事業を滞りなく実施することができたことから、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	ライフステージに応じた切れ目のない発達支援を行っていくため、関係機関とのさらなる連携を強化すること、安全に療育を受けられるために施設維持管理は必要不可欠であることから、現状通り事業を推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域と連携した子どもの発達への支援	
	担当部署名	子ども部　こども発達センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－2　子どもの成長に応じた発達への支援	
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	・子ども一人ひとりの発達に応じた、質の高い発達支援を実施するため、体制の充実を図ります。 ・発達に支援が必要な子どもが、状況に合わせた合理的配慮を受けてのびのびと地域のなかで生活できるよう、幼稚園や保育園、認定こども園、学校などにおいて、発達特性に対する理解や、困難を感じる環境を調整することへの理解を深める取組を進めます。		
関連する市の計画等	我孫子市子ども発達支援計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	あそびの教室による早期支援		
	ケースワーカーによる相談・調整		
	言語聴覚士による相談・訓練		
	作業療法士による相談・訓練		
	理学療法士による相談・訓練		
	心理相談員による相談・訓練		
	児童発達支援事業所「ひまわり」による発達支援		
	相談支援事業所「なの花」の相談支援専門員による児童支援利用計画の作成		
	保育所等訪問支援事業所「おひさま」による発達支援		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	24,610	0	令和5年度（年度末時点）	13.10 18.60
令和6年度	決算見込額	36,141	0	令和6年度（年度末時点）	14.50 16.90
令和7年度	当初予算額	37,546	0	令和7年度	4月1日時点 13.85 16.20
	補正後予算額	35,130	0		
	決算額	30,103	0		年度末時点 13.35 16.10
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	受理面接をした子どもとその保護者に対して支援をした割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	児童発達支援事業利用児の出席率	%	目標値	80	83	85	87	85	85	89
			実績値	80	84	85	82	78		
活動 指標	相談支援専門員による児童支援利用計画の作成数	件	目標値	550	560	570	575	575	575	580
			実績値	540	565	604	703	592		
活動 指標	保育所等訪問支援が必要な子どもに対して支援した割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	児童発達支援事業の出席率は目標値を下回っていますが、体調不良などやむを得ない事情が重なったことが主な原因です。事業全体としては目標を達成していることからほぼ順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	全ての個別事務事業を問題なく実施できたため、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	発達支援が必要な子どもの早期発見		
	担当部署名	子ども部　こども発達センター		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－2　子どもの成長に応じた発達への支援		
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	発達に支援が必要な子どもを育てる家庭において重要な保護者の「気づき」を促し、発達特性や障害への理解の促進と親子の愛着関係を育めるように家族への支援を行うとともに、発達に支援が必要な子どもの早期発見につながる取組を進めます。			
関連する市の計画等	我孫子市子ども発達支援計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	ライフダイアリー普及事業			
	発達支援に関する専門職員の派遣			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	359	0	令和5年度（年度末時点）	0.40 0.20
令和6年度	決算見込額	419	0	令和6年度（年度末時点）	0.30 0.20
令和7年度	当初予算額	14	0	令和7年度 4月1日時点	0.40 0.10
	補正後予算額	14	0		
	決算額	8	0		
	次年度へ繰越			年度末時点	0.40 0.10

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	ライフダイアリーの配布数	冊	目標値	760	760	760	760	220	215	760
			実績値	711	726	677	677	163		
活動 指標	幼児健診、子育て相談などにおいて、相談実施 件数	件	目標値	360	350	350	350	315	310	350
			実績値	410	345	389	389	286		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	ライフダイアリー普及事業について、配布対象を焦点化し様式を見直すため、令和8年6月末をもって配布終了としています。発達支援が必要な子どもの早期発見については、健診や子育て相談にて早期に発見し、早期療育につなげられたことからほぼ順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	ライフダイアリー普及事業について、「ライフサポートファイル」として普及に努めます。

部 局 名	環境経済部
部 局 長 名	大井 一郎
部の運営方針	・手賀沼の美しい環境の再生を目指し、千葉県や関係機関・団体と連携し、手賀沼の水質浄化や啓発に取り組みます。 ・手賀沼親水広場・水の館の運営では、手賀沼の水環境保全の関心を高める展示を行うとともに、環境保全型農業や地産地消等の農業拠点としての機能を含め、交流人口の拡大や地域の活性化に寄与する施設としての活用を図ります。また、施設の長寿命化を図るため適切な管理を行います。 ・ジャパンバードフェスティバルは令和7年度に25周年を迎えることから、例年の実施事業に加え、記念事業の企画にも取り組みます。 ・第二次環境基本計画に基づき、市民、事業者、市が連携した環境保全の取り組み、地球温暖化対策の事業を推進します。 ・「あびこエコ・プロジェクト5」に基づき、市の事務事業が環境へ与える負荷の低減を図り、温室効果ガスの削減を進めます。なお令和7年度は、同計画の最終年度であるため、取り組み結果のとりまとめと評価を行うとともに、次期計画である「あびこエコ・プロジェクト6」の策定を進めます。 ・谷津ミュージアム事業では、活動に参加している市民ボランティアの高齢化などの課題を踏まえ、これまでの取り組みを検証したうえで、今後の取り組み目標や実施体制の再考を進めます。 ・狂犬病予防の事務や愛護動物の適正な飼育に関する取り組みを進めていきます。 ・「一般廃棄物処理計画」「我孫子市循環型社会形成推進地域計画」等に基づいた施策を展開し、ごみの減量化と再資源化を図ります。 ・新廃棄物処理施設の売電収入の適正管理と運営事業者のモニタリングを行うとともに、放射性物質を含む焼却灰等の適正処理に努めます。 ・リサイクルセンターの整備事業者を選定するための準備を進めるとともに、令和9年度まで実施する土壌汚染対策工事を含む旧クリーンセンター解体工事に着手します。 ・大気汚染、土壌・地下水汚染、騒音、振動等の公害対策に取り組み、市民の快適な生活環境を守ります。 ・市民の不安を解消するため、全庁的な放射能対策の取りまとめを行います。 ・「農業振興基本条例」に基づき、農業の持続的な発展を図るため生産基盤強化及び生産性の向上を図り、安定した農業経営と持続可能な農業を目指します。 ・農業生産と農業経営に係る基盤整備を進め、経営として成り立つ農業の土台づくりを進めます。 ・認定農業者を増やすとともに新規就農者を含めた農業の多様な担い手を育成・支援します。 ・消費者、商工業者及び農業者の相互理解と交流を促進し、地産地消の事業を推進します。 ・「あびこエコ農業推進基本計画」に基づき、環境保全型農業の普及・促進を行います。

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・手賀沼沿い農地の保全活用のための施策を展開します。・病虫害被害防止対策及び有害鳥獣被害防止対策、外来生物対策の推進を総合的に取り組みます。・各地区の農地の集積・集約を推進するため、地域計画の見直しを行います。・「商業観光まちづくり大綱」に基づき、事業集に挙げた事業に取り組み、持続的な商業観光振興を図ります。・商工会と連携し、商店会や事業者などへの支援を行うとともに、活性化に向けた取り組みなどを進めます。・農産物直売所アンテナショップ跡地をはじめ、観光資源である手賀沼を活用し、観光の振興や交流人口の拡大を図ります。・安全・安心で豊かな消費生活を送れるよう、消費生活相談などを実施し、消費者の支援を行います。・柴崎地区産業用地整備事業について、共同企業体から測量設計等を引き継ぎ、新たな整備手法の検討を進めます。・下ケ戸地区の産業用地整備については、産業用地創出における課題、有用性を整理し、国や県との協議にむけた準備を進めていきます。・我孫子市創業支援等事業計画に基づき、NPO法人や我孫子市商工会などと連携し、起業創業の支援を行います。・民間活力により公園坂通りの賑わいの創出を図るとともに、地域経済の活性化につなげます。・既存企業の活性化に向けて融資制度等により支援を行うとともに、市民の就労に向けた支援を進めます。 |
|--|--|

部 局 名	環境経済部
部 局 長 名	大井 一郎
部の運営方針 に対する総合 評価	・手賀沼の美しい環境の再生を目指し、千葉県や関係機関・団体と連携し、手賀沼の水質浄化や啓発に取り組みました。 ・手賀沼親水広場・水の館の運営では、手賀沼の水環境保全の関心を高める展示を行うとともに、環境保全型農業や地産地消等の農業拠点としての機能を含め、交流人口の拡大や地域の活性化に寄与する施設としての活用を図りました。また、施設の長寿命化を図るため適切な管理を行いました。 ・ジャパンバードフェスティバルは令和7年度に25周年を迎えたため、例年の実施事業に加え、記念事業の企画にも取り組みました。 ・第二次環境基本計画に基づき、市民、事業者、市が連携した環境保全の取り組み、地球温暖化対策の事業を推進しました。 ・「あびこエコ・プロジェクト5」に基づき、市の事務事業が環境へ与える負荷の低減を図り、温室効果ガスの削減に取り組みました。なお令和7年度は、同計画の最終年度であるため、取り組み結果のとりまとめと評価を行うとともに、次期計画である「あびこエコ・プロジェクト6」を策定しました。 ・谷津ミュージアム事業では、活動に参加している市民ボランティアの高齢化などの課題を踏まえ、これまでの取り組みを検証し、今後の取り組み目標や実施体制について検討を行いました。 ・狂犬病予防の事務や愛護動物の適正な飼育に関する取り組みを進めました ・「一般廃棄物処理計画」「我孫子市循環型社会形成推進地域計画」等に基づいた施策を展開し、ごみの減量化と再資源化を図りました。 ・新廃棄物処理施設の売電収入の適正管理と運営事業者のモニタリングを行うとともに、放射性物質を含む焼却灰等の適正処理に努めました。 ・リサイクルセンターの整備運営事業者を選定するための準備を進めるとともに、令和9年度まで実施する土壌汚染対策工事を含む旧クリーンセンター解体工事に着手しました。 ・大気汚染、土壌・地下水汚染、騒音・振動等の公害対策を行い、市民の生活環境を保全するよう取り組みました。 ・市民の不安を解消するため、放射線量の測定データの公表を継続するとともに、全庁的な放射能対策の取りまとめを行いました。 ・「一般廃棄物処理計画」「我孫子市循環型社会形成推進地域計画」等に基づき、生ごみ処理容器の購入補助金制度や再資源化事業促進奨励金制度の施策を実施し、ごみの減量化及び再資源化に取り組みました。 ・「農業振興基本条例」に基づき、農業の持続的な発展を図るため生産基盤強化及び生産性の向上を図り、安定した農業経営と持続可能な農業を目指しました。 ・農業生産と農業経営に係る基盤整備を進め、経営として成り立つ農業の土台づくりを進めました。 ・認定農業者を増やすとともに新規就農者を含めた農業の多様な担い手を育成・支援しました。

- ・消費者、商業者及び農業者の相互理解と交流を促進し、地産地消の事業を推進しました。
- ・「あびこエコ農業推進基本計画」に基づき、環境保全型農業の普及・促進を行いました。
- ・手賀沼沿い農地の保全活用のための施策を展開しました。
- ・病害虫被害防止対策及び有害鳥獣被害防止対策、外来生物対策の推進を総合的に取り組みました。
- ・各地区の農地の集積・集約を推進するため、地域計画の見直しを行いました。
- ・「商業観光まちづくり大綱」に基づき、事業集に挙げた事業に取り組み、持続的な商業観光振興を図りました。
- ・商工会と連携し、商店会や事業者などへの支援を行うとともに、活性化に向けた取り組みなどを進めました。
- ・農産物直売所アンテナショップ跡地をはじめ、観光資源である手賀沼を活用し、観光の振興や交流人口の拡大を図りました。
- ・安全・安心で豊かな消費生活を送れるよう、消費生活相談などを実施し、消費者の支援を行いました。
- ・柴崎地区産業用地整備事業について、共同企業体と協定解除に関する合意に至ることができました。今後は、既存の計画に捉われず、継承する設計図書類を有効活用し、市の活性化に繋がる施策を展開することが必要と考えます。
- ・下ケ戸地区の産業用地整備については、産業用地創出を図るため、千葉県知事に要望を行いました。
- ・我孫子市創業支援等事業計画に基づき、計画に沿って、実践創業塾や女性起業ラボなどの取り組みを実施しました。
- ・民間活力による公園坂通りの賑わいの創出については、立地的に厳しい部分があるものの、事業者により安定した運営がなされ、通年での賑わい創出を図ることができました。
- ・利子補給による中小事業者等支援については、昨今の金利上昇局面に合わせ、利子補給率上限を３％から４％に見直し、令和８年度以降も中小事業者等の支援を行えるよう制度を構築しました。

令和7年度 課の目標管理書

課 名：手賀沼課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・第二次環境基本計画に基づき、市民、事業者、市が連携して環境保全に取り組めるよう施策を推進します。

・手賀沼の水質浄化、水環境保全については、千葉県や流域市、関係機関、市民活動団体と連携し取り組みを進めます。

・手賀沼親水広場・水の館を適切に運営し、手賀沼の水環境保全への関心を高めるとともに、交流人口の拡大と地域の活性化を図ります。施設の長寿命化を図るため適切な管理を行います。

・市民の皆さんに手賀沼や市内の身近な自然環境に関心をもってもらえるよう、環境学習や各種イベントを実施します。なお、ジャパンバードフェスティバルは令和7年度に25周年を迎えることから、例年の実施事業に加え、記念事業の企画にも取り組みます。

・谷津ミュージアム事業では、市民活動団体や個人のボランティア、専門家、農業者等と連携・協力して保全活動を行います。また、現状と課題を踏まえ、これまでの取り組みを検証したうえで、今後の取組目標や実施体制を検討します。

・地球温暖化対策では、「あびこエコ・プロジェクト5」に基づき市の事務事業が環境へ与える負荷の低減を図り、温室効果ガスの削減を進めます。なお令和7年度は、同計画の最終年度であるため、取組結果のとりまとめと評価を行うとともに、次期計画である「あびこエコ・プロジェクト6」の策定を進めます。

・狂犬病予防に関する事務および猫などの愛護動物の適正飼養の啓発等を行います。

2. 課の目標への取組結果

各事業についてはおおむね計画通り事業を実施できました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

・手賀沼浄化事業については、千葉県や国、流域市、市民活動団体等と連携し施策を推進しました。また手賀沼親水広場については、必要な保守・修繕を行い、運営事業者とも定期的に協議をして円滑に運営をしました。

・ジャパンバードフェスティバルやEnjoy!手賀沼などのイベントを予定通り開催し、来場された多くの市民に環境について考える機会を提供しました。

・谷津ミュージアム事業では多くの市民ボランティア、専門家等の関係者と連携を図り、谷津の保全活動を年間を通して実施しました。また中長期的な課題についても解決に向けた取り組みを始めました。

・地球温暖化対策では、あびこエコ・プロジェクト5の取り組みを進めるとともに、次期実行計画であるあびこエコ・プロジェクト6を策定しました。また、脱炭素化促進事業補助金により市民の省エネルギー・再生可能エネルギー化の取り組みを支援しました。

・犬や猫にかかる業務では市内の獣医師や市民団体とも連携しながら業務改善や課題解決を図りました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

各事業は引き続き実施していきます。中長期的な課題がある事業については、関係者と協議をしながら解決に向け必要な取り組みを進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	ジャパンバードフェスティバルの開催		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－5 交流・関係人口の拡大		
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。		
事務事業の目的 ・概要	「人と鳥の共存をめざして」をテーマに、ジャパンバードフェスティバルを開催し、環境保護を考える機会を提供するとともに、国内最大級の鳥の祭典としてその情報を発信し、自然環境の大切さをアピールしていきます。			
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	ジャパンバードフェスティバルの開催			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	3,220	0	令和5年度（年度末時点）	1.42 0.00
令和6年度	決算見込額	3,237	0	令和6年度（年度末時点）	1.25 0.20
令和7年度	当初予算額	3,220	0	令和7年度 4月1日時点	1.10 0.20
	補正後予算額	3,220	0		
	決算額	3,219	0	令和7年度 年度末時点	0.97 0.30
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	実行委員会の開催数	回	目標値	6	6	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	6	6	7		
成果 指標	来場者数	人	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
			実績値	0	25,000	36,000	25,000	36,000		
成果 指標	出展団体数	団体	目標値	170	170	170	170	170	170	170
			実績値	0	118	152	128	116		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	親水広場の運営・活用		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－5 交流・関係人口の拡大		
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。		
事務事業の目的 ・概要	手賀沼親水広場・水の館では、水環境保全の啓発を進めるとともに、手賀沼の魅力を高めるさまざまなイベントの開催を通して、地域の活性化やにぎわいの創出を図っていきます。			
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	エンジョイ手賀沼の開催			
	親水広場の運営			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	78,840	0	令和5年度（年度末時点）	1.25 0.06
令和6年度	決算見込額	81,398	0	令和6年度（年度末時点）	1.21 0.40
令和7年度	当初予算額	78,313	0	令和7年度	4月1日時点 1.15 0.40 年度末時点 1.15 0.40
	補正後予算額	79,635	0		
	決算額	77,166	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	エンジョイ手賀沼実行委員会実施回数	回	目標値	6	6	6	6	6	6	6
			実績値	5	6	6	6	7		
活動 指標	プラネタリウムの番組更新回数	回	目標値	4	4	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4		
活動 指標	プラネタリウムコンサート、観望会の企画回数	回	目標値	8	8	8	8	8	8	8
			実績値	8	8	8	8	8		
成果 指標	エンジョイ手賀沼来場者数	人	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
			実績値	0	4,800	10,000	10,000	10,000		
成果 指標	水の館入館者数（4～3月）	人	目標値	470,000	470,000	470,000	470,000	470,000	470,000	470,000
			実績値	488,265	492,933	482,095	459,729	432,629		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄化施設停止後の水質状況に影響は出ていませんが、引き続き、水質・底質監視を継続していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	環境基本計画の進行管理		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－1 地球環境の保全		
	施策の展開内容	地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となつて進めています。		
事務事業の目的 ・概要	環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため策定された我孫子市環境基本計画について、適切な進行管理を行っていきます。			
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	第二次環境基本計画の進行管理			
	環境審議会の開催			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.57 0.00
令和6年度	決算見込額	45	0	令和6年度（年度末時点）	0.56 0.00
令和7年度	当初予算額	108	0	令和7年度 4月1日時点	0.57 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	0.49 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	環境基本計画推進委員会の開催回数	回	目標値	2	5	—	—	—	—	2
			実績値	2	2	0	0	0		
活動 指標	第二次環境基本計画の進行管理	回	目標値	—	—	1	1	1	1	1
			実績値	—	—	1	1	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みの推進		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－1 地球環境の保全		
	施策の展開内容	地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となつて進めていきます。		
事務事業の目的 ・概要	・ 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、市域全体の温室効果ガス排出量と吸収量を的確に把握し、取組を推進していきます。 ・ 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を削減するため、市民や事業者へ環境にやさしい暮らしや事業活動に向けた環境意識を向上する取組を進めます。 ・ 公共施設での再生可能エネルギー利用、省エネルギー設備の導入を進めます。			
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	あびこエコ・プロジェクトの推進		
		住宅用設備等脱炭素化促進事業		
		次期あびこエコ・プロジェクト（エコプロ6）の策定		
		熱中症対策（熱中症警戒アラートへの対応など）		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	16,285	0	令和5年度（年度末時点）		1.77	0.01
令和6年度	決算見込額	15,228	0	令和6年度（年度末時点）		1.82	0.00
令和7年度	当初予算額	13,303	0	令和7年度	4月1日時点	1.55	0.15
	補正後予算額	13,303	0				
	決算額	11,473	0				
	次年度へ繰越	0	0		年度末時点	1.55	0.00

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	住宅用脱炭素化設備等補助件数	件	目標値	120	120	120	120	150	150	150
			実績値	125	148	195	190	157		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄化施設停止後の水質状況に影響は出ていませんが、引き続き、水質・底質監視を継続していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	手賀沼の浄化・再生	
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全	
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	・手賀沼の水環境の保全を図り、かつての豊かな生態系の復活につなげるため、手賀沼の浄化対策を確実に進めるとともに、浄化再生に係る諸課題の解決に向けて、市民・事業者・行政が連携した広域的な取組を進めます。 ・手賀沼の浄化・再生に向けた啓発事業に取り組み、市民の手賀沼への理解と関心を深めていきます。		
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	手賀沼情報の提供		
	クリーン手賀沼推進協議会の運営		
	手賀沼に係る湖沼水質保全計画（第9期）の策定に向けた提言		
	手賀沼ふれあい清掃の実施		
	手賀沼及び主要排水路の底質と水質管理		
	手賀沼水環境保全協議会(手水協)事業の推進		
	手賀沼流域フォーラムの開催		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	5,139	0	令和5年度（年度末時点）	1.41 0.80
令和6年度	決算見込額	4,868	0	令和6年度（年度末時点）	1.35 0.00
令和7年度	当初予算額	6,391	0	令和7年度 4月1日時点	1.28 0.10
	補正後予算額	4,658	0		
	決算額	4,323	0	令和7年度 年度末時点	1.40 0.10
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	手賀沼情報の更新回数	回	目標値	16	16	16	16	16	16	16
			実績値	16	16	16	16	16		
活動 指標	手賀沼清掃・外来植物駆除事業の実施回数	回	目標値	5	5	5	5	5	5	5
			実績値	3	4	2	2	3		
活動 指標	異常水質・底質の監視回数	回	目標値	7	7	7	7	7	7	7
			実績値	7	7	7	7	7		
活動 指標	手賀沼流域フォーラム全体会及び我孫子企画回数	回	目標値	15	15	15	15	15	15	15
			実績値	12	10	13	13	11		
活動 指標	クリーン手賀沼推進協議会事業の実施回数	回	目標値	6	6	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	6	6	6		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	環境学習の推進		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全		
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	手賀沼の水質浄化や水環境の保全に関する意識啓発を図るため、市民に手賀沼や環境について学ぶ機会を提供するとともに、市民の環境保全活動を支援していきます。			
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業		新たな環境学習プログラムの検討と実施		
		手賀沼船上見学会の実施		
		環境年報の作成		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	482	0	令和5年度（年度末時点）		0.43	0.00
令和6年度	決算見込額	277	0	令和6年度（年度末時点）		0.54	0.20
令和7年度	当初予算額	331	0	令和7年度	4月1日時点	0.77	0.10
	補正後予算額	331	0		年度末時点	0.81	0.00
	決算額	184	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	市が実施する環境学習事業の実施回数（船上学習、出前講座、星空観望会、谷津ミュージアム等での環境学習）	回	目標値	12	12	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	8	5	8		
活動 指標	船上学習・出前講座の実施回数	回	目標値	20	20	20	20	20	20	20
			実績値	20	20	18	15	18		
活動 指標	市が実施する環境啓発活動の実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄化

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	古利根沼水質汚濁防止		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全		
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	古利根沼の水質汚濁を防止するため、浄化施設を適正に管理するとともに、市民の協力を得て水辺の清掃を実施します。			
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	古利根沼水質汚濁防止			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	14,018	0	令和5年度（年度末時点）	0.23 0.00
令和6年度	決算見込額	10,028	0	令和6年度（年度末時点）	0.21 0.00
令和7年度	当初予算額	13,018	0	令和7年度 4月1日時点	0.13 0.00
	補正後予算額	4,893	0		
	決算額	4,218	0	令和7年度 年度末時点	0.21 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	古利根沼の水質・底質監視回数	回	目標値	14	14	14	14	14	14	14
			実績値	14	14	14	14	14		
活動 指標	中峠排水路浄化施設維持管理回数	回	目標値	8	9	9	9	9	9	9
			実績値	9	9	9	7	-		
成果 指標	古利根沼のCOD値(年平均値)	mg/L	目標値	9	9	9	9	9	9	9
			実績値	8	11	8.8	7.7	7.6		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。 浄化施設停止後の水質状況に影響は出ていませんが、引き続き、水質・底質監視を継続していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	適正な生態系の維持	
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全	
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	生態系への影響や農業などへの被害を防止するため、外来生物の生息実態の把握、防除や適正な管理を行うとともに、生態系へ及ぼす悪影響について広く啓発し、在来種の保護と新たな外来生物の移入防止を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	外来生物防除事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.23 0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	0.27 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度	4月1日時点 0.88 0.00 年度末時点 0.53 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	市内におけるウシガエル等の防除箇所	箇所	目標値	1	1	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1		
活動 指標	手賀沼における外来植物駆除活動回数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	2	1	0	0	0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。 浄化施設停止後の水質状況に影響は出ていませんが、引き続き、水質・底質監視を継続していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	谷津ミュージアム事業の推進		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全		
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残されている岡発戸・都部地区について、生物多様性を考慮した環境の保全・再生と次世代に伝えるための取組として谷津ミュージアム事業を進めます。			
関連する市の計画等	我孫子市第二次環境基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	谷津ミュージアムの会の運営			
	谷津田の保全・再生事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	5,005	0	令和5年度（年度末時点）	1.41 0.00
令和6年度	決算見込額	5,476	0	令和6年度（年度末時点）	1.58 0.00
令和7年度	当初予算額	5,563	0	令和7年度 4月1日時点	1.03 0.00
	補正後予算額	5,261	0		
	決算額	5,131	0	令和7年度 年度末時点	1.23 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	谷津ミュージアムでの活動の延べ参加者数	人	目標値	900	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
			実績値	2,616	2,470	2,308	1,857	1,759		
成果 指標	谷津ミュージアム全体の二ホンアカガエル卵塊数	卵塊	目標値	500	510	510	510	510	510	510
			実績値	232	357	308	322	405		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。 浄化施設停止後の水質状況に影響は出ていませんが、引き続き、水質・底質監視を継続していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	生活環境に関する相談業務		
	担当部署名	環境経済部 手賀沼課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－3 生活環境の保全		
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	・さまざまな環境問題について、市民や事業者への注意喚起や啓発、情報提供を行うとともに、対策を講じて市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。 ・市民が良好な生活環境を保てるよう、犬や猫の適切な飼養を促すとともに、鳥獣や害虫に関する相談対応に取り組みます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	狂犬病予防事業			
	地域猫不妊去勢手術補助事業			
	地域猫活動団体との連携および支援			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,518	0	令和5年度（年度末時点）	0.52 0.79
令和6年度	決算見込額	1,127	0	令和6年度（年度末時点）	0.87 0.80
令和7年度	当初予算額	2,054	0	令和7年度 4月1日時点	1.04 0.65
	補正後予算額	2,680	0		
	決算額	2,139	0	令和7年度 年度末時点	1.21 0.80
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	狂犬病予防接種率	%	目標値	81	82	83	84	85	86	87
			実績値	79	81	76	75	75		
活動 指標	地域猫不妊去勢手術補助件数	件	目標値	20	21	22	23	24	25	26
			実績値	22	26	20	23	11		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	中峠排水路浄化施設については令和6年度中に設備が故障し、その後運用停止を決定したため、令和7年度は維持管理は実施していません。浄化施設停止後の水質状況に影響は出ていませんが、引き続き、水質・底質監視を継続していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	中峠排水路浄化施設を停止しましたが、引き続き、水質・底質監視を継続しながら、古利根沼の水質環境に注視していきます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：資源循環推進課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・「一般廃棄物処理基本計画」、「我孫子市循環型社会形成推進地域計画」等に基づいた施策を着実に実施していきます。また、循環型社会の形成に向け、市民、事業者、行政が協働し、ごみの分別を徹底するとともに、ごみの減量及び資源化に取り組みます。
- ・新廃棄物処理施設の売電収入の適正管理と運営事業者のモニタリングを行うことで、施設を安定的に稼働していきます。また、放射性物質を含む焼却灰の適正処理に努めます。
- ・第二期工事で予定しているリサイクルセンターの整備に向け、土壌汚染対策工事を含む旧クリーンセンター解体工事を行います。
- ・し尿・浄化槽汚泥処理施設の整備に向け、方針の決定、庁内の体制整備に取り組みます。

2. 課の目標への取組結果

各事業についてはおおむね計画通り事業を実施できました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

- ・ごみの減量や資源化を推進し、循環型社会の形成に寄与することができました。
- ・新廃棄物処理施設の運営を適切に行い、計画通りにごみを処理し、廃熱を利用した発電・売電を行うことができました。
- ・リサイクルセンター整備に向け、建設予定地となる旧クリーンセンターの解体工事に着手しました。
- ・し尿・浄化槽汚泥処理施設の整備に向け、庁内の体制整備に取り組みました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

大部分の事業については、計画通り進捗しており、今後も継続的に取り組みを進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	不法投棄・路上喫煙防止対策事業		
	担当部署名	環境経済部 資源循環推進課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－3 生活環境の保全		
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	不法投棄や自動販売機への回収容器の設置、野焼き、犬の糞害、歩きたばこに対する指導や監視、啓発活動を実施します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	不法投棄防止対策事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	229	0	令和5年度（年度末時点）		1.77	0.01
令和6年度	決算見込額	143	0	令和6年度（年度末時点）		0.30	0.00
令和7年度	当初予算額	606	0	令和7年度	4月1日時点	0.10	0.10
	補正後予算額	606	0				
	決算額	479	0		年度末時点	0.10	0.10
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	不法投棄回収量	トン	目標値	5	5	5	5	5	5	5
			実績値	5	2	1	1	3		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	良好な生活環境を維持するため、定期的な不法投棄パトロールを実施し、環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や個別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止するため、今後も現状通り事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	新クリーンセンターの整備・運営	
	担当部署名	環境経済部 資源循環推進課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－1 地球環境の保全	
	施策の展開内容	地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となっていて進めています。	
事務事業の目的 ・概要	・廃棄物を適正に処理するとともに、クリーンセンターで廃棄物を焼却した際の熱をエネルギーとして回収し、余熱を利用した発電などを行うことで地球環境への負荷低減を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市一般廃棄物処理基本計画（令和5年度～令和14年度）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	新クリーンセンターの整備（環境影響評価事後調査）		施設の運転維持管理事業（焼却施設）
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	10,521	0	令和5年度（年度末時点）	1.42 0.00
令和6年度	決算見込額	422,253	0	令和6年度（年度末時点）	1.65 0.00
令和7年度	当初予算額	434,289	0	令和7年度 4月1日時点	1.60 0.00
	補正後予算額	434,606	0		
	決算額	430,663	0	令和7年度 年度末時点	1.60 0.00
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	新廃棄物処理施設（エネルギー回収型廃棄物処理施設）整備事業の進捗率	%	目標値	55	100	-	-	-	-	-
			実績値	55	100	-	-	-	-	-
活動 指標	新廃棄物処理施設（エネルギー回収型廃棄物処理施設）の円滑な運転稼働率	%	目標値	-	-	100	100	100	100	100
			実績値	-	-	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	令和5年4月より新クリーンセンターの本格稼働を開始し、おおむね計画通り施設を稼働することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	市内で発生する一般廃棄物（可燃ごみ）の安定的な処理を継続するため、施設が円滑に運転できるよう引き続き事業を推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	ごみ減量と資源化の推進	
	担当部署名	環境経済部 資源循環推進課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－1 地球環境の保全	
	施策の展開内容	地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となっていて進めていきます。	
事務事業の目的 ・概要	・環境への負荷を可能な限り減らすため、ごみの減量と資源化を進め、最終処分量の削減に取り組みます。 ・分別ルールの徹底やプラスチックごみの発生抑制、食品ロスの削減などについて啓発活動に取り組みます。 ・3 R（ごみの発生抑制・再使用・再生利用）の推進という観点から、市民がごみの減量や資源化に関することを体験しながら学べる機能などを有する資源化施設の整備を検討します。		
関連する市の計画等	我孫子市一般廃棄物対策基本計画（平成28年度～令和4年度）、第5次行政改革推進プラン（再資源化事業促進奨励金の見直し、ごみ収集の有料化）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 資源化施設の整備		ごみ減量・資源化の啓発事業
	廃棄物最終処分手業		資源回収・処理・売り払い業務
	清掃手数料の徴収事業		焼却灰処理事業(放射能対策)
	剪定枝木等のチップ化事業（放射能対策）		震災廃棄物の放射線測定事業
	廃棄物処理計画の策定		施設の運転維持管理事業（焼却施設以外）
	し尿・浄化槽汚泥処理施設整備事業		
継続費設定事業	旧クリーンセンター解体及び土壌汚染対策工事 R7～9 1,662,870千円、旧クリーンセンター解体及び土壌汚染対策工事監理委託 R7～9 35,255千円、リサイクルセンター整備運営事業発注支援業務委託 R7～8 39,941千円		
債務負担行為設定事業	旧クリーンセンター解体及び土壌汚染対策工事 R6～9 1,662,870千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,424,682	0	令和5年度（年度末時点）	1.25 0.06
令和6年度	決算見込額	993,042	0	令和6年度（年度末時点）	5.55 1.20
令和7年度	当初予算額	1,421,012	0	令和7年度	4月1日時点 5.00 1.90 年度末時点 5.00 1.90
	補正後予算額	1,439,061	0		
	決算額	1,132,914	0		
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	クリーンセンター既設焼却炉の解体作業の進捗率(事業費ベース)	%	目標値	-	-	3	5	10	60	100
			実績値	-	-	3	3	10		
活動 指標	資源化施設の検討についての進捗率	%	目標値	-	100	-	-	-	-	-
			実績値	-	100	-	-	-	-	-
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	新たな資源化施設の整備については、建設予定地となる旧クリーンセンターの解体工事に着手しました。また、あらたな資源化施設の整備を行う事業者を選定するための委員会を設置し、発注に向けた業務をすすめています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	それぞれの事業を引き続き推進することにより、ごみの減量、資源化の推進及び施設整備に努めています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高度処理型合併浄化槽設置整備補助事業		
	担当部署名	環境経済部 資源循環推進課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全		
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	河川へ流入する生活排水を浄化するため、住宅への高度処理型合併浄化槽の設置を推進します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	浄化槽対策事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	14,736	0	令和5年度（年度末時点）		0.57	0.00
令和6年度	決算見込額	6,868	0	令和6年度（年度末時点）		0.91	0.00
令和7年度	当初予算額	16,832	0	令和7年度	4月1日時点	0.90	0.00
	補正後予算額	11,914	0				
	決算額	11,173	0				
	次年度へ繰越				年度末時点	0.90	0.00

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	適正な審査に基づく補助金交付率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	市民の申請に応じて適正な審査を行い、補助金を交付することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	生活排水対策として引き続き高度処理型合併処理浄化槽の補助事業を推進します。

令和 7 年度
課の目標管理書

課 名 : 生活衛生課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

「一般廃棄物処理基本計画」や「我孫子市循環型社会形成推進地域計画」等に基づいた施策を着実に実施していきます。

循環型社会の形成に向け、市民、事業者、行政が協働し、ごみの分別を徹底するとともに、ごみの減量及び資源化に取り組みます。また、ごみを集積所まで出すことが困難なひとり暮らしの高齢者や障害者に対して支援します。

公害対策では、法に基づく公害や環境上で不快な状況の発生を防止するため、引き続き、地盤・土壌・地下水の保全対策や騒音・振動の防止対策を進めるとともに、大気汚染、水質汚濁を監視していきます。

放射能対策では、放射線量の測定のための機器の貸し出し、市民相談に引き続き取り組むとともに、要した負担を東京電力に求めています。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取り組みを実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

全取組を滞りなく実施することにより、ごみ減量や資源化を推進し、循環型社会の形成に寄与することができました。また、自然環境・生活環境の保全に努めました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

循環型社会形成の推進を図るため引き続き事業を推進していきます。また、第二次環境基本計画に基づいた施策を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集事業	
	担当部署名	環境経済部 生活衛生課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2－1 地域福祉の推進	
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきま す。	
事務事業の目的 ・概要	ごみを集積所まで出すことが困難で、他に協力が得られないひとり暮らしの高齢者や障害者に対し、声掛けを行いながらごみを戸別収集することで生活を 支援します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	「高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集事業 R4～R8年度 46,052千円」「ひとり暮らし高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集業務委託 R7年度 11,102千円」		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	6,379	0	令和5年度（年度末時点）		1.50	0.00
令和6年度	決算見込額	11,111	0	令和6年度（年度末時点）		1.10	0.00
令和7年度	当初予算額	11,113	0	令和7年度	4月1日時点	1.00	0.00
	補正後予算額	11,113	0				
	決算額	11,106	0		年度末時点	1.00	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	適正な審査に基づく決定率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	申請に対する適正な審査、利用者に対する適切な対応、当初の予定通りの計画の遂行ができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	高齢化が進み集積所へごみを排出できない市民が増加しており、引き続き必要不可欠な事務であるため、今後も、現状どおり事業を推進して いきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	専用水道・簡易専用水道・小規模水道の管理等指導事業	
	担当部署名	環境経済部 生活衛生課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－7 安全な水道水の安定供給	
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。	
事務事業の目的 ・概要	団地や学校、レジャー施設などの自家用の水道の設置者に対し、施設の布設工事や維持管理などが適正に行われるよう指導します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	専用水道・簡易専用水道・小規模水道の管理等指導事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	32	0	令和5年度（年度末時点）		0.30	0.00
令和6年度	決算見込額	11	0	令和6年度（年度末時点）		0.35	0.00
令和7年度	当初予算額	11	0	令和7年度	4月1日時点	0.35	0.00
	補正後予算額	11	0				
	決算額	11	0		年度末時点	0.35	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	専用水道立入検査数	施設	目標値	16	16	16	16	16	16	16
			実績値	16	16	16	16	15		
成果 指標	基準を満たしている専用水道施設の割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができました。年度途中で専用水道 1 施設が廃止となったため、専用水道立入件数の実績値が目標値に対して 1 マイナスとなっていますが、市内の稼働している全ての専用水道施設に立入検査を行いました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	水道法に基づく専用水道、簡易専用水道、我孫子市小規模水道条例に基づく小規模水道（小規模専用水道、小規模簡易専用水道）の設置者に対し、施設の布設工事や維持管理などについて、飲料水の安全が確保されるように指導することは重要であり、今後も継続して指導を行い推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	ごみ減量と資源化の推進	
	担当部署名	環境経済部 生活衛生課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－1 地球環境の保全	
	施策の展開内容	地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となつて進めていきます。	
事務事業の目的 ・概要	・ 環境への負荷を可能な限り減らすため、ごみの減量と資源化を進め、最終処分量の削減に取り組みます。 ・ 分別ルールの徹底やプラスチックごみの発生抑制、食品ロスの削減などについて啓発活動に取り組みます。 ・ 3 R（ごみの発生抑制・再使用・再生利用）の推進という観点から、市民がごみの減量や資源化に関することを体験しながら学べる機能などを有する資源化施設の整備を検討します。		
関連する市の計画等	我孫子市一般廃棄物対策基本計画（令和5年度～令和14年度）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	生ごみリサイクル補助事業		
	可燃・粗大ごみ収集事業		
	ごみ集積所の設置事業		
	排出指導対策事業		
	清掃手数料の徴収事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	297,530	0	令和5年度（年度末時点）		1.30	0.10
令和6年度	決算見込額	303,669	0	令和6年度（年度末時点）		0.90	0.60
令和7年度	当初予算額	299,924	0	令和7年度	4月1日時点	1.20	0.60
	補正後予算額	297,360	0				
	決算額	296,089	0		年度末時点	1.20	0.60
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	適切な審査に基づく、生ごみリサイクル補助申請に対する交付決定率	%	目標値	-	100	100	100	100	100	100
			実績値	-	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	申請に対して適正な審査に基づき、補助金の給付決定を行いました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き推進することによりごみの減量及び資源化の推進に努めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	適正な生態系の維持		
	担当部署名	環境経済部 生活衛生課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全		
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。		
事務事業の目的 ・ 概要	生態系への影響や農業などへの被害を防止するため、外来生物の生息実態の把握、防除や適正な管理を行うとともに、生態系へ及ぼす悪影響について広く啓発し、在来種の保護と新たな外来生物の移入防止を図ります。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	外来生物防除事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.65 0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	0.60 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	0.75 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	0.75 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	市内におけるアライグマの防除箇所	箇所	目標値	3	3	3	20	20	20	20
			実績値	16	25	36	41	54		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	千葉県のアライグマ防除計画に基づき、引き続き適正な生態系の維持に努めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	典型 7 公害対策事業	
	担当部署名	環境経済部 生活衛生課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－3 生活環境の保全	
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。	
事務事業の目的 ・ 概要	清潔で快適な環境を維持するため、定期的な環境調査と個別の事業所などへの監視や指導を継続して行います。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	光化学スモッグ等監視・連絡業務		地下水環境調査
	トリクロロエチレン等地下水調査		道路交通騒音・振動調査
	羽田再拡張事業に関する業務		埋立て条例に基づく規制業務
	開発行為等事前指導		騒音・振動規制対策事業
	環境騒音調査		騒音・振動等測定器購入
	県環境保全条例に基づく揚水規制業務		
	法令・市条例に基づく悪臭規制業務		
	大気汚染防止冬期対策		
	地下水汚染浄化対策事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	8,179	0	令和5年度（年度末時点）	1.30 0.20
令和6年度	決算見込額	9,067	0	令和6年度（年度末時点）	1.10 0.20
令和7年度	当初予算額	10,705	0	令和7年度	4月1日時点 1.10 0.20 年度末時点 1.10 0.20
	補正後予算額	9,177	0		
	決算額	8,602	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	大気中の窒素酸化物環境調査の調査箇所数	箇所	目標値	40	40	40	40	40	40	40
			実績値	40	40	40	40	40		
活動 指標	トリクロロエチレン等地下水調査の調査井戸数	個	目標値	124	124	113	113	113	113	113
			実績値	125	118	106	108	110		
成果 指標	大気中の窒素酸化物環境調査の二酸化窒素の千葉県目標達成率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	トリクロロエチレン等地下水調査の基準適合率	%	目標値	85	85	85	85	85	85	85
			実績値	70	88	83	80	82		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	これまで基準適合していた複数の井戸で基準超過となったため、目標は達成出来ませんでした。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	清潔で快適な環境を維持するため、引き続き取り組んでいきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	生活環境に関する相談業務	
	担当部署名	環境経済部 生活衛生課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－3 生活環境の保全	
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	・さまざまな環境問題について、市民や事業者への注意喚起や啓発、情報提供を行うとともに、対策を講じて市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。 ・市民が良好な生活環境を保てるよう、犬や猫の適切な飼養を促すとともに、鳥獣や害虫に関する相談対応に取り組みます。		
関連する市の計画等	我孫子市第2次放射能対策総合計画（H26.4～H28.3）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	福島第一原発事故に伴う放射能汚染問題への対応		
	公害苦情相談		
	蜂・害虫などの相談業務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,276	0	令和5年度（年度末時点）	1.35 0.30
令和6年度	決算見込額	1,565	0	令和6年度（年度末時点）	1.35 0.40
令和7年度	当初予算額	1,670	0	令和7年度 4月1日時点	1.15 0.40
	補正後予算額	2,321	0		
	決算額	2,119	0	令和7年度 年度末時点	1.15 0.40
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	公害苦情処理件数	件	目標値	31	31	31	31	31	31	31
			実績値	33	22	35	35	42		
成果 指標	子どもが多く利用する施設等での放射線量の基準 （0.23マイクロシーベルト未満）の達成率	%	目標値	100	100	100	100	-	-	-
			実績値	100	100	100	100	-	-	
成果 指標	公害苦情解決率	%	目標値	95	95	95	95	95	95	95
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	手賀沼沿いでの空間線量の基準（0.23マイクロ シーベルト未満）の達成率	%	目標値	-	-	-	-	100	100	100
			実績値	-	-	-	-	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	苦情の件数が目標値より多くなっていますが、速やかに対応しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	市民の良好な生活環境を保てるよう、引き続き取り組んでいきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	不法投棄・路上喫煙防止対策事業		
	担当部署名	環境経済部 生活衛生課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－3 生活環境の保全		
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	不法投棄や自動販売機への回収容器の設置、野焼き、犬の糞害、歩きたばこに対する指導や監視、啓発活動を実施します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	不法投棄防止対策事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	26	0	令和5年度（年度末時点）	1.15 0.00
令和6年度	決算見込額	17	0	令和6年度（年度末時点）	1.15 0.00
令和7年度	当初予算額	11	0	令和7年度 4月1日時点	1.20 0.00
	補正後予算額	11	0		
	決算額	9	0	令和7年度 年度末時点	1.20 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	不法投棄回収量	トン	目標値	5	5	5	5	5	5	5
			実績値	5	2	1	6	2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	不法投棄等を未然に防ぐため、不法投棄のバトロール等、関係機関各所と連携をとり、不法投棄を無くすよう取り組みます。

令和7年度 課の目標管理書

課 名：商業観光課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

「我孫子市商業観光まちづくり大綱」に基づき、効果的な施策の展開を図るため、大綱及び事業集に挙げた事業について、事業者や市民の参画のもとに取り組んでいきます。

商業の振興では、商工会と連携し地域の事業者とともに賑わいづくりに努め、商店街活性化事業補助金の活用推進により事業者の取り組みを支援します。

観光の振興では、令和6年度に導入したスマートサイクル及び観光ポータルサイトの利用を周知しながら、豊かな自然や歴史、文化など観光資源を積極的に活用し、観光客を呼び込み、もてなす環境づくりを進めます。特に、手賀沼観光施設誘導方針の変更を踏まえて、手賀沼を有効に利用しながら、交流人口の拡大を図っていきます。また、従前からのレンタサイクルやミニ鉄道も引き続き実施するとともに、インフォメーションセンター「アビシルベ」を活用し、我孫子の魅力や観光情報を市内外に向け発信します。

消費者トラブルの解決を図るため、相談の受付、苦情処理等に係る斡旋を行います。また、消費者自らがトラブルを未然に防ぐ知識を身に付けられるよう、関係する団体や機関と連携して消費者への啓発や必要な情報の収集・提供をします。

各種イベントや出前講座などで石けん利用推進協議会委員と共に、環境にやさしい石けん利用推進の啓発活動に取り組んでいきます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

特に、市制施行55周年記念事業として手賀沼公園ミニ鉄道のトンネル壁画を更新するとともに、11月15日から12月28日にかけて「白樺芸術祭ABIKO～過去・現在・未来～」を開催し、シビックプライドの向上を図りながら観光客を呼び込みました。

さらに、消費者トラブルに対する取り組みでは、啓発に力を入れるとともに、斡旋も積極的に実施し、高い解決率となりました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

商業振興における事業者支援、観光振興における来訪者の呼び込み、消費者啓発における自立支援などいずれも効果があったものと評価しています。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

我孫子市商業観光まちづくり委員会に諮りながら、持続可能な商業振興、観光振興を進めていくことが重要と考えます。

また、消費者トラブルに対する取り組みも、近年増加傾向であるオンラインショッピングや不要な工事によるものなど、今後、さらに対応が必要と考えています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	消費者啓発事業		
	担当部署名	環境経済部 商業観光課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－3 防犯対策の推進		
	施策の展開内容	防犯協議会や地域のボランティア団体、警察などと連携強化を図りながら、特殊詐欺などの身近な犯罪の情報提供や相談、啓発活動に取り組み、犯罪の起きにくい環境整備を進めます。 また、地域での防犯パトロールなど自主的な防犯活動への支援を行い、市民の防犯意識の向上を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	国民生活センターや千葉県消費者センター、千葉県弁護士会などと連携し、相談体制の確保、消費生活に関する知識の普及や情報提供などの啓発活動に取り組むことで、消費者被害の未然防止や早期発見、解決を図ります。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	消費生活相談事務			
	消費生活展の実施			
	消費者安全確保地域協議会設置の検討			
	全国消費生活情報ネットワークシステムの更新			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,692	0	令和5年度（年度末時点）	1.15 2.60
令和6年度	決算見込額	6,149	0	令和6年度（年度末時点）	1.05 3.40
令和7年度	当初予算額	11,753	0	令和7年度	4月1日時点 1.05 3.40
	補正後予算額	10,744	0		
	決算額	10,116	0	令和7年度	年度末時点 1.05 3.40
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	消費生活相談斡旋解決割合	%	目標値		90	90	90	90	90	90
			実績値	—	98	92.9	95.6	94.2		
成果 指標	消費生活講座参加者	人	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値	95	46	106	68	84		
成果 指標	消費生活展参加者	人	目標値		800	800	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	182	516	587	591	732		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	ほぼ順調に斡旋解決しました。また、消費生活展には市民の方の関心がより高まっていると推測され、過去5年間で最も多い参加者数になりました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	消費者トラブルの解決を図るため、相談の受付、苦情処理等に係る斡旋、生活相談員の研修参加、また、消費者自らトラブルを未然に防ぐ知識を身につけられるよう、関係する団体や機関と連携して消費者への啓発や必要な情報の収集・提供を進めて行きます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	商業活性化策の推進		
	担当部署名	環境経済部 商業観光課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－3 商工業の振興		
	施策の展開内容	中小企業への支援をはじめ、起業・創業に対する支援、商店会や商工業者などへの支援に取り組み、商工会と連携して商工業の振興に関する施策を総合的に推進していきます。		
事務事業の目的 ・概要	地域経済の活性化のため、商工会と協力して事業者同士の連携を促し、組織力が向上するよう、商店会や商工業者などの取組を支援するとともに、市内での消費を促していきます。			
関連する市の計画等	我孫子市商業観光まちづくり大綱			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	我孫子市ふるさと産品育成事業			
	我孫子市産業まつり			
	商業活性化策の推進			
	商工会育成事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	14,640	0	令和5年度（年度末時点）		1.50	0.00
令和6年度	決算見込額	16,012	0	令和6年度（年度末時点）		1.50	0.00
令和7年度	当初予算額	15,498	0	令和7年度	4月1日時点	1.50	0.00
	補正後予算額	14,754	0				
	決算額	13,492	0		年度末時点	1.50	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	「ふるさと産品」推奨品の品数	品	目標値		28	28	28	28	28	28
			実績値	26	26	26	26	33		
成果 指標	産業まつり 来場者数	人	目標値		16,000	16,000	16,000	16,000	16,000	16,000
			実績値	中止	中止	中止	10,000	15,000		
成果 指標	我孫子市商工会の組織率	%	目標値		50	50	50	50	50	50
			実績値	46	46	46	45	46		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	ふるさと産品は、マッシュルームイチバンや白樺派のひとさじキーマカレー、ぬまカレーなど、知名度や売上高のある商品が登録され、目標値を大きく上回りました。また、産業まつりはわずかに目標未達となりましたが、前年度の開催時に会場で募集した名前について、決定した「あびこ産業まつり」という名前を会場で発表し、大いに賑わいました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	物価高騰が続く中で、これまで行ってきた事業者支援を継続するとともに、我孫子市商業観光まちづくり大綱に基づいて、さらなる効果的な取り組みを進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	観光振興策の推進		
	担当部署名	環境経済部 商業観光課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－5 交流・関係人口の拡大		
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。		
事務事業の目的 ・概要	手賀沼を中心としたさまざまな地域資源を活かして、市内外から多くの人が訪れ親しんでもらえるよう、手賀沼花火大会をはじめとするイベントの開催や誘客に寄与する環境づくりに努めていきます。			
関連する市の計画等	我孫子市商業観光まちづくり大綱			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業		観光振興策の推進		
		3市連携周遊事業		
		あびこカップまつり		
		手賀沼周遊レンタサイクル・ミニ鉄道運営事業（冬季試験運営、キャッシュレス決済の検討など）		
		手賀沼花火大会		
	指	農産物直売所アンテナショップ跡地活用		
		スマートサイクルの運営		
		白樺芸術祭		
		ミニ鉄道壁画制作		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	スマートサイクルの運営事業 R7～R8年度 8,058千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	23,681	0	令和5年度（年度末時点）	1.50 0.00
令和6年度	決算見込額	44,699	0	令和6年度（年度末時点）	1.50 0.00
令和7年度	当初予算額	36,682	0	令和7年度 4月1日時点	1.50 0.00
	補正後予算額	42,523	0		
	決算額	36,430	0	令和7年度 年度末時点	1.50 0.00
	次年度へ繰越	5,057	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	手賀沼周遊レンタサイクル・手賀沼公園ミニ鉄道運営日数（冬季試験運営期間を除く）	日	目標値		111	109	111	111	111	112
			実績値	95	100	97	102	78		
成果 指標	3市連携周遊事業 スタンプラリー応募者数	人	目標値		2,500	2,520	2,540	2,560	2,580	2,600
			実績値	中止	中止	4,083	1,084	1,663		
成果 指標	カップまつり来場者数	人	目標値		27,000	27,100	27,200	27,300	27,400	27,500
			実績値	中止	7,000	8,000	8,000	7,000		
成果 指標	手賀沼周遊レンタサイクル・ 手賀沼公園ミニ鉄道利用者数	人	目標値		38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000
			実績値	33,127	39,374	33,353	40,325	33,245		
成果 指標	手賀沼花火大会来場者数	人	目標値		150,100	150,200	150,300	150,400	15,400	150,500
			実績値	中止	中止	180,000	190,000	200,000		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	カップまつりは、酷暑の中の開催となったため、日中の屋外来場者が少なく、目標未達となりましたが、夕方からの大輪踊りは多くの来場者で賑わいました。また、手賀沼花火大会は例年以上の来場者となりましたが、大きな事故もなく安全に開催出来ました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	これまで行ってきた観光振興を継続するとともに、我孫子市商業観光まちづくり大綱に基づいて、持続可能な観光振興を目指し、さらなる効果的な取り組みを進めていきます。合わせて、3市連携周遊事業は引き続き柏市、印西市と連携して実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	観光情報の発信		
	担当部署名	環境経済部 商業観光課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－5 交流・関係人口の拡大		
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。		
事務事業の目的 ・概要	多くの人に繰り返し訪れてもらえるよう、自然や歴史・文化をはじめとする市の魅力や観光情報をさまざまな方法で効果的に発信していきます。			
関連する市の計画等	我孫子市商業観光まちづくり大綱			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	マスコットキャラクターの活用			
	我孫子インフォメーションセンター運営事業			
	自転車観光コンテンツの運用			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	24,361	0	令和5年度（年度末時点）		1.40	0.00
令和6年度	決算見込額	36,719	0	令和6年度（年度末時点）		1.40	0.00
令和7年度	当初予算額	34,656	0	令和7年度	4月1日時点	1.40	0.00
	補正後予算額	34,567	0		年度末時点	1.40	0.00
	決算額	34,374	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	キャラクターの着ぐるみ貸出件数	件	目標値		24	50	50	50	50	50
			実績値	0	33	43	47	58		
活動 指標	小さな旅パンフレット配布数（累計）	冊	目標値		5,000	10,000	15,000	—	—	—
			実績値		12,960	15,000	15,000	15,000		
成果 指標	我孫子インフォメーションセンター公式サイト年間アクセス数	回	目標値		53,600	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000
			実績値	84,580	124,930	150,905	158,228	168,343		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	さまざまなイベントに着ぐるみの貸し出しを行い、シビックプライドの向上を図りました。パンフレットについては、在庫がなくなったことから配布が行えませんでした。あびこ魅力探訪サイクリングMAPなど、他のパンフレットにより補完しました。インフォメーションセンターサイトのアクセス数は、アプリやSNSとの連携など、積極的な情報発信により順調に推移しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	多くの貸し出しにより劣化の進んだ着ぐるみを更新しましたので、引き続き積極的な貸し出しを行います。また、インフォメーションセンターサイトのアクセス数については、目標と実績に乖離があることから、適切な目標値の検討を行います。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	石けん利用の推進		
	担当部署名	環境経済部 商業観光課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－3 生活環境の保全		
	施策の展開内容	清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	我孫子市石けん利用推進協議会委員の協力のもと、環境にやさしく安全な石けんを、各種イベントなどで啓発し、推進します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	石けん利用の推進			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	114	0	令和5年度（年度末時点）	0.55 0.10
令和6年度	決算見込額	260	0	令和6年度（年度末時点）	0.45 0.10
令和7年度	当初予算額	180	0	令和7年度	4月1日時点 0.45 0.10
	補正後予算額	148	0		
	決算額	124	0		
	次年度へ繰越	0	0	令和7年度	年度末時点 0.45 0.10

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	石けん利用推進協議会開催回数	回	目標値		2	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	2		
活動 指標	石けん利用推進対策審議会開催回数	回	目標値		1	1	1	1	1	1
			実績値	1	0	0	1	0		
活動 指標	イベントでの啓発参加回数	回	目標値		4	6	6	6	6	6
			実績値	3	4	7	8	9		
成果 指標	各種イベントでの啓発参加者	人	目標値		2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
			実績値	—	3,010	1,972	2,410	2,301		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	予定通り実施しました。イベント等で石けんの使い方や環境との関わりについて啓発することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	あびこ産業まつりに参加するなど石けん啓発を推進し、環境及び身体にやさしい石けんの利用を進めて行きます。

令和7年度 課の目標管理書

課 名：企業立地推進課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・柴崎地区産業用地整備事業について、測量設計等の成果物を引き継ぐため、共同企業体と協定終了に向けた協議を進めていきます。また、我孫子市進出に興味がある事業者の意見を聴取しながら新たな整備手法の検討を進めていきます。

・下ケ戸地区の産業用地整備については、令和6年度に実施した「下ケ戸地区産業用地整備に向けた意向調査」を参考に産業用地創出における課題・有用性を整理し、地権者・関係機関と協議を進めていきます。

・我孫子市創業支援等事業計画に基づき、NPO法人や我孫子市商工会などと連携し、起業創業の支援を行います。また、令和7年度からは、商工会の協力を得て日本政策金融公庫の創業者向けの融資メニューに対して支援が行えるよう制度拡充を図ります。

・市内小規模事業者の支援では、商工会を通じて展開している日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金融資について、市内小規模事業者の発展のため、活用がしやすくなるよう拡充を図ります。

・中小企業資金融資については、貸付金利上昇局面において、市内中小企業が安心して資金調達ができるよう市の利子補給方法を一定利率による支給方式から、支払い利子に連動する方式に変更します。

・「アビソンシュガーガーデン」の運営事業者と連携し、公園坂通りの賑わいの創出を図るとともに、地域経済の活性化につなげます。

2. 課の目標への取組結果

・柴崎地区産業用地整備事業については、協定解除に係る合意書を締結しました。

・下ケ戸地区の産業用地整備については、千葉県からも助言を受けながら活用方法の検討を行いました。また、企業向け展覧会に参加し民間事業者の需要調査を行いました。

・我孫子市創業支援等事業計画に基づき、創業者及び創業を予定する者に支援を行いました。

・市内小規模事業者の支援では、商工会を通じて展開している日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金融資制度を拡充したことにより活用事業者が増加しました。

・中小企業資金融資については、金利上昇局面において支援が行えるよう利子補給率の上限の見直しを行いました。

・公園坂通りの賑わいの創出事業に関しては、審議会を開催し令和8年度に実施する中間評価の方式に関して道筋を立てました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

柴崎地区産業用地整備に関しては、共同企業体の撤退により、今後の見通しは立っていない状況ですが、共同企業体が作成した設計図書類に関して、有償で引き継ぐため、協定解除に係る合意書を締結することができたことにより、設計図書類を活用した新たな活用方法の検討に関して道筋を立てることができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

依然として、市内において活用可能な産業用地は皆無に等しいため、早期に活用可能な小規模な土地、産業用地整備に時間を要する大規模な土地など、その形態を問わず、民間事業者が活用・進出できる施策を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	企業が進出・操業しやすい環境づくり（住工混在の解消、企業が進出しやすい環境整備）		
	担当部署名	環境経済部 企業立地推進課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－1 企業立地の推進		
	施策の展開内容	企業立地を推進することで、新たな雇用の場を創出し、職住近接による定住化を図ることで恒久的な財源を確保するとともに、住工混在の解消や地域産業の活性化、既存企業の流出防止に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	・地域経済の活性化と雇用機会の拡大を図るため、産業用地を創出し、企業誘致や住工混在の解消などに取り組みます。 ・企業立地を促進させるため、新規立地による設備投資及び雇用を創出する企業に対して支援を行うとともに、再投資により事業の拡大及び雇用の拡大を図る既存企業に対して支援を行います。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	柴崎地区産業用地整備事業		
		オフィス開設等促進補助事業		
		企業立地促進補助金交付事業		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	柴崎地区産業用地公共基盤施設建設負担金 R4～R8 462,462,000円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	2,484	0	令和5年度（年度末時点）	1.70 0.00
令和6年度	決算見込額	5,175	0	令和6年度（年度末時点）	1.70 0.00
令和7年度	当初予算額	6,652	0	令和7年度 4月1日時点	1.60 0.00
	補正後予算額	7,582	0		
	決算額	5,946	0		
	次年度へ繰越			年度末時点	1.60 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	柴崎地区産業用地整備事業に係る土地利用計画（案）策定の進捗率	%	目標値		100	100	100	－		
			実績値		0	20	50	－		
活動 指標	柴崎地区産業用地整備事業に係る関係機関との事前協議進捗率	%	目標値			100	100	－		
			実績値			50	80	－		
活動 指標	柴崎地区産業用地整備事業の造成工事進捗率	%	目標値					－	－	－
			実績値					－	－	－
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調とはいえない	事業主体である共同企業体から事業撤退の意向が示され、今後の事業の先行きが見えない状況となりました。 基本協定解除の合意書を共同企業体と締結しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	計画地における盛土層など課題を踏まえながら、新たな活用方法を検討していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	就労支援・雇用環境の充実	
	担当部署名	環境経済部 企業立地推進課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－2 就労支援の充実	
	施策の展開内容	関係機関と連携しながら、求職者に対する就業に向けた情報や相談の場の提供などにより、就労機会の創出と定着を図るとともに、働きやすい職場づくりを実践する事業者に対する支援などを行い、雇用環境の充実に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	・「我孫子市地域職業相談室」において、求人情報を提供するとともに職業相談などの支援を行います。 ・働きやすい職場づくりを事業者に促すとともに、雇用環境の充実に努める事業者に対して支援を行います。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	地域職業相談室の運営		
	就労支援事業		
	中小企業退職金共済掛金補助金		
	障害者雇用の奨励金		
	地域職業相談室の移転		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	6,452	0	令和5年度（年度末時点）		0.40	1.05
令和6年度	決算見込額	6,300	0	令和6年度（年度末時点）		0.50	1.05
令和7年度	当初予算額	2,646	0	令和7年度	4月1日時点	0.50	0.70
	補正後予算額	2,322	0				
	決算額	2,232	0		年度末時点	0.50	0.70
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	中小企業退職金共済掛金補助金の交付件数	件	目標値	85	90	95	80	80	－	－
			実績値	70	63	58	63	129	－	－
活動 指標	障害者雇用促進奨励金及び障害者職場実習奨励金の交付件数	件	目標値	11	12	13	6	3	2	1
			実績値	8	9	17	4	6		
成果 指標	我孫子市地域職業相談室の月平均利用者数	人	目標値	400	340	340	400	400	400	400
			実績値	319	299	399	319	344		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	市の財政緊縮の方針に沿って、中小企業退職金共済掛金補助金を廃止しました。 地域職業相談室では、目標は達成していないものの前年度を上回る利用がありました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	財政緊縮の方針に基づき、引き続き、障害者雇用関連補助金について段階的に廃止していきます。 地域職業相談室では、利用しやすい場所にあるという立地的特性を活かし、ハローワークと協力して利用増に向けた取り組みを行っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	中小企業の支援		
	担当部署名	環境経済部 企業立地推進課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－3 商工業の振興		
	施策の展開内容	中小企業への支援をはじめ、起業・創業に対する支援、商店会や商工業者などへの支援に取り組み、商工会と連携して商工業の振興に関する施策を総合的に推進していきます。		
事務事業の目的 ・概要	地域に根差した事業者の経営の安定や事業の発展のため、中小企業に対して資金の貸付けや利子補給など社会状況の変化や経営状況に合わせた支援を行います。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	中小企業への資金融資			
	永年勤続表彰			
	小児科支援資金利子補給			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	131,038	0	令和5年度（年度末時点）		0.50	0.35
令和6年度	決算見込額	130,760	0	令和6年度（年度末時点）		0.50	0.35
令和7年度	当初予算額	132,672	0	令和7年度	4月1日時点	0.60	0.10
	補正後予算額	128,254	0		年度末時点	0.60	0.10
	決算額	128,113	0				
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	我孫子市中小企業融資制度による利子補給件数	件	目標値	310	315	320	200	200	200	200
			実績値	179	164	147	133	115		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	金利上昇局面にある中において、引き続き事業者に必要な支援が行えるよう、利子補給上限を3%から4%に見直し改正を行いました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、金利上昇局面にあることから、財政状況を考慮しながら、市内事業者に対して必要な支援が行えるよう利子補給上限の改正を検討していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	起業・創業の支援		
	担当部署名	環境経済部 企業立地推進課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－3 商工業の振興		
	施策の展開内容	中小企業への支援をはじめ、起業・創業に対する支援、商店会や商工業者などへの支援に取り組み、商工会と連携して商工業の振興に関する施策を総合的に推進していきます。		
事務事業の目的 ・概要	起業・創業者数の増加を図るため、起業するための学びの場を提供するとともに、創業時における支援策を充実させます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	公園坂通りへの出店支援			
	起業・創業の支援			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	12,542	40,000	令和5年度（年度末時点）	0.85 0.70
令和6年度	決算見込額	13,017	0	令和6年度（年度末時点）	0.75 0.70
令和7年度	当初予算額	12,860	0	令和7年度 4月1日時点	0.75 0.60
	補正後予算額	13,405	0		
	決算額	13,343	0	令和7年度 年度末時点	0.75 0.60
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	公園坂通り施設を活用する事業者選考・施設改修工事等の事業進捗率	%	目標値		100	—	—	—	—	—
			実績値		90	100	—	—	—	—
活動 指標	創業支援補助金の交付件数	件	目標値	8	9	10	11	11	11	12
			実績値	11	12	14	13	17		
成果 指標	市主催の創業塾、起業個別相談会、女性起業支援フォーラム、ビジネス交流会の延べ参加者数	人	目標値	548	633	718	803	888	973	1,058
			実績値	575	639	706	844	934		
成果 指標	公園坂通り施設の年間利用者数	人	目標値		600	1,200	24,000	24,000	24,000	24,000
			実績値		0	42,000	25,298	26,394		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	創業塾等の創業関連施策の展開により、市内で創業しやすい環境が整ってきており、各指標に関して目標を達成することができました。公園坂通り施設の利用者は、開業年度である令和5年度には及ばないものの順調に確保できている。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	創業支援補助金の制度改正も含め、市内で創業しやすい環境を整えていきます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：農政課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・農業振興基本条例に基づき、農業振興に係る計画と施策の展開を図ります。

・認定農業者、農業後継者、新規農業参入者等の担い手農家を確保・育成するため、地域計画の活用、農地のあつ旋・集積、補助・融資制度の活用、日秀新田市民農園での研修・実践等の支援を行います。

・男女共同の推進とともに、農産物直売事業を軸とした6次産業化に取り組む農業者（組織）を育成・支援します。又、農業振興のため農業拠点施設の管理・運営を確実に進めます。

・手賀沼沿い農地活用計画に基づき、農地の活用と保全を積極的に支援します。

・日秀新田市民農園の充実を図り、高野山ふれあい市民農園の跡地や水生植物園の利用を踏まえた高野山新田地区の活性化を図ります。

・環境保全型農業を推進するため、ちばエコ農産物認証取得等に取り組む農家を支援します。また、あびこエコ農業推進基本計画に基づき、環境保全型農業の普及・促進を図ります。

・地産地消を推進するため、あびこ型「地産地消」推進協議会の活動を充実させ、協議会及び農業者が取り組む学校給食への地元農産物供給支援事業や援農事業、交流事業等を拡充します。

・農産物残留農薬検査や農産物放射能検査を行い、市民の安全・安心の確保と農業経営への風評等被害の軽減を図ります。又、鶏伝染病対策や植物防疫対策を進めます。

・豊かな農地を次の世代へ着実に引き継ぐため、地域計画の見直しを行い、担い手農家へ農地の利用集積及び保全を図ります。又、国営総合農地防災事業をはじめとする農業用施設の機能低下や老朽化等にかかる対策事業、同施設の適切な維持管理を国・県・関係市・土地改良区等と連携して進めます。

・植物防疫事業については、近年、農作物への被害が増大しているカメムシ対策を市内で広域的に取り組むとともに、アライグマやハクビシン、イノシシなどの有害鳥獣による農業被害防止対策については千葉県や近隣市と連携し対策を講じます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

課の目標に基づき取組を実施しましたが、依然として、物価高騰等による農業経営の圧迫が生じているため、今後も農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備、更新、先進的な農業機械や施設の導入支援など、農業生産基盤の維持強化に取組んでまいります。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

農業生産基盤の整備などによる生産性の向上、農業拠点施設等との連携による付加価値の創出や地産地消の推進、担い手の育成と新規就農者の確保などにより、農業の持続的な発展に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	農業の生産性の維持向上	
	担当部署名	環境経済部 農政課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－4 農業の振興	
	施策の展開内容	農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	農業の生産性の維持・向上を図るため、集落・地域の話し合いにより、今後の地域の中心となる担い手を定め、農地集積を進める「地域計画」を作成し、農地中間管理機構などと連携した農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備・更新、先進的な農業用機械や施設設備の導入支援など、農業生産基盤の維持強化に取り組みます。		
関連する市の計画等	我孫子市農業振興地域整備計画、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	水田農業構造改革対策事業		県営担い手育成基盤整備事業
	地域計画策定推進事業		農道整備事業
	農業振興地域整備計画の管理		農業用排水施設維持管理
	農地集積推進事業		手賀沼地域農業農村整備事業
	認定農業者施設整備事業費補助事業		鶏伝染病対策事業
	農業用廃プラスチック適正処理への補助		淡水魚かい類種苗放流事業への支援
	植物防疫業務		農業用排水施設に繁殖する外来水生植物の除去
	無人航空機防除事業		
	幹線排水路護岸改修（利根地区）		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	120,381	2,300	令和5年度（年度末時点）		2.93	0.00
令和6年度	決算見込額	195,073	0	令和6年度（年度末時点）		3.03	1.00
令和7年度	当初予算額	129,678	0	令和7年度	4月1日時点	3.03	1.00
	補正後予算額	142,161	0				
	決算額	131,701	0		年度末時点	3.03	1.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	飼料用米取り組み農家数	人	目標値	30	35	40	45	45	50	50
			実績値	27	34	31	17	6		
成果 指標	飼料用米作付面積	ha	目標値	85	90	95	100	100	105	105
			実績値	86	116	126	84	30		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	農業の生産性の維持・向上を図るため、今後の地域の中心となる担い手を定め、農地集積を進める「地域計画」を作成し、農地中間管理機構などと連携した農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備・更新、先進的な農業用機械や施設設備の導入支援など、農業生産基盤の維持強化に取り組みました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	農業の生産性の維持・向上を図るためには、生産者の支援が必要事項であるため、今後も引き続き推進を行っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	農業経営の安定化	
	担当部署名	環境経済部 農政課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－4 農業の振興	
	施策の展開内容	農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	・生産者と連携しながら環境保全型農業の普及・促進を図り、工コ農産物の栽培・供給に取り組む農家を積極的に支援・育成し、環境にやさしい農業に取り組めます。 ・地元農産物の付加価値を高めるため、生産者、大学、商工業者、NPOなどの関係者と協力しながら、農業拠点施設を軸とした新たな加工品の開発やブランド化、市内外のイベントでのPRに取り組めます。 ・地元農産物を地域内で消費する地産地消を推進するとともに、市の交流人口を増加させる役割を担う農業拠点施設を活用し、消費者ニーズに対応した安全・安心な農産物の供給や食育推進に取り組めます。 ・収益性の高い作物や農業技術、経営改善方法の情報提供を行うなど、農業経営の安定化のための各種支援に取り組めます。 ・新規就農者を確保・育成するため、就農希望者の計画作成や農地の確保をサポートするとともに、就農後の農地拡大、農業機械・施設の導入、農業技術の習得、そのための資金調達などの支援に取り組めます。		
関連する市の計画等	あびこ工コ農業推進基本計画、我孫子市男女共同参画プラン、第2次心も身体も健康プラン、農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	農業拠点施設維持管理事業		
	6次産業化推進事業		
	あびこ型「地産地消」推進協議会の充実		
	新規就農支援事業		
	農業・農村男女共同参画の推進		
	農業にかかる放射能対策事業		
	有機栽培等農業者支援事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	48,457	0	令和5年度（年度末時点）		2.13	2.90
令和6年度	決算見込額	22,718	0	令和6年度（年度末時点）		2.93	1.90
令和7年度	当初予算額	19,725	0	令和7年度	4月1日時点	2.93	1.30
	補正後予算額	32,409	0				
	決算額	28,414	0		年度末時点	2.93	1.30
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	農業拠点施設の年間延べ利用者数	人	目標値	390,000	400,000	405,000	410,000	415,000	415,000	415,000
			実績値	409,805	415,806	408,016	398,942	368,013		
活動 指標	家族経営協定世帯数	人	目標値	40	41	42	43	43	44	44
			実績値	40	40	40	41	41		
活動 指標	農産物の加工施設を有する農業者数	人	目標値	8	8	9	9	9	10	10
			実績値	7	7	8	9	9		
成果 指標	農業拠点施設への出荷農家数	人	目標値	100	103	106	109	110	111	112
			実績値	106	100	97	97	101		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の維持的な発展を推進しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	農家の高齢化により農家の減少、生産力が低下することが想定されるため、既存農家への支援を継続していくと共に、新規就農者への支援も継続し、農業経営の安定化に寄与する事業を行っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	手賀沼沿い農地の保全活用と農業者支援	
	担当部署名	環境経済部 農政課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－4 農業の振興	
	施策の展開内容	農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	手賀沼沿いの農地を耕作する農業者への支援を行い、手賀沼や斜面林など一体となった豊かな自然環境を保全していくとともに、自然と農業を活かした観光資源としての活用を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市手賀沼沿い農地利用計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	手賀沼沿い農地の保全活用と農業者支援		
	高野山ふれあい市民農園跡地管理		
	水生植物園管理		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	18,879	0	令和5年度（年度末時点）	0.53 0.00
令和6年度	決算見込額	19,484	0	令和6年度（年度末時点）	0.53 0.00
令和7年度	当初予算額	20,140	0	令和7年度 4月1日時点	0.53 0.00
	補正後予算額	20,054	0		
	決算額	19,552	0	令和7年度 年度末時点	0.53 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	手賀沼沿い農地活用計画に沿った農地活用面積	㎡	目標値	302,000	302,000	302,000	302,000	302,000	302,000	302,000
			実績値	318,566	318,566	318,566	318,566	318,566		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	今後も引き続き手賀沼沿い農地活用計画に基づき、農地の保全活用と農業者支援を進め、我孫子市手賀沼沿い農用地等保全活用事業補助金交付要綱に基づく支援を行います。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	手賀沼沿い農地活用計画に基づく農地の保全活用と農業者支援及び、高野山新田エリアの豊かな自然環境に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう景観作物の栽培を行い、地域資源の活用推進に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	農業者と消費者の交流促進	
	担当部署名	環境経済部 農政課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－4 農業の振興	
	施策の展開内容	農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。	
事務事業の目的 ・ 概要	・ 誰もが農業に親しみ、楽しみ、育むことができるよう、市民農園の運営や農家開設型ふれあい体験農園の支援を実施し、農業体験の場を提供します。 ・ 関係団体と連携し、農業拠点施設を中心とした各種イベントを開催し、地元農産物の利用促進と消費者交流の場を提供します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	市民農園維持管理事業		
	農家開設型ふれあい農園事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,665	0	令和5年度（年度末時点）	0.53 0.00
令和6年度	決算見込額	1,321	0	令和6年度（年度末時点）	0.53 0.00
令和7年度	当初予算額	1,247	0	令和7年度 4月1日時点	0.53 0.00
	補正後予算額	1,339	0		
	決算額	1,243	0	令和7年度 年度末時点	0.53 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	日秀新田市民農園利用区画数	区画	目標値	120	120	120	120	120	120	120
			実績値	101	104	119	110	122		
活動 指標	ふれあい体験農園利用者数	人	目標値	550	630	630	630	630	630	630
			実績値	523	515	460	474	453		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	市民が身近で農業を体験できる場を多く確保するために、今後も引き続き日秀新田市民農園の運営及び農家開設型ふれあい体験農園の新規開設、維持管理に関する支援を行っていく必要があります。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	農園利用の推進は、身近な農業体験の場の提供や荒廃防止等に寄与する事業であると評価されるため、利用者数目標の達成に向けたPRの強化を実施します。また、ふれあい体験農園新規開設や維持管理等への支援及び支援体制の強化を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高野山新田エリア活用事業		
	担当部署名	環境経済部 農政課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－5 交流・関係人口の拡大		
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。		
事務事業の目的 ・概要	高野山新田エリアの豊かな自然環境と調和する景観作物を栽培するとともに、観光農園などの整備について検討していきます。			
関連する市の計画等	高野山新田地区利用構想			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	高野山新田エリア活用事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.30 0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	0.30 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	0.30 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	0.30 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	景観作物の種類	種類	目標値	6	6	7	8	8	8	8
			実績値	6	6	6	6	3		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	高野山新田エリアの豊かな自然環境と調和する景観作物を栽培するとともに、観光農園などの整備について推進しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に本市に魅力を感じ愛着を持っていただくために、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術などの近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。

部 局 名	建設部
部 局 長 名	海老原 正
部の運営方針	●第四次総合計画の基本目標「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり（安全・安心）」では浸水対策の推進、交通安全の推進、「快適で住み続けたいとなるまちづくり（都市基盤・公共交通）」では公共交通の利便性向上、安全で快適な道路の整備、下水道の整備と普及を進めていきます。令和7年度は次の事業に取り組みます。 ・安全で快適に通行できる道路を維持するため、市が管理する道路施設を点検し、道路排水施設や街路樹、街路灯の適切な維持管理を行うとともに、船戸跨線人道橋などの橋梁や舗装の修繕を進めます。 ・道路の安全性や快適性の向上のため、土谷津地区の道路整備事業の用地取得や公園坂通りの整備に向けた検討を行います。また、歩道のバリアフリー化を行います。 ・円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図るため、幹線道路の整備では、下ヶ戸・中里線外1線の残り区間の整備に向けて、関係機関との協議を引き続き行いながら、用地取得に取り組みます。 ・通学路の安全対策を図るため、布佐小学校入口交差点や、並木小学校通学路（市道00-009号線）などの道路整備を進めます。 ・警察署・交通安全協会などと連携して交通安全教室や普及啓発活動を推進することで、交通安全意識の向上を図り、交通安全対策に取り組みます。 ・あびバスが地域に根付いた公共交通となるよう取り組みます。 ・布佐ルート実証運行バスの本格運行に向けた検討を進めるとともに、地域公共交通協議会と調整を図りながら、計画に基づき地域交通の活性化や維持確保を目指します。 ・老朽化が進む市管理の駅施設については、長寿命化個別施設計画に基づき、適切な維持管理を行います。 ・公共下水道事業は、地方公営企業として計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に、よりの確に取り組むため、現行の経営戦略を見直すとともに適正な使用料水準の検討を行います。 ・下水道ストックマネジメント事業は、ストックマネジメント計画（第Ⅰ期）に基づき、下水道施設の修繕・改築を行うとともに、第Ⅱ期計画（令和8年度～令和12年度）を策定します。 ・下水道官民連携事業は、老朽化する下水道施設の維持管理・更新を的確に実施するとともに、さらなる事業の効率化を図り、持続可能な下水道事業運営を確保するため、新たな官民連携方式である「ウォーターPPP（管理・更新一体マネジメント方式）」の導入に向けた検討を行います。 ・下水道の整備は、久寺家1・2丁目地区我孫子第6-1号幹線の整備を進めるほか、引き続き、湖北駅北口地区及び下ヶ戸西側地区の整備を

進め、下水道の普及に努めます。

- ・下水道総合地震対策事業は、第IV期計画（令和6年度～令和10年度）に基づき、マンホールトイレの設置や重要管路のマンホール耐震工事等を行います。
- ・水害に強いまちづくりの一環として、床上浸水が発生してきた地区の整備を重点的に進めます。布佐排水区、柴崎排水区では、引き続き雨水幹線を整備し、浸水被害の軽減を図ります。また、我孫子4丁目地区では、浸水対策について更なる検討を行うとともに、市内の各地区では、地域特性や水害の発生状況に応じて、応急的な水害対策工事を行います。
- ・災害を未然に防止するため、金谷排水機場の耐用年数が経過したポンプなどの設備を修繕・更新し、施設の機能確保を図ります。
- ・既設のポンプ施設や排水施設等が確実に機能するよう定期点検を行うとともに、計画的に改修するなど適切な維持管理に努めます。

部 局 名	建設部
部 局 長 名	海老原 正
部の運営方針 に対する総合 評価	●第四次総合計画の基本目標「誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり（安全・安心）」では浸水対策の推進、交通安全の推進、「快適で住み続けたいとなるまちづくり（都市基盤・公共交通）」では公共交通の利便性向上、安全で快適な道路の整備、下水道の整備と普及を進めています。令和7年度は次の事業に取り組みました。 ・安全で快適に通行できる道路を維持するため、市が管理する道路施設を点検し、道路排水施設や街路樹、街路灯の適切な維持管理を行うとともに、船戸こ線人道橋などの橋梁や舗装の修繕を進めました。また、市内25橋の定期点検を実施しました。 ・道路の安全性や快適性の向上のため、土谷津地区の道路事業の用地取得や公園坂通りの整備に向けた検討を行い、歩道のバリアフリー化を行いました。 ・円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図るため、幹線道路の整備では、下ヶ戸・中里線外1線の残り区間の整備に向けて、関係機関との協議を引き続き行いました。 ・通学路の安全対策を図るため、布佐小学校入口交差点や、並木小学校通学路（市道00-009号線）などの道路整備が完了しました。 ・警察署・交通安全協会などと連携して交通安全教室や普及啓発活動を推進することで、交通安全意識の向上を図り、交通安全対策に取り組みました。 ・あびバスが地域に根付いた公共交通となるよう円滑な運行に努めました。 ・地域公共交通協議会においては、布佐ルート実証運行バスの本格運行に向けた検討を進めると共に、地域公共交通計画に基づき地域交通の活性化や維持確保に努めました。 ・老朽化が進む市管理の駅施設については、長寿命化個別施設計画に基づき修繕工事を実施し、施設の長寿命化を図りました。 ・公共下水道事業は、地方公営企業として計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に、よりの確に取り組むため、現行の経営戦略を見直すとともに適正な使用料水準の検討を行い、令和8年4月1日から下水道使用料改定を行うこととしました。 ・下水道ストックマネジメント事業は、ストックマネジメント計画（第Ⅰ期）に基づき、下水道施設の修繕・改築を行うとともに、第Ⅱ期計画（令和8年度～令和12年度）を策定しました。 ・下水道官民連携事業は、老朽化する下水道施設の維持管理・更新を的確に実施するとともに、さらなる事業の効率化を図り、持続可能な下水道事業運営を確保するため、新たな官民連携方式である「ウォーターPPP（管理・更新一体マネジメント方式）」の導入に向けた検討を行いました。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・下水道の整備は、久寺家１・２丁目地区我孫子第６－１号幹線の整備を進めたほか、引き続き、湖北駅北口地区及び下ヶ戸西側地区の整備を進め、下水道の普及に努めました。・下水道総合地震対策事業は、第Ⅳ期計画（令和６年度～令和１０年度）に基づき、マンホールトイレの設置や重要管路のマンホール耐震工事等を行いました。・水害に強いまちづくりの一環として、床上浸水が発生してきた地区の整備を重点的に進めました。布佐排水区、柴崎排水区では、引き続き雨水幹線を整備し、我孫子４丁目地区では浸水対策の検討を行うとともに、市内の各地区では、地域特性や水害の発生状況に応じて、応急的な水害対策工事を行いました。・災害を未然に防止するため、金谷排水機場の耐用年数が経過したポンプなどの設備を修繕・更新し、施設の機能確保を図りました。・既設のポンプ施設や排水施設等が確実に機能するよう定期点検を行うとともに、計画的に改修するなど適切な維持管理に努めました。 |
|--|---|

令和 7 年度 課の目標管理書

課 名 : 道路課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

道路機能を確保するため、舗装修繕や道路排水施設の整備改修を行うと共に、道路施設の維持管理に努めます。

道路環境を維持するため、街路樹を定期的に剪定し維持管理に努めると共に、街路灯の維持管理とＬＥＤ化を進めます。

橋梁長寿命化修繕事業では、橋梁長寿命化計画に基づき、船戸こ線人道橋他 1 橋の修繕工事を行うと共に、橋梁の定期点検を実施します。

道路改良事業では、土谷津地区の道路整備事業の用地取得や公園坂通りの整備に向けた検討を行います。また、歩道のバリアフリー化を行います。

道路のバリアフリー化を図るため、点字ブロック設置や、歩道等の改良工事を実施します。

幹線道路の整備では、下ヶ戸・中里線外 1 線の道路整備として、関係機関との協議を行うと共に、順次、用地取得を行います。

通学路の整備では、布佐小学校入口交差点や、市道 0 0 - 0 0 9 号線（並木小学校）、下新木踏切道（新木小学校）の道路整備を実施すると共に、安全施設の整備を行います。

2. 課の目標への取組結果

道路が安全で快適に通行できるよう、目標に沿った適正な維持管理や道路拡幅工事、歩行者空間の確保等を実施するとともに、街路灯の保守点検、ＬＥＤ化の普及を進めました。橋梁長寿命化事業では、船戸こ線人道橋及び布湖 1 1 号橋の修繕工事を行うとともに、2 5 橋の点検を実施しました。道路改良事業では、土谷津地区の用地取得を行うとともに、公園坂通りの整備検討を行いました。幹線道路の整備では、下ヶ戸・中里線外 1 線の道路整備として、関係機関との協議を継続して行いました。通学路の整備では、布佐小学校入口交差点及び市道 0 0 - 0 0 9 号線（並木小学校）の道路改良事業が完了しました。また、下新木踏切道の改良では、用地取得に向けた協議を継続しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

幹線道路網や生活道路、通学路などの整備を進めるとともに、道路の維持管理を行いました。また、児童生徒の安全のため道路整備が終了したこと、さらに、駅を中心とした街路灯のＬＥＤ化を推奨し、市民の安全向上を図りました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

道路課所管事業を確実に執行するためには、用地買収・土木工事等の専門的な知識を有する職員の育成及び継続的な配置が不可欠であるとともに、草刈りや道路の緊急補修等、多くの市民の意見に対応するため人員の増員が必要です。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路障害発生時（災害時）の規制・対策		
	担当部署名	建設部 道路課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－1 防災・減災対策の推進		
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	緊急輸送道路を最優先に、災害による道路の被害状況を速やかに把握し、道路交通を確保するため、警察や国・県と連携して、通行制限や迂回路の選定など、道路交通の安全策を講じます。			
関連する市の計画等	我孫子市防災計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	道路障害発生時（災害時）の規制、対策			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	2.60 0.40
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	2.70 0.50
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	2.70 0.60
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	2.70 0.60
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	災害時の道路管理瑕疵にかかる損害賠償請求処理率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	道路が安全で快適に通行できるよう、維持管理を行うとともに、維持管理に必要な道路境界の査定や台帳管理を行いました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	道路や橋りょうの適正な維持管理は、市民の安全に直結する重要な事業であることから、現状通り推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	交通安全施設整備		
	担当部署名	建設部 道路課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－5 交通安全の推進		
	施策の展開内容	交通事故から市民を守り、交通マナーや安全意識の向上を図るため、警察などの関係機関と連携し、安全な交通環境の整備を進めます。		
事務事業の目的 ・ 概要	交通の安全を確保するため、警察や道路管理者と連携し、信号機やガードレールなどの交通安全施設の整備を図ります。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	交通安全施設整備			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	31,086	0	令和5年度（年度末時点）	0.65 0.00
令和6年度	決算見込額	31,601	0	令和6年度（年度末時点）	1.30 0.00
令和7年度	当初予算額	31,282	0	令和7年度 4月1日時点	1.75 0.00
	補正後予算額	31,282	0		
	決算額	31,247	0	令和7年度 年度末時点	1.75 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	交通安全施設工事完了率	%	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	交通の安全を確保するため、警察などの関係機関と連携し、カーブミラーやガードレールなどの交通安全施設を設置しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	交通事故から市民を守り、交通マナーや安全意識の向上を図るため、警察などの関係機関と連携し、安全な交通環境の整備を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路の整備・改良	
	担当部署名	建設部 道路課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－4 安全で快適な道路の整備	
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	・都市計画道路については、将来交通量や費用対効果を踏まえ、計画的な整備を進めます。 ・狭あい道路や交通に課題のある路線については、円滑な道路通行を図るため、道路改良・整備を計画的に進めていきます。 ・通学路の安全確保のため、関係機関との点検で指摘があった路線については、早期の安全確保に努めます。 ・ＪＲ我孫子駅と手賀沼公園を結ぶ、市のシンボルロードである「公園坂通り」は、通過交通の抑制を図り、歩行者にやさしい「歩きたくなるみち」として計画的に整備を進めます。		
関連する市の計画等	都市計画マスタープラン		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	市道２４－００３号線等（妻子原地先）の改良	指	土谷津地区の道路整備
	道路用地の管理		新木駅北口地区の道路整備
	開発行為の指導・道路用地の寄付帰属	指	布佐小学校入口交差点改良事業
	手賀沼公園・久寺家線の整備	指	並木小学校通学路整備
	下新木踏切道の改良		公園坂通りの整備
	高野山新田交差点改良		市道00-036号線（布佐地先）歩道整備
	市道２１－０３９号線（高野山地先）道路整備		道路の排水整備事業
	指 下ヶ戸・中里線外１線の整備		駅前広場の再構築
	中峠・古戸の道路整備		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	下ヶ戸・中里線等用地取得事業 R6～R10年度 146,000千円、下新木踏切道用地取得事業 R3～R7年度 89,331千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	24,880	106,113	令和5年度（年度末時点）	2.80 0.00
令和6年度	決算見込額	146,053	112,187	令和6年度（年度末時点）	2.90 0.00
令和7年度	当初予算額	48,657	87,369	令和7年度	4月1日時点 2.60 0.00
	補正後予算額	39,011	87,369		
	決算額	21,875	75,922		年度末時点 2.60 0.00
	次年度へ繰越	17,000	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	手賀沼公園・久寺家線の整備進捗率	%	目標値	100	100	100	100			
			実績値	95	99	99	100			
活動 指標	土谷津地区の道路整備進捗率（1.2工区）	%	目標値	30	70	99	100			
			実績値	30	70	99	100			
活動 指標	土谷津地区の道路整備進捗率（3工区）	%	目標値				30	70	99	100
			実績値				30	70		
活動 指標	布佐小学校入口交差点 改良事業進捗率	%	目標値	25	75	95	100			
			実績値	25	30	95	100			
活動 指標	並木小学校通学路整備進捗率	%	目標値	0	10	40	100			
			実績値	0	10	10	100			
活動 指標	公園坂通りの整備進捗率	%	目標値	0	2	4	4	4	4	8
			実績値	0	2	2	2	4		
活動 指標	認定路線等の告示率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	下ヶ戸・中里線外１線の整備事業における契約 権利者数（残２１人）	人	目標値	5	5	4	12	5	5	
			実績値	0	0	0	0	0		

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	市が管理すべき道路を適切に認定するとともに、安全で快適な道路の整備を進めました。通学路についても、早期の安全確保のため、協議や測量・設計業務を行いました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	快適な道路の整備は市民の安全・安心な通行に必要不可欠なものであることから、現状通り推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	移動しやすい歩道の整備		
	担当部署名	建設部 道路課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－4 安全で快適な道路の整備		
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充 実を図ります。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。		
事務事業の目的 ・概要	障害者や高齢者、ベビーカー・車椅子利用者など、誰もが安全に安心して快適に移動できるよう、歩道整備やバリアフリー改修を進めます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	バリアフリー歩道改良			
	我孫子隧道の歩道改修			
	白山跨線人道橋延伸整備及び信号機の設置			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	3.00 0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	3.00 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	2.70 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	2.70 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	バリアフリー歩道改良進捗率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	誰もが安全に安心して快適に移動できるよう、バリアフリー整備や歩道改修等を進めています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	障害者や高齢者、ベビーカー・車椅子利用者など、誰もが安全に安心して快適に移動できるよう、歩道整備やバリアフリー改修を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路空間の魅力化	
	担当部署名	建設部 道路課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－4 安全で快適な道路の整備	
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	・魅力ある道路空間にするため、歩行者や車両の安全を確保しながら街路樹を守り育てるとともに、市民による道路環境美化活動の支援を行います。 ・市民や訪れる人に、道路への親しみやまちへの愛着を深めてもらえるよう、道路愛称の普及・定着を図ります。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	道路愛称の定着化		
	道路環境美化の活動支援（アダプトプログラム）		
	街路樹の維持管理事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	50,250	0	令和5年度（年度末時点）		3.25	0.00
令和6年度	決算見込額	50,484	0	令和6年度（年度末時点）		3.50	0.00
令和7年度	当初予算額	45,187	0	令和7年度	4月1日時点	3.65	0.00
	補正後予算額	45,187	0				
	決算額	45,124	0		年度末時点	3.65	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	A-Rap登録団体数	団体	目標値	20	22	23	24	25	25	25
			実績値	20	21	21	21	20		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	市が実施すべき事業は、順調に行うことができています。また、目標に掲げているA-Rap登録団体数増加に対する取り組みとして、SNSや広報あびこによる情報発信を行いました。新規団体の加入には繋がりがありませんでした。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	街路樹の維持管理は、道路の適正管理を行う上で必須項目です。また、消耗品の支給についても、加入団体を支援する意味で今後も継続すべきものと捉えています。引き続き、事業を継続するとともに、加入団体増加に向けた取り組みを行っていきたいと考えています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	道路環境の維持
	担当部署名	建設部 道路課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－4 安全で快適な道路の整備
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。
事務事業の目的 ・概要	道路情報の管理や情報提供を行うとともに、良好な道路環境を確保するため、事業者に適切な許可や確認を行います。	
関連する市の計画等	橋梁長寿命化計画、舗装の個別施設計画	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	市道の認定、廃止及び用途廃止	道路環境の維持(経常的経費)
	放置車両の処理	道路の維持管理作業（土木センター）
	法定外公共物管理	道路管理瑕疵の処理(訟務)
	街路灯の新設及び維持管理	街路灯補助金の交付
	道路擁壁長寿命化修繕事業	車両制限の許可
	道路の維持補修	道路占用申請等の許可・承認事務
	道路台帳の修正	指 橋梁長寿命化修繕事業
	道路境界の査定	道路の放射能対策
	道路情報の提供（台帳、確定図の閲覧）	公共基準点の座標変換
継続費設定事業	船戸路線人道橋修繕工事負担金 R6～R9 710,218千円	
債務負担行為設定事業	LED街路灯貸借 H28～R7年度 299,754千円、道路台帳修正業務委託（令和6年度契約分） R7年度 9,042千円、道路維持補修工事（令和6年度契約分） R7年度 30,000千円	

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	552,612	971	令和5年度（年度末時点）	12.40 2.80
令和6年度	決算見込額	504,364	2,543	令和6年度（年度末時点）	12.40 3.50
令和7年度	当初予算額	562,500	15,987	令和7年度	4月1日時点 12.40 4.20 年度末時点 12.40 4.20
	補正後予算額	522,850	15,987		
	決算額	504,436	15,697		
	次年度へ繰越	12,615	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	年間で予定している	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
	橋梁修繕・点検事業業務の進捗率		実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	年間で予定している道路の	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
	維持補修工事の進捗率		実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	道路が安全で快適に通行できるよう、維持管理を行うとともに、維持管理に必要な道路境界の査定や台帳管理を行いました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	道路や橋梁の適正な維持管理は市民の安全に直結する重要な事業であることから、現状通り推進します。

令和7年度 課の目標管理書

課 名：交通政策課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・交通社会情勢の変化等を踏まえ、「高齢者の交通安全対策」及び自転車保険加入の義務化を含む「自転車の安全利用対策」、飲酒運転の根絶を含む「悪質・危険な運転者への対策」の強化に重点を置き、交通安全対策を推進していきます。
- ・地域公共交通計画に基づき、市内公共交通の活性化や維持確保を目指します。
- ・あびバスが地域に根付き持続可能な公共交通となるよう、安全で快適な運行を行いながら、地域に求められる運行を目指していきます。
- ・地域公共交通会議で運行する「布佐ルート実証運行バス」については、アンケート調査結果等を検証すると共に、本格運行に向けた運行方法を検討していきます。
- ・市が運行経費を負担して継続運行する路線バス「平和台線」については、持続可能な公共交通となるよう、運行方法を検討していきます。
- ・老朽化が進む市管理の駅施設については、我孫子市駅施設長寿命化計画（個別施設計画）及び包括管理業務委託で作成した修繕計画に基づく修繕を行いながら、長寿命化を図ります。

2. 課の目標への取組結果

- ・市管理の駅施設については、修繕計画に基づきエスカレーターのステップ修繕等、長寿命化を図りました。
- ・地域公共交通協議会において、地域交通の活性化・維持確保を図るため、東部地域の活性化を期待した布佐駅と天王台駅を結ぶ布佐ルート実証運行バスの運行を継続するとともに、収支率改善のため、4月1日からあびバスの運賃を150円から200円に改定したことを踏まえ、10月1日から初乗り運賃を170円から200円に改定しました。
- ・市が運行経費を負担して継続運行する路線バス「平和台線」については、地域の生活に必要な路線として確認ができたことから、令和8年9月からあびバス平和台ルートとして運行することを決定しました。
- ・令和8年1月に我孫子市公共交通協議会の承認を経て、我孫子市地域公共交通計画を策定しました。
- ・交通政策では、警察署等と連携して、保育園、幼稚園、小中学校で交通安全教室を開催したほか、交通安全運動への参加や飲酒運転根絶、自転車乗車用ヘルメット着用促進等について、ホームページや広報へ掲載し交通安全対策を推進しました。
- ・令和8年度分の自転車駐車場の定期使用料について、受益者負担のあり方に関する基本方針に基づき改定しました。また、市内の放置自転車撤去件数が減少していることから、放置自転車業務日数を縮小し経費削減に努めました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

布佐ルート実証運行バスやあびバスについては、交通不便地域の解消や買物・通院などの生活路線となるよう運行経路を一部変更し、市民の利便性が向上しました。

策定した我孫子市地域公共交通計画で公共交通を維持するための施策や方向性を定め、誰もが便利に移動できる、まちの活性化に寄与する公共交通を推進しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

- ・民間路線バス「平和台線」を、令和8年9月からあびバス平和台ルートとして運行します。
- ・自転車活用推進計画の策定について、令和8年度から着手します。
- ・放置自転車保管所の業務時間の短縮や自転車駐車場の管理業務を見直し、経費削減に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名 担当部署等	道路の整備・改良 建設部 交通政策課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－4 安全で快適な道路の整備
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。
事務事業の目的 ・概要	・都市計画道路については、将来交通量や費用対効果を踏まえ、計画的な整備を進めます。 ・狭あい道路や交通に課題のある路線については、円滑な道路通行を図るため、道路改良・整備を計画的に進めていきます。 ・通学路の安全確保のため、関係機関との点検で指摘があった路線については、早期の安全確保に努めます。 ・ＪＲ我孫子駅と手賀沼公園を結ぶ、市のシンボルロードである「公園坂通り」は、通過交通の抑制を図り、歩行者にやさしい「歩きたくなるみち」として計画的に整備を進めます。	
関連する市の計画等	第四次総合計画 都市計画マスタープラン	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	自転車活用推進計画の策定検討	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）		1.10	0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）		0.40	0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度	4月1日時点	0.50	0.00
	補正後予算額	0	0				
	決算額	0	0		年度末時点	0.50	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	庁内協議の進捗状況	%	目標値			80	100	100	100	100
			実績値			0	0	0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調とはいえない	自転車活用推進計画は、令和2年11月に千葉県が策定したことに鑑み、県内市町村でも策定している現状です。本市も団体等からの要望もあり、自転車の活用推進を行うため、検討を進めています。また、職員で対応が難しいネットワーク計画については専門知識が必要なため、コンサルに委託し策定を進める必要があります。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和8年度から自転車活用推進計画の策定に着手します。また、自転車活用推進計画との整合性を図りながら令和9年度に自転車ネットワーク計画の策定に着手予定です。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：下水道課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・公共下水道事業は、地方公営企業として計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に、よりの確に取り組むため、現行の経営戦略を見直すとともに適正な使用料水準の検討を行います。

・下水道ストックマネジメント事業は、ストックマネジメント計画（第Ⅰ期）に基づき、下水道施設の修繕・改築を行うとともに、第Ⅱ期計画（令和8年度～令和12年度）を策定します。

・下水道官民連携事業は、老朽化する下水道施設の維持管理・更新を的確に実施するとともに、さらなる事業の効率化を図り、持続可能な下水道事業運営を確保するため、新たな官民連携方式である「ウォーターPPP（管理・更新一体マネジメント方式）」の導入に向けた検討を行います。

・下水道の整備は、久寺家1・2丁目地区我孫子第6-1号幹線の整備を進めるほか、引き続き、湖北駅北口地区及び下ヶ戸西側地区の整備を進め、下水道の普及に努めます。

・下水道総合地震対策事業は、第Ⅳ期計画（令和6年度～令和10年度）に基づき、マンホールトイレの設置や重要管路のマンホール耐震工事等を行います。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示した方針に基づき、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

下水道事業の経営では、令和4年度からの下水道使用料改定の効果などにより令和6年度における経費回収率の目標値を達成しましたが、経営基盤強化と財政マネジメントの向上に、よりの確に取り組むため、経営戦略の見直しを行いました。

下水道ストックマネジメント事業では、ストックマネジメント計画（第Ⅱ期）（令和8年度～令和12年度）の策定を行うほか、改築工事を行い、老朽管の更新を進めました。

下水道官民連携事業は、新たな官民連携方式である「ウォーターPPP（管理・更新一体マネジメント方式）」の導入に向けた調査・検討を行い、課題等を整理しました。

下水道未普及地区における公共下水道の整備では、下水道整備五カ年計画に基づき、概ね計画どおりに整備を行えています。

下水道総合地震対策事業では、マンホールトイレや重要管路のマンホール浮上防止工事、管路耐震化工事の設計を行い、計画に基づき、順調に事業を進めています。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

人口減少等による下水道使用料収入の減少など、下水道事業を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中、将来にわたり安定的に下水道事業を継続し、衛生的で快適な生活環境を確保していくため、引き続き、経営戦略に基づき計画的・合理的な経営を行うとともに、毎年度進捗管理を行い、使用料水準の適正化を含め、定期的な計画の見直しを図る必要があります。

また、下水道の新規整備・普及促進・耐震化を図る一方で、老朽化した施設の維持管理を長期的な視点で計画的かつ効率的に実施していく必要があり、ストックマネジメント計画に基づく修繕・改築工事を的確に推進するためには、事業財源を確保するとともに管渠やポンプ施設等の管理に必要な技術力を蓄積・継承していくことが求められます。

こうした諸課題に対応するためには、官民連携の導入も視野に入れながら、経営と技術の両面から下水道事業運営を支える人材の育成に取り組むとともに、適切な人員配置と持続可能な組織体制の構築を図る必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	下水道事業の健全経営	
	担当部署名	建設部 下水道課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－6 下水道の整備と普及	
	施策の展開内容	衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。 また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	下水道事業を安定的に経営していくため、自らの経営を的確に把握し、健全経営に努めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	下水道ストックマネジメント事業（第Ⅰ期）		
	下水道使用料及び下水道事業受益者負担金の賦課徴収業務		
	下水道排水設備指定工事店申請業務		
	健全経営を優先した下水道計画の確立		
	予算・決算業務による経営分析		
	下水道事業会計への繰出金(下水道課経営安定化出資分)		
	下水道事業経営戦略策定事業		
	指 下水道事業の健全経営（下水道ストックマネジメント・ウォーター P P P）		
継続費設定事業	下水道事業経営戦略策定事業 R6～R7年度 15,323千円		
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	282,270	0	令和5年度（年度末時点）		5.90	0.80
令和6年度	決算見込額	244,681	0	令和6年度（年度末時点）		5.70	0.80
令和7年度	当初予算額	234,158	124,744	令和7年度	4月1日時点	6.00	0.80
	補正後予算額	235,875	124,744				
	決算額	188,452	112,137		年度末時点	6.20	0.80
	次年度へ繰越	1,124	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	下水道使用料未納率	%	目標値		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4
			実績値		0.4	0.38	0.36	0.36		
活動 指標	下水道事業受益者負担金未納率	%	目標値		0.97	0.96	0.95	0.94	0.94	0.93
			実績値		4.48	2.82	1.53	2.27		
成果 指標	経費回収率	%	目標値	86.2	92.8	92.8	92.8	92.8	100.0	100.0
			実績値	82.5	93.0	94.3	94.6	94.5		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	未達成となってしまった指標はあったものの、概ね順調に経営することができました。引き続き、継続的な催告等により徴収率の向上に努めるとともに、定期的に経営状況を分析し、経営改善に取り組みます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	下水道事業を安定的に経営していくため、引き続き徴収率の向上に努めるとともに、計画的かつ合理的な経営を行い、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組みます。また、管渠施設の老朽化が進んでいることから、ストックマネジメント計画に基づき、長期的な視点で計画的かつ効率的に点検・調査、修繕・改築を実施していくとともに、官民連携の導入に向けた検討を進め、持続可能な下水道事業運営の確保に取り組んでいきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	下水道施設の維持管理		
	担当部署名	建設部 下水道課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－6 下水道の整備と普及		
	施策の展開内容	衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。 また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。		
事務事業の目的 ・概要	老朽化施設の改築・修繕や雨水の浸入対策など、計画的かつ効率的に維持管理を進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	汚水管渠維持管理事業			
	汚水中継ポンプ場維持管理			
	総合地震対策事業（第Ⅳ期）			
	排水設備の審査及び竣工検査			
	流域関連公共下水道不明水対策事業（第Ⅰ期）			
	久寺家汚水中継ポンプ場の圧送管閉塞事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業	久寺家污水处理場施設維持管理業務委託 R6～R7年度 13,398千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	102,721	0	令和5年度（年度末時点）		2.75	0.40
令和6年度	決算見込額	122,257	0	令和6年度（年度末時点）		1.65	0.40
令和7年度	当初予算額	79,039	82,550	令和7年度	4月1日時点	2.85	0.40
	補正後予算額	255,193	82,550				
	決算額	58,284	72,512		年度末時点	3.50	0.40
	次年度へ繰越	177,310	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	マンホール浮上防止設置箇所 （第Ⅲ期）	件	目標値	23	27					
			実績値	23	26					
活動 指標	マンホールトイレ設置箇所（第Ⅲ期）	件	目標値	16	0	8				
			実績値	16	0	0				
成果 指標	総合地震対策事業進捗率（第Ⅲ期）	%	目標値	80	82	94				
			実績値	80	82	82				
成果 指標	不明水対策事業進捗率（第Ⅰ期）	%	目標値	38	59	79	100			
			実績値	38	59	79	100			
活動 指標	マンホール浮上防止設置箇所 （第Ⅳ期）	件	目標値					28	27	28
			実績値					35		
活動 指標	マンホールトイレ設置箇所（第Ⅳ期）	件	目標値					8	8	8
			実績値					8		
成果 指標	総合地震対策事業進捗率（第Ⅳ期）	%	目標値				14	31	54	77
			実績値				14	31		

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	我孫子市下水道総合地震対策計画に基づき、地震対策工事と設計業務を行いました。また、手賀沼流域下水道関連公共下水道不明水対策5カ年計画（第Ⅰ期）に位置付けられた事業について、計画どおり実施しました。引き続き、地震対策事業及び不明水対策事業に計画的に取り組めます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	総合地震対策事業では、大規模な地震に備え、災害が発生しても下水道施設の機能が維持できるよう、引き続き事業を実施していきます。また、不明水対策事業では、千葉県流域下水道市町で協調して公共下水道の不明水対策に取り組んでおり、引き続き対策事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	下水道管路の整備	
	担当部署名	建設部 下水道課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－6 下水道の整備と普及	
	施策の展開内容	衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。 また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	下ヶ戸西側地区の下水道管路整備	
	指	久寺家地区の下水道管路整備	
	指	湖北駅北口(東側・西側)地区下水道管路整備	
		青山地区の流域下水道への接続事業	
		高野山地区の下水道管路整備	
	指	下水道施設の総合地震対策（マンホール浮上防止工事・マンホールトイレ設置）	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	239,481	221,188	令和5年度（年度末時点）	3.35 0.00
令和6年度	決算見込額	345,812	0	令和6年度（年度末時点）	3.50 0.00
令和7年度	当初予算額	407,595	0	令和7年度 4月1日時点	2.90 0.00
	補正後予算額	347,334	0		
	決算額	297,516	0	令和7年度 年度末時点	2.95 0.00
	次年度へ繰越	16,390	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	公共下水道管布設延長	m	目標値	1,118	1,127	767	1,063	1,034	764	883
			実績値	579	795	1,474	1,026	1,038		
成果 指標	公共下水道管布設総延長	m	目標値	330,728	331,855	332,622	333,685	334,719	335,483	336,366
			実績値	330,189	330,984	332,458	333,484	334,522		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	下水道整備五カ年計画に基づき、下ヶ戸西側地区、湖北駅北口地区及び久寺家地区で公共下水道の整備を進めており、概ね計画通りに行うことができました。引き続き、下水道未普及地区の整備を計画的に進めていきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	手賀沼等の公共用水域の水質改善を図る上で必要不可欠な事業であるため、引き続き推進していきます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：治水課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・排水区の整備では、床上浸水が発生してきた布佐排水区、柴崎排水区について、引き続き重点的に整備を進めます。また、浸水被害軽減対策が完了している我孫子4丁目地区において、令和5年に7件の床上浸水被害が発生したため、さらなる浸水被害軽減対策を検討します。浸水被害に対する自助への取組みとして、想定される最大の降雨における内水浸水想定区域図を作成し、公表及び周知します。
- ・排水施設の維持管理では、既設のポンプ施設や排水施設等が確実に機能するよう定期点検を行うとともに、個別施設計画を策定し、計画的に改修するなど適切な維持管理に努めます。3か年継続事業の最終年度である金谷排水機場の更新工事は、耐用年数が経過したポンプなどの設備を修繕・更新し、施設の機能確保を図ります。
- ・河川防災の強化に向けた取組みでは、関係機関と連携して水防演習、情報伝達演習を行うとともに排水ポンプ車訓練などを行います。また、引き続き国・県に対して、手賀沼の予備放流を要請するとともに、利根川・手賀沼の堤防強化を要望します。
- ・市民・事業者による雨水流出抑制の推進では、開発行為等において雨水流出抑制施設の設置を指導するとともに、住宅への雨水貯留タンクの設置を推進します。
- ・河川愛護事業では、地域の共有財産である利根川の河川清掃を行います。

2. 課の目標への取組結果

- ・布佐排水区及び柴崎排水区の整備工事について、付帯工事の一部で繰越して実施することとなりましたが、金谷排水機場更新工事は予定どおり完了しました。
- ・内水浸水想定区域図を作成し、公表及び市民への周知を行いました。
- ・水防演習及び排水ポンプ車操作訓練を関係機関と連携し実施しました。
- ・雨水貯留タンクの設置などの雨水流出抑制の推進を年間を通して行いました。
- ・河川愛護事業として、利根川の河川清掃を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

事業は概ね順調に進捗していますが、一部繰越した事業は、支障物や埋設物への対応、関係機関や近隣住民との度重なる協議の実施などの理由により、不測の期間を要しました。国や県、関係機関との連携、市民や事業者へのPRについては年間を通して実施しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

支障物や埋設物、関係機関や近隣住民との協議を事前に調整することで、工事が計画的に実施できるよう、調整を図っていきます。また、国や県、関係機関との連携、市民や事業者へのPRについては、年間を通して継続していくとともに、新たな取り組みも取り入れていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	河川防災の強化に向けた取組み		
	担当部署名	建設部 治水課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－1 防災・減災対策の推進		
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	・河川の氾濫を防ぐため、利根川や手賀沼の更なる堤防強化を国・県に働きかけていきます。 ・台風などにより手賀川と手賀沼の水位上昇が予想される際には、事前放流を引き続き実施するよう国に要請していきます。			
関連する市の計画等	我孫子市水防計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	河川防災要望活動			
	河川合同巡視			
	洪水時の水防活動			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	282	0	令和5年度（年度末時点）	0.40 0.00
令和6年度	決算見込額	282	0	令和6年度（年度末時点）	0.40 0.00
令和7年度	当初予算額	315	0	令和7年度 4月1日時点	0.40 0.00
	補正後予算額	315	0		
	決算額	313	0	令和7年度 年度末時点	0.40 0.00
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	堤防強化の要望件数	件	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	2	2	2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	利根川等の堤防強化について、国や県に要望活動を行い、手賀沼・手賀川の水位上昇が予想される際には、事前放流を国に要請しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、河川氾濫を防ぐ堤防強化について国や県に働きかけるとともに、手賀沼・手賀川の水位上昇が予想される際には、事前放流を国に要請していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	排水区の整備	
	担当部署名	建設部 治水課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－2 浸水対策の推進	
	施策の展開内容	市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。 さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	市街地での浸水被害を軽減するため、計画的な雨水排水施設の整備を進めます。		
関連する市の計画等	我孫子市手賀沼流域関連公共下水道事業計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 柴崎排水区の整備（柴崎幹線整備事業）		
	指 布佐排水区の整備		
	指 我孫子4丁目緊急浸水対策		
	浸水想定区域図の公表		
継続費設定事業	柴崎排水区の整備事業 R6～R7年度 700,000千円、R7～R9年度 831,400千円、布佐排水区の整備事業 R7～R8年度 624,000千円、我孫子4丁目 20,000千円 布佐・柴崎 R6～R7 17,500千円		
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	358,998	205,051	令和5年度（年度末時点）		3.95	0.60
令和6年度	決算見込額	72,190	418,011	令和6年度（年度末時点）		3.95	0.60
令和7年度	当初予算額	1,251,940	558,500	令和7年度	4月1日時点	3.95	0.60
	補正後予算額	1,219,516	0				
	決算額	183,312	0				
	次年度へ繰越	1,036,198	45,389		年度末時点	3.95	0.60

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	柴崎排水区の整備率 （総延長 約1950m）	%	目標値	7.7	10.9	11.0	12.0	21.0	22.0	32.0
			実績値	7.7	10.9	10.9	10.9	10.9		
活動 指標	布佐排水区の整備率 （総延長 約1910m）	%	目標値	6.6	13.5	22.7	33.0	34.0	39.0	44.0
			実績値	6.6	6.6	13.5	22.5	33.0		
活動 指標	若松第1～第5排水区の整備率 （総延長 約1270m）	%	目標値	82.7	100	100	-	-	-	-
			実績値	79.9	84.1	100.0	-	-	-	-
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
（ほぼ順調	支障物や埋設物への対応、関係機関や近隣住民との協議などで工程に遅れが生じている排水区もありますが、概ね順調に進捗しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	床上浸水が発生している地区の整備を重点的に進める必要があります。週休2日制、中東情勢による資材調達遅れや資材価格や人件費の上昇などの社会情勢の変化もありますが、交付金を活用しながら計画的に浸水対策を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	排水施設の維持管理		
	担当部署名	建設部 治水課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－2 浸水対策の推進		
	施策の展開内容	市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。 さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。		
事務事業の目的 ・ 概要	既存の雨水排水施設の機能を確保するため、適切に維持管理していきます。			
関連する市の計画等	金谷排水機場長寿命化計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	排水施設維持管理			
	排水施設維持補修			
	指 金谷排水機場の改修			
	指 大規模下水道管路特別重点調査等事業			
継続費設定事業	金谷排水機場の改修事業 R5～R7年度 1,155,000千円			
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	139,254	0	令和5年度（年度末時点）	4.95 0.15
令和6年度	決算見込額	480,928	69,300	令和6年度（年度末時点）	5.00 0.15
令和7年度	当初予算額	343,660	485,100	令和7年度 4月1日時点	5.00 0.15
	補正後予算額	342,424	485,100		
	決算額	335,347	485,100	令和7年度 年度末時点	5.00 0.15
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	排水施設（22箇所）点検回数	回	目標値	192	192	192	192	192	192	192
			実績値	192	192	192	192	179		
活動 指標	金谷排水機場長寿命化進捗率	%	目標値			10.0	80.0	100		
			実績値			6.0	38.0	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	限られた予算と人員で排水施設の維持管理を行い、機能を確保できましたが、施設の老朽化や燃料費の高騰などから、業務量や維持管理費用が増大しています。また、金谷排水機場の改修事業については、令和8年3月に完了しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	施設の老朽化という課題がありますが、機能を確保できるよう適切に維持管理を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市民・事業者による雨水流出抑制の推進		
	担当部署名	建設部 治水課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－2 浸水対策の推進		
	施策の展開内容	市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。 さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	雨水流出を抑制するため、開発事業者や建築事業者に対し調整池や浸透ます等の雨水流出抑制施設の設置指導を行うとともに、住宅への雨水貯留タンクの設置を推進します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	雨水貯留タンクの設置補助			
	開発等への雨水流出抑制指導			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	152	0	令和5年度（年度末時点）	0.70 0.00
令和6年度	決算見込額	152	0	令和6年度（年度末時点）	0.70 0.00
令和7年度	当初予算額	400	0	令和7年度 4月1日時点	0.70 0.00
	補正後予算額	400	0		
	決算額	251	0	令和7年度 年度末時点	0.70 0.00
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	雨水タンク設置による雨水抑制量	㎡	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	1	3	1	3	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	開発等の事業者に対して、雨水流出抑制施設の設置指導を行い、雨水貯留タンクの設置を推進しました。また、雨水貯留タンクの設置補助については、少しずつ普及は進んでいますが低調であるため、引き続き普及啓発が必要と評価します。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	気候変動等により、降雨量が増加していることから、河川への負担を軽減するため、更なる雨水流出抑制が重要であり、今後も継続して推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	河川愛護事業		
	担当部署名	建設部 治水課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全		
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	貴重な水と緑の空間である利根川が、地域の共有財産という理解を深めるとともに、豊かな自然環境の保全を図るため、ゴミの不法投棄の監視や市民などの協力を得て利根川堤防敷の清掃を実施します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	河川愛護事業（利根川河川清掃）			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	9	0	令和5年度（年度末時点）	0.26 0.00
令和6年度	決算見込額	8	0	令和6年度（年度末時点）	0.26 0.00
令和7年度	当初予算額	10	0	令和7年度 4月1日時点	0.26 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	0.26 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	河川清掃実施回数	回	目標値	1	1	1	1	1	1	1
			実績値	0	1	1	1	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	利根川河川清掃を実施し、市民と共に、共有財産である利根川に対する理解を深めることができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	共有財産である利根川への理解を深めるため、今後も継続して実施していきます。

部 局 名	都市部
部 局 長 名	中場 聡
部の運営方針	●第四次総合計画の基本構想に示す基本目標を実現するため関連施策に取り組むとともに、これに即して定めた都市計画マスタープランに示す将来都市構想の実現に取り組みます。 ・千葉県が定期に見直す都市計画区域マスタープランについて、関係部局や千葉県と調整を図ります。 ・持続可能な都市づくりに向け工業や商業系土地利用の誘導を図るため、施策と連携した都市計画手法について関係部局と調整していきます。 ・手賀沼沿い斜面林や古利根沼周辺の保全に努めるとともに、市民の森などの緑地を、市民の憩いの場として保全していきます。 ・誰もが安全・安心に使いやすい、快適な公園を目指し、経年劣化により老朽化した遊具の更新など、適切な維持、管理を行い、公園の利用促進及び魅力の向上に努めます。 ・誰もが暮らしやすい良好な住環境を保全、形成していくため、住まいに係る支援や情報提供の充実、空き家バンクの活用促進を図ります。 ●都市部所管の分野別計画の目標を達成するため、計画的に事業を進めていきます。 ・まちの住居や都市機能をコンパクトに維持し、安心して快適な生活環境を効率的に形成していくための計画づくりに取り組みます。 ・緑豊かな都市空間を創出するため、市街地における緑化を推進します。 ・開発行為に関する条例等の適切な運用を行い、秩序ある良好な土地利用を誘導します。土地利用に係る基準については、市の方針に沿った適切な誘導が出来るよう、必要な見直しを行っていきます。 ・特定行政庁として、総合的な建築行政を進めます。 ・公園の維持管理への市民の係わりを更に進め、市民がより身近で親しみやすい公園にしていきます。 ・千葉北西連絡道路の計画段階評価として、国と連携し地域への情報提供や意見把握に取り組むとともに、本市の交通状況等の課題の解消や、市の発展に寄与する計画となるよう、国や県と調整を図ります。 ・市営住宅の将来需要等を見据え、長寿命化を図るとともに、さらなる入居率の向上に努めます。 ・建築物や屋外広告物等の色彩等の規制・誘導や市民団体との協働による景観まちづくりの普及啓発により、市民や事業者とともに魅力ある景観づくりを進めます。また、それらの方針や基準等を定める計画や条例の必要な見直しを行っていきます。 ・地震による建築物の倒壊などの被害を未然に防止するため、建築物の耐震化を推進します。

部 局 名	都市部
部 局 長 名	林 宏規
部の運営方針 に対する総合 評価	●第四次総合計画の基本構想に示す基本目標を実現するため関連施策に取り組むとともに、これに即して定めた都市計画マスタープランに示す将来都市構想の実現に取り組みました。 ・千葉県が定期に見直す都市計画区域マスタープランについて、関係部局や千葉県と調整を行いました。 ・持続可能な都市づくりに向け工業や商業系土地利用の誘導を図るため、施策と連携した都市計画手法について関係部局と調整を行いました。 ・手賀沼沿い斜面林や古利根沼周辺の保全に努めるとともに、市民の森などの緑地を、市民の憩いの場として保全に努めました。 ・誰もが安全・安心に使いやすい、快適な公園を目指し、経年劣化により老朽化した遊具の更新など、適切な維持、管理を行い、公園の利用促進及び魅力の向上に努めました。 ・誰もが暮らしやすい良好な住環境を保全、形成していくため、住まいに係る支援や情報提供の充実、空き家バンクの活用を推進しました。 ●都市部所管の分野別計画の目標を達成するため、計画的に事業を推進しました。 ・まちの住居や都市機能をコンパクトに維持し、安心して快適な生活環境を効率的に形成していく立地適正化計画の策定に取り組みました。 ・緑豊かな都市空間を創出するため、市街地における緑化を推進しました。 ・開発行為に関する条例等の適切な運用を行い、秩序ある良好な土地利用を誘導しました。土地利用に係る基準については、市の方針に沿った適切な誘導が出来るよう、必要な見直しを行いました。 ・特定行政庁として、総合的な建築行政を推進しました。 ・公園の維持管理への市民の係わりを更に進め、市民がより身近で親しみやすい公園づくりを推進しました。 ・千葉北西連絡道路の計画段階評価として、国と連携し地域への情報提供として千葉北西連絡道路だよりの公共施設への配架やパネル展の開催、また、意見把握としてオープンハウス、アンケート調査、企業や市民団体とのヒアリングに取り組みました。 ・市営住宅の将来需要等を見据え、長寿命化のための設計や工事を行うとともに、さらなる入居率の向上に努めました。 ・建築物や屋外広告物等の色彩等の規制・誘導や市民団体との協働による景観まちづくりの普及啓発により、市民や事業者とともに魅力ある景観づくりを進めました。また、それらの方針や基準等を定める計画や条例の必要な見直しを行いました。 ・地震による建築物の倒壊などの被害を未然に防止するため、建築物の耐震化を推進しました。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：都市計画課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・人口減少や少子高齢化による都市の活力や利便性の低下等に対応するため、生活サービス機能や居住の誘導とともに公共交通ネットワークの連携によりコンパクトな都市構造の形成を目指す「立地適正化計画」の策定に取り組みます。

・千葉県による都市計画区域マスタープランの改定について、関係部局と調整し案の作成を行うとともに都市計画手続きを進めます。

・市の部門別施策や都市計画マスタープランに位置づけた土地利用の実現に向け、都市計画や景観形成の観点から関係部局との調整や支援を行います。

・千葉北西連絡道路について、市の発展に寄与する計画となるよう関係機関に働きかけるとともに市民へ情報提供を行います。また、計画の検討状況等を踏まえ、市内の幹線道路網の検証・検討を行います。

・景観法や条例に基づき、市民や事業者との協力により都市景観の形成を進めます。また、新たな景観阻害要因への対応や、第四次総合計画及び令和4年度に改定した都市計画マスタープラン等との整合を図るため、景観形成基本計画の改定とともに景観条例等を改正します。

・景観団体と協働し、景観形成に対する市民や事業者への意識啓発を行います。

2. 課の目標への取組結果

課の目標に掲げた全ての取組を、概ね予定どおり実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

立地適正化計画の策定と都市計画区域マスタープランの改定は、概ね順調に進んでいます。また、景観形成基本計画の改定と景観条例等の改正は予定どおり完了しました。その他の取組も遅延等しているものはなく、令和7年度に予定していた取組は、全体を通して適切に執行できたものと評価します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

立地適正化計画は、令和8年度中に策定を終え、令和9年4月の公表を目指します。また、都市計画区域マスタープランの改定についても、令和8年度中の完了に向けて千葉県と共に必要な手続き等を進めていきます。さらに、千葉北西連絡道路の早期実現を求める国への働きかけ等を、引き続き関係市等と連携して行っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	都市計画に関する総合調整	
	担当部署名	都市部 都市計画課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－1 適正な土地利用の推進	
	施策の展開内容	現在のコンパクトな都市構造を維持しながら、さらなるまちの利便性と活力の向上につなげるため、関係法令に基づき、適正な規制・誘導を進めます。 また、市独自の良好な自然環境を保全しつつ、新たな市の発展を担う都市的土地利用を適地において検討します。	
事務事業の目的 ・概要	・地区計画制度などを活用し、地区の個性を活かした魅力あるまちづくりを進めます。 ・産業用地の創出や住工混在の解消に向けた土地利用を図るとともに、千葉北西連絡道路の進捗にあわせて、新たなまちの活性化に向けた土地利用を検討していきます。		
関連する市の計画等	第四次総合計画、都市計画マスタープラン		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	千葉北西連絡道路	生産緑地地区内の建築規制・誘導
	指	立地適正化計画策定	地区計画区域内の建築規制・誘導、地区計画制度の普及・啓発
		R7年度（県）区域MP、区域区分の見直しに係る調整・検討業務	
		産業系土地利用の誘導に係る検討業務	
		都市計画決定、変更事務	
		都市計画に関する情報の管理・提供事務	
		我孫子駅前土地画整理事業 清算事務	
		紛争予防条例に基づく届出等の受理・あっせん事務	
		都市計画施設の区域内における建築規制	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	780	0	令和5年度（年度末時点）	3.50 0.80
令和6年度	決算見込額	1,339	0	令和6年度（年度末時点）	3.10 0.30
令和7年度	当初予算額	468	0	令和7年度 4月1日時点	3.40 0.30
	補正後予算額	468	0		
	決算額	401	0	令和7年度 年度末時点	3.40 0.30
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	地区計画策定の進捗率	%	目標値	30	50	100	100	100	100	100
			実績値	30	50	100	100	100		
活動 指標	千葉北西連絡道路の要望回数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	2	1	1	2	0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	都市計画に関する総合調整について、全ての個別事業について概ね問題なく実施できたため、順調と評価しています。また、市の経済や土地利用に影響を与える千葉北西連絡道路の早期実現に向けて、パネル展示やオープンハウス、アンケート調査を実施しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	都市計画マスタープランの「土地利用に関する方針」や「市街地環境整備に関する方針」で掲げる地域特性に応じた土地利用、「都市の魅力向上に関する方針」で掲げる拠点整備のために必要な事業であるため、引き続き推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	景観形成に係る規制誘導	
	担当部署名	都市部 都市計画課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－2 住環境の保全とまちなみの魅力向上	
	施策の展開内容	手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めていきます。 また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの充実を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	屋外広告物の設置規制や建築物などの景観誘導により、手賀沼をはじめとする自然景観や歴史・文化的景観など地域資源を活かしたまちなみを形成していきます。		
関連する市の計画等	都市計画マスタープラン、景観計画、公共サイン計画、環境基本計画、緑の基本計画、商業観光まちづくり大綱、文化財保存活用地域計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	千葉県屋外広告物条例に基づく屋外広告物の表示等に係る許可・指導等		公共サイン計画の見直し
	我孫子市景観条例等に基づく屋外広告物の色彩等の規制・誘導		
	違反広告物の簡易除却		
	民間事業者による開発行為や建築行為等に係る景観規制・誘導		
	公共施設の整備及び公共サインの設置に係る景観誘導		
	野立ての太陽光発電設備の立地誘導		
	景観形成基本計画の見直し		
	景観条例の改正		
	太陽光発電設備の適正な設置を図るための手続に関する条例の廃止		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	55	0	令和5年度（年度末時点）		1.50	0.70
令和6年度	決算見込額	76	0	令和6年度（年度末時点）		1.70	0.40
令和7年度	当初予算額	111	0	令和7年度	4月1日時点	1.60	0.40
	補正後予算額	111	0				
	決算額	96	0		年度末時点	1.60	0.40
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	違反広告物の簡易除却件数	件	目標値	1,200	800	750	700	100	100	100
			実績値	669	205	112	816	168		
活動 指標	民間事業者による景観計画区域内行為の事前協議 済率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	公共施設の整備及び公共サインの設置に係る景観 協議済率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	景観形成に係る規制誘導事業について、全ての個別事務事業を概ね問題なく実施できたため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	全ての個別事務事業を概ね問題なく実施できたため、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	景観まちづくりの普及啓発		
	担当部署名	都市部 都市計画課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－2 住環境の保全とまちなみの魅力向上		
	施策の展開内容	手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めていきます。 また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの充実を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	景観づくりを進める市民団体などと協働で景観に関する情報発信や景観ポイントの魅力化に取り組み、市民・事業者の景観に対する関心と理解を深めていきます。			
関連する市の計画等	都市計画マスタープラン、景観計画、環境基本計画、緑の基本計画、商業観光まちづくり大綱、文化財保存活用地域計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	市内の魅力的な景観に関する情報の発信			
	景観ポイントの魅力化			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	594	0	令和5年度（年度末時点）		1.00	0.10
令和6年度	決算見込額	240	0	令和6年度（年度末時点）		1.00	0.10
令和7年度	当初予算額	142	0	令和7年度	4月1日時点	1.00	0.10
	補正後予算額	142	0				
	決算額	142	0		年度末時点	1.00	0.10
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	市民団体によるハケの道の魅力化活動への支援回数	回	目標値	3	2	2	2	2	2	2
			実績値	1	3	3	3	3		
活動 指標	「我孫子のいろいろ八景歩き」の開催回数	回	目標値	4	4	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	景観まちづくりの普及啓発事業について、全ての個別事務事業を概ね問題なく実施し、かつ、「我孫子のいろいろ八景歩き」や「景観まち探検」は参加者から好評であったため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	「我孫子のいろいろ八景歩き」は、10年以上の実施により一定の成果を得ることができたことから、令和8年度からは若年層の景観に対する意識啓発に注力することとし、引き続き市民団体との協働による小学生対象の普及啓発事業「景観まち探検」の定着と充実を図っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	幹線道路網などに関する調査・検討		
	担当部署名	都市部 都市計画課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－4 安全で快適な道路の整備		
	施策の展開内容	さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。 また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。		
事務事業の目的 ・概要	市内の交通状況や道路の整備状況、国が検討を進めている千葉北西連絡道路の進捗に合わせて、幹線道路網の見直しを行います。			
関連する市の計画等	都市計画マスタープラン			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	幹線道路網の見直しに関する研究・調整			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）		0.40	0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）		0.40	0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度	4月1日時点	0.40	0.00
	補正後予算額	0	0				
	決算額	0	0		年度末時点	0.40	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	関係機関との協議回数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	0	0	0	0	0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	国において、千葉北西連絡道路の検討が進められている段階であるため、市の幹線道路網の見直しに係る関係機関との協議は開始できていません。しかし、将来の市内幹線道路網や土地利用に大きく影響を与える広域幹線道路の計画であるため、引き続き国の検討状況を把握するとともに、市の方針と整合を図りながら調整を行います。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	利便性や経済活動を支える幹線道路網は効果的に計画・配置する必要があります。なお、その見直しには影響が想定される千葉北西連絡道路の計画を踏まえながら行います。

令和7年度
課の目標管理書

課 名： 建築住宅課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

良好な住環境を形成していくため、建築指導行政及び各種許認可事務を的確に実施します。

我孫子市耐震改修促進計画に基づき、耐震化の必要性に関する啓発及び知識の普及を行うとともに、住宅の耐震診断及び耐震改修にかかる費用について助成事業を実施します。

多様な住生活のニーズに対応するため、住宅に関する各種相談業務及び情報提供を実施します。

定住化の促進及び市内住宅産業の活性化並びに空き家の発生抑制及び空き家等の利活用を図るため、住宅リフォーム補助事業及び空き家バンク事業を実施します。

我孫子市マンション管理適正化推進計画に基づき、管理計画の認定を行うとともに、専門家等と連携し、管理組合によるマンションの適正な維持管理に関する情報提供や相談業務を実施します。

我孫子市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の長寿命化に資する予防保全的な管理や改善を計画的に推進するとともに、入居率の向上に向けた入居者募集を実施します。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

適切な取組により、概ね目標を達成することができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

木造住宅耐震改修事業は、令和7年度の取組を継続し、耐震化を促していきます。

特定行政庁の業務は、多様化する業務に対応するため、情報収集やスキルアップに努めます。

住宅リフォーム補助事業は、財源の確保に努めるとともに、令和8年度からは新たな補助内容で実施します。

多くの方の活用に向け、効果的な周知方法等を検討していきます。

市営住宅の管理・運営業務は、長寿命化のための予防保全的な管理や改修を計画的に進めるため、交付金等を活用した予算の確保に努めるとともに、入居率の向上に向けた取組を実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	建築物に係る防災対策事業		
	担当部署名	都市部 建築住宅課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－1 防災・減災対策の推進		
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	地震による建築物の倒壊などの被害を未然に防止するため、耐震診断や耐震改修への支援、耐震性などに優れた住宅の認定、損傷や劣化のある建築物への指導などにより、建築物の防災対策を推進します。			
関連する市の計画等	我孫子市耐震改修促進計画、我孫子市国土強靱化地域計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	建築物等の定期報告の受理及び改善指導		
		耐震診断及び耐震改修に関する補助業務		
		長期優良住宅等の認定業務		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	50	0	令和5年度（年度末時点）	1.30 0.04
令和6年度	決算見込額	650	0	令和6年度（年度末時点）	1.30 0.04
令和7年度	当初予算額	2,100	0	令和7年度 4月1日時点	1.30 0.04
	補正後予算額	3,100	0		
	決算額	3,050	0	令和7年度 年度末時点	1.30 0.04
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	長期優良住宅認定申請	件	目標値	111	117	117	117	117	117	117
			実績値	124	160	160	213	241		
活動 指標	木造住宅耐震セミナー・相談会 申込組数	組	目標値	10	10	10	10	10	10	10
			実績値	10	2	4	20	5		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	木造住宅耐震セミナーにおいては相談会申込数を指標の目標より下回りましたが、助成金の申請は当初の募集件数を上回っています。また長期優良住宅の認定申請件数については指標の目標値を上回っていることから、滞りなく事業実施ができたと考えます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	我孫子市耐震改修促進計画に基づき、今後も建築物の防災対策を推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	建築行為に係る審査・指導・認定等の業務	
	担当部署名	都市部 建築住宅課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－1 適正な土地利用の推進	
	施策の展開内容	現在のコンパクトな都市構造を維持しながら、さらなるまちの利便性と活力の向上につなげるため、関係法令に基づき、適正な規制・誘導を進めます。 また、市独自の良好な自然環境を保全しつつ、新たな市の発展を担う都市的土地利用を適地において検討します。	
事務事業の目的 ・概要	都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例などに基づき、開発行為や建築行為の適正な規制や誘導を行い、良好なまちづくりを進めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	違反建築物の処置業務		建築に関する報告および閲覧・証明業務
	各種届出の受理及び指導業務		
	狭あい道路（建築基準法第42条第2項道路）の拡幅指導と支援		
	建築に関する指導および審査業務		
	建築基準法に基づく許可及び認定業務		
	審査会及び審議会に関する業務		
	地区計画条例及び建築協定認可に関する業務		
	道路の指定に関する業務		
	民間確認検査機関報告書の事務処理業務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	2,953	0	令和5年度（年度末時点）	5.80 0.56
令和6年度	決算見込額	3,024	0	令和6年度（年度末時点）	5.80 0.56
令和7年度	当初予算額	3,130	0	令和7年度 4月1日時点	5.80 0.56
	補正後予算額	3,130	0		
	決算額	3,039	0	令和7年度 年度末時点	5.80 0.56
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	建築確認処理件数	件	目標値	621	587	587	587	587	587	587
			実績値	672	707	688	644	603		
活動 指標	建築計画概要書等の写し・証明交付件数	件	目標値	1,823	1,935	1,935	1,935	1,935	1,935	1,935
			実績値	2,169	2,311	2,213	2,609	2,542		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	指標の目標を達成できていることから、適切な事業の実施に努めることができたと思います。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	良好なまちづくりを進めるという目標に不可欠な事業であるため、引き続き推進いたします。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	住居に関する相談・支援		
	担当部署名	都市部 建築住宅課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－2 住環境の保全とまちなみの魅力向上		
	施策の展開内容	手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めていきます。 また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの充実を図ります。		
事務事業の目的 ・概要	誰もが暮らしやすい良好な住環境を保全・形成していくため、住まいに係る支援や情報提供などの充実、空き家バンクの活用促進を図ります。			
関連する市の計画等	地域住宅計画（我孫子市地域）、我孫子市マンション管理適正化推進計画、我孫子市空家等対策計画、我孫子市国土強靱化地域計画、第5次行政改革推進プラン（住宅リフォーム補助金）			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	住宅リフォーム補助金		
		我孫子市増改築等施工業者紹介制度		
		住宅・不動産相談業務及び住宅情報提供業務		
		マンション管理に関する支援事業		
		我孫子市空き家バンク制度		
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	40,573	0	令和5年度（年度末時点）		2.70	0.00
令和6年度	決算見込額	22,628	0	令和6年度（年度末時点）		2.70	0.00
令和7年度	当初予算額	19,619	0	令和7年度	4月1日時点	2.70	0.00
	補正後予算額	13,619	0				
	決算額	11,935	0		年度末時点	2.70	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	若い世代の住宅取得支援事業 申請件数	件	目標値	231	267	267	267	-	-	-
			実績値	204	238	246	71	-	-	-
活動 指標	住宅リフォーム補助事業 申請件数	件	目標値	213	263	263	263	263	263	263
			実績値	267	231	232	185	134		
活動 指標	住宅・不動産相談 受付件数	件	目標値	-	30	30	30	30	30	30
			実績値	0	11	25	34	35		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	物価高騰の影響により住宅修繕への支出が減少したため、住宅リフォーム補助事業の申請件数が目標値を下回ったと分析しており、社会情勢上やむを得ない結果であったと評価しています。なお、その他の事業の実績は順調であったことから、事業全体としてほぼ順調と評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	住宅リフォーム補助事業は、令和8年度からは持家への上限額を引き下げ、若い世代の転入者等への上限額を増額して実施するため、若い世代の定住化の効果について検証していきます。その他の事業についても、多くの方の利用につながるよう、効果的な周知方法等を検討するとともに、専門家と連携した支援や情報提供の充実に努めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市営住宅の管理・運営	
	担当部署名	都市部 建築住宅課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－2 住環境の保全とまちなみの魅力向上	
	施策の展開内容	手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めています。 また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの充実を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	住宅に困窮する人に対し、安全で質の高い住宅を供給するため、市営住宅の適正な管理・運営を行います。		
関連する市の計画等	地域住宅計画（我孫子市地域）、公営住宅等長寿命化計画、我孫子市国土強靱化地域計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	市営住宅使用料調定及び徴収事務		
	市営住宅入居者管理業務		
	市営住宅維持管理業務		
	市営住宅東我孫子電波障害対策用電柱共架施設の撤去		
	指 市営住宅給排水管等改善事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	市営住宅管理システム更新 R5～R9年度 16,385千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	34,945	0	令和5年度（年度末時点）		3.05	0.00
令和6年度	決算見込額	51,654	0	令和6年度（年度末時点）		2.30	0.60
令和7年度	当初予算額	199,967	0	令和7年度	4月1日時点	3.20	0.00
	補正後予算額	200,426	0				
	決算額	199,132	0		年度末時点	3.20	0.00
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	市営住宅入居者募集にかかる応募倍率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	75.0	86.5	94.4	89.8	161.5		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	定期募集において単身者の入居が可能な住戸に想定以上の応募が集中し、目標値の100%を超えましたが、その他の世帯向け住戸の応募では目標値に満たない住戸もあったため、ほぼ順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も各市営住宅において給排水管等改善工事の実施を計画していることから、必要な空き住戸を確保しながら、定期募集及び随時募集を実施し、計画的な市営住宅の管理運営に努めていきます。

令和7年度 課の目標管理書

課 名 : 公園緑地課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・公園・緑地の持つ機能に配慮し、地域資源（史跡、人や文化財など）を活用しながら、市街地で公園が不足している一部の地域において適正な配置を検討します。また、防災やコミュニティの場など市民ニーズに即した公園の整備を進め、公園の交流人口の拡大を推進する賑わいの創出として、引き続き移動販売車（キッチンカー）の出店事業を行っていきます。
- ・誰もが安全に安心して公園を利用できるよう遊具の定期点検や老朽化した公園施設の修繕を図るなど適正な維持管理を行います。利用者の実態に合わせ老朽化した遊具の更新や憩いの場となるよう子どもたちをはじめ、みんなが魅力を感じる公園づくりを行っていきます。
- ・手賀沼周辺の魅力向上の取組みとして、手賀沼公園における民間活力を利用し整備されたオープンカフェを活用していきます。
- ・手賀沼遊歩道については、植栽等の維持管理や路面の舗装修繕、手賀沼親水広場前の遊歩道岸辺で洗堀が著しい箇所の護岸工事を引き続き行います。また、令和6年度で計画期間が終了した「手賀沼遊歩道維持管理計画」の効果検証を行います。
- ・市民手づくり公園制度の推進、みどりのボランティアの充実を図り、市民が自主的・主体的に公園づくりや里山づくりなどの活動に参加できる仕組みを充実させます。
- ・公園の花壇など公共公益施設の緑化をはじめ、地域で一体的な緑化を進めます。
- ・手賀沼親水広場近くの手賀沼遊歩道で桜のライトアップを行い、夜桜の観光スポットとして、手賀沼遊歩道の魅力向上に努めていきます。
- ・都市公園関係法令及び我孫子市都市公園条例等に基づき、適正な公園利用の指導と許可を行います。
- ・緑の基本計画で掲げる緑の将来像を実現していくため、計画の基本方針「我孫子らしい緑を保全・活用する」「核となる緑を整備・活用する」「多様な緑が輝くまちなみを創出する」「緑を楽しむ意識づくりと活動支援を進める」に則り、緑づくりの施策を推進していきます。
- ・斜面林など手賀沼を取り巻く自然環境の一体的な保全に努めます。
- ・古利根沼の保全と再生を進め、市民が水辺、樹林地などの自然にふれあえる憩いの場とします。また、市民参加による里山づくりなど、多様な生物生息空間の保全・再生を図り、自然にふれあえる場として活用します。
- ・生産緑地の買収の申出にあたって、公園用地としての買収の検討や公共施設用地としての買収希望に関する照会などを行います。
- ・貴重な緑地の保全や公園用地を確保するため、緑の基金の充実に努めていきます。
- ・墓地、埋葬等に関する法律及び我孫子市墓地等の経営の許可等に関する条例等やその他関係法令に基づき墓地経営予定者に対し、適正な指導、審査を行います。

2. 課の目標への取組結果

・手賀沼公園の民間活力を活かしたオープンカフェを利用し、手賀沼周辺の魅力向上に取り組みました。また、手賀沼遊歩道維持管理計画に基づき、植栽等の維持管理や舗装の補修工事、洗堀が著しい箇所の護岸工事を実施しました。

・市内の公園灯や公園等のトイレの照明器具をＬＥＤに更新しました。

・令和７年９月５日の大雨により湖北台４号公園の法面の土砂が流出しましたが、土砂撤去及び法面の保護等、早急に対応を行いました。

・市民手づくり公園の推進、みどりのボランティア・公共施設の花壇活動の充実、手賀沼遊歩道の桜のライトアップ等を実施しました。

・緑の基本計画に則り、市民の森、手賀沼沿い斜面林などの保全緑地、公園の維持管理を適切に実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

課の目標で示した方針に基づき、適切な取組により、予定どおり実施しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

市内にある多くの公園が設置後３０年以上経過しており、施設の更新や修繕などの件数が増加傾向にあります。また、草刈や樹木の剪定に加え、枯損木の伐採、松枯れやナラ枯れ等の病害虫対策も必要となり、公園施設の維持管理に係る経費（予算）の増加が見込まれます。市民の森や保全緑地については、民地に隣接している高木の越境や老木が増えており、作業を行ううえで作業車が入らない場所の問題があることから、手法の検討を行う必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	手賀沼遊歩道の再整備		
	担当部署名	都市部 公園緑地課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－5 交流・関係人口の拡大		
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。		
事務事業の目的 ・概要	誰もが安全で快適に手賀沼の水辺に親しめるよう、手賀沼遊歩道の利用促進を図っていきます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 手賀沼遊歩道の再整備（護岸工事等）			
	さくらプロジェクト			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	6,471	0	令和5年度（年度末時点）	1.90 0.00
令和6年度	決算見込額	12,934	0	令和6年度（年度末時点）	1.90 0.00
令和7年度	当初予算額	13,155	0	令和7年度 4月1日時点	2.00 0.00
	補正後予算額	13,155	0		
	決算額	12,027	0	令和7年度 年度末時点	1.85 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	篠竹の駆除	回	目標値		1	1	1	1	1	1
			実績値		1	1	1	1		
活動 指標	ツツジの褐斑病対策 ※令和7年度以降は対策効果確認・経過観察	回	目標値		1	1	1	1	1	1
			実績値		1	1	1	－	－	－
活動 指標	舗装及び路肩修繕工事	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	手賀沼の洗掘されている箇所の護岸工事	%	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値		0	0	100	100		
活動 指標	灯具の基数	個	目標値	30	30	30	30	30	30	30
			実績値	30	30	30	30	30		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	安全に利用できるよう傷んだ舗装の補修・護岸工事を計画どおり進めるとともに、季節に合った演出を行うことで、手賀沼遊歩道の環境美化や魅力向上、利用促進を図りました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、手賀沼遊歩道の適正な維持管理や魅力向上に努め、利用促進を図っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	公園の再整備	
	担当部署名	都市部 公園緑地課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－5 利用したくなる公園の整備	
	施策の展開内容	市民ニーズを的確にとらえながら、子どもから高齢者まで、誰もが利用したくなる公園づくりを進めるとともに、安全に安心して利用できるよう維持管理に努めます。	
事務事業の目的 ・ 概要	・ 安全で快適に公園を利用できるよう、利用者のニーズに対応した公園の整備を進めます。 ・ 地域にとってより魅力的で憩いの場となるよう、公園の再整備や適正な配置に努めていきます。		
関連する市の計画等	緑の基本計画、第5次行政改革推進プラン（公園のあり方検討）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	利根川ゆうゆう公園の施設整備・適正利用の推進		
	気象台記念公園の整備		
	公園のバリアフリー化推進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	12,676	0	令和5年度（年度末時点）	2.00 0.00
令和6年度	決算見込額	17,028	0	令和6年度（年度末時点）	2.00 0.00
令和7年度	当初予算額	1,376	0	令和7年度 4月1日時点	2.00 0.00
	補正後予算額	1,376	0		
	決算額	1,225	0	令和7年度 年度末時点	1.85 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	公園候補地の検討・公園施設整備の検討	件	目標値	4	4	4	4	4	5	6
			実績値	0	1	3	3	2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	安全で快適に公園を利用できるよう、気象台記念公園について計画的な樹木伐採により適正な管理に努め、利根川ゆうゆう公園の老朽化していた看板を更新しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、安全で快適に公園を利用できるよう公園の整備を進めるとともに、再整備や適正な配置の検討を進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	公園の維持管理	
	担当部署名	都市部 公園緑地課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－5 利用したくなる公園の整備	
	施策の展開内容	市民ニーズを的確にとらえながら、子どもから高齢者まで、誰もが利用したくなる公園づくりを進めるとともに、安全に安心して利用できるよう維持管理に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	・誰もが安全に安心して利用できるよう、公園施設の点検を実施し、必要に応じて老朽化した遊具など公園施設の更新を行います。 ・誰もが利用したくなる公園とするため、施設の適正な維持管理を行っていきます。 ・より身近で親しみやすい公園とするため、地域住民の主体的な公園づくり活動を支援するとともに、公園管理における市民の自主的な活動を進めていきます。		
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（公園灯のLED化）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	公園の維持管理		
	公園許可事務		
	指 公園の維持管理（寿古墳公園工事設計・公園灯LED化）		
	公園清掃（自治会委託）		
	市民手づくり公園事業		
	街区公園等の施設更新		
	公園の維持管理（寿古墳公園工事）		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	手賀沼公園駐車場機器賃貸借 R7～R11年度 25,175千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	264,351	2,342	令和5年度（年度末時点）		3.70	5.40
令和6年度	決算見込額	373,763	14,971	令和6年度（年度末時点）		3.90	5.80
令和7年度	当初予算額	514,614	0	令和7年度	4月1日時点	3.80	3.80
	補正後予算額	552,721	0		年度末時点	3.60	3.80
	決算額	478,963	0				
	次年度へ繰越	52,000	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	多くの市民が安心して利用できる施設の公園面積	ha	目標値	150	150	151	151	151	152	153
			実績値	150	150	150	150	－	－	－
活動 指標	公園遊具の定期点検結果への措置率	%	目標値					100	100	100
			実績値					100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	公園遊具の点検における危険な遊具の把握や速やかな措置により、良好な遊具の維持管理に努めました。老朽化した市内の公園灯についてLED化工事を実施しました。市民手づくり公園事業により、地域住民の自主的な公園づくり活動を支援しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、誰もが安全・安心して利用できるよう、また、誰もが利用したくなる公園となるよう、適正な維持管理に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	緑の基本計画の進行管理		
	担当部署名	都市部 公園緑地課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全		
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。		
事務事業の目的 ・概要	公園緑地施策の基本となっている緑の基本計画の進行管理を行い、公園緑地施策の方向性を確認、検証していきます。			
関連する市の計画等	環境基本計画、都市計画マスタープラン			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	緑の基本計画の進行管理			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	440	0	令和5年度（年度末時点）	0.90 0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	0.90 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	0.85 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	0.85 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	緑の基本計画の進行管理	回	目標値	1	1	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	緑の基本計画に則り、市民の森や手賀沼沿い斜面林などの保全緑地、公園の維持管理を適切に実施しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	都市緑地法に基づく計画であることから、今後の計画年度に準じて、中間見直しや全体見直しを実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	緑地の保全と緑化推進	
	担当部署名	都市部 公園緑地課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	6－2 自然環境の保全	
	施策の展開内容	市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。 手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。	
事務事業の目的 ・概要	・多くの市民が自然にふれあい、憩うことができるよう、市民との連携などにより古利根沼の水辺と周辺樹林地、市民の森などの緑づくりを進めていきます。 ・くらしの中で自然が感じられるよう、条例に基づき指定した緑地を保全していきます。 ・緑豊かなまちづくりを推進するため、市民などの主体的な活動に対する支援や、公共施設などの公共空間の緑化を進めるとともに、緑化の誘導を図ります。		
関連する市の計画等	環境基本計画、都市計画マスタープラン		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	市民の森維持管理		
	みどりのボランティアの充実		
	古利根沼周辺の保全と整備		
	手賀沼沿い斜面林維持管理		
	保存緑地・保存樹木		
	緑化推進		
	生産緑地事務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	20,655	0	令和5年度（年度末時点）	1.25 0.00
令和6年度	決算見込額	28,969	0	令和6年度（年度末時点）	1.25 0.00
令和7年度	当初予算額	20,157	0	令和7年度 4月1日時点	1.20 0.00
	補正後予算額	18,907	0		
	決算額	18,475	0	令和7年度 年度末時点	1.20 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	古利根沼周辺の保全と整備：保全活用面積	h a	目標値	19	20	20	20	20	20	20
			実績値	19	19	19	19	19		
活動 指標	保存緑地指定面積	㎡	目標値	223,657	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
			実績値	223,657	207,058	205,406	204,255	202,781		
活動 指標	市民の森維持管理：適切に維持管理された緑地面積	h a	目標値	4	4	5	6	6	7	8
			実績値	3	3	3	3	4		
活動 指標	緑化推進：花壇用苗木等の提供により緑化を図っている公共公益施設数	ヶ所	目標値	50	51	52	53	53	54	55
			実績値	34	38	40	38	38		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	緑の活動団体と協働・連携により、市が管理する市民の森などの適切な維持管理を行いました。また、公園・公共施設の花壇活動が活発に行われ、我孫子市の緑化推進・環境美化の一助となりました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	緑の保全や緑化推進・環境美化を維持していくため、今後も緑の活動団体と協議・連携しながら事業を進めていきます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名 : 市街地整備課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・開発行為に関する条例等の適切な運用を行い、秩序ある良好な土地利用を誘導します。土地利用に係る基準については、市の方針に沿った適切な誘導ができるよう、必要な見直しを行っていきます。

・都市計画法令に違反する宅地開発事業の是正に努めるとともに、未然に防止するための必要な措置を講じます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

事務事業「開発行為に係る指導・許可等の事務」の評価値が「順調」、「宅地耐震化推進事業」の評価値が「ほぼ順調」であることから、目標どおり推進できたと考えます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

秩序ある良好な土地利用の誘導、違反宅地開発事業の是正と未然に防止する措置を講じることや宅地耐震化推進事業などの事業を推進するためには、所属する職員一人一人が都市計画法令など必要とされる専門知識を正確に身につけ、実践力を向上することや体制強化を図る必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	宅地耐震化推進事業		
	担当部署名	都市部 市街地整備課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－1 防災・減災対策の推進		
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	大地震に備えて市民の地域防災に対する意識向上を図るため、大地震により滑動崩落の恐れがある大規模盛土造成地について、ハザードマップなどにより情報提供していきます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	第二次スクリーニング計画の精査			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	1.00 0.00
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	1.30 0.00
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	1.30 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	1.30 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	第二次スクリーニング計画の精査	%	目標値	50	100	100	100	100	100	100
			実績値	50	75	80	85	90		
活動 指標	第二次スクリーニング	箇所	目標値			1	1	1	1	1
			実績値			0	0	0		
成果 指標	第二次スクリーニング調査完了割合	%	目標値			3	6	9	12	15
			実績値			0	0	0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	法改正に伴う国や県の動向を確認しながら、第二次スクリーニング計画について精査を行いました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	法改正に伴い千葉県との事務分担の確認、事業を進めるうえで必須となる専門知識を有する技術職員の確保及び体制強化、複数年にわたる事業となることから将来を含めた事業費の確保などが課題となっています。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	開発行為に係る指導・許可等の事務	
	担当部署名	都市部 市街地整備課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－1 適正な土地利用の推進	
	施策の展開内容	現在のコンパクトな都市構造を維持しながら、さらなるまちの利便性と活力の向上につなげるため、関係法令に基づき、適正な規制・誘導を進めます。 また、市独自の良好な自然環境を保全しつつ、新たな市の発展を担う都市的土地利用を適地において検討します。	
事務事業の目的 ・概要	都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例などに基づき、開発行為や建築行為の適正な規制や誘導を行い、良好なまちづくりを進めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	公有地の拡大の推進に関する法律に係る事務		
	違反宅地開発事業是正指導事務		
	国土利用計画法に基づく土地売買等届出書に係る事務		
	都市計画法施行規則第60条に基づく建築証明事務		
	都市計画法第29条に基づく開発行為許可事務		
	都市計画法第32条に基づく開発行為事前協議事務		
	都市計画法第43条に基づく建築許可事務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	78	0	令和5年度（年度末時点）	5.10 0.00
令和6年度	決算見込額	200	0	令和6年度（年度末時点）	6.20 0.00
令和7年度	当初予算額	44	0	令和7年度 4月1日時点	6.20 0.00
	補正後予算額	217	0		
	決算額	192	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	6.20 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	都市計画法第29条の許可事務（許可件数／申請件数）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	都市計画法第32条の事前協議事務（事前協議締結件数／事前協議申請件数）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	都市計画法第43条の建築許可事務（許可件数／申請件数）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	国土利用計画法に係る届出事務処理（処理件数／届出件数）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	公有地の拡大の推進に関する法律に係る事務（処理件数／申請件数、申出件数）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	各種事務手続き等について、概ね適切に事務処理を行いました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	生産緑地の指定30年経過による指定解除に伴う土地活用の増加及び大規模化が想定されるなか、今後も適切な事務処理を行うため、更なる人材育成及び体制強化が課題となっています。

部 局 名	会計課
部 局 長 名	会計管理者 関口 浩紀
部の運営方針	○健全な行財政運営の確保 ・健全な行財政運営を確保するため、財政部局と連携し、公金の安全で適正な管理運用と円滑な資金調達を図ります。 ・起債償還が集中する 9 月・3 月、支払いが集中する年末・年度末には歳計現金の資金不足が予想されることから、基金からの繰替運用、地方債の借入時期等を財政当局と協議し、適正な資金管理に努めます。 ○適正な会計事務の執行 ・支出命令等の審査を厳正に行うとともに、出納、管理、決算調製にわたる会計事務を適正かつ迅速に行います。 ・社会情勢に対応した会計事務を推進するため、D Xに対応した事務処理のあり方について、調査・研究を進めるとともに、公金の事務処理環境の変化に対応した業務を進めます。 ○公金の管理運用 ・公金の管理運用は、執行機関と協議し、我孫子市公金管理基準に基づき安全で効率的な管理・運用を図ります。

部 局 名	会計課
部 局 長 名	会計管理者 飯塚 直則
部の運営方針 に対する総合 評価	○健全な行財政運営の確保 ・健全な行財政運営を確保するため、財政部局と連携し、公金の安全で適正な管理運用と円滑な資金調達を行いました。 ・起債償還が集中する９月・３月、支払いが集中する年末・年度末には歳計現金の資金不足となったことから、基金からの繰替運用、地方債の借入時期等を財政当局と協議し、適正な資金管理に努めました。 ○適正な会計事務の執行 ・支出命令等の審査を厳正に行うとともに、出納、管理、決算調製にわたる会計事務を適正かつ迅速に行いました。 ・社会情勢に対応した会計事務を推進するため、ＤＸに対応した事務処理のあり方について、調査・研究を進めました。 ○公金の管理運用 ・公金の管理運用は、執行機関と協議し、我孫子市公金管理基準に基づき安全で効率的な管理・運用を行いました。

部 局 名	水道局
部 局 長 名	古谷 靖
部の運営方針	我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画に掲げた、3つの基本目標及び6つの基本方針に基づき、令和7年度は次の取り組みを実施します。 I. 安全 1. 良質な水道の維持 水源から蛇口に至るまでの総合的な水質管理を行うため、「我孫子市水道事業水安全計画」の活用や、「我孫子市水道局水質検査計画」に基づく水質検査を行います。また、自己水源（深井戸）の計画的な機能保全を図るため、「取水井維持活用方針」に基づき、2ヶ所の井戸について浚渫工事を行います。 II. 強靱 2. 施設強靱性の維持 浄水場整備では、市内配水管の末端圧力を監視するため、令和6年度からの継続事業としている「圧力末端局更新工事」を完了させます。さらに、令和7年度から8年度までの継続事業として、「久寺家浄水場受変電設備更新工事」及び「湖北台浄水場高度浄水処理設備コントロールセンター盤他更新工事」を行います。水道管路整備では、経年配水管路及び基幹管路の耐震化を図るため、総延長約5 kmの布設替え工事を行い、激甚化・頻発化する災害や老朽化に伴う事故を防ぐ「強靱化」を進めます。 3. 災害対応の強化 災害時に対応するため、県内水道事業体間における各種情報伝達訓練に参画するほか、市の総合防災訓練において市民と連携した応急給水訓練を行います。また、災害や水質事故等に即応する危機管理体制強化のため、令和6年度、妻子原浄水場に設置したバルブ操作訓練施設で事故対応訓練を行うほか、災害時に必要な資機材の整備も進めます。 III. 持続 4. 事業継続性の確保 水資源の適正運用では、北千葉広域水道企業団からの受水と自己水源（深井戸）の運用コストや災害時等の対応を踏まえた、取・受水管理を引き続き行います。業務効率化方策では、「浄水場設備運転及び維持管理業務等包括委託」及び「料金・給水・会計業務等包括委託」など官民連携の推進により、引き続きお客様サービス向上と業務効率化に努めます。また、職責に応じ必要な研修に積極的に参加することで職員の技術力向上を図るとともに、次世代の水道実務を担う人材の育成を図ります。職員一人一人自らが果たすべき職責、市民目線、水道事業を取り巻く状況を十分に理解し、自覚と責任をもって事務を遂行していきます。

5. 財政健全性の確保

水需要や給水収益の減少に対応するため、業務の効率化を進めていきます。水道事業がインフラ整備や災害対応強化のために国土交通省に移管されたことも踏まえ、国庫補助対象事業の要件について、引き続き注視していきます。また、将来にわたり長期間使用する水道施設の整備に要する費用は、世代間で負担を平準化するために、引き続き企業債を活用します。さらに不足する財源については、水道料金の適正化に向けて、水道料金算定要領を基に運営審議会を開催して適正な料金体系の見直しを行い、地域の安全と快適な生活を支える水道サービスの提供に努めていきます。

6. 将来につなげる新施策の考察

SDGs（持続可能な開発目標）17の目標のうち、主に「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」をターゲットとして、安定的に水道水を供給できるよう災害時における応急給水体制の充実を図ります。なお、総合的な取り組みとして、電力や紙資源の低減策を継続し、SDGsに対応してまいります。また、有収率向上の新たな取り組みとして、人工衛星からの画像データを解析し、漏水可能性エリアを可視化するデジタル技術などを活用します。

部 局 名	水道局
部 局 長 名	古谷 靖
部の運営方針 に対する総合 評価	我孫子市水道事業ビジョンや我孫子市水道事業基本計画に掲げた、3つの基本目標及び6つの基本方針に基づき、事業を実施しました。 「良質な水道の維持」では、水源から蛇口に至るまでの総合的な水質管理を行うため、「我孫子市水道事業水安全計画」の活用や「我孫子市水道局水質検査計画」に基づく水質検査を実施しました。また、自己水源（深井戸）の計画的な機能保全を図るため、「取水井維持活用方針」に基づき、2か所の井戸について浚渫工事を実施しました。 「施設強靱性の維持」では、浄水場整備として停電時にも継続して浄水場施設を稼働させるため、令和5年度からの継続事業である「湖北台浄水場非常用発電機更新工事」が、他工事との工程調整を経て令和7年5月に完了しました。また、市内配水管の末端圧力を監視するため、令和6年度からの継続事業である「圧力末端局更新工事」が完了しました。さらに、令和7年度から8年度までの継続事業として、「久寺家浄水場受変電設備更新工事」及び「湖北台浄水場高度浄水処理設備コントロールセンター盤他更新工事」を実施しています。 水道管路整備では、経年配水管路及び基幹管路の耐震化を図るため、総延長約5キロメートルの布設替え工事を行い、激甚化・頻発化する災害や老朽化に伴う事故を防ぐ「強靱化」を進めました。 「災害対応の強化」では、災害時に対応するため、県内水道事業体間での各種情報伝達訓練に参画するとともに、市民と連携した応急給水訓練を実施しました。また、災害や水質事故等に即応する危機管理体制強化のため、局内で事故対応訓練を行いました。さらに、災害時に飲料水を確保するため、組立式給水タンクを2基購入しました。 「事業継続性の確保」では、水資源の適正運用として、北千葉広域水道企業団からの受水と自己水源（深井戸）の運用コストや災害時等の対応を踏まえた取・受水管理を引き続き行いました。このほか、漏水防止対策や有収率の向上に向けた新たな取り組みとして、衛星画像を活用した漏水特定調査により漏水可能性エリアを抽出し、漏水監視システムを用いて漏水疑義箇所を特定しました。令和8年度は、これらの漏水疑義箇所に対して音聴調査を実施し、地下漏水を確実に発見して早期修繕を行います。収益の確保については、料金未納者への徴収強化に引き続き努めるとともに、水道未使用者に対して水道管の更新工事と合わせて給水の引き込み工事を行っていただけるよう、積極的にアプローチし水道使用者を増やす取り組みを行いました。また、水道未使用者に対する営業活動を実施し、普及率向上に努めました。

	業務効率化方策としては、「浄水場設備運転及び維持管理業務等包括委託」および「料金・給水・会計業務等包括委託」の着実な実施と官民連携の推進により、引き続きお客様サービスの向上と、更なる業務効率化および災害時の緊急対応等を検討しました。さらに、職責に応じた必要な研修に参加することで職員の技術力向上を図るとともに、次世代の水道実務を担う人材の育成にも努めました。また、妻子原浄水場内にあるバルブ操作の技能研修施設を積極的に活用し、水道管内の通水・洗浄作業の手順と注意点をバルブ操作の実技を通じて訓練しました。これにより、漏水事故等に迅速に対応できる能力を養うとともに、世代を担う職員への確実な人材育成と水道技術の継承に努めました。 「財政健全性の確保」では、将来にわたり長期間使用する水道施設の整備に要する費用の負担を、世代間で平準化するために、引き続き企業債を借りました。また、国庫補助事業を活用した事業展開を令和7年度から実施したほか、適正な料金体系の見直しを行い令和8年4月から水道料金の改定を行う条例案を議会に提出し可決されました。 「将来につなげる新施策の考察」では、IoT技術を活用したスマートメーターなど新技術の動向に注視し、引き続き導入に向けた調査・研究を行いました。環境負荷低減に向けた再生可能エネルギーの活用や災害時における安定供給を目的として、PPA事業により湖北台浄水場内に設置した太陽光発電設備による電力供給を令和7年4月から開始しました。また、広報活動の一環として、水道局内に設置したデジタルサイネージを活用し、引き続き水道事業のPRを実施しました。
--	--

令和7年度 課の目標管理書

課 名： 経営課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

水道局は「水道事業ビジョン」や「水道事業基本計画」に掲げた基本目標【安全】【強靱】【持続】に沿って取り組みを推進しています。このうち、経営課の令和7年度の目標としては、主に次の取り組みを行います。

【安全】

- ・「我孫子市水道事業水安全計画」の活用や、「我孫子市水道局水質検査計画」に基づく水質検査について、予算通りに執行されているか管理します。

【強靱】

- ・自然災害など様々な危機に対応するため、県などが行う情報伝達訓練や市の総合防災訓練、避難所運営訓練に積極的に参加します。また、水道局独自でも事故対応訓練を実施し、体制の強化を図ります。

【持続】

- ・庁舎管理では、業務を一括発注することで、業務効率化を図ります。
- ・財政面では、水道施設の整備に必要な費用についての新たな財源の検討を行います。また、投資財政の均衡を図りながら、企業債を活用します。
- ・将来にわたり財政の健全化を図るため、水道料金の適正化について料金体系の見直しを行います。
- ・広報では水道利用者の皆様に対して水道事業の仕組みや情報をわかりやすく発信し、水道事業に対しての信頼とご理解をいただけるよう実施していきます。
- ・次世代の水道実務を担う人材育成のため、職員の成長を促し、職員が業務に必要な知識やスキルを習得させるために、職責にあった研修を実施します。

2. 課の目標への取組結果

目標に掲げた取組方針については、概ね対応することができました。

令和5年度に見直した新たな「水道事業基本計画」及び「経営戦略」と整合を図り、予算計上を行いました。財政面では、企業債を活用すると共に、国庫補助事業の調査・検討を行い、令和7年度から国庫補助事業を展開しました。

引き続き厳しい経営状況が続くなか、収支バランスを把握したうえで健全経営に努めていきます。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

新たな財源を見いだせたことについて、大きく評価できると考えます。また、約30年ぶりに水道料金の値上げをすることで、水道料金の適正化を図りました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

引き続き、水道料金の適正化に努める必要があります。また、昨今の大規模災害や水道の漏水事故も踏まえた耐震化事業については、遅れることなく計画通りに事業を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	水道事業の健全経営	
	担当部署名	水道局 経営課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－7 安全な水道水の安定供給	
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。	
事務事業の目的 ・概要	中長期的な資産管理計画に基づいて健全な財政収支を維持し、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	水道事業計画の進行管理		公用車管理
	契約事務		貯蔵品管理
	出納事務		料金・給水・会計業務棟包括業務委託の監理（会計業務分）
	資金管理		
	決算調整		
	組織・人事管理		
	法務事務		
	広報活動推進		
	職員研修の推進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	40,004	0	令和5年度（年度末時点）	0.25 0.00
令和6年度	決算見込額	59,494	13,332	令和6年度（年度末時点）	4.60 0.00
令和7年度	当初予算額	75,870	24,398	令和7年度	4月1日時点 3.60 0.00
	補正後予算額	70,636	24,398		
	決算額	57,833	24,398		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	3.60 0.30

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	職員一人当たりの営業収益（給水収益／損益勘定所属職員数）	千円／人	目標値	126,380	124,500	124,500	124,500	124,500	124,500	124,500
			実績値	126,632	136,825	124,164	117,424	117,597		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	指標の実績値が目標値より若干下回っていますが、昨年度と比べると改善されています。今後も、給水収益向上の取組と業務効率化の方策を検討していきます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	令和5年度に「水道事業基本計画」や「経営戦略」を見直したことから、令和7年度から令和10年度に向け、更なる給水収益の向上と効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業の運営に努めていきます。

令和7年度 課の目標管理書

課 名：工務課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

『我孫子市水道事業ビジョン』に定める基本目標「安全」「強靱」「持続」の実現に向け計画的な事業執行に努めます。

令和7年度は、主に次に掲げる取り組みを行います。

[安全]良質な水道の維持

- ・水質管理業務－「水安全計画」の活用や「水質検査計画」に基づく水質検査を行います。
- ・水源施設の適切な維持管理－「取水井維持管理活用方針」に基づき6号及び10号取水井の浚渫工事を行います。

[強靱]施設強靱性の維持

・浄水場整備－市内配水管の末端圧力を常時監視し効率的に浄水場を運用するため、経年劣化した圧力末端局の更新工事（R6からR7の継続事業）を完了させます。

また、水道水を安定的に供給するため経年劣化した設備の更新工事として、「久寺家浄水場受変電設備更新工事」及び「湖北台浄水場高度浄水処理設備コントロールセンター盤他更新工事」（ともにR7からR8の継続事業）を行います。

・水道管路整備－柴崎台、天王台、都部、つくし野、並木などの各地区で経年配水管路と基幹管路を耐震性の高い水道管に、総延長約5kmの布設替え工事を行います。

[持続]事業継続性の確保、将来につなげる新施策の考察

- ・浄水場系包括業務委託の着実な実施と官民連携により、引き続き業務の効率化に努めます。
- ・有収率向上のため、人工衛星からの画像データを解析し、漏水可能性エリアを可視化する新技術を活用します。

2. 課の目標への取組結果

『我孫子市水道事業ビジョン』に掲げる3つの基本目標に対して、「我孫子市水道事業基本計画」に基づき事業を行いました。浄水場整備は、湖北台浄水場非常用発電機更新工事及び圧力末端局更新工事を実施しました。さらに、令和7年度から令和8年度までの継続事業として、久寺家浄水場受変電設備更新工事及び湖北台浄水場高度浄水処理設備コントロールセンター盤他更新工事を実施しています。

水道管路整備は、各地区の経年配水管路及び基幹管路の耐震化を図るため、計画通り総延長約5kmの更新工事を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

『我孫子市水道事業ビジョン』に掲げる3つの基本目標に対して、令和6年度に見直した「我孫子市水道事業基本計画」に基づき、管路の更新延長の目標を年間5kmとして、耐震化率の向上のため計画的に業務を遂行しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

水道事業を取り巻く環境の変化に対応するため、デジタル技術の導入を検討し、更なる業務効率化や維持管理費用の削減に努めていく必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	浄水場施設の更新・維持管理		
	担当部署名	水道局 工務課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－7 安全な水道水の安定供給		
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。		
事務事業の目的 ・概要	適切な浄水場の運用に努めるとともに、老朽化した施設の更新を計画的に進めます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan）	浄水場施設の更新業務			
	浄水場系包括業務委託			
	浄水場施設の維持管理業務			
	水質管理業務			
	取水及び受水管理			
指：指定事務事業				
継続費設定事業	湖北台浄水場非常用発電機更新工事（公契約） R5～R7年度 657,613千円 、 圧力末端局更新工事（公契約） R6～R7年度 132,000千円 久寺家浄水場変電設備更新工事（公契約） R7～R8年度 547,004千円 湖北台浄水場高度浄水処理設備コントロールセンター盤他更新工事（公契約） R7～R8年度 484,000千円			
債務負担行為設定事業	浄水場系包括業務委託 R7～R11年度 1,505,532千円			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,549,917	0	令和5年度（年度末時点）		2.80	0.00
令和6年度	決算見込額	1,311,954	0	令和6年度（年度末時点）		3.50	0.00
令和7年度	当初予算額	2,037,537	710,413	令和7年度	4月1日時点	3.40	0.00
	補正後予算額	2,023,337	710,413				
	決算額	2,023,337	710,413				
	次年度へ繰越	0	412,402		年度末時点	3.40	0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	設備機器更新と実施計画の件数	件	目標値	13	7	4	7	8	7	7
			実績値	13	8	4	7	7		
活動 指標	浄水場維持管理業務終了件数	件	目標値	41	33	29	33	26	30	33
			実績値	41	33	29	33	26		
活動 指標	水質検査計画に基づく水質検査実施率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	浄水場の適正な維持管理 （浄水場無事故割合）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	水質基準適合率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
		%	目標値							
			実績値							
		%	目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	更新・改良工事は、予定事業をすべて完了しました。不具合事項は修繕等で適切な維持管理に努めました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	安全な水道水を安定的に供給するため、引き続き設備等の更新・修繕を計画的に進め、施設の老朽化対策を図る必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	水道管路の更新・維持管理		
	担当部署名	水道局 工務課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－7 安全な水道水の安定供給		
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。		
事務事業の目的 ・概要	水道管路の重要度と老朽度を総合的に判断し、計画的に管路の耐震化を進めるとともに、適切な維持管理に努めます。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	水道管路の更新改良・耐震化			
	水道管路施設維持修繕			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	463,604	0	令和5年度（年度末時点）	3.30 0.60
令和6年度	決算見込額	592,379	0	令和6年度（年度末時点）	4.30 0.00
令和7年度	当初予算額	941,440	0	令和7年度 4月1日時点	3.90 0.00
	補正後予算額	965,387	0		
	決算額	951,230	0	令和7年度 年度末時点	3.90 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	耐震管布設替え延長距離	m	目標値	3,605	5,526	3,646	3,036	4,533	4,713	5,000
			実績値	3,537	5,453	3,416	2,989	4,956		
活動 指標	修繕工事実施率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	耐震管布設替工事は、予定事業をすべて完了しました。漏水対応は迅速に修繕し、適切な維持管理に努めました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	安全な水道水を安定的に供給するため、引き続き水道管路の更新・耐震化を計画的に進め、施設の強靱化を図る必要があります。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：給水課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

水道局は「水道事業ビジョン」や「水道事業基本計画」に掲げた基本目標【安全】【強靱】【持続】に沿って取り組みを推進しています。このうち、給水課の令和7年度の目標としては、主に次の取り組みを行います。

【安全】

- ・漏水を早期に発見し、復旧を行い、安心して飲める良質な水道の維持に努めます。

【強靱】

- ・災害時の対応強化について、県などが行う情報伝達訓練や近隣市と行う合同訓練、市の総合防災訓練、避難所運営訓練に積極的に参加し応急給水などの訓練を行い、災害時の減災に努めます。
- ・災害時に必要な資機材の整備について、「組立式給水タンク」の整備など災害時に必要な資機材の整備を進め、応急給水体制の確立に努めます。

【持続】

- ・業務効率化方策について、「料金・給水・会計業務等包括委託」などの官民連携の推進により、お客様サービスの向上と業務効率化に努めます。
- ・検針業務など、新技術の導入に向けた調査・研究を行なっていきます。

2. 課の目標への取組結果

危機管理体制強化のため、応急給水体制の充実を図るほか、組立式給水タンク及び給水袋を調達しました。我孫子市総合防災訓練及び避難所運営訓練にて応急給水を実演し、市民と連携した応急給水訓練を実施しました。水道料金適正化のため、我孫子市水道事業給水条例の一部改正し、各種規程や様式等の見直しを行いました。給水装置設計施行基準の見直しを行いました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

遅滞なく完了することができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

組織の改編に伴い、給水業務については工務課へ、料金業務については経営課へ事務・業務の引き継ぎを行います。引き続き災害対応に即応できる体制を整えます。また、経費削減及び業務効率化のため検針請求の隔月の実施に向けた準備を進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	応急給水体制の充実		
	担当部署名	水道局 給水課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－1 防災・減災対策の推進		
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	総合防災訓練などを通じて市民と連携した応急給水訓練を行い、災害時の即応能力 の向上を図るとともに、県及び他の水道事業者との協定に基づく相互応援体制を維持していきます。			
関連する市の計画等	地域防災計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	応急給水体制の充実			
	応急給水設備の充実			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,511	0	令和5年度（年度末時点）	0.25 0.00
令和6年度	決算見込額	1,656	0	令和6年度（年度末時点）	1.15 0.00
令和7年度	当初予算額	4,061	0	令和7年度 4月1日時点	0.95 0.00
	補正後予算額	3,397	0		
	決算額	2,602	0	令和7年度 年度末時点	0.95 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	市民が参加する応急給水訓練の実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	0	3	3	3	3		
活動 指標	水道局独自の訓練（水道局職員対象）の実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	1	3	3	3	3		
成果 指標	各種訓練に参加した水道局職員の割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	給水袋や組立式給水タンクを調達したほか、給水車の操作や組立式給水タンクの組み立て訓練を行い、災害の危機管理体制を強化しました。また、総合防災訓練や避難所運営訓練で、市民と連携した応急給水訓練を実施しました。その他、災害時を想定した各種情報伝達訓練を実施しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も災害や水質事故等に即応できるよう、危機管理体制の強化に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	お客様センターの運営	
	担当部署名	水道局 給水課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	5－7 安全な水道水の安定供給	
	施策の展開内容	業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。 また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。	
事務事業の目的 ・概要	お客様センターを効率的に運営し、水道料金の徴収・収納の事務や給水装置工事に関する業務監理などを適切に行っていきます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	料金の調定・徴収・収納		
	料金・給水・会計業務棟包括業務委託の監理（料金・給水業務分）		
	滞納整理及び給水停止処分		
	給水装置の維持管理		
	給水装置工事監理		
	量水器取替・修繕業務		
	指定給水装置工事事業者の審査		
	貯水槽水道の衛生管理指導		
	直結・増圧給水の普及促進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	料金・給水・会計業務等包括委託 R7～R11年度 1,003,255千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	295,894	0	令和5年度（年度末時点）	5.74 0.00
令和6年度	決算見込額	289,684	0	令和6年度（年度末時点）	3.35 0.00
令和7年度	当初予算額	336,826	0	令和7年度	4月1日時点 3.35 0.00
	補正後予算額	342,115	0		
	決算額	300,323	0		
	次年度へ繰越	0	0	令和7年度	年度末時点 3.35 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	料金等の請求総件数	件	目標値	688,000	692,000	699,000	706,000	708,000	709,000	710,000
			実績値	693,818	699,875	706,581	714,428	722,758		
成果 指標	収納率（過去5年度の収納額合計／過去5年度の調定額合計）	%	目標値	99	99	99	99	99	99	99
			実績値	99	99	99	99	99		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	料金等の請求総件数が増加した中、収納率は維持していることから、事業を適切に実施できたと評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、収納率の向上に努めるとともに、経費の削減に努めます。

令和7年度 部の運営方針管理書

部 局 名	消防本部
部 局 長 名	宮崎 治
部の運営方針	◎市民の生命、身体及び財産を火災や各種災害から守るとともに、災害の防止や被害の軽減に努めるため、次の取り組みを進めます。 ○地域の安全安心を確固たるものとするため、消防団、幼年消防クラブ、自主防災組織やその他の外郭団体と連携し、更なる消防防災体制の強化に努めます。また、地震や豪雨等の突発的な自然災害や新たな感染症を含む各種災害から市民の生命、身体及び財産を守るため、消防施設・装備等を計画的に整備し、消防・救急救助体制の充実・強化を図るとともに、人員補強と人材育成に努めていきます。 ○令和3年2月から運用を開始している10市消防指令業務の共同運用では、広域的な消防・救急救助体制の強化を図り、市民生活の安全安心を確保するため、緊急通報の対応を迅速かつ的確に行います。 ○住宅火災による死傷者ゼロを目指し、住宅用火災警報器の設置率向上と適切な維持管理の促進や感震ブレーカーの普及啓発に努め、各種訓練やイベントを通じて防火・防災意識の高揚を図り、予防啓発を行います。 ○公表の対象となる重大な消防法令違反のある防火対象物を出さないため、人命危険や火災発生危険が高い防火対象物の立入検査を重点的に実施するとともに、消防法令遵守の徹底及び違反の是正指導を行い、市民の安全安心の確保に努めます。 ○複雑多様化するあらゆる災害に対し、積極的かつ果敢な業務遂行ができるよう専科教育と幹部教育を行い、経験と知識を十二分に活用できる教育研修体制の確立に努めます。また、消防職員の服務規律の確保を推進するため、職員の倫理教育を徹底し、組織の強化を図ります。 ○消防団を中核とした地域防災力の充実・強化を一層推進していくため、地域防災の担い手である消防団員の確保と装備の充実を図るとともに、各種災害において安全確実に活動できるよう教育と訓練を行います。また、適正な規模で活力ある消防団体制を確保できるよう消防団組織の改正を進めていきます。 ○消防団器具置場については、地域の災害活動拠点として重要な役割を担うため、建築経過年数を踏まえ老朽化が進む施設から計画的に整備を進めていきます。 ○救急救命体制の充実・強化を図るため、感染症における感染防止策の徹底とメディカルコントロール体制を基本とした病院前救護の確立に取り組むとともに、救急救命士の育成、資器材等の整備を進めます。また、一般市民に対する救命講習会を開催し、自動体外式除細動器（AED）の使用方法等の普及啓発を促進し、救命率の向上を図ります。さらに、重症患者の救急要請に的確に対応できるよう、救急安心電話相談やこども急病電話相談の活用など、救急車の適正利用に向けたPRに努めます。 ○災害時の活動拠点となる消防施設については、「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき、老朽化した消防施設の修繕や感染対策及び機能強化を踏まえた改修を計画的に行い、消防力の強化に努めていきます。（仮称）湖北消防署整備事業については、庁舎等の工事を引き続き実施し、令和8年度前半の開署に向け事業を進めていきます。

部 局 名	消防本部
部 局 長 名	国本 浩二
部の運営方針 に対する総合 評価	部の運営方針に基づき事務事業が適切に進められたことで、消防体制の強化と充実に対する取組みに繋がり、施設や設備の改修、車両の更新整備、湖北消防署の整備や迅速で確実な災害対応、予防啓発活動が図られたと考えます。 専門性や多様化が進む各種の災害に対し、更なる消防体制の強化と充実を図るため、消防団をはじめとした関係団体との連携強化を図りながら、引き続き、計画的な人員確保や職場環境の向上、車両等資機材の更新を図るとともに、教育指導体制の強化に取り組む必要があると考えます。 また、組織の服務規律を保持し、コンプライアンスの徹底を図るため、引き続き不祥事防災対策に取り組めます。

令和 7 年度 課の目標管理書

課 名 : 消防本部総務課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

消防施設、装備等を計画的に整備し、消防、救急救助体制の充実、強化を図るため、人員補強と人材育成に努めていきます。

職員の知識の向上と職務能力を高めるため、教育研修体制の充実に努めます。また、消防職員の服務規律確保推進のため、倫理教育を徹底し、組織の強化を図ります。

災害時の活動拠点となる老朽化した消防施設については、「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき、計画的に修繕や感染対策及び機能強化を踏まえた改修を行い、消防力の強化に努めます。湖北消防署整備事業については、庁舎等の工事を引き続き実施し、令和 8 年度前半の開署に向け、事業を進めていきます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示した事項については、取組を進めることができたと考えています。

西消防署感染症対策庁舎改修工事や湖北消防署整備事業については、一部軽微な変更や工事順位の変更などもあったが、概ね良好に進展することができたと考えます。

教育指導体制や倫理教育の強化については、取組はあったものの当初想定した成果までは達成することができなかったことから、継続的な取組の徹底が必要であると考えます。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

全体としては、課として取り組んだ事業に大きな遅延や不具合はなく、成果を得られた部分は多くあったと考えます。感染症対策庁舎改修工事や湖北消防署整備事業により、災害対応拠点である署所の業務継続に向けた機能強化や職員の意識高揚に効果があったと考えます。

教育指導体制や倫理教育については、一定の成果は得ていると考えますが、引き続き継続的な取組の強化が必要と考えます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

令和 7 年度の取組を継続します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	消防庁舎・装備の整備・維持管理
	担当部署名	消防本部 総務課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－4 消防力の強化
	施策の展開内容	災害などに適切に対応できるよう消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体との連携を図りながら消防体制を強化します。 また、火災予防体制の強化を図ります。
事務事業の目的 ・概要	災害に備え、消防施設等を適切に維持管理するとともに、湖北分署を移転し、人員・資機材を強化した湖北消防署を整備します。	
関連する市の計画等	我孫子市公共施設等総合管理計画、湖北台地区公共施設整備計画、我孫子市公共施設保全計画、我孫子市消防庁舎施設等整備計画	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 湖北消防署整備事業	
	西消防署感染症対策改修工事	
	消防庁舎・装備の維持管理	
	消防車両等の維持管理	
継続費設定事業	湖北消防署整備事業 R6～R8年度 2,044,355千円 7年度庁舎等新築本体工事 1,157,284千円、庁舎等電気設備工事 218,059千円、工事監理業務委託 30,619千円	
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	217,816	16,423	令和5年度（年度末時点）	2.00 0.00
令和6年度	決算見込額	405,134	0	令和6年度（年度末時点）	1.90 0.00
令和7年度	当初予算額	1,534,327	170,672	令和7年度	4月1日時点 2.30 0.00 年度末時点 2.30 0.00
	補正後予算額	1,534,920	170,672		
	決算額	1,482,382	167,854		
	次年度へ繰越	36,641	2,817		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	緊急車両を含む公用車事故件数	件	目標値	0	0	0	0	0	0	0
			実績値	5	1	3	4	4		
活動 指標	感染症対策事業（トイレ等含む）	件	目標値		1	1	2	1	0	1
			実績値	0	1	1	2	1		
活動 指標	湖北消防署整備事業の進捗状況	%	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	50	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	感染症対策事業及び湖北消防署整備事業については、軽微な変更や工事順位の変更などはあったが、概ね順調に進展している。 他の事業についても概ね想定どおり実施されていることから、ほぼ順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	概ね想定どおりに事業が進展し、成果を得られたことから、今後も現状どおり推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	消防組織体制の強化
	担当部署名	消防本部 総務課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－4 消防力の強化
	施策の展開内容	災害などに適切に対応できるよう消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体との連携を図りながら消防体制を強化します。 また、火災予防体制の強化を図ります。
事務事業の目的 ・概要	市民の生命・身体及び財産を守るため、消防職員の資質向上を図り、組織体制を強化します。	
関連する市の計画等	我孫子市第3次男女共同参画プラン、第4期我孫子市特定事業主行動計画、我孫子市定員管理計画	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	外郭団体等事務運営	
	消防出初式の開催・運営	
	消防職員の人事異動	
	消防職員の派遣研修	
	職務環境の維持管理	
	消防表彰事務	
	貸与品の整備	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	25,392	5,544	令和5年度（年度末時点）	2.00 0.00
令和6年度	決算見込額	26,577	3,531	令和6年度（年度末時点）	1.90 0.00
令和7年度	当初予算額	22,935	2,337	令和7年度 4月1日時点	2.30 0.00
	補正後予算額	24,057	2,337		
	決算額	23,097	2,337	令和7年度 年度末時点	2.30 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	条例改正による消防職員数	人	目標値		152	153	164	174	174	174
			実績値	153	150	149	154	163		
活動 指標	消防学校、消防大学校、救急救命研修所への消防職員研修派遣数	人	目標値		22	23	21	23	11	25
			実績値	20	16	27	26	22		
活動 指標	消防職員による不祥事件数	件	目標値	0	0	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	1	0	2		
活動 指標	消防職員による公務災害事件数	件	目標値	0	0	0	0	0	0	0
			実績値	6	1	0	4	2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	概ね想定どおりに実施することができたため、ほぼ順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	概ね想定どおりの成果をえることができたことから、今後も現状のとおりに推進します。 教育指導体制と倫理教育の強化を引き続き、実施する必要があると考えます。

令和 7 年度 課の目標管理書

課 名 : 予防課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

住宅用火災警報器の設置率向上と適切な維持管理について、指導や普及啓発を積極的に行います。また、地震火災の予防の観点から、感震ブレーカーについて、市民の認知度の向上を図るため、普及啓発を積極的に行います。

防火対象物及び危険物施設について、消防法令に基づき立入検査を行い、防火防災体制の強化を図ります。特に、重大な消防法令違反のある防火対象物を出さないため、人命危険や火災発生危険が高い防火対象物の立入検査を重点的に実施します。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

住宅用火災警報器の設置維持に伴う予防啓発や立入検査等について、ほぼ予定どおりに実施しました。

特に、今年度の査察執行方針に基づいて、人命危険や火災発生危険が高い防火対象物の立入検査を重点的に取り組みました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

近年、生活様式の変化等に伴い、災害要因が多様化しています。災害の発生を未然に防止し、被害を最小限にするため、住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理を引き続き推進するとともに、防火対象物及び危険物施設に対する適切な指導、検査を行い、違反の是正を進めていきます。

また、火災予防業務を円滑に遂行するには、より専門的で高度な知識を必要とするため、職員の資質、技能向上に努める必要がある。

今後も防火意識の高揚及び火災予防対策の充実強化を図り、火災件数及び危険物施設の流失事故件数 0 件を目指します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	火災予防業務	
	担当部署名	消防本部 予防課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－4 消防力の強化	
	施策の展開内容	災害などに適切に対応できるよう消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体との連携を図りながら消防体制を強化します。 また、火災予防体制の強化を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	・住宅用火災警報器の普及促進により、設置率の向上に努め、住宅火災による被害の軽減を図るとともに、設置状況調査を実施します。 ・地震火災の予防の観点から、感震ブレーカーの普及啓発活動を行い、認知度の向上を図ります。 ・法令に基づく消防設備などの違反に対し厳正な処理を行い、防火対象物の安全性の向上を図ります。 ・住宅火災による被害を防ぐため、防火啓発のイベントや初期消火の訓練指導などの活動を行っていきます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	住宅防火対策の推進		
	防火対象物及び危険物施設の立入検査		
	防火対象物及び危険物施設の規制事務		
	消防用設備の届出及び消防同意等の電子化に向けたシステム導入事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,606	0	令和5年度（年度末時点）	4.50 0.00
令和6年度	決算見込額	2,090	0	令和6年度（年度末時点）	5.60 0.00
令和7年度	当初予算額	1,926	0	令和7年度	4月1日時点 5.40 0.00
	補正後予算額	1,853	0		
	決算額	1,534	0		
	次年度へ繰越			年度末時点	5.40 0.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	住宅用火災警報器設置状況調査世帯数	世帯	目標値	384	200	200	200	200	200	200
			実績値		247	199	200	222		
活動 指標	防火対象物及び危険物施設の立入検査実施数	件	目標値	200	200	200	200	200	200	200
			実績値	97	179	227	196	156		
活動 指標	消防同意事務及び危険物施設許可事務の件数	件	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値	92	93	83	86	84		
成果 指標	一般住宅火災の件数	件	目標値	0	0	0	0	0	0	0
			実績値	5	4	6	6	7		
成果 指標	防火対象物の火災件数及び危険物施設の火災・流出事故件数	件	目標値	0	0	0	0	0	0	0
			実績値	7	9	3	4	6		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	目標である火災件数0件は達成できませんでしたが、火災件数0件に向けて、住宅用火災警報器の設置維持に伴う予防啓発や立入検査等について、ほぼ予定とおりに実施しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	一般住宅、防火対象物及び危険物施設の火災等の件数0件を目指して、今後も住宅用火災警報器の設置維持に伴う予防啓発や立入検査等を実施していきます。

令和 7 年度
課の目標管理書

課 名 : 警防課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

市民の安全安心を守るため、各種災害への的確な対応と装備の充実強化を図り、職員の知識、技術及び資格等の習得のため、各種研修へ職員を派遣して指導育成に努めます。また、救命率向上のため救命講習会を開催し、自動体外式除細動器（A E D）の使用方法等の普及啓発を促進し、市民の救命意識の向上に努めます。さらに、重症傷病者の救急要請に対応できる体制を確保するため、救急車の適正利用に向けた P R に努めるとともに、指定事務事業である高規格救急自動車の整備を着実に進めていきます。10 市消防指令業務の共同運用では、緊急通報の迅速かつ的確な対応を図るため関係市と連携し、ちば北西部消防指令センターの安定稼働を行います。消防団の運営では、入団促進や知識、技術の習得について団本部役員と連携して、より一層の充実強化を図ります。その他、消防団施設等についても、維持管理を的確に行い、老朽化で改修困難な団器具置場においては関係課と調整を図り、計画的に整備していきます。また、適正な規模で活力ある消防団体制を確保できるよう策定した我孫子市消防団組織改正基本計画に基づき消防団組織の改正を進めていきます。

2. 課の目標への取組結果

消防団器具置場整備については、工期通り令和 8 年度に繰越を行い着実に工事を進めました。また、その他の取組は予定通り実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

各分団の消防団器具置場の整備については、着実に工事が進められ消防団体制の充実強化に努めました。また、その他の取組については、予定通り実施できましたので、消防救急体制の充実強化が図られました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

装備の充実強化や職員教育に重点を置き、消防救急体制の充実強化をさらに進めていきます。
消防団体制については、消防団本部と連携を図り、消防団員の確保に努めるとともに、訓練方法の工夫や整備施設等を充実させ、地域防災の要である本市消防団の体制強化をさらに図っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	消防団活動の推進	
	担当部署名	消防本部 警防課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－1 防災・減災対策の推進	
	施策の展開内容	市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。 さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	地域防災において重要な役割を担う消防団については、大規模災害時における地域との連携がスムーズにできるよう、団活動の拠点機能を保持するとともに、継続的な訓練を実施し、知識と技術の向上を図っていきます。また、団員の定数確保に向けて処遇改善、環境整備などを行います。		
関連する市の計画等	我孫子市消防団組織改正基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	第2分団器具置場整備		
	第13分団器具置場整備		
	消防団組織改正に伴う施設修繕		
	消防団組織改正に伴う車両改修		
	消防団員の入団促進		
	消防団員の訓練		
	消防団表彰・人事等事務		
	消防団の災害活動		
	消防団の施設・装備等の整備及び維持管理		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	33,836	0	令和5年度（年度末時点）		2.20	0.00
令和6年度	決算見込額	35,027	0	令和6年度（年度末時点）		2.40	0.00
令和7年度	当初予算額	102,468	3,470	令和7年度	4月1日時点	2.30	0.00
	補正後予算額	158,227	3,470				
	決算額	41,541	3,464		年度末時点	2.30	0.00
	次年度へ繰越	113,592					

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	消防団員の入団を促進するため、啓発活動の強化を図り、消防団員の充足率を高める。	%	目標値	90	92	94	96	98	100	100
			実績値	80	88	85	82	76		
活動 指標	消防団体制を強化するため、訓練方法等を工夫し、訓練参加率の向上を図ります。（延べ参加団員数／延べ団員定員）	%	目標値	60	70	80	90	100	100	100
			実績値	50	60	89	80	83		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	2 件の器具置場整備事業については、繰越となりましたが、事業計画通りに実施しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	繰越となった 2 件の器具置場整備事業については、現状当初の工期通り進行しているため事業を維持するとともに、令和 8 年度から新たな消防団組織体制として消防団員の確保に努め、消防団活動の活性化を図り地域防災力の向上を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	消防体制の強化	
	担当部署名	消防本部 警防課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－4 消防力の強化	
	施策の展開内容	災害などに適切に対応できるよう消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体との連携を図りながら消防体制を強化します。 また、火災予防体制の強化を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	・災害などに的確に対応できるよう、人材の育成と装備の充実・強化を図るとともに、広域での連携体制を強化します。 ・救命率の向上を目指し、市民などへの応急手当法の普及・啓発を進めます。 ・火災または地震などの災害から市民の生命・身体及び財産を守るため、消防訓練の実施、消防機械器具を適正に維持管理していくとともに、傷病者の搬送を適切に行うため、各種感染防止対策の強化を図ります。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	高規格救急自動車の整備	緊急消防援助隊及び千葉県消防広域応援隊に関する事業
		消防救急デジタル無線機購入	新型感染症対策用物品の整備
		署活動系無線機購入	消防装備の整備及び維持管理
		新住民情報システム移行に伴う改修	消防隊員の知識・技術の習得
		消防救急デジタル無線設備再整備	千葉北西部10市消防通信指令業務の共同運用
		マイナンバーカードを活用した救急業務（マイナ救急）実施事業	AED設置の促進
		救急救命士及び救急・救助隊員の研修	メディカルコントロール体制の充実
		消防水利の整備及び維持管理	開発行為の指導及び協議
		応急手当普及啓発強化	救急・救助活動用資器材の整備及び維持管理
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	消防指令システム貸借 R3～R12 570,334千円、消防救急無線【再整備事業】負担金 R7～R9 147,922千円 消防指令システム（車両運用端末装置）貸借 R7～R12 10,913千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	142,121	0	令和5年度（年度末時点）	8.70 0.00
令和6年度	決算見込額	181,015	0	令和6年度（年度末時点）	8.60 0.00
令和7年度	当初予算額	241,604	8,960	令和7年度	4月1日時点 8.50 0.00
	補正後予算額	245,716	8,960		
	決算額	242,502	8,960		年度末時点 8.50 0.00
	次年度へ繰越	0			

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	通信指令業務の広域的な共同運用を実施し、消防サービスの高度化及び体制強化を図る。 （10市共同指令センターの安定稼働率）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	感染防止対策用物品の効率的な充実に図り、隊員自らの感染を防止するとともに、市民等への二次感染防止対策を強化する。 （感染防止対策必要数/救急出動件数）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	消防・救急・救助隊員の知識・技術を高度化するための研修体制を保持し、消防体制の強化を図る。（研修実施回数/研修予定回数）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	50	80	90	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	概ね事業計画通りに実施しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も現在の事業を継続することが消防体制の強化に重要であるため、現状通り事業を推進していきます。

部 局 名	教育総務部
部 局 長 名	佐藤 和文
部の運営方針	「我孫子市教育大綱」と「我孫子市教育振興基本計画」に基づき、教育行政を推進します。 『確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、子ども一人ひとりがいきいきと輝く魅力ある学校づくりを推進します。』 ○学校教育環境の充実 ・「学校施設個別施設計画」に基づき、子ども達が安心して快適に学べる教育・学習環境の充実を図ります。 ・布佐中学校区の学校の在り方について「布佐中学校区の学校の在り方検討委員会」の提言書を基に、布佐小学校敷地に新たな義務教育学校を建設すべく、跡地利用の明確化、布佐小学校敷地内の赤道の整理、スクールバスの運行や駐車スペースの確保等について、市長部局とも十分に協議しながら進めていきます。 ・湖北小学校体育館の再建に向け、引き続き、解体工事を実施し、新築のための設計を行い、できる限り早く工事に着手することができるようにします。 ・「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が、生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合える環境となるように取り組みます。 ・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラルアップ研修、不祥事防止研修を積極的に実施します。教育委員会と各学校の連携を密にし、風通しの良い組織体制と職場環境整備に取り組みます。 ○子どもがいきいきと輝く学校づくり ・「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業改善の推進に努めます。各学校からの要請には、各学校が抱える授業づくりの悩みに寄り添った指導・助言を行います。また、国や県の教育施策が反映されるよう、打合せや協議会等で教職員へ伝え、実践していきます。経験の浅い教職員には、積極的に授業の様子や学級経営の様子を確認しに行き、助言します。教職員の研修では、各教科主任等の指導力を向上させる研修や、教職員のニーズに応じた希望研修など、企画・運営していきます。 ・Q－U検査（W E B Q U）（楽しい学校生活を送るためのアンケート）及びいじめアンケートを継続して実施し、個々の子ども達へのきめ細かな対応に取り組むとともに学級経営を支援します。 ・給食における地産地消の推進をはじめ、食に関する教育の充実やスポーツに関する教育を通して体力の向上に努めます。 ・学校給食費については、市立小中学校に在籍する第3子以降の児童生徒の学校給食費無償化事業を引き続き実施するとともに、子育て世帯への経済的負担軽減策として行っている、市立小中学校に在籍する第1子、第2子の児童生徒への学校給食費月額1, 0 0 0円の支援及び食物アレルギー等により毎食弁当を持参している児童生徒の保護者に対する支援についても、継続していきます。 ・「小中一貫教育の推進」に努め、各中学校区で作成したグランドデザインを達成すべく支援します。小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。郷土愛の育成については、副読本「ふるさと我孫子の先人たち」、社会科副読本「わたしたちの我孫子」、学習図鑑「ふるさと手賀沼」及び「あびこデジタル郷土資料」の活用や中学校区の特色を生かした授業実践の充実を図っていきます。授業の様子を積極的に参観し、全小中学校で情報を共有することで、教職員の意識を高めていきます。 ・令和7年10月に、現在のI C T環境を更新します。「確かな学力の育成に向けたI C T環境の整備」「多様な他者と共に問題発見や解決に挑む資質・能力の育成」「次世代の校務に対応した最適なI C T環境の整備」「教育データの利活用」を実現できるI C T環境を整備していきます。教職員の会議や事務作業などの間接的な業務時間を削減し、児童生徒と向き合う時間を確保することで教育活動の更なる充実と教育効果の最大化を図っていきます。 ・幼保小連携については、「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。園参観や学校参観、研修会を運営し、園児児童の姿について情報が共有できるようにしていきます。また、国や県の教育施策を理解し、園児児童の学びがつながるよう、カリキュラムでの連携の充実を図っていきます。 ・国や千葉県の示す部活動の地域移行については、地域の指導者として部活動支援員の配置を拡大していきます。我孫子市の実情等を十分に把握し、移行が適切に行われるように、生涯学習部や関係団体等と連携し、体制を整備していきます。 ・各学校における学校運営協議会の適正な運用を確保し、地域学校協働活動の充実、学校評価の活用を図りながら学校と地域との連携・協働体制を構築し、地域とともにある学校づくりを推進します。 ・不登校対策を推進するため、教育支援センター・校内教育支援センターは一人ひとりの子どもに合った教育の在り方を考え支援します。また、教育支援センター「かけはし」「ひだまり」を中核とした相談・支援体制をさらに充実させます。 ・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめを人権侵害と認識し未然防止に取り組みます。また、関係機関と連携し、健全に子どもが成長できる

よう引き続き支援していきます。

○子どもの成長に応じた発達への支援

- ・自立への支援を図るため、就学支援制度などの活用を推進します。
- ・支援が必要な児童生徒とその保護者に対し、学校、家庭、子ども相談課等の関係機関と一層の連携を図り、支援するため教育相談センターの相談体制の充実に努めます。
- ・特別支援教育の充実を図るため、教育相談センターの専門職が学校と連携し、相談・支援体制を充実させます。
- ・療育・教育システムの充実と切れ目のない支援など子ども部及び健康福祉部との連携を強化します。

部 局 名	教育総務部
部 局 長 名	佐藤 和文
部の運営方針に 対する総合評価	教育総務部の運営方針に挙げた目標をおおむね達成することができました。 ○学校教育環境の充実 ・布佐中学校区の学校の在り方について、布佐小学校敷地に新たな義務教育学校を建設すべく、布佐小学校敷地内の赤道の廃止に向け、市長部局と協議を行いました。 ・湖北小学校体育館の再建に向け、解体工事を実施するとともに、新築のための設計を完了させ、工事に着手しました。 ・教職員の長時間勤務の現状を鑑み、教職員が、さらに生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合えるよう「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」の見直しを行いました。（令和8年4月改定） ・信頼される学校づくりを推進するため、教職員のモラールアップ研修、不祥事防止研修を積極的に実施しました。 ○子どもがいいきと輝く学校づくり ・児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業改善の推進に努めるとともに、各学校からの要請時には、学校が抱える授業づくりの悩みに寄り添った指導・助言を行いました。また、積極的に授業の様子や学級経営の様子を確認し、経験の浅い教職員に、助言・指導を行いました。教職員の研修では、各教科主任等の指導力を向上させる研修や、教職員のニーズに応じた希望研修などを企画し、実施しました。 ・Ｑ－Ｕ検査（ＷＥＢＱＵ）（楽しい学校生活を送るためのアンケート）及びいじめアンケートを継続して実施し、結果に対する分析を行い、個々の子ども達へのきめ細かな対応に取り組むとともに学級経営を支援しました。 ・我孫子型地産地消推進協議会の協力のもと、学校給食での地産地消推進に努めるとともに、各校で「食に関する指導年間計画」を作成し、学校全体で食育を実施しました。 ・学校給食費については、物価高騰等による食材料費の増額に対応するため、増額分を学校に補助金として交付しました。また、市立小中学校に在籍する第3子以降の児童生徒の学校給食費無償化事業の実施と併せ、第1子、第2子の児童生徒への学校給食費月額 1,000 円の支援及び食物アレルギー等により学校給食の提供を受けられず弁当を持参している児童生徒の保護者に対する支援についても、継続して実施しました。 ・「小中一貫教育の推進」を推進するため、各中学校区で作成したグランドデザインの達成に向けた取組の支援とともに、小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援しました。また、郷土愛の育成については、副読本「ふるさと我孫子の先人たち」、社会科副読本「わたしたちの我孫子」、学習図鑑「ふるさと手賀沼」及び「あびこデジタル郷土資料」等の活用や中学校区の特色を生かした授業実践の充実を図りました。中学校区での取組では、小学校、中学校それぞれの授業の様子を積極的に参観し、全小中学校で情報を共有することで、教職員の意識を高めました。 ・ＩＣＴ環境を更新し、「確かな学力の育成に向けたＩＣＴ環境の整備」「多様な他者と共に問題発見や解決に挑む資質・能力の育成」「次世代の校務に対応した最適なＩＣＴ環境の整備」「教育データの利活用」を実現できるＩＣＴ環境を整えました。また、教職員の会議や事務作業などの間接的な業務時間を削減し、児童生徒と向き合う時間を確保することで、教育活動の更なる充実と教育効果の充実を図りました。 ・幼保小連携では、園児たちが希望と期待をもって小学校に入学できるよう、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校が連携し、園児同士、園児と児童が「交流」と「カリキュラム」で連携を深めました。 ・部活動の地域展開については、部活動支援員の配置や、部活動顧問との協議などを進めるとともに、生涯学習部や関係団体等と連携を図りました。 ・各学校における学校運営協議会の適正な運用を確保し、地域学校協働活動の充実、学校評価の活用を図りながら学校と地域との連携・協働体制を構築し、地域とともにある学校づくりを推進しました。 ・不登校支援を推進するため、教育支援センターを中心に、校内教育支援センター、学校、教育相談センター等と連携し、相談・支援の充実を図りました。 ・いじめ防止対策推進条例及びいじめ防止対策基本方針に基づき、いじめの未然防止に取り組みました。また、各学校や関係機関と連携し、ＳＯＳの出し方教育と相談体制の強化に重点を置き、安心できる学校づくりを支援しました。 ○子どもの成長に応じた発達への支援 ・就学支援制度などの活用を推進し、自立への支援を図りました。 ・教育相談センターでは、児童生徒や保護者からの相談内容に応じて学校や子ども相談課等の関係機関と連携し、相談体制の充実を図りました。 ・教育相談センターの専門職と学校の連携や特別支援教育に関する研修を行い、特別支援教育の充実を図りました。 ・子ども部及び健康福祉部との連携強化を図り、療育・教育システムの充実と切れ目のない支援体制構築に取り組みました。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：教育総務部 総務課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

○第3期教育振興基本計画を推進し、進行管理を適切に行います。

○総合教育会議の開催に当たっては、市長と教育委員とのスムーズな意思疎通が図れるよう、秘書広報課と連携して対応します。

○子どもたちが安心・安全で快適な学校生活を送れるよう、教育・学習環境の充実を図ります。

○老朽化等による学校施設の不具合や包括委託の現地調査による緊急性の高い修繕個所に迅速に対応し、適正な教育環境の維持に努めます。

○布佐中学校区の学校の在り方について「布佐中学校区の学校の在り方検討委員会」の提言書を基に、布佐小学校敷地に新たな義務教育学校を建設すべく、跡地利用の明確化、布佐小学校敷地内の赤道の整理、スクールバスの運行や駐車スペースの確保等について、市長部局とも十分に協議しながら進めていきます。

○湖北小学校体育館の再建に向け、引き続き、解体工事を実施し、併せて新築のための設計も進めていきます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を概ね実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

○第3期教育振興基本計画を推進し、進行管理を適切に行いました。

○総合教育会議の開催に当たっては、市長と教育委員とのスムーズな意思疎通が図れるよう、秘書広報課と連携して対応することができました。

○子どもたちが安心・安全で快適な学校生活を送れるよう、教育・学習環境の充実を図りました。

○老朽化等による学校施設の不具合や包括委託の現地調査による緊急性の高い修繕個所に迅速に対応し、適正な教育環境の維持に努めました。

○布佐中学校区の学校の在り方について「布佐中学校区の学校の在り方検討委員会」の提言書を基に、布佐小学校敷地に新たな義務教育学校を建設すべく、布佐小学校敷地内の赤道の廃止に向け、市長部局と協議を行いました。

○湖北小学校体育館の再建に向け、解体工事を実施するとともに、新築のための設計を完了させ、工事に着手しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

学校施設の長寿命化改修等により、大規模及び中規模な工事が今後も続くことから人員の配置等を行う必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	小中学校施設の維持管理	
	担当部署名	教育総務部 総務課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・ 概要	小中学校施設の点検を実施し適切に管理するとともに、老朽化が進む学校施設の改修や改築を計画的に行うことで、児童生徒の安全性の確保や教育環境の充実を図っていきます。		
関連する市の計画等	我孫子市公共施設等総合管理計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 湖北小学校屋内運動場再建事業		
	指 小中学校施設維持管理（第四小、布佐南小、湖北台中、布佐中、久寺家中）		
	指 布佐中学校区における義務教育学校の新設		
継続費設定事業	湖北小屋内運動場解体工事 R6～R7年度、湖北小屋内運動場建設工事設計業務 R6～R7年度		
債務負担行為設定事業	小中学校空調設備賃貸借 H28～R8年度 1,500,000千円、中学校空調設備保守点検業務委託 R5～R10年度 22,188千円、布佐南小屋内運動場屋根、外壁及び電灯設備改修工事設計業務 R6～R7年度 5,831千円、湖北台中第2校舎屋上防水、外壁等改修工事設計業務 R6～R7年度 4,947千円、久寺家中屋上防水、外壁等改修工事 R6～R7年度繰越事業 220,440千円、久寺家中給食棟換気設備改修工事 R6～R7年度 33,154千円、久寺家中屋内消火栓設備等改修工事 R6～R7年度 36,674千円 久寺家中防災電気設備更新工事 42,196千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	469,544	112,988	令和5年度（年度末時点）		1.85	0.00
令和6年度	決算見込額	858,395	0	令和6年度（年度末時点）		2.40	0.00
令和7年度	当初予算額	445,383	235,873	令和7年度	4月1日時点	1.80	0.60
	補正後予算額	1,435,319	235,873				
	決算額	645,270	215,420		年度末時点	1.80	0.60
	次年度へ繰越	786,516	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	改修工事・修繕等維持管理校数	校	目標値		19	19	19	19	19	19
			実績値	19	19	19	19	19		
成果 指標	大規模改修工事等完了校数	校	目標値			1	2	1	1	
			実績値			1	2	1		
成果 指標	便所等改修工事完了校数	校	目標値			1			1	
			実績値			1				
成果 指標	小中規模改修工事完了工数	校	目標値				3	1	1	
			実績値				3	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	各事業とも予定どおり実施することができた。一部の事業（湖北小屋内運動場建設工事、湖北小屋内運動場機械設備工事、湖北小屋内運動場電気設備工事、我孫子第四小給排水設備等更新工事、我孫子第四小電灯設備更新工事、布佐南小屋内運動場屋根、外壁等改修工事、布佐南小屋内運動場電灯設備等更新工事、湖北台中中学校第2校舎ほか屋上防水、外壁等改修工事）は年度内に完了しないため、令和8年度へ継続、又は繰越した。また、布佐中学校区における義務教育学校を建設すべく、布佐小学校敷地内の赤道の廃止に向け、市長部局と協議を行った。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	各学校において施設の老朽化が進行しており、引き続き我孫子市学校施設個別施設計画に基づき改修工事を実施するとともに、修繕等を適切に実施することで学校施設の適正な維持管理に取り組んでいく。また、布佐中学校区における義務教育学校の新設に向けて、赤道の整理等、引き続き建設予定地の課題の整理などを行っていく。

令和7年度
課の目標管理書

課 名 : 学校教育課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・健康診断の実施と健康相談、歯科指導、感染症の予防等を通じて児童生徒及び教職員の健康保持と学校保健活動の充実を図ります。

・児童が安全で安心な学校生活が送れるよう小学校に安全管理員を配置するとともに、通学路の安全点検等を実施し、関係各課と連携しながら通学路の安全確保に取り組みます。

・健康な子どもを育むために学校給食の充実を図ります。食に関する指導を推進し、給食に「我孫子産野菜の日」を設けるなど地産地消を推進します。

・学校給食費については、学校給食費支援金、食物アレルギー等対応補助金により、子育て世帯への経済的負担軽減策を継続していきます。

・小中学生がいる家庭で、経済的理由により就学費用の支払いが困難な保護者に、就学費用の一部を援助していきます。

・安心して快適に学べる教育・学習環境をつくるため、学校の備品を更新するなど、教育機材などの整備、充実に努めます。

・学校職員が心身ともに健康でゆとりをもって子ども達と向き合える時間を確保し、充実した教育活動に従事できるよう、業務改善及び教職員の意識改革などに引き続き取り組んでいきます。

・市内小中学校のボトムアップ型モラルアップを推進し、働きがいの向上や、不祥事防止に努めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示した通り、全取り組みを実施しました。

教職員の長時間勤務の現状を鑑み、教職員が、さらに生き生きと健康でやりがいを持って子どもに向き合えるよう「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」の見直しを行いました。（令和8年4月改定）

また、10～3月分の我孫子産米含む学校給食用食材料費の上昇分として、追加の補助金（学校給食費負担軽減等補助金）を各小中学校へ交付しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

課の目標に示した取組は、概ね達成できました。

児童の泳力向上及び学校プール施設の維持管理費削減を目的に、市内13校全ての小学校の水泳指導を民間のスイミングスクールへ委託しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

給食費については、令和9年度からの公会計化に伴い、これまでの学校給食費支援金や負担軽減補助金の趣旨を継続しつつ、令和8年度中にそれら制度（手法）を見直します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	教育扶助（要保護・準要保護児童生徒就学援助）事業		
	担当部署名	教育総務部 学校教育課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援		
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、 子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。		
事務事業の目的 ・概要	教育機会の均等を図るため、小中学校への就学費用の支払いが困難な家庭を援助します。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	教育扶助（要保護・準要保護児童生徒就学援助）事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	104,759	0	令和5年度（年度末時点）	0.80 0.80
令和6年度	決算見込額	103,593	0	令和6年度（年度末時点）	0.80 0.80
令和7年度	当初予算額	131,511	0	令和7年度	4月1日時点 0.80 0.80
	補正後予算額	118,775	0		
	決算額	109,641	0		
	次年度へ繰越			令和7年度	年度末時点 0.80 0.80

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	就学援助認定者数	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,186	1,183	1,109	1,063	973		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	経済的理由により就学費用の支払いに困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に必要な費用の一部を支援することで子どもの心と体の発達に応じた教育を推進することができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	本事業は、経済的理由により就学費用の支払いに困難な児童・生徒の保護者に対して、就学に必要な費用の一部を支援することで施策目的に寄与している。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	学校教育環境の充実
	担当部署名	教育総務部 学校教育課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-3 魅力ある学校づくり
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。
事務事業の目的 ・概要	- 心身ともに健康な子どもたちを育み、確かな学力の育成を支援する授業の推進や、個に応じたきめ細かな指導のための環境づくりに取り組みます。 - 子どもたちが安全に安心して登下校できるよう、警察や道路管理者などと連携を図りながら、通学路の安全確保に関する点検や対策に取り組みます。 - 子どもたちの教育環境の充実に最優先に、保護者や地域住民と共通理解を図りながら、小中学校の適正規模に関する検討を進めます。	
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（小学校の安全に寄与するボランティア体制の検討）	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	スクールサポート教員の配置事業	指 水泳指導の民間活用
	学級編制及び学籍管理（法令に基づく適切な事務）事業	学校経営アドバイザーの配置
	小学校の安全管理員の配置	
	小中学校管理運営事業	
	小中学校配置職員管理事業	
	小学校備品管理事業	
	中学校備品管理事業	
	日本スポーツ振興センター災害共済給付・任意保険給付事業	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	381,272	0	令和5年度（年度末時点）		6.30	50.40
令和6年度	決算見込額	404,862	0	令和6年度（年度末時点）		6.30	52.60
令和7年度	当初予算額	487,927	0	令和7年度	4月1日時点	6.30	55.40
	補正後予算額	427,534	0		年度末時点	6.30	57.80
	決算額	389,347	0				
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果 指標	学校評価アンケートで、「楽しく学校生活を送っている」と回答した児童生徒の割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	90.0	90.0	89.4	90.0	92.3		
成果 指標	小中学校19校の備品管理執行状況	%	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
			実績値	88.0	84.0	97.7	98.1	97.4		
成果 指標	通学路安全推進会議で出た危険箇所の改善率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	89.0	70.0	100.0	94.7		
活動 指標	スクールサポート教員の配置数	校	目標値	19	19	19	19	19	19	19
			実績値	12	12	11	12	13		
活動 指標	水泳指導の民間委託実施校	校	目標値	19	19	19	19	19	19	19
			実績値	1	3	8	11	13		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	目標値に近い実績値の成果があり、子どもたちの教育環境や、安全・安心の学校環境の整備に寄与することができた。個に応じたきめ細やかな指導の実施や、安全な学校環境の整備により、安定した学習環境の提供につながった。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	個に応じたきめ細やかな指導の実施や、安全な学校環境の整備により、安定した学習環境を提供するために、今後も引き続き実施が必要である。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	児童・生徒の保健衛生事業	
	担当部署名	教育総務部 学校教育課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	子どもたちの健康保持・増進につながる実践力を育成するため、小中学校における食育及び歯科保健活動の充実を図ります。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	児童・生徒・教職員健康診断事業		
	我孫子市学校保健会運営		
	学校の環境衛生事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	44,371	0	令和5年度（年度末時点）	0.90 0.80
令和6年度	決算見込額	43,002	0	令和6年度（年度末時点）	0.90 0.80
令和7年度	当初予算額	46,755	0	令和7年度	4月1日時点 0.90 0.80
	補正後予算額	44,052	0		
	決算額	42,737	0	令和7年度	年度末時点 0.90 0.80
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	健康診断における尿検査の受診人数 (児童生徒 実施人数/在籍者数)	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	99.0	99.0	98.7	98.8	98.7		
活動 指標	学校環境衛生基準に基づいた教室内空気検査の実施校	校	目標値	19	19	19	19	19	19	19
			実績値	19	19	19	19	19		
活動 指標	小学校歯磨き食育指導を行った小学校	校	目標値	13	13	13	13	13	13	13
			実績値	13	13	13	13	13		
成果 指標	学校環境衛生基準に基づいた教室内空気検査基準値内校/全19校	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	79.0	94.7	73.7	89.5		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	目標値を達成またはそれに近い実績値で活動することができ、児童・生徒・教職員の健康保持・増進や学校の環境衛生を適切に保つことで、安定した学習環境の提供につながった。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	児童・生徒・教職員健康診断事業や学校の環境衛生事業は、法で実施を定められている。また、歯磨き食育指導は子どもたちの健康保持・増進につながる実践力を育成するために、今後も引き続き実施が必要である。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	学校給食管理運営事業	
	担当部署名	教育総務部 学校教育課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	子どもたちの健やかな成長のために給食が生きた教材となるよう、食育に取り組むとともに、地元の農産物を使った給食を提供し、生産者への感謝の気持ちと郷土愛を育みます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	我孫子産米及び我孫子産野菜の学校給食の導入事業		
	学校給食管理運営事業		
	給食施設維持管理		
	学校給食備品管理事業		
	小中学校給食調理業務の民間委託事業		
	指 学校給食費支援金		
	指 小中学校給食室空調設置事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	小中学校給食調理業務委託（6校分） R6～R7年度 164,296千円、学校給食用我孫子産米調達業務委託 R6～R7年度 9,936千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	692,895	0	令和5年度（年度末時点）	11.20 0.80
令和6年度	決算見込額	770,035	0	令和6年度（年度末時点）	11.70 1.80
令和7年度	当初予算額	676,766	0	令和7年度	4月1日時点 12.60 0.80
	補正後予算額	688,335	0		
	決算額	685,223	0		年度末時点 12.60 0.80
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	週あたりの我孫子産米の使用回数	回	目標値	4	4	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4	4		
活動 指標	食に関する指導を行っている学校	校	目標値	19	19	19	19	19	19	19
			実績値	19	19	19	19	19		
成果 指標	我孫子産野菜の認知度	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	88.1	89.6	89.0	88.7	86.5		
成果 指標	我孫子産米の認知度	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	87.2	87.7	87.5	87.2	86.4		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	どの活動内容も、目標値を達成または目標値に近い実績値で活動することができ、地域に根差した食に対する理解を深めることができた。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	子どもたちの健やかな成長のために給食が生きた教材となるよう、食育に取り組むとともに、地元の農産物を提供し、生産者への感謝の気持ちと郷土愛を育むため、今後も引き続き実施が必要である。

令和7年度 課の目標管理書

課 名：指導課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけた授業改善の推進に努めます。各学校からの要請には、各学校が抱える授業づくりの悩みに寄り添った指導・助言を行います。また、国や県の教育施策が反映されるよう、打合せや協議会等で教職員へ伝え、実践していきます。経験の浅い教職員には、積極的に授業の様子や学級経営の様子を確認しに行き、助言します。教職員の研修では、各教科主任等の指導力を向上させる研修や、教職員のニーズに応じた希望研修など、企画・運営していきます。

・Q-U検査（WEBQU）（楽しい学校生活を送るためのアンケート）及びいじめアンケートを継続して実施し、個々の子ども達へのきめ細かな対応に取り組むとともに学級経営を支援します。

・「小中一貫教育の推進」に努め、各中学校区で作成したグランドデザインを達成すべく支援します。小中一貫教育基本方針に基づき作成した共通カリキュラムを、全中学校区で計画的に教育課程に組み込んで進められるよう支援します。郷土愛の育成については、副読本「ふるさと我孫子の先人たち」、社会科副読本「わたしたちの我孫子」、学習図鑑「ふるさと手賀沼」及び「あびこデジタル郷土資料」の活用や中学校区の特色を生かした授業実践の充実を図っていきます。授業の様子を積極的に参観し、全小中学校で情報を共有することで、教職員の意識を高めていきます。

・令和7年10月に、現在のICT環境を更新します。「確かな学力の育成に向けたICT環境の整備」「多様な他者と共に問題発見や解決に挑む資質・能力の育成」「次世代の校務に対応した最適なICT環境の整備」「教育データの利活用」を実現できるICT環境を整備していきます。教職員の会議や事務作業などの間接的な業務時間を削減し、児童生徒と向き合う時間を確保することで教育活動の更なる充実と教育効果の最大化を図っていきます。

・幼保小連携については、「交流」と「カリキュラム」で連携を深めていきます。園参観や学校参観、研修会を運営し、園児児童の姿について情報が共有できるようにしていきます。また、国や県の教育施策を理解し、園児児童の学びがつながるよう、カリキュラムでの連携の充実を図っていきます。

・国や千葉県を示す部活動の地域展開については、地域の指導者として部活動指導員の配置を拡大していきます。我孫子市の実情等を十分に把握し、移行が適切に行われるように、生涯学習部や関係団体等と連携し、体制を整備していきます。

・各学校における学校運営協議会の適正な運用を確保し、地域学校協働活動の充実、学校評価の活用を図りながら学校と地域との連携・協働体制を構築し、地域とともにある学校づくりを推進します。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取り組みを実施しました。令和7年10月より第2次教育ICTがスタートとなり、環境整備における事前準備から導入後の運営においても適切に実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

事業を着実に推進したことで、概ね目標よりも高い成果を得ることができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

いじめ防止対策事業では、小中学生の利用が増加しているSNSにより些細な事からいじめに発展したりトラブルに巻き込まれたりすることがあるため、家庭におけるスマートフォン等の利用ルールの徹底など保護者の理解と協力を求めています。また、学校がいじめ解消に向けて迅速に対応できるよう連携していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	小中学生非行対策	
	担当部署名	教育総務部 指導課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	1－3 防犯対策の推進	
	施策の展開内容	防犯協議会や地域のボランティア団体、警察などと連携強化を図りながら、特殊詐欺などの身近な犯罪の情報提供や相談、啓発活動に取り組み、犯罪の起きにくい環境整備を進めます。 また、地域での防犯パトロールなど自主的な防犯活動への支援を行い、市民の防犯意識の向上を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	・学校と連携して小中学生をめぐる現状を把握し、事故や犯罪に巻き込まれないよう啓発及び情報提供をしていきます。 ・警察と連携し、少年指導員とともに、帰宅指導や交通マナー遵守などの指導を行っていきます。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	少年センター業務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,627	0	令和5年度（年度末時点）		0.46	0.20
令和6年度	決算見込額	1,608	0	令和6年度（年度末時点）		0.58	0.20
令和7年度	当初予算額	1,972	0	令和7年度	4月1日時点	0.48	0.20
	補正後予算額	1,807	0				
	決算額	1,550	0		年度末時点	0.48	0.20
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	定例街頭指導の回数	回	目標値	10	10	10	10	10	10	10
			実績値	12	15	15	15	15		
成果 指標	街頭指導における問題行動の認知件数	件	目標値	180	170	160	160	160	160	160
			実績値	202	130	139	335	218		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	学校等と連携し、犯罪等に巻き込まれないよう啓発を行うとともに、不審者情報についても、警察や関係機関、学校とその保護者に迅速に共有を図りました。また、少年指導員による街頭指導を予定通り実施しました。不審者情報で外国籍に係る報告が増えてきておりますが、重大な事件や事故がなかったことから順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	学校や少年指導員と密に連携し、多様化する犯罪等についても学校、少年指導員、関係機関、保護者と共有していることで、重大な事件や事故が起きていないため、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域とともにある学校づくり推進事業	
	担当部署名	教育総務部 指導課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	「地域とともにある学校」として、地域と「目指す子ども像」を共有し、保護者、地域、大学、高校と連携して、自然、歴史、文化、人材などの地域資源を活用しながら、地域全体で子どもの育成を図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	学校支援事業の充実		
	我孫子市学校運営協議会		
	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の推進		
	部活動指導員の配置		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	5,040	0	令和5年度（年度末時点）	0.49 8.50
令和6年度	決算見込額	5,254	0	令和6年度（年度末時点）	0.72 8.50
令和7年度	当初予算額	4,505	0	令和7年度	4月1日時点 0.82 10.40
	補正後予算額	4,320	0		
	決算額	4,306	0		
	次年度へ繰越	0	0		
				令和7年度	年度末時点 0.82 10.40

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	教育委員会主催の担当者研修会の実施回数	回	目標値	3	5	5	5	5	5	5
			実績値	3	5	5	4	5		
成果 指標	教育委員会主催の担当者研修会の満足度（参加者アンケート）	%	目標値	80	85	90	90	90	90	90
			実績値	80	90	94	98	94		
成果 指標	地域人材（学校支援ボランティア）の延べ活動回数	回	目標値	26,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
			実績値	26,362	32,497	37,930	32,608	35,408		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	全ての個別事業について、当初の予定通り実施しました。また、コミュニティ・スクールの研修会では、新たな試みも実施したこともあり、参加者から大変好評であったため、順調と評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	全ての個別事務事業を問題なく実施し、成果も上がっているため、引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	幼児期教育と小学校教育との連携・小中一貫教育の推進		
	担当部署名	教育総務部 指導課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	育ちと学びの接続を重視し、豊かな人間性や社会性を育むため、幼稚園、保育園、認定こども園と小学校の連携、小中一貫教育を推進します。			
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	幼保小連携			
	小中一貫教育の推進			
	ふるさとカリキュラムの実施			
	キャリア教育の推進			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	2,638	0	令和5年度（年度末時点）	1.29 0.00
令和6年度	決算見込額	4,025	0	令和6年度（年度末時点）	1.36 0.00
令和7年度	当初予算額	2,601	0	令和7年度 4月1日時点	1.29 0.00
	補正後予算額	2,601	0		
	決算額	2,494	0	令和7年度 年度末時点	1.29 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	幼保小連携地区別会議の実施	回	目標値	10	10	10	10	10	10	10
			実績値	10	10	10	10	10		
活動 指標	小中一貫教育だより「TUNAGU（つなぐ）」の 発行数	回	目標値	10	15	15	15	15	15	15
			実績値	10	50	43	42	32		
成果 指標	幼保小連携・接続の実践、交流回数	回	目標値	45	45	45	45	45	45	45
			実績値	28	53	70	91	63		
成果 指標	小中一貫教育の周知・理解度 （学校評価アンケートより）	%	目標値		80.0	80.0	85.0	85.0	85.0	85.0
			実績値		75.3	80.7	81.7	84.9		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	指標「小中一貫教育の周知・理解度」では、目標を達成していないものの、毎年増加しており、全ての個別事業について、当初の予定通り実施したことから順調と評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	事業としては、現状どおり推進していきますが、他の事業も含めた周知を図ったり、コミュニティ・スクールの推進と連携している部分を意識したりすることで、より効果的に推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	教職員資質向上推進事業		
	担当部署名	教育総務部 指導課・教育相談センター		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	教職員の資質の向上を図るため、教育課題に応じた研修会や授業研究会を実施し、指導の工夫や改善につながる教育情報の提供を行います。			
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	教職員資質向上推進事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	2,644	0	令和5年度（年度末時点）	1.08 0.00
令和6年度	決算見込額	2,984	0	令和6年度（年度末時点）	1.19 0.00
令和7年度	当初予算額	2,796	0	令和7年度 4月1日時点	1.19 0.00
	補正後予算額	2,796	0		
	決算額	2,563	0	令和7年度 年度末時点	1.19 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	教育委員会主催の課題別研修会の実施回数	回	目標値	9	9	9	5	5	5	5
			実績値	9	9	9	5	5		
活動 指標	校内研修会への指導主事派遣回数	回	目標値	150	150	160	80	80	80	90
			実績値	187	90	85	102	99		
成果 指標	教育委員会主催の課題別研修会の満足度（参加者へのアンケート）	%	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
			実績値	98.2	98.7	99.0	97.8	98.3		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	教員向けの研修会では、参加者から高い満足度が得られました。また、小中学校からの指導主事の派遣要請に対処することができました。そのため、順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	教員のニーズや課題等を把握し、研修会の内容を検討しながら引き続き推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	いじめ防止対策事業	
	担当部署名	教育総務部 指導課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	教職員や少年指導員の研修会などを通して、近年増加しているいじめや生徒指導上の問題についての見識を深め、適切な対応ができるよう支援するとともに、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に向けた取組、子どもが気軽に相談できる仕組みづくりを進めます。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 いじめ防止対策		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.36 0.70
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	0.46 0.70
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度	4月1日時点 0.46 0.70 年度末時点 0.46 0.70
	補正後予算額	81	0		
	決算額	63	0		
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	いじめ防止対策委員会の実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3		
活動 指標	いじめに関するアンケートの実施回数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	2		
成果 指標	第2回いじめに関するアンケート結果に対する 取組後のいじめ件数の解消率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	98.8	99.4	97.8	98.0	97.8		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	いじめの解消率が100%ではないものの、いじめ防止対策委員会での専門家や保護者から意見聴取によつ適切な対応の検討やいじめアンケートによる実態の把握と追跡調査後も児童生徒の見守りを実施し、いじめの未然防止や解消につながったことから評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	いじめの未然防止、早期発見・早期対応による解消率100%に向け、引き続き関係機関や学校と連携して取り組みを進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	学力向上推進事業
	担当部署名	教育総務部 指導課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。
事務事業の目的 ・概要	子どもたちが未知の状況に対応する力や他者と協働して課題を解決する力を育めるよう、子ども達の自主性・自発性を重視した教育を推進します。	
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	学級経営の支援	
	学力向上推進事業	
	学校図書館活用の推進	
	小中学校体育・文化活動事業	
	国際理解教育の推進	
	子ども議会	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業	学級経営の支援：WEBQU（学級経営サポートシステム使用 令和5年度～令和8年度 13,740千円） 学力向上推進事業：（標準学力調査業務委託 令和7年度 8,818千円）	

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	36,600	0	令和5年度（年度末時点）		1.91	17.31
令和6年度	決算見込額	42,377	0	令和6年度（年度末時点）		1.66	17.31
令和7年度	当初予算額	48,088	0	令和7年度	4月1日時点	1.61	17.31
	補正後予算額	46,666	0				
	決算額	43,990	0		年度末時点	1.61	17.31
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	標準学力調査の結果分析研修会を実施した小中学校の割合	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	小学校標準学力調査正答率の全国比	%	目標値	100	100	101	101	101	101	102
			実績値	100	100	100	100	101		
成果 指標	中学校標準学力調査正答率の全国比	%	目標値	100	100	101	101	101	101	102
			実績値	103	102	100	101	101		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	全ての個別事業について、当初の予定通り実施しました。また、全ての小中学校で標準学力調査を行い、その結果を分析して児童生徒の指導に生かしています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	児童生徒の学力の定着状況を把握し、学校生活における各種授業（体育・文化活動・子ども議会等）の取組みを支援するとともに、児童生徒への教育指導の充実を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	小中学校 I C T 教育の推進	
	担当部署名	教育総務部 指導課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	「学習の基盤となる資質・能力」である『情報活用能力』を育成するため、情報教育のカリキュラム作成、教職員の指導力向上、I C T の環境整備と活用に取り組みます。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	小中学校コンピュータ教育の推進		
	第2次教育 I C T の推進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	小中学校コンピュータ教育の推進（第1次教育 I C T 業務委託 平成31年度～令和7年度 715,350千円）（校務支援システム使用 令和4年度～令和7年度 8,047千円）第2次教育ICTの推進（第2次教育ICT業務委託 令和7年度～令和12年度 2,779,821千円）		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	159,942	0	令和5年度（年度末時点）		1.03	0.80
令和6年度	決算見込額	306,318	0	令和6年度（年度末時点）		0.76	0.80
令和7年度	当初予算額	466,331	0	令和7年度	4月1日時点	0.85	1.30
	補正後予算額	465,823	0				
	決算額	465,733	0		年度末時点	0.85	1.30
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	教育委員会主催の情報教育に関わる研修会	回	目標値	6	6	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	8	8	6		
成果 指標	学習でのパソコン活用の満足度（児童生徒へのアンケート）	%	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
			実績値	94.5	95.2	96.3	96.7	96.0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	情報教育に関わる研修会を充実し、児童生徒の学習でのパソコン活用の満足度も高いことから順調を評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	第2次教育 I C T がスタートし、学習活動の一層の充実を図るとともに、情報モラルも含めた児童生徒の利活用を高めてまいります。

課の目標管理書

課 名：教育相談センター

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

1. 教育・発達相談事業を推進します。子どもの健やかな育ちを支えるために、支援が必要な子どもと保護者の相談に対応し、学校をはじめ関係機関と連携していきます。

2. 特別支援教育を推進します。教育支援委員会の適切な運営と就学支援の充実を図ります。教育相談センターアドバイザー派遣事業、巡回事業、教職員研修等を通じて児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を進めます。特別支援教育コーディネーター・特別支援学級担任の支援については、校内委員会の充実、個別の教育支援計画・指導計画の作成及び活用の充実を図れるよう支援します。また、個別の教育支援計画・指導計画の目標達成のため、学級支援員を派遣し、教員と児童生徒を支援します。

3. 療育・教育システム連絡会を通じて関係機関との連携を深め、切れ目のない支援体制の構築を図ります。

4. 長期欠席児童生徒対策事業を強化します。教育相談センター及び教育支援センターが、学校と協力し、多様な学びの場の確保に努めます。教育支援センターと校内教育支援センターの職員の連絡会や研修会を通じて連携を深め、子ども達が安心して学びの場を選ぶことができる体制を整えます。また、家庭や学校と連携し、心の教室相談員（在宅訪問指導員）等の活用により、一人ひとりの状況に応じた支援を進めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

全ての個別事務事業を問題なく実施し、相談に係る事業は満足度が高くなり、概ね順調であると評価しました。長期欠席児童生徒対策事業では、指定事務事業でもある校内教育支援センターの全校設置が完了し、不登校率の減少傾向が見られ、子ども達の安心した居場所となっています。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

引き続き事業を着実に推進します。また、全校設置が完了した校内教育支援センタ及び教育支援センター（かけはし・ひだまり）の充実に取り組めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	自分らしい学校生活を送るための教育支援	
	担当部署名	教育総務部 教育相談センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－2 子どもの成長に応じた発達への支援	
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	・特別な支援を要する児童生徒の就学相談や一人ひとりの状況に応じた特別支援教育の取組を推進します。 ・児童生徒が自分らしい学校生活を送ることができるよう、引き続き、各学校に学級支援員などを配置し、児童生徒、保護者、教職員からの相談を通して支援を行います。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	学級支援員派遣事業		
	教育相談センターアドバイザー事業		
	教育相談・発達相談事業		
	就学相談事業		
	児童・生徒からの悩み相談ホットライン		
	特別支援教育推進事業		
	教育相談センター巡回事業		
	教育支援委員会の運営		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	1,811	0	令和5年度（年度末時点）	2.60 49.28
令和6年度	決算見込額	2,207	0	令和6年度（年度末時点）	2.60 41.85
令和7年度	当初予算額	2,353	0	令和7年度	4月1日時点 2.40 50.38
	補正後予算額	2,216	0		
	決算額	2,056	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	2.40 49.95

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	アドバイザー派遣率	%	目標値		100	100	100	100	100	100
			実績値		100	100	100	100		
活動 指標	教育・発達相談、就学相談対応件数	件数	目標値		4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
			実績値		3,475	2,976	4,145	3,824		
成果 指標	アドバイザーの支援が役に立った率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	91.0	94.0	91.0	93.7		
成果 指標	教育・発達相談継続ケースの利用者の満足度	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	94.4	85.3	94.4	100.0	91.2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	相談件数の増加や相談内容が多様化する中で、必要な人員確保は課題ではあるものの、事業全体としては迅速に対応できました。満足度は100%からやや下がったものの、高い満足度を得られていることからほぼ順調と評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も各事業を問題なく実施するため、事業を支える人員体制の確保に継続して取り組みます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	教職員資質向上推進事業		
	担当部署名	教育総務部 指導課・教育相談センター		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり		
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。		
事務事業の目的 ・概要	教職員の資質の向上を図るため、教育課題に応じた研修会や授業研究会を実施し、指導の工夫や改善につながる教育情報の提供を行います。			
関連する市の計画等				
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	教職員研究論文の作成支援			
	小中学校教師用教科書及び指導書の配付			
	副読本(社会科副読本「わたしたちの我孫子」)の改訂			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	5,456	0	令和5年度（年度末時点）	1.00 0.26
令和6年度	決算見込額	55,844	0	令和6年度（年度末時点）	1.00 0.26
令和7年度	当初予算額	41,624	0	令和7年度 4月1日時点	1.10 0.00
	補正後予算額	41,131	0		
	決算額	41,127	0	令和7年度 年度末時点	1.10 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	論文作成にあたり指導した回数	回	目標値		6	6	—	—	—	—
			実績値		—	—	—	—	—	—
成果 指標	論文作成指導を受けた満足度	%	目標値		100	100	—	—	—	—
			実績値		—	—	—	—	—	—
活動 指標	社会科副読本の編集会議実施回数	回	目標値		4	4	4	4	4	4
			実績値		4	4	4	4		
活動 指標	社会科副読本の配布	回	目標値		1	1	1	1	1	1
			実績値		1	1	1	1		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	社会科副読本の令和8年度改訂に向けて各小学校から1名ずつ担当者を招集し、編集作業を進めました。より児童が学びやすく、郷土愛を育める副読本になるよう案を出し合い、作成委託事業者とともに副読本を改訂し、各小学校へ配付しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	社会科副読本担当者会議を実施し、デジタルブックの活用、評価問題の作成・活用など、各校でより充実した授業を行うための手立てを検討、実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	長期欠席児童生徒対策事業	
	担当部署名	教育総務部 教育相談センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－3 魅力ある学校づくり	
	施策の展開内容	子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・ 概要	保護者や児童生徒の相談に適切に応じ、悩みを解消することで児童生徒が楽しい学校生活を送れるようにするとともに、不登校の児童生徒もさまざまな学びや経験ができる環境づくりを図ります。		
関連する市の計画等	我孫子市教育振興基本計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	長欠対策事業		
	教育支援センター（かけはし・ひだまり）の運営		
	指 校内教育支援センターの設置		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	712	0	令和5年度（年度末時点）	1.60 19.38
令和6年度	決算見込額	746	0	令和6年度（年度末時点）	1.60 21.13
令和7年度	当初予算額	771	0	令和7年度	4月1日時点 1.60 23.96
	補正後予算額	782	0		
	決算額	748	0		年度末時点 1.60 23.96
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	心の教室相談員兼在宅訪問指導員相談件数	件数	目標値		7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
			実績値		5,504	6,003	5,694	6,230		
活動 指標	学校連携、児童生徒保護者への対応件数	件数	目標値		300	900	900	900	900	900
			実績値		841	617	409	277		
成果 指標	不登校率	%	目標値		5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
			実績値		4.9	5.2	5.5	4.9		
成果 指標	教育支援センター（かけはし・ひだまり）に登室している児童生徒の出席率	%	目標値	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
			実績値	23.4	31.0	40.0	39.8	46.7		
成果 指標	校内教育支援センターに登室している児童生徒の出席率	%	目標値			60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
			実績値			64.7	64.5	64.0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	校内教育支援センターの設置により、教育支援センターの学校連携や児童生徒保護者への対応件数は減少していますが、これは学校の中での体制作りの成果であり、各個別事務事業は問題なく実施できたためほぼ順調と評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	校内教育支援センターの全校設置が完了したため、今後は校内教育支援センターの内容の充実、教育支援センターの機能強化に取り組みます。

令和7年度 部の運営方針管理書

部 局 名	生涯学習部
部 局 長 名	菊地 統
部の運営方針	・公民館、図書館、鳥の博物館などでは、互いに連携しながら地域特性や社会動向、学習ニーズを踏まえた学習機会の充実を図ります。また、多様化・高度化する市民の学習ニーズに応えるため、市民団体や学校、企業等との連携を強化し、市民の学習活動を支援する体制の充実を図ります。 ・鳥の博物館では、令和6年度に策定した鳥の博物館展示リニューアル基本計画に基づき、展示のリニューアルに向けてクラウドファンディング等を活用した財源確保の取組を進めます。 ・図書館では、「子どもの読書活動推進計画（第二次）」に基づき、学校や関係機関等と連携しながら、子どもと子どもに関わる大人が主体的に読書活動を行えるよう環境を整え推進していきます。読書バリアフリーの観点を念頭に、多くの市民に図書館利用が浸透するようこれまで以上に移動図書館車の活用を促進するとともに、電子図書館サービスの充実を図ります。 ・施設の整備・充実では、五本松運動広場の整備を進め、公民館、図書館、鳥の博物館などの施設機能の充実に努めます。適正な維持管理や計画的な修繕を行うとともに、学校施設や既存施設を有効活用し、身近な学習の場の確保に努めます。 ・学習で得た知識や経験を社会で活かすしくみづくりを進め、まちづくり活動へと発展していくよう支援します。 ・新たな文化交流拠点施設について、関係課と情報共有するとともに、これまでのアンケートや各文化団体の考え方等を踏まえ、持続可能な財政運営についても考慮しながら、引き続き施設整備の方向性について検討していきます。 ・市民が文化芸術に触れ、参加できる機会を充実するとともに、文化芸術活動の創出や地域固有の文化の保存・継承に取り組みます。また市制施行55周年記念事業として我孫子の文化と歴史を活かしたイベントを実施します。 ・「文化財保存活用地域計画」に基づき、杉村楚人冠記念館、旧村川別荘、旧井上家住宅などの史跡や白樺文学館などの文化的資源を「我孫子遺産」として積極的に保存・活用し、さらにボランティアガイドとの協働を進め、効果的な事業運営に取り組みます。また、令和5年度より運用を開始した文化財データベース「あび☆デジ」の内容を充実させ、広く一般に向けた文化財の周知に努めます。旧井上家住宅においては、新たに屋外トイレを設置したことを受けて、より多くの方に訪れていただけるようにイベント等を実施します。 ・学校部活動の地域移行に伴い、6年度から開始した地域移行実証事業の検証を通じて改善を図るとともに、7年度は実証事業の対象を文化系部活動にも広げ、8年度の本格的な移行に備えます。 ・令和4年度に策定した「我孫子市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員など地域の人材と連携したイベントの実施、総合型地域スポーツクラブの活動支援などを通して、身近な場所でスポーツを楽しみ、健康な生活が送れるよう生涯ス

	ポーツを推進します。また、生涯スポーツを支える指導者の育成に関係団体等と連携して取り組みます。 ・ 体育施設の整備・充実では、市民体育館をはじめとした体育施設の計画的な修繕を行うとともに、学校体育施設開放の適切な管理運営、民間スポーツ施設の活用や近隣市のスポーツ施設との相互利用によるスポーツ・レクリエーション活動の環境づくりに取り組みます。 ・ 学校部活動の地域移行に伴い、スポーツ協会やスポーツ少年団など地域のスポーツ団体と協働し新たな体制づくりを進めます。 ・ 五本松運動広場整備事業基本計画に基づき、五本松運動広場の８年度中の完成を目指して整備事業を着実に進めていきます。
--	---

部 局 名	生涯学習部
部 局 長 名	辻 史郎
部の運営方針 に対する総合 評価	・市の生涯学習推進の基幹となる「我孫子市第三次生涯学習推進計画」に即する部門別計画「我孫子市文化財保存活用地域計画」、「我孫子市スポーツ推進計画」、「我孫子市鳥の博物館展示リニューアル計画」、「子どもの読書活動推進計画（第二次）」等に基づき、市の財政状況を鑑みながら、各課の事業を適切に推進しました。 ・生涯学習部全体で、互いに連携しながら地域特性や社会動向、学習ニーズを踏まえた学習機会の充実を図るとともに、多様化・高度化する市民の学習ニーズに応えるため、市民団体や学校、企業等との連携を強化し、市民の学習活動を支援する体制の充実を図りました。 ・「個別施設計画（長寿命化計画）」に則り、生涯学習施設の適切な修繕と維持管理に努めました。 ・「我孫子市デジタル化推進基本方針」に則り、イベントや施設におけるオンライン予約推進、電子図書館サービスと文化財データベース「あび☆デジ」の充実など、生涯学習分野においてもデジタル化の推進と充実を図りました。 ・財源の確保と PR 効果を念頭に置き、「鳥の鳴き声装置」整備に当たってはクラウドファンディングを実施し、「ミニ移動図書館めるへん号」導入にあたってはクラウドファンディング型ふるさと納税を実施するとともに基金の有効活用を図りました。 ・市制55周年記念事業として庁内連携を図って「暗夜行路の軌跡展」、「本城直季写真展」を開催し、多くの集客を図ることができました。 ・国の方針に即して中学校部活動の地域展開を円滑に進めるため、補助金等を活用して実証事業に取り組み、令和8年9月からの本格実施に備えました。 ・「五本松運動広場整備事業基本計画」に基づき、令和8年度中の完成を目指し、国の「地域未来交付金」を活用して整備事業を進めました。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：生涯学習課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

1. 生涯学習推進事業

○公民館の学級・講座では、市民の学習活動がまちづくり活動として発展していくよう、時代の変化や市民ニーズの高い社会や地域の課題をテーマとした学習事業を実施します。

○生涯学習情報を効率的に発信するため、従来の情報誌やチラシのほか、SNS等を活用し、市民が学習情報を取得しやすいよう学習情報の収集と提供の充実を図ります。

○生涯学習出前講座では、市民団体や大学、研究機関などと連携しながら、社会や地域の中で活躍できる人材を発掘し、市民の自主的・主体的な学習を支援します。

○地域における学習拠点、活動拠点として市民が身近な場所で安全・安心に学習できるよう、生涯学習センターや湖北地区公民館を適正に維持管理を行うとともに、個別施設計画に沿った計画的な修繕を行います。

○第三次生涯学習推進計画の後期計画に基づいて、市が実施する生涯学習関連事業の進行管理を行い、施策の総合的推進を図るとともに、生涯学習事業のさらなる充実を図ります。

○第四次生涯学習推進計画については、第三次生涯学習推進計画の基本的な考え方を維持し、我孫子市第四次総合計画及び我孫子市教育大綱、教育振興基本計画を踏まえ、他の計画との整合性等を鑑みて一体的な策定も含め検討を進めます。

2. 新たな文化交流拠点施設整備の検討

○新たな文化交流拠点施設については、関係課と情報共有しながら、施設整備の方向性について引き続き検討していきます。また、文化施設整備基金の管理・運用を行います。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、すべての取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

・公民館学級・講座については、受講後のアンケートではおおむね満足したという結果が得られました。また、4学級で学級生主体の自主的な学級を立ち上げることができました。今後、学んだ成果を社会や地域でいかしてもらえるよう、さらなる学習内容の充実を図ります。

・出前講座の利用は95件、参加人数1,868人となりました。今後も、出前講座の利用が促進されるよう情報提供の充実を図るとともに、講師となる新たな人材の発掘を行います。

・生涯学習推進事業については、目標に掲げた取組について順調に事業を執行しました。引き続き、現状通り推進します。

・市民活動団体、市内の大学や企業等と連携して公民館事業を実施し、協働して生涯学習を推進する体制の強化を図りました。今後も、関係機関との連携を深め、生涯学習推進体制を構築します。

・第三次生涯学習推進計画を令和9年度まで2年間継続し、教育振興基本計画と計画期間の整合を図ることとしました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

・令和7年度の取組を継続し、生涯学習推進事業の充実を図ります。

・今後も、市民の安全と利便性を確保するために、老朽化した施設の改修等を着実に実行していきます。

・文化交流拠点施設の機能・規模について、市民からの意見がある程度集約することはできているものの、施設の建設に多大な費用を要するため、財政的な観点も踏まえ、慎重に検討を進めることとします。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	生涯学習推進事業	
	担当部署名	生涯学習部 生涯学習課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	7－1 生涯学習の推進	
	施策の展開内容	地域の自然や文化に愛着を持ち、豊かな人生を送ることができるよう、市民一人ひとりの学ぶ意欲に応じて、さまざまな機会を提供するとともに、成果を地域に活かせる環境づくりに努めます。	
事務事業の目的 ・概要	・身近な自然環境や文化、地域の課題に関心を持ち、理解を深めてもらえるよう、継続的・体系的な学習機会を市民の年齢層に合わせて提供し、学習の成果を地域や日常生活に活かせるよう支援します。 ・生涯学習に役立つ情報の発信や生涯学習人材情報・団体情報の提供、出前講座、講演会など、市民の自主的・主体的な学習を支援します。 ・将来を担う子ども達が、夢や希望を届けられるよう、専門的な知識を持つ地域の指導者や学校、企業などとの連携による学び体験を通して支援します。		
関連する市の計画等	我孫子市生涯学習推進計画、第5次行政改革推進プラン（我孫子地区公民館の運営手法の検討、公民館学級・講座の再編検討）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	成人式		アピコでなんでも学び隊
	地域交流教室の管理・運営		保育事業
	生涯学習推進事業		湖北地区公民館の管理・運営
	視聴覚機材等の貸出		公民館維持管理
	生涯学習推進計画の進行管理		生涯学習センターの管理・運営
	のびのび親子学級		出前講座の運営
	家庭教育学級	指	湖北地区公民館給排水設備等更新工事
	熟年偏学		湖北地区公民館非常放送設備改修工事
	長寿大学		湖北地区公民館自動扉開閉装置更新工事
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	241,385	0	令和5年度（年度末時点）	4.65 7.80
令和6年度	決算見込額	182,887	0	令和6年度（年度末時点）	4.85 7.80
令和7年度	当初予算額	243,843	0	令和7年度	4月1日時点 4.80 8.00
	補正後予算額	242,412	0		
	決算額	241,063	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	4.80 8.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	学級・講座の実施回数	回	目標値	144	159	159	159	159	159	159
			実績値	131	166	160	157	157		
活動 指標	施設の保守管理執行	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	学級・講座の満足度	%	目標値	80	82	85	85	85	85	85
			実績値	81	93	95	97	97		
成果 指標	公民館（我孫子・湖北）及び地域交流教室の利用件数	件	目標値	12,000	12,000	12,100	12,100	12,100	12,200	12,200
			実績値	9,680	10,022	10,465	11,443	11,703		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	施設の改修等については、当初の計画に沿って実施しました。また、公民館学級受講者からのアンケートでは、おおむね満足したという結果が得られたことから、ほぼ順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	公民館学級については、市民ニーズに合った学級・講座の再編を検討します。また、アピスタの運営手法や業務内容の見直しについて、検討を進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	新たな文化交流拠点施設整備の検討		
	担当部署名	生涯学習部 生涯学習課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	7－2 歴史・文化の保存・継承と文化の振興		
	施策の展開内容	歴史資料の収集・保存に努めるとともに、市内の文化財などの一体的な活用を図ります。 誰もが文化・芸術に親しむ機会の充実を図るとともに、これまで大切に育まれてきた伝統文化を後世に受け継ぐことができるよう、保存と継承に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	既存施設の効率的な利用を進めるとともに、文化を中心としたさまざまな交流やにぎわいを生み出す文化交流拠点施設の整備に取り組みます。			
関連する市の計画等	我孫子市生涯学習推進計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	文化交流拠点施設の整備			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	0	0	令和5年度（年度末時点）	0.10 0.20
令和6年度	決算見込額	0	0	令和6年度（年度末時点）	0.20 0.20
令和7年度	当初予算額	0	0	令和7年度 4月1日時点	0.20 0.00
	補正後予算額	0	0		
	決算額	0	0	令和7年度 年度末時点	0.20 0.00
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果 指標	建設構想（案）をもとに、施設（ホール）の機能・規模について方向性を集約する。	%	目標値	30	40	50	60	70	80	90
			実績値	20	40	50	60	60		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	文化交流拠点施設整備にあたり、施設（ホール）に求められる機能については、これまでのアンケートや文化団体との意見交換会を通じて、市民からの意見をある程度集約することができたことから、ほぼ順調と評価しています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	文化交流拠点施設の建設には多大な費用を要することから、今後も、本市にとって最適な文化交流拠点施設の方向性について、財政的な観点も踏まえながら慎重に検討を進めます。

令和7年度 課の目標管理書

課 名：文化・スポーツ課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

○文化芸術活動への支援と地域文化の継承

・市民が文化・芸術に触れる機会を充実するため、市民文化祭を開催するとともに、後援・協力・共催事業を通じて自主的に文化芸術活動に取り組む市民を支援します。子どもを対象とした事業として、子どものための舞台鑑賞事業を実施するほか、図書館と連携してめるへん文庫事業の一環として創作ワークショップを実施し、子どもたちの創作意欲につなげていきます。また、郷土芸能祭と郷土芸能体験教室を開催し、伝統文化の保存・継承に取り組みます。

・部活動地域移行に伴い、「部活動地域移行検討委員会」を開催し、文化団体と連携して子どもたちの文化活動を支える体制づくりに取り組みます。

・「我孫子市文化財保存活用地域計画」に基づき、市民ボランティアガイドと協働を進め、市内に残る文化財と白樺文学館、杉村楚人冠記念館、旧井上家住宅など歴史文化財施設を「我孫子遺産」として積極的に保存・活用をはかるとともに、文化財データベース「あび☆デジ」を充実させ文化財の周知を図ります。

・市制施行55周年記念事業として我孫子の文化と歴史を活かしたイベントを実施します。

○スポーツの振興

・令和4年度に策定した「我孫子市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員など地域の人材と連携したスポーツイベントの実施、幅広い参加者を募る総合型地域スポーツクラブの活動支援を通して、生涯スポーツの推進を図ります。また、生涯スポーツを支える指導者の育成に関係団体等と連携して取り組みます。

・市民体育館をはじめとした体育施設の計画的な修繕、学校体育施設開放の適切な管理運営、民間スポーツ施設の活用や近隣市のスポーツ施設との相互利用などを通じて、スポーツ・レクリエーション活動の環境づくりに取り組みます。また五本松運動広場整備基本計画に基づき、五本松運動広場の8年度中の完成を目指して、整備事業を着実に進めていきます。

・部活動地域移行に伴い、「部活動地域移行検討委員会」を開催し、地域のスポーツ団体等と連携して子どもたちのスポーツ活動を支える体制づくりに取り組みます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示した通り、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

・スポーツ振興、歴史文化財、文化振興の3係とも、市民と協働してイベントを実施し、文化とスポーツの普及を図るという成果を上げることができました。

・デジタル技術を活用したデータベースの公開や、LINEなどアプリを通じた参加者募集の取組を継続して実施できました。

・部活動地域展開は国・県の委託による実証事業として、市内全中学校（各校1部活動以上、計24部活動）を対象に、休日部活動の地域クラブ活動への段階的な移行を進め、本格展開に向けた運用上の課題を抽出することができました。

・施設の改修・建設については今年度概ね予定の通り推進することができました。

・五本松運動広場整備事業はデザインビルド方式による整備事業者と契約締結し、設計業務と並行して建設業務に着手することができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

・文化・スポーツイベントでは、SNS等を活用した情報発信を積極的に進めるとともに、市内の小中高及び大学、地元企業等と連携して参加者を募るなど、様々な手法で参加者増を図っていきます。

・部活動地域展開は7月中に会員登録を実施し、8月に参加費徴収、指導者への講習等を行い、9月からは、休日に活動する全部活動を対象とした地域クラブ活動を開始します。

・スポーツ振興、歴史文化財とともに、不足している施設や機能について、様々な機会を捉えて実現化するように努力していきます。

・五本松運動広場整備事業は令和9年3月下旬の工事完了を予定しており、市内外の方々の利用開始に向けて広報あびこやホームページで12月頃に周知する予定です。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子どもの文化・芸術活動の推進	
	担当部署名	生涯学習部 文化・スポーツ課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－4 心豊かにする体験・活動の推進	
	施策の展開内容	子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、さまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	子どもたちの豊かな感性を育むため、創作活動に親しみを持ってもらう「めるへん文庫」事業や、舞台芸術を鑑賞する機会の提供を推進します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	めるへん文庫		
	子どものための舞台鑑賞事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	2,864	0	令和5年度（年度末時点）		1.10	0.80
令和6年度	決算見込額	2,926	0	令和6年度（年度末時点）		1.10	0.80
令和7年度	当初予算額	4,561	0	令和7年度	4月1日時点	1.40	0.60
	補正後予算額	3,516	0		年度末時点	1.40	0.60
	決算額	3,022	0				
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	めるへん文庫ワークショップの開催数	回	目標値		1	1	1	1	1	1
			実績値		1	1	1	1	-	-
活動 指標	めるへん文庫の刊行数	冊	目標値		1	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1	-	-
成果 指標	子供のための舞台鑑賞の来場者数	人	目標値		200	200	200	200	200	200
			実績値	202	460	226	477	437		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	めるへん文庫事業ではワークショップ「めるへん学校」を開催し、子供たちに創作の楽しさを体験してもらいました。「めるへん文庫」については、市内の小中学校、高等学校等などに応募を働きかけるなど、学校現場との連携を図りました。また、「子どものための舞台鑑賞事業」は午前・午後の2回公演を行い、多くの子どもたちに舞台鑑賞の楽しさを提供しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も子どもたちが心豊かに成長できるよう、創作活動や舞台鑑賞できる機会を提供していきます。 めるへん文庫については令和8年度から図書館の事業として引き続き推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	スポーツを通じた交流人口の拡大		
	担当部署名	生涯学習部 文化・スポーツ課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4－5 交流・関係人口の拡大		
	施策の展開内容	交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。		
事務事業の目的 ・概要	多くの人が訪れ、市の魅力を知ってもらえるよう、手賀沼とその周辺でのスポーツイベントの開催やアウトドアアクティビティの普及を推進します。			
関連する市の計画等	我孫子市スポーツ推進計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	ふれあいキャンプ場管理運営			
	手賀沼チームラン・キッズランうなぎカップ			
	手賀沼エコマラソンの運営			
	柏レイソルホームタウン事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	11,689	0	令和5年度（年度末時点）		1.00	0.64
令和6年度	決算見込額	12,494	0	令和6年度（年度末時点）		1.20	0.64
令和7年度	当初予算額	13,501	0	令和7年度	4月1日時点	1.00	0.64
	補正後予算額	12,317	0				
	決算額	11,897	0		年度末時点	1.00	0.64
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	うなぎカップ参加人数	人	目標値		710	710	710	710	710	710
			実績値	0	511	476	613	658		
活動 指標	手賀沼エコマラソン参加人数	人	目標値		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績値	0	6,431	7,202	7,731	7,890		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	うなぎカップは年々参加者が増加するとともに、キッチンカー事業者の参加も増えて手賀沼周辺の賑わいづくりの事業として、多くの方に市の魅力をPRすることができました。また、手賀沼エコマラソンは昨年度から始めた5マイル（8キロ）の部が好評でハーフマラソンには自信がない人の受け皿となったことで、スポーツ実施率向上に寄与することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も、スポーツ活動を通じた手賀沼周辺の活性化、交流人口の拡大を図っていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	発掘調査及び記録保存	
	担当部署名	生涯学習部 文化・スポーツ課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	7－2 歴史・文化の保存・継承と文化の振興	
	施策の展開内容	歴史資料の収集・保存に努めるとともに、市内の文化財などの一体的な活用を図ります。 誰もが文化・芸術に親しむ機会の充実を図るとともに、これまで大切に育まれてきた伝統文化を後世に受け継ぐことができるよう、保存と継承に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	市の歴史を後世に継承するため、発掘調査、歴史資料の調査、適切な記録保存を行うとともに、報告書や資料集を刊行して、その成果を市民に還元します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業（Plan）	公共事業発掘調査		
	考古遺物整理		
	市史調査研究		
	不特定遺跡発掘調査		
	民間開発発掘調査		
指：指定事務事業			
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	8,868	0	令和5年度（年度末時点）		1.80	11.34
令和6年度	決算見込額	7,800	0	令和6年度（年度末時点）		1.80	10.44
令和7年度	当初予算額	6,256	0	令和7年度	4月1日時点	1.80	9.58
	補正後予算額	6,462	0				
	決算額	5,854	0				
	次年度へ繰越				年度末時点	1.80	9.58

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	発掘調査実施率 （実施件数/発掘調査しなければならない件数）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	出版掲載等許可実施率 （許可数/申請数）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
活動 指標	閲覧申請対応率 （閲覧数/申請数）	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
成果 指標	発掘調査報告書の刊行数	冊	目標値	3	2	2	2	2	2	2
			実績値	3	3	5	4	4		
成果 指標	市史関係図書の刊行数	冊	目標値	1	1	1	1	1	1	1
			実績値	2	2	1	1	2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	市民からの埋蔵文化財発掘申請や資料閲覧申請があった場合、できるだけ速やかに応じて遅滞なく業務を行うことができました。また、調査した結果や、新たに市指定となった文化財を報告書として刊行するとともに、ホームページ「あびこ電脳考古博物館」やデジタルアーカイブ「あび☆デジ」に公開し、我孫子が豊かな歴史をもった町であることを市民に周知することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	我孫子市の魅力を広めるために、引き続き、調査・研究を進めます。その際は、市民による調査ボランティアの協力を呼びかけます。また、その成果を市民に広く還元して我孫子の魅力向上につなげていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	文化財の保存と活用	
	担当部署名	生涯学習部 文化・スポーツ課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	7－2 歴史・文化の保存・継承と文化の振興	
	施策の展開内容	歴史資料の収集・保存に努めるとともに、市内の文化財などの一体的な活用を図ります。 誰もが文化・芸術に親しむ機会の充実を図るとともに、これまで大切に育まれてきた伝統文化を後世に受け継ぐことができるよう、保存と継承に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	市の歴史や文化、風土をより身近に感じてもらうため、「我孫子遺産」の保存整備とネットワーク化を進め、その活用と魅力の向上に努めます。		
関連する市の計画等	我孫子市文化財保存活用地域計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	文化財保存活用地域計画の推進		外壁・屋上防水修繕事業（白樺文学館）
	杉村楚人冠記念館の保存と活用		
	旧井上家住宅活用計画策定事業		
	文化財の指定調査と保存支援		
	文化財説明版・誘導版の整備		
	文化財施設の管理・活用		
	文化財展示会の実施		
	旧井上家住宅施設修繕事業		
	杉村楚人冠記念館木製雨戸修繕		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	64,408	0	令和5年度（年度末時点）		2.70	3.70
令和6年度	決算見込額	88,425	0	令和6年度（年度末時点）		2.70	3.70
令和7年度	当初予算額	29,606	0	令和7年度	4月1日時点	1.90	4.00
	補正後予算額	28,551	0				
	決算額	26,538	0				
	次年度へ繰越				年度末時点	1.90	4.00

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	文化財保存活用地域計画協議会の開催数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	1
			実績値	2	2	2	2	0		
活動 指標	文化財審議会の開催数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2	2		
活動 指標	説明板・誘導版の設置・更新数	基	目標値	3	2	2	2	2	2	2
			実績値	8	4	5	4	4		
成果 指標	文化財指定件数	件	目標値	1	1	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	0	2		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	我孫子市文化財保存活用地域計画に基づき、旧井上家住宅、杉村楚人冠記念館、白樺文学館など文化財施設の保存と活用に努めました。また、市民向けの文化財ボランティア養成講座を開催して、受講生の中から希望者を「文化財ボランティア」として登録し、市民と協働して文化財の保存と活用に取り組みました。我孫子市文化財保存活用地域計画協議会については、昨年度の中間評価を持って閉会し、以降の進捗は生涯学習審議会で諮ることとしました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	我孫子市文化財保存活用地域計画の期間は来年度末の期間となっているので、中間評価を踏まえて第二期策定に向けて取り組みます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	文化芸術活動の推進	
	担当部署名	生涯学習部 文化・スポーツ課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	7－2 歴史・文化の保存・継承と文化の振興	
	施策の展開内容	歴史資料の収集・保存に努めるとともに、市内の文化財などの一体的な活用を図ります。 誰もが文化・芸術に親しむ機会の充実を図るとともに、これまで大切に育まれてきた伝統文化を後世に受け継ぐことができるよう、保存と継承に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	・市民の自主的な文化芸術活動を促進するため、施設の利用や情報発信に関する支援を行います。 ・幅広い年代の市民が親しめるような文化イベントを企画するとともに、情報を広く発信し、文化・芸術に触れたり、体験したりする機会の充実を図ります。 ・本市に伝わる生活文化や貴重な郷土芸能を保存し、継承していくため、後継者育成の支援に取り組みます。		
関連する市の計画等	第5次行政改革推進プラン（我孫子市民文化祭・高齢者文化祭の運営手法の検討）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	郷土芸能活動の保護育成		
	市民参加型コンサート		
	文化芸術振興活動支援		
	文化祭		
	文化事業市民スタッフの活用		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工		
				正職員	会計年度等	
令和5年度	決算額	4,493	0	令和5年度（年度末時点）	1.10 0.80	
令和6年度	決算見込額	4,936	0	令和6年度（年度末時点）	1.10 0.80	
令和7年度	当初予算額	5,075	0	令和7年度	4月1日時点	1.40 0.60
	補正後予算額	4,775	0		年度末時点	1.40 0.60
	決算額	4,639	0			
	次年度へ繰越					

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	後援等事業の承認件数	件	目標値		70	70	80	85	90	100
			実績値	65	63	72	91	86		
活動 指標	市民文化祭出演団体数	数	目標値		30	32	32	32	32	32
			実績値	6	26	26	26	26		
成果 指標	市民参加型コンサートの来場者数	人	目標値		100	100	100	150	175	200
			実績値		52	80	1,200	—		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	子どもを対象とした「郷土芸能体験教室」を開催し、郷土芸能の普及と新たな担い手づくりに寄与できました。市民文化祭のオープニングセレモニーを開催し、参加団体の意欲向上や市民が文化・芸術に親しむ機会の充実を図ることができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も、誰もが文化・芸術に親しむ機会の充実を図るとともに、伝統文化を後世に受け継ぐことができるよう、保存と継承に取り組んでいきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	スポーツの奨励		
	担当部署名	生涯学習部 文化・スポーツ課		
基本計画における 位置づけ	基本施策名	7－3 スポーツの振興		
	施策の展開内容	誰もが生涯にわたってスポーツに親しめる環境をつくるとともに、競技力向上への支援や指導者の育成、スポーツ施設の適正な維持管理と運営に取り組みます。		
事務事業の目的 ・概要	・ 障害の有無や年齢に関わらず誰もが生涯にわたってスポーツに親しめるよう、スポーツ関係団体などと連携し、スポーツの普及活動とスポーツを楽しむ環境づくりに取り組みます。 ・ 健康の保持増進や地域のコミュニティづくりを図るため、スポーツ推進委員などと連携し、誰もが気軽に参加できる総合型地域スポーツクラブなどの団体を支援します。 ・ スポーツの普及と競技力向上のため、スポーツ指導者の養成に取り組みます。 ・ スポーツ人口拡大のため、民間のスポーツクラブや大学などの教育機関、近隣市と連携し、使用できる施設やスポーツを指導する人材の確保などに取り組みます。			
関連する市の計画等	我孫子市スポーツ推進計画			
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	健康スポーツ普及事業			
	スポーツ振興事業			
	部活動の地域展開			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	25,285	0	令和5年度（年度末時点）		1.40	0.00
令和6年度	決算見込額	27,256	0	令和6年度（年度末時点）		1.70	0.00
令和7年度	当初予算額	38,008	0	令和7年度	4月1日時点	1.40	0.00
	補正後予算額	33,830	0				
	決算額	30,380	0		年度末時点	1.40	0.00
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	総合型地域スポーツクラブ会員数	人	目標値		500	500	500	500	500	500
			実績値	385	376	402	464	498		
活動 指標	スポーツ大会出場奨励金交付件数	件	目標値	150	200	200	200	200	200	200
			実績値	79	147	198	197	196		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	我孫子市スポーツ推進計画に則り、「誰もが生涯にわたってスポーツに親しむまち我孫子」の実現を目指し、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会など関係者団体と連携してスポーツイベントを実施することができました。また中学校の部活動地域移行（展開）では、県の実証事業を受託し、先導的に3つの部活動について休日の部活動を地域スポーツ指導者に委ね、課題点の整理ができました。民間スポーツ施設との連携では、夏期子ども向けプール開放事業を市内民間屋内プールを利用する形で実施し、利用者から大変好評でした。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	部活動の地域移行では、令和6年度から7年度にかけて、実証的に一部の部活動を対象とした地域クラブ活動を実施してきました。令和8年9月からは、休日に活動する全部活動を対象とした地域クラブ活動を開始します。 地域クラブ活動の管理・運営体制を構築するとともに、子どもたちのスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保できるよう取り組みを進めていきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	体育施設の管理運営	
	担当部署名	生涯学習部 文化・スポーツ課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	7－3 スポーツの振興	
	施策の展開内容	誰もが生涯にわたってスポーツに親しめる環境をつくるとともに、競技力向上への支援や指導者の育成、スポーツ施設の適正な維持管理と運営に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	安全で快適にスポーツができる環境を整備するため、市民体育館など市のスポーツ施設の適正な維持管理を行うとともに、新たな施設の整備について、民間活力の導入も含めて検討していきます。		
関連する市の計画等	我孫子市スポーツ推進計画、我孫子市民体育館長寿命化計画、我孫子市体育施設個別施設計画、第5次行政改革推進プラン（つくし野多目的運動広場管理運営、屋外運動施設のあり方検討）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指	五本松運動広場の整備	我孫子市民体育館第3駐車場拡張事業
		市民体育館維持補修事業	
		市民体育館改修事業	
		市民体育館管理運営	
		小中学生へのプール開放事業	
		学校体育施設開放事業	
		近隣市町との体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進	
		体育施設維持補修・改修（含む放射能対策）	
		武道施設の建設整備の検討	
継続費設定事業	五本松運動広場整備事業 R7～R8年度 1,257,200千円		
債務負担行為設定事業	五本松運動広場整備アドバイザー業務委託 R6～R7年度 4,470千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	188,701	0	令和5年度（年度末時点）	1.40 0.96
令和6年度	決算見込額	340,804	23,760	令和6年度（年度末時点）	1.70 0.96
令和7年度	当初予算額	654,115	0	令和7年度	4月1日時点 1.40 0.96
	補正後予算額	1,157,913	0		
	決算額	227,150	0		年度末時点 1.40 0.96
	次年度へ繰越	919,551	0		

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	学校開放の延べ利用人数（学校開放利用人数、プールの一般・団体開放の利用人数）	人	目標値		210,000	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000
			実績値	107,728	152,171	162,637	156,260	153,702		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	全般的には現在ある施設を活かし、安全・安心で快適なスポーツ環境の維持・管理に取り組むことができました。学校開放利用人数の減少は夏期に猛暑による利用控えが広がったことと、湖北小学校体育館の火災滅失に伴うものと分析しています。五本松運動広場の整備では、令和7年11月12日に事業者と契約を締結し、令和8年度中の竣工を目指し事業を進めて行きます。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	我孫子市スポーツ推進計画に基づき、安全・安心なスポーツ環境の整備と施設運営に継続的に取り組み、スポーツに親しむ環境を今後も維持していきます。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：鳥の博物館

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

1. 環境学習の推進

○地域の自然を客観的に理解できるよう、鳥類の科学を通じたグローバルな視点と、身近な鳥の生態観察を通じたローカルな視点との両面からの情報収集と提供を行います。

○鳥類標本の収集活動を行うとともに、収蔵標本の維持管理と情報提供に努めます。

○鳥類の生息状況調査を継続し、地域の自然環境の変化を捉えられるようにします。

○手賀沼周辺の自然環境を体験的に理解できるような環境学習活動を展開します。

○市民スタッフや鳥の博物館友の会会員を中心に、市民との協働事業を展開します。

2. 博物館の管理運営

○博物館施設の適切な維持管理に努めます。令和7年度は館内照明器具のLED化及び分電盤の更新工事を行います。

○鳥の博物館の活動を広く知ってもらうため、積極的に情報発信するとともに、博物館の魅力向上に努め、博物館の応援者を増やします。

○関連施設との交流・情報交換を行い、各方面に開かれた博物館を目指します。

3. 展示のリニューアル

○鳥の博物館展示リニューアル基本計画に基づき、今後の展示設計に向けて、展示リニューアルに係る詳細部分についての検討を進めていきます。また、展示リニューアルに向けてクラウドファンディング等を活用した財源確保の取組を進めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全ての取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

目標設定に従い、積極的な情報発信や充実した企画展・イベントを展開しました。その結果、平成29年以来8年ぶりに3万5千人を上回る入館者数を達成したことは評価できると考えます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

全面リニューアルは難しい状況であるため、「我孫子市鳥の博物館展示リニューアル基本計画」を基に、個別に更新を進めるとともに、財源確保策の検討を進める必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	鳥の博物館による環境学習の推進	
	担当部署名	生涯学習部 鳥の博物館	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	7－1 生涯学習の推進	
	施策の展開内容	地域の自然や文化に愛着を持ち、豊かな人生を送ることができるよう、市民一人ひとりの学ぶ意欲に応じて、さまざまな機会を提供するとともに、成果を地域に活かせる環境づくりに努めます。	
事務事業の目的 ・概要	・(公財)山階鳥類研究所と協力し、鳥類・自然環境に関する講座や講演を行うとともに、さらなる連携・交流を図ります。 ・博物館の魅力を向上させるため、新たな展示手法の導入と展示内容の充実を図ります。 ・鳥の博物館友の会や市民スタッフと連携し、博物館資料及び手賀沼周辺の環境フィールドを利用した調査やイベントの実施など、環境学習の推進を図ります。		
関連する市の計画等	第三次生涯学習推進計画、第5次行政改革推進プラン（鳥の博物館の展示リニューアルの検討と運営手法の見直し）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	指 鳥の博物館展示リニューアル事業		
	あびこ自然観察隊		
	てがたん		
	企画展の実施		
	室内啓発イベント		
	常設展の充実		
	鳥類生息状況調査		
	ジャパンバードフェスティバル		
	友の会・市民スタッフの活動支援		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	8,400	0	令和5年度（年度末時点）	2.60 1.30
令和6年度	決算見込額	9,182	0	令和6年度（年度末時点）	2.50 1.30
令和7年度	当初予算額	10,321	0	令和7年度	4月1日時点 2.30 1.30
	補正後予算額	10,984	0		
	決算額	10,520	0	令和7年度	年度末時点 2.50 1.30
	次年度へ繰越				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果 指標	観察会参加人数(てがたん・あびこ自然観察隊)	人	目標値		150	360	360	370	380	400
			実績値	114	201	190	271	324		
活動 指標	観察会開催数(てがたん・あびこ自然観察隊)	回	目標値	17	17	18	18	18	18	18
			実績値	11	16	15	19	21		
成果 指標	館内啓発イベント参加者数	人	目標値		400	400	400	500	500	500
			実績値	336	267	594	738	1,100		
活動 指標	館内啓発イベント回数	回	目標値		10	10	10	12	12	12
			実績値	6	8	12	12	27		
活動 指標	ミュージアムショップの売り上げ額	千円	目標値	3,500	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
			実績値	4,418	4,774	3,592	3,900	6,329		
活動 指標	講習会参加者数（サイエンストーク・鳥学講座・ゲストーク）	人	目標値		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			実績値	1,489	980	1,035	908	841		
成果 指標	市民スタッフの登録者数	人	目標値		25	25	25	27	27	30
			実績値	21	21	22	19	29		

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	山階鳥類研究所と連携し、鳥類・自然環境に関する講座を開催するとともに、市民スタッフや関係団体と協力して手賀沼周辺の環境を活用した観察会などを実施することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	関係団体や市民スタッフと連携し、引き続き魅力的なイベントの開催や情報発信に努め、環境学習の推進を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	鳥の博物館の管理運営	
	担当部署名	生涯学習部 鳥の博物館	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	7－1 生涯学習の推進	
	施策の展開内容	地域の自然や文化に愛着を持ち、豊かな人生を送ることができるよう、市民一人ひとりの学ぶ意欲に応じて、さまざまな機会を提供するとともに、成果を地域に活かせる環境づくりに努めます。	
事務事業の目的 ・概要	・鳥の博物館の施設・設備を適切に維持管理するとともに資料の充実を図ります。 ・日本産鳥類全種の剥製標本及び骨格標本のコレクションを完成させ、適切に維持管理を行っていきます。		
関連する市の計画等	第三次生涯学習推進計画、個別施設計画・我孫子市公共施設保全計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	図書・映像資料の整理とデータ作成		
	鳥類標本・資料の収集		
	ミュージアムショップの充実		
	博物館施設設備の維持管理		
	指 鳥の博物館改修工事		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	49,014	0	令和5年度（年度末時点）		1.80	5.00
令和6年度	決算見込額	127,829	50,888	令和6年度（年度末時点）		1.80	5.00
令和7年度	当初予算額	29,789	0	令和7年度	4月1日時点	1.60	5.00
	補正後予算額	28,977	0				
	決算額	27,245	0		年度末時点	2.00	5.00
	次年度へ繰越						

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果 指標	収蔵標本数	点	目標値	3,700	3,750	4,100	4,200	4,300	4,400	4,500
			実績値	3,710	3,869	3,946	4,052	4,111		
成果 指標	標本の3Dデータ作製数	点	目標値	3	6	20	35	40	45	50
			実績値	5	7	2	21	12		
活動 指標	年間開館日数	日	目標値	308	308	210	309	308	308	308
			実績値	308	308	188	187	299		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	目標未達ではありますが、全体としては積極的な資料の収集及び整理に努め、適切な維持管理を行うことができました。 施設管理については、館内のうち展示ケース内を除く箇所の蛍光灯照明を使用している電灯設備のLED化及び分電盤の更新工事を実施しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	収蔵している資料や3Dプリンタで作製した標本模型をイベントなど様々な方法で活用していきます。 我孫子市鳥の博物館長寿命化計画に基づき、適切に改修や修繕を実施していく必要があります。

令和7年度
課の目標管理書

課 名：図書館

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

1. 図書館の利用促進

市民の生涯学習を支援するため、また読書バリアフリーの視点で図書館を運営します。

新たに小さな規模の移動図書館車を導入し、現存の移動図書館車と併せて活用を進めるとともに、昨年度導入した電子図書館サービスの利用推進を図ります。

市民が読書に親しめるよう、ホームページ等を活用した情報発信・魅力発信・利用促進を行います。

2. 子どもの読書活動の推進

第二次となる子どもの読書活動推進計画に基づき、学校図書館との連携を軸に学習活動における子どもたちの自主的な読書活動を支援します。

子ども部等との連携による読書活動を広げる取り組みを行います。

3. 図書館の管理運営

市民が生涯学習活動の場として、安全安心に利用ができるよう施設の維持・管理・修繕を計画的に実施します。

湖北台分館等において、湖北台地区公共施設の整備方針の第2期整備に備え、引き続き市民の意見・要望を収集していきます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

1. ミニ移動図書館めるへん号を活用し、学校巡回や保育園に貸出等を実施することができました。あびこ電子図書館サービスをPRするため学校やアピスタで使い方ガイダンスを実施、利用促進を図りました。

2. 子どもの読書活動推進計画の進行管理を行いました。学校図書館・市民図書館連絡会議を実施、事業の核となる学校との連携を図ることができました。

3. 「我孫子市民図書館長寿命化計画」に基づいて我孫子市民図書館布佐分館防災設備改修工事等を行うとともに必要となった緊急修繕に対応しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

・今後も学校図書館との連携を軸に学習活動における子どもたちの自主的な読書活動を支援する必要があります。あびこ電子図書館サービス、ミニ移動図書館めるへん号を活用してもらえるようにPRに努め、利用者の拡充を図っていきます。

・湖北台地区公共施設の整備方針の第2期整備に備え、引き続き市民の意見・要望を収集していく必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子どもの読書活動の推進	
	担当部署名	生涯学習部 図書館	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3－4 心豊かにする体験・活動の推進	
	施策の展開内容	子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、さまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	読書の楽しみを広げるとともに、学習活動における図書館利用の促進を図り、小中学校と連携・協力し、学校図書館の充実と調べ学習のバックアップ体制を整えます。		
関連する市の計画等	我孫子市第三次生涯学習推進計画 我孫子市子どもの読書活動推進計画（第二次）		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	児童へのサービス		
	我孫子市子どもの読書活動推進計画（第二次）の進行管理		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
						正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	3,461	0	令和5年度（年度末時点）		1.45	1.40
令和6年度	決算見込額	3,202	0	令和6年度（年度末時点）		1.60	1.20
令和7年度	当初予算額	3,168	0	令和7年度	4月1日時点	1.30	1.10
	補正後予算額	3,155	0				
	決算額	2,996	0		年度末時点	1.30	1.10
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	文字活字文化の日関連事業よむよむラリーの ゴール数	枚	目標値	1,525	1,530	1,535	1,700	1,700	1,700	1,700
			実績値	1,768	2,050	1,679	2,215	1,922		
成果 指標	児童書年間貸出冊数	冊	目標値	130,688	130,800	130,900	180,000	180,000	180,000	180,000
			実績値	176,688	187,177	174,683	167,531	156,842		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	指標の「児童書貸出数」（紙の本の貸出数）は減少しているが、理由として、小中学校のクラス数が減っていることや学校巡回が雨や学校行事の関係で減ってしまったこと、その一方で電子図書館サービス（事務事業名：図書館利用の促進）の普及を図るため、司書が学校に出向き、使い方がガイドンスを実施、児童書よみ放題バック等をPRして利用の促進を図っているためと考えられる。児童へのサービスは、学校との連携や調べ学習支援、移動図書館の学校巡回が重要になることから、これらの事業について、計画を念頭に実施できたことから、順調と評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	ひとりでも多くの子どもに読書普及を実施するための事業であり、引き続き計画に基づき、学校等と連携しながら、子どもへの読書活動を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	図書館の管理運営	
	担当部署名	生涯学習部 図書館	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	7－1 生涯学習の推進	
	施策の展開内容	地域の自然や文化に愛着を持ち、豊かな人生を送ることができるよう、市民一人ひとりの学ぶ意欲に応じて、さまざまな機会を提供するとともに、成果を地域に活かせる環境づくりに努めます。	
事務事業の目的 ・概要	・各図書館、移動図書館の維持管理・運営形態について、我孫子市公共施設等総合管理計画との整合性を図りながら、今後の老朽化を見据えて修繕や買い替え等を計画的に進め、安全で快適な読書環境を提供していきます。 ・市民の自主的な学習活動を支援し、発表する場の提供をおこないます。		
関連する市の計画等	我孫子市第三次生涯学習推進計画 我孫子市民図書館長寿命化計画 我孫子市公共施設等総合管理計画		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	布佐分館会議室の提供（通年）		
	布佐分館ミニギャラリーの提供（随時）		
	アピスタ本館床面修繕		
	布佐分館・湖北台分館清掃委託		
	布佐分館防災設備改修工事		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	75,838	0	令和5年度（年度末時点）	0.65 0.20
令和6年度	決算見込額	15,510	0	令和6年度（年度末時点）	0.60 0.20
令和7年度	当初予算額	17,763	0	令和7年度	4月1日時点 1.00 0.20
	補正後予算額	17,497	0		
	決算額	17,375	0		
	次年度へ繰越	0	0	年度末時点	1.00 0.20

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	布佐分館会議室の利用回数（年間）	回	目標値	111	112	113	120	120	120	120
			実績値	96	169	57	59	34		
成果 指標	施設の安全性達成率	%	目標値	100	100	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100	100		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	「我孫子市民図書館長寿命化計画」に基づいて予定していた修繕を実施するとともに、緊急対応が必要な修繕を実施し、安全安心に利用できる施設の維持ができたことから順調と評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も安全で安心な施設を維持するため「我孫子市民図書館長寿命化計画」に基づき改修や修繕を実施していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	図書館の利用促進	
	担当部署名	生涯学習部 図書館	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	7－1 生涯学習の推進	
	施策の展開内容	地域の自然や文化に愛着を持ち、豊かな人生を送ることができるよう、市民一人ひとりの学ぶ意欲に応じて、さまざまな機会を提供するとともに、成果を地域に活かせる環境づくりに努めます。	
事務事業の目的 ・概要	・図書館では、市民の生涯学習を支援するため、蔵書の充実を図るとともに、電子書籍の導入に向けた取組とインターネットを活用した情報提供を進めていきます。 ・市民が読書に親しめるよう、ホームページなどを利用した情報発信による読書普及や移動図書館の活用を推進していきます。		
関連する市の計画等	我孫子市第三次生涯学習推進計画 湖北台地区公共施設の整備方針第2期整備		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	カウンターサービス（貸出・返却・予約・案内・調べもの・配架等）		読書普及活動（講師派遣・出前講座）
	ハンディキャップサービス（図書館利用に障害がある方へのサービス）		図書館の情報化推進
	成人・青少年へのサービス		図書館資料管理
	移動図書館業務（委託）		電子図書館サービスの導入
	市外図書館・大学・関連機関との連携協力	指	ミニ移動図書館めるへん号導入・活用事業
	図書館PR		
	施設・団体への貸出サービス		
	実習生受け入れ・施設見学（一般・児童・生徒）		
	郷土行政資料サービス		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	市民図書館システム提供業務委託 R3～R8 163,560千円		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和5年度	決算額	61,860	0		
令和6年度	決算見込額	69,729	0		
令和7年度	当初予算額	70,924	0		
	補正後予算額	67,319	0		
	決算額	67,093	0		
	次年度へ繰越	0	0		

年度		人工	
		正職員	会計年度等
令和5年度（年度末時点）		7.61	26.70
令和6年度（年度末時点）		6.60	25.80
令和7年度	4月1日時点	7.60	25.80
	年度末時点	7.60	25.80

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動 指標	年間貸出利用者数（12歳以下、団体は除く）	人	目標値	167,133	168,000	168,000	250,000	250,000	250,000	250,000
			実績値	222,374	238,014	226,641	220,267	210,745		
活動 指標	移動図書館貸出冊数	冊	目標値	19,965	20,000	20,100	47,000	47,000	47,000	47,000
			実績値	42,014	52,299	46,454	45,448	42,598		
成果 指標	人口一人当たりの貸出冊数	冊	目標値	5.2	5.5	5.8	6.0	6.0	6.0	6.0
			実績値	6.9	6.2	6.7	5.5	6.0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
順調	ミニ移動図書館を滞りなく導入することができました。令和6年に導入した電子図書館サービスを活用し、紙の本だけではなく電子書籍での読書普及にも力を入れて事業を実施、ハンディキャップサービスでは、読書バリアフリーの観点を念頭に事業を実施できたことから、順調と評価しました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	本事業は図書館サービスの根幹となることから、紙の本および電子書籍の提供を継続し、市民の生涯学習が支援できるよう読書環境の充実に取り組む必要があるため現状通り推進していきます。

部 局 名	議会事務局
部 局 長 名	佐野 哲也
部の運営方針	○安定した議会運営の推進 執行機関との綿密な調整を行い、安定した議会運営に努めます。 ○活発な議会審議の推進 議会基本条例に沿った議会運営をサポートするとともに、本会議・委員会審議の充実のための情報収集、情報提供を積極的行います。 また、議会ペーパーレスシステムの導入に伴い、議会DXによる効率かつ円滑な議会運営を推進していきます。 ○身近な議会の実現 読みやすくわかりやすい議会だよりの発行及びインターネット中継など、ホームページを活用した議会情報の発信を積極的行います。 また、議会報告会などオンライン会議での開催について研究していきます。 ○広域な議会連携活動の強化 全国・関東・千葉県市議会議長会に参加して、広域的な情報交換を行うとともに、議会活動の連携強化に努めます。

部 局 名	議会事務局
部 局 長 名	佐野 哲也
部の運営方針 に対する総合 評価	○安定した議会運営の推進 企画総務部をはじめとする執行機関との綿密な調整を行い、事前準備を徹底することで、的確な本会議及び委員会を運営することができました。 ○活発な議会審議の推進 議会基本条例に沿った議会運営をサポートすることができた。また、議会ペーパーレスシステムを活用し、効率かつ円滑な議会運営を推進しました。 ○身近な議会の実現 迅速な議会情報の提供に努め、わかりやすく、読みやすい議会だよりの発行・インターネット中継の発信を行いました。 ○広域な議会連携活動の強化 東葛・千葉県・関東・全国の市議会議長会に参加し、広域的な情報交換を行ったことで、議会活動の連携を強化することができました。

部 局 名	監査委員事務局
部 局 長 名	津川 雄飛
部の運営方針	【効果的な監査等の推進】 ○市の行財政運営の健全性と透明性を確保し、もって住民福祉の増進と市政に対する信頼確保を図るため、法令や我孫子市監査基準等に基づき、常に独立的かつ客観的な立場で公正不偏の態度を保持し、合规性や正確性はもとより、経済性、効率性及び有効性の視点を踏まえ、リスクに着目した監査を行います。さらに、監査結果や監査委員の意見を公表します。 ○定期監査では、公正で合理的かつ効率的な行財政運営が図られるよう、重点監査事項を設けながら、予算の執行や契約事務の適正化、組織運営の合理化、財源の有効活用などの状況について監査を行います。なお、監査結果における指摘・指導事項等から対象事務の改善を求め、事務処理誤りが発生しない執行部組織の体制づくりに寄与するよう、より実効性のある監査を行います。 ○決算審査では、予算の執行や事業経営が適正かつ効率的に行なわれているか、また、決算書等の関係書類が正確に作成されているかなどの状況について審査を行います。併せて市の財政運営や公営企業経営の健全性を判断するため、健全化判断比率と水道事業会計・下水道事業会計の資金不足比率の審査を行います。 ○財政援助団体等の監査では、公の施設の管理者（指定管理者）や市の出資団体等に対し、財務事務等が適正かつ効率的に執行されているかなど状況について監査を行います。 ○現金出納検査では、市の一般会計及び特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計に係る現金の出納及び保管事務について、毎月、適正に執行及び管理されているかなどの状況について検査します。 【事務改善の支援】 ○監査結果における指摘・指導事項等については、的確に対象事務が改善されるよう継続的なフォローアップを行います。なお、必要に応じて、職員研修の実施や事務処理ルールの見直しなどについて提言し、さらなる内部統制の充実・強化に取り組んでいきます。 【組織体制の充実】 ○監査委員の事務を補助する事務局職員については、より適切で実効性のある監査が実施できるよう、研修会への積極的な参加や他自治体との情報連携を図りながら職員の専門性の向上や機能的な監査組織の構築に向け、組織体制の充実・強化に取り組んでいきます。

部 局 名	監査委員事務局
部 局 長 名	津川 雄飛
部の運営方針 に対する総合 評価	部の運営方針に掲げた監査等については、令和7年4月1日に監査の基本方針や実施方針等を記載した「令和7年度監査計画」に基づき、次のとおり監査等を実施し、その結果を公表しました。引き続き、常に独立的かつ客観的な立場で公正な監査等が行えるよう、事務局職員の研修会への積極的な参加や他市等との連携を図り、監査に係わる情報を収集するなど監査事務の充実に努めていきます。 (1) 定期監査 期間：令和8年1月15日から令和8年2月5日まで 対象：全部局（全課） (2) 財政援助団体監査 ①出資団体 期日：令和7年8月8日 対象：我孫子市土地開発公社（主管課：財政課） ②財政援助団体等 期日：令和7年8月26日から令和7年11月27日まで 対象：我孫子インフォメーションセンター指定管理者（主管課：商業観光課） (3) 決算審査 ①一般会計・特別会計 期間：令和7年6月13日から令和7年8月8日まで 対象：一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計 ②公営企業会計 期間：令和7年6月13日から令和7年8月8日まで 対象：下水道事業会計、水道事業会計 (4) 基金運用状況審査 期間：令和7年6月13日から令和7年8月8日まで 対象：修学資金貸付基金、高額療養費貸付基金、国保出産費資金貸付基金 (5) 健全化判断比率審査 期間：令和7年8月5日から令和7年8月8日まで 対象：実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質交際費比率及び将来負担比率並びにその算出の基礎となる事項を審査 (6) 資金不足比率審査 期間：令和7年8月5日から令和7年8月8日まで 対象：下水道事業会計及び水道事業会計の資金不足及びその算定の基礎となる事項を審査 (7) 例月現金出納検査 期日：原則として毎月27日 対象：一般会計・特別会計、下水道事業会計、水道事業会計

部 局 名	選挙管理委員会事務局
部 局 長 名	高見澤 隆
部の運営方針	【選挙の執行】 ○令和 7 年 7 月に任期満了の参議院議員選挙に備えるとともに、適正な選挙の執行に努めます。 【投票環境の整備】 ○投票しやすい環境づくりを進めるため、引き続き投票区の見直し、投票所の変更及び期日前投票所の見直し等を検討し、適切な投票環境の向上に努めます。 【選挙啓発】 ○明るい選挙推進協議会と連携し、引き続き地道な啓発活動に努めるとともに、小・中・高校生を中心とした主権者教育や、これまで実施してきた L I N E ・ F a c e b o o k での啓発に加え、令和 6 年度より新たに開始した公式 X を活用した啓発活動の実施により、若年層の選挙への関心を高める取組を進めます。また、正しい選挙運動の周知に引き続き努めます。

部 局 名	選挙管理委員会事務局
部 局 長 名	高見澤 隆
部の運営方針 に対する総合 評価	【選挙の執行】 ○令和7年7月20日執行の参議院議員通常選挙においては、適正な選挙の執行に努め、問題なく終えることができました。 令和8年2月8日執行の衆議院議員総選挙においては、任期満了を待たない急な解散による選挙かつ執行日までの準備期間が非常に短い中での選挙執行となりました。期日前投票期間において、他市の選挙人名簿に登録されている選挙人が来場し、不在者投票を行ったところ、本来であれば選挙人の請求先である選挙区に送致すべきところ、誤って本市の期日前投票所の投票箱に投函させてしまった事務誤りがありましたので、再発防止に向けてマニュアル等の見直しを行いました。 【投票環境の整備】 ○引き続き必要な投票環境の整備を行っていきます。 【選挙啓発】 ○明るい選挙推進協議会と連携し、「あびこん創業祭」、「げんきフェスタ」、「新産業まつり」での啓発活動を実施しました。参議院議員通常選挙時には我孫子・天王台・湖北・新木・布佐の各地区で啓発活動を実施しました。また、衆議院議員総選挙時には、準備期間が非常に短かったため、我孫子駅周辺での啓発活動を実施しました。 ○市内小・中学校を対象に明るい選挙啓発ポスター・標語コンクールの実施や、市内の小学校1校、中学校4校、特別支援学校2校に選挙用備品の貸出をしました。 ○令和6年5月から開設した、Xの選挙管理委員会アカウントにて、選挙に関する情報の発信を行いました。

部 局 名	農業委員会
部 局 長 名	大井 一郎
部の運営方針	・ 農業委員会等に関する法律の趣旨を踏まえ、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、農地等の利用の最適化（担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進）に努めます。 ・ 農地の売買や転用について、農業者を代表する機関として、公平・公正に審査します。 ・ 農政課と連携し、農業の担い手の育成に努めるとともに、農業後継者の確保に取り組みます。 ・ 遊休農地や無断転用の発生・防止に努めます。 ・ 農業における女性リーダーの育成、複数の女性農業委員と農地利用最適化推進委員の登用促進に向けた取り組みを進めます。

部 局 名	農業委員会
部 局 長 名	大井 一郎
部の運営方針 に対する総合 評価	・ 農業委員会等に関する法律の趣旨を踏まえ、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、農地等の利用の最適化（担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進）に努めました。 ・ 農地の売買や転用について、農業者を代表する機関として、公平・公正に審査しました。 ・ 農政課と連携し、農業の担い手の育成に努めるとともに、農業後継者の確保に取り組みました。 ・ 遊休農地や無断転用の発生・防止に努めました。 ・ 農業における女性リーダーの育成、複数の女性農業委員と農地利用最適化推進委員の登用促進に向けた取り組みを進めました。

令和 8 年第 3 回市議会定例会提出予定議案

	議 案	議 案 要 旨
議案 1	我孫子市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	人事院規則の一部改正により、災害発生時の応急作業等に従事した国家公務員に支給される手当の額が引き上げられたことを考慮し、防災作業手当及び緊急消防援助隊出動手当の額を改めるもの 【人事課】
議案 2	我孫子市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	行政手続法の一部改正を踏まえ、公示送達をインターネットを使用する方法等により行うこととするもの 【行政管理課】
議案 3	我孫子市集会施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	令和 9 年 3 月 3 1 日をもって湖北台市民センターを閉館すること、布佐南近隣センターのテニスコートに係る夜間利用の開始時期を 5 月に繰り上げること及び条文を整備するもの 【市民協働推進課】
議案 4	我孫子市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方自治法施行規則の一部改正に伴い、引用している同規則の条項にずれが生じたこと等により、条文を整備するもの 【市民協働推進課】
議案 5	我孫子市障害者福祉センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	施設の老朽化が進んでいること、及び社会福祉法人等が運営する民間の障害福祉サービス事業所によるサービス提供体制が整ってきたことに伴い、事業を終了する見込みが立ったことから、障害者福祉センターを廃止するもの 【障害者支援課】
議案 6	我孫子市中小企業資金融資条例の一部を改正する条例の制定について	産業競争力強化法の一部改正に伴い、引用している同法の条項にずれが生じたことから、条文を整理するもの 【企業立地推進課】
議案 7	我孫子市都市計画審議会条例の一部を改正する条例の制定について	我孫子市議会議員定数条例の一部改正により、市議会議員の定数が次の一般選挙から減員されることを踏まえ、市議会議員のうちから任命する都市計画審議会委員の人数を減員するもの 【都市計画課】

議案 8	我孫子市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	定年延長制度導入への対応、育児休業取得などワーク・ライフ・バランスの推進及び消防学校等研修に伴う代替職員の確保を図り、消防力を維持・強化していくために消防職員の定数を増員するもの 【消防本部総務課】		
議案 9	我孫子市水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	地方自治法の一部改正に伴い、引用している同法の条項にずれが生じたことから、関係条例の条文を整理するもの 【経営課・下水道課・監査委員事務局】		
議案 10	我孫子市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例の制定について	現在、学校ごとに管理している学校給食費について、市が管理する一般会計に移行することにより、教職員の業務負担を軽減するとともに、会計の透明性の向上、公平性の確保及び学校給食の安定的な実施を図るもの 【学校教育課】		
議案 11	令和 8 年度我孫子市一般会計補正予算（第 2 号）	補正前の額 51,524,000	補正予算額 168,000	計（千円） 51,692,000 【財政課】
議案 12	令和 8 年度我孫子市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	補正前の額 11,718,000	補正予算額 158,454	計（千円） 11,876,454 【国保年金課】
議案 13	令和 8 年度我孫子市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	補正前の額 14,520,000	補正予算額 503,899	計（千円） 15,023,899 【高齢者支援課】
議案 14	令和 8 年度我孫子市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	補正前の額 3,282,000	補正予算額 21,261	計（千円） 3,303,261 【国保年金課】
議案 15	令和 8 年度我孫子市下水道事業会計補正予算（第 1 号）	既決予定額 収益的収入 3,226,164 収益的支出 2,887,188 資本的収入 2,339,369 資本的支出 2,958,851	補正予定額 13,869 60,769 16,106 △9,389	計（千円） 3,240,033 2,947,957 2,355,475 2,949,462 【下水道課】

議案 16	令和 8 年度我孫子市水道事業会計補正予算（第 2 号）	既決予定額 収益的收入 3, 493, 069 収益的支出 2, 974, 104 資本的收入 1, 184, 360 資本的支出 2, 346, 194	補正予定額 9, 980 △5, 483 0 1, 940	計（千円） 3, 503, 049 2, 968, 621 1, 184, 360 2, 348, 134	【経営課】
議案 17	令和 7 年度我孫子市一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入 52, 182, 590	歳出 51, 152, 457	差引額 1, 030, 133	繰越財源 405, 769 実質収支(千円) 624, 364 【財政課】
議案 18	令和 7 年度我孫子市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 11, 499, 010	歳出 11, 339, 625	差引額 159, 385	繰越財源 0 実質収支(千円) 159, 385 【国保年金課】
議案 19	令和 7 年度我孫子市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 13, 424, 796	歳出 12, 925, 667	差引額 499, 129	繰越財源 0 実質収支(千円) 499, 129 【高齢者支援課】
議案 20	令和 7 年度我孫子市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入 2, 902, 026	歳出 2, 875, 490	差引額 26, 536	繰越財源 0 実質収支(千円) 26, 536 【国保年金課】
議案 21	令和 7 年度我孫子市下水道事業会計剰余金の処分及び歳入歳出決算の認定について	○剰余金の処分 未処分利益剰余金残高 731, 872 千円 資本金への組入 △360, 000 千円 減債積立金の積立 △371, 000 千円 処分後残高 872 千円 ○決算 収入 支出 差引額(千円) 収益的収支 3, 130, 621 2, 695, 872 434, 749 資本的収支 1, 620, 330 2, 061, 333 △441, 003 【下水道課】			

議案 22	令和 7 年度我孫子市水道事業会計剰余金の処分及び歳入歳出決算の認定について	○剰余金の処分 <table><tr><td>未処分利益剰余金残高</td><td>96,960 千円</td></tr><tr><td>資本金への組入</td><td>△85,960 千円</td></tr><tr><td>建設改良積立金の積立</td><td>△11,000 千円</td></tr><tr><td>処分後残高</td><td>0 千円</td></tr></table> ○決算 <table><tr><td></td><td>収入</td><td>支出</td><td>差引額(千円)</td></tr><tr><td>収益的収支</td><td>2,908,801</td><td>2,621,106</td><td>287,695</td></tr><tr><td>資本的収支</td><td>895,682</td><td>2,055,843</td><td>△1,160,161</td></tr></table> 【経営課】	未処分利益剰余金残高	96,960 千円	資本金への組入	△85,960 千円	建設改良積立金の積立	△11,000 千円	処分後残高	0 千円		収入	支出	差引額(千円)	収益的収支	2,908,801	2,621,106	287,695	資本的収支	895,682	2,055,843	△1,160,161
未処分利益剰余金残高	96,960 千円																					
資本金への組入	△85,960 千円																					
建設改良積立金の積立	△11,000 千円																					
処分後残高	0 千円																					
	収入	支出	差引額(千円)																			
収益的収支	2,908,801	2,621,106	287,695																			
資本的収支	895,682	2,055,843	△1,160,161																			
報告 1	令和 7 年度我孫子市継続費精算報告書の報告について	我孫子市一般会計の継続費に係る継続年度が終了したので、地方自治法施行令第 1 4 5 条第 2 項の規定により報告するもの 対象事業及び会計 ・電算管理運営費 一般会計 款 2 総務費 項 1 総務管理費 全体計画額 総額 21,258,000 円 実績 額 総額 21,257,500 円 ・排水施設維持補修費 一般会計 款 7 土木費 項 3 都市計画費 全体計画額 総額 1,124,671,000 円 実績 額 総額 1,124,670,800 円 ・湖北小学校屋内運動場再建事業（解体工事） 一般会計 款 9 教育費 項 2 小学校費 全体計画額 総額 54,890,000 円 実績 額 総額 54,890,000 円 ・湖北小学校屋内運動場再建事業（建設工事設計業務） 一般会計 款 9 教育費 項 2 小学校費 全体計画額 総額 28,310,000 円 実績 額 総額 28,309,600 円 【財政課】																				

報告 2	令和 7 年度我孫子市下水道事業会計継続費精算報告書の報告について	我孫子市下水道事業会計の継続費に係る継続年度が終了したので、地方公営企業法施行令第 18 条の 2 第 2 項の規定により報告するもの 対象事業及び会計 ・下水道事業経営戦略策定事業 下水道事業会計 款 1 下水道事業費用 項 1 営業費用 全体計画額 総額 15,323,000 円 実績額 総額 12,309,000 円 ・布佐排水区の整備（雨水幹線整備工事（6 工区）分） 下水道事業会計 款 1 資本的支出 項 1 建設改良費 全体計画額 総額 303,000,000 円 実績額 総額 301,169,000 円 【下水道課】
報告 3	令和 7 年度我孫子市水道事業会計継続費精算報告書の報告について	我孫子市水道事業会計の継続費に係る継続年度が終了したので、地方公営企業法施行令第 18 条の 2 第 2 項の規定により報告するもの 対象事業及び会計 ・湖北台浄水場非常用発電機更新工事 水道事業会計 款 1 資本的支出 項 2 改良事業費 全体計画額 総額 657,613,000 円 実績額 総額 619,080,000 円 ・圧力末端局更新工事 水道事業会計 款 1 資本的支出 項 2 改良事業費 全体計画額 総額 132,000,000 円 実績額 総額 124,410,000 円 【経営課】

報告 4	令和 7 年度我孫子市健全化判断比率等の報告について	令和 7 年度我孫子市健全化判断比率及び資金不足比率について、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項及び第 2 2 条第 1 項の規定により報告するもの 実 質 赤 字 比 率 — % 連結実質赤字比率 — % 実質公債費比率 2 . 4 % 将 来 負 担 比 率 — % 資 金 不 足 比 率 我孫子市下水道事業会計 — % 我孫子市水道事業会計 — % 【財政課】
------	----------------------------	---

新型インフルエンザ等発生時の

我孫子市業務継続計画

平成21年9月

令和8年8月(改訂)

我 孫 子 市

1 策定の趣旨

感染症は、ウイルスや細菌などの病原体によって、発熱等の様々な症状が引き起こされる疾病であり、人から人のほか、動物や昆虫等から感染する感染症もある。

このうち、新型インフルエンザは、季節性インフルエンザのウイルスとは抗原性（免疫上の特性）が大きく異なる新型のウイルスが出現することにより発生する。新型インフルエンザに対しては、ほとんどの人が免疫を獲得していないため、世界的な大流行（パンデミック）となり、大きな健康被害とそれに伴う深刻な社会的経済的ダメージをもたらすことが懸念される。

平成21年に新型インフルエンザが世界的に大流行（パンデミック）したことを受け、『新型インフルエンザ等発生時の我孫子市業務継続計画（以下「業務継続計画」という。）』を策定した。

新型インフルエンザ等を含む感染症の発生時には、本人のり患や家族の世話や看護等のため、出勤できなくなる人が多数発生し、市においても職員の出勤率が大きく低下することが見込まれる。

このような状況下においても、市民の生命・健康を守るとともに、パンデミック時における社会・経済の破綻を防止するため、優先して実施すべき新型インフルエンザ等対策に関する業務（以下『新型インフルエンザ等対応業務』という。）と最低限の市民生活を維持するため継続しなければならない通常業務（以下「優先継続業務」という。）を特定するとともに、新型インフルエンザ等対応業務及び優先継続業務（以下「発生時優先業務」という。）を実施するために必要となる職員の確保・配分等について定める。

なお、令和元年12月以降、中国湖北省武漢市において、新型コロナウイルス感染症の発生が確認され、世界的に感染が拡大した。令和2年3月には新型インフルエンザ等対策特別措置法（以下「特措法」という。）が一部改正され、新型コロナウイルス感染症を新型インフルエンザ等とみなして法の適用がされたが、令和3年2月には、特措法及び「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」という。）が一部改正され、新型インフルエンザ等感染症に新型コロナウイルス感染症が追加された。

令和5年5月8日から、当該新型コロナウイルス感染症の位置づけは五類感染症に変更されたが、感染症によって引き起こされるパンデミックに対し、危機管理として社会全体で対応する必要があることが浮き彫りとなった。

こうした状況を踏まえ、業務継続計画は、特措法で定義された新型インフルエンザ等を基本とするものだが、新型インフルエンザ等以外の感染症（一～五類感染症等）についても対象とし、業務継続計画の基本的な考え方、発生時優先業務等において活用する。

今般、『我孫子市新型インフルエンザ等対策行動計画（以下「行動計画」という。）』の改定を受け、多様で柔軟な働き方の考え方や、新型コロナウイルス感染症対策として行われた事項等の見直しを行い、業務継続計画の改正を行った。

次なる感染症危機の到来の備えとするため、今後も必要に応じて見直しを行っていくこととする。

2 業務継続計画で対象とする感染症

「行動計画」を基に、業務継続計画で対象とする感染症は次のとおりとする。ただし、対象の感染症以外の感染症が発生した際も業務継続計画を活用し、市の業務継続体制の確保に努めるものとする。

なお、発生した感染症ごとに想定される被害や具体的な対応業務は異なることから、状況を踏まえた対応の検討も必要となる。

- (1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）（以下「感染症法」という。）第6条第7項に規定する新型インフルエンザ等感染症
- (2) 感染症法第6条第8項に規定する指定感染症で、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、全国的かつ急速なまん延のおそれのあるもの
- (3) 感染症法第6条第9項に規定する新感染症で、全国的かつ急速なまん延のおそれのあるもの

3 計画の目標

新型インフルエンザ等が発生した場合において、感染拡大を可能な限り抑制し、市民の生命及び健康を保護することと、市民生活及び地域経済に及ぼす影響が最少となるようにすることを目標とする。

このため、発生時優先業務に、必要とされる人員等の資源を組織的に集中して投入し、市民生活に必要な行政サービスを確保する。

4 新型インフルエンザ等と震災との違い

必要となる業務を確実に遂行しなければならない点では、新型インフルエンザ等も震災も同様だが、その被害状況、影響度及び期間等は大きく異なる。

震災による被害は、人的被害のほか、建物・設備など地域の生活・産業基盤全般にも被害が及ぶのに対し、新型インフルエンザ等による被害は、人的被害が長期化することで地域経済に大きな影響を与える。

このため、震災では、速やかに業務を復旧させることが中心であるのに対し、新型インフルエンザ等では、限られた人員により必要な業務を継続することが求められる。

新型インフルエンザ等と震災の被害（影響）の比較は、表1のとおり。

（表1）新型インフルエンザ等と震災の被害（影響）の比較

項目	新型インフルエンザ等	震災
発生	・海外での発生した場合、国内発生までの間、準備が可能 ・被害規模は感染対策により左右される	突然発生する
直接的な被害の内容	主として、人への健康被害が大きい	人に対する被害に加え、道路・鉄道・建物・施設・設備等への被害が大きい
地理的な影響	被害が国内全域、全世界的になる（自然災害時に想定される対応である代替施設での業務が不確実）	被害が地域限定的であり、被災地外からの支援が可能
被害期間	病原体の変異による病原性や感染性の変化及びこれらに伴う感染拡大の繰り返しや対策の長期化の可能性があり、過去事例等から想定する影響予測が困難	一定期間は余震発生のおそれが大きくなるものの、強い揺れによる直接的な被害は比較的短期間で収束

5 「行動計画」との関係

「行動計画」は特措法に基づき、新型インフルエンザ等による感染症危機が発生した場合に、感染拡大を可能な限り抑制することで市民の生命及び健康を保護し、市民生活及び地域経済に及ぼす影響が最小となるよう、平時の準備や感染症発生時の対策の内容を示すものとして定めている。

「業務継続計画」は、市が、人員等の資源が制約された状況下において、市民生活に必要な行政サービスを維持するため、発生時優先業務を特定するとともに、当該業務の実施を確保するために必要な事項を定める。

「行動計画」に基づき市が行う対応業務は、「業務継続計画」で定める発生時優先業務の中核となる。

6 計画策定の効果

- (1) 市が新型インフルエンザ等の業務遂行を円滑に行う体制を構築することにより、市全体の対応力を高めることができる。
- (2) 「業務継続計画」は、強毒性の新型インフルエンザ等の発生を想定したものだが、状況に合わせて「業務継続計画」を弾力的・機動的に類推して適用することにより、弱毒性の新型インフルエンザ等や、その他の感染症の発生への対応が可能となる。

7 前提となる被害状況の想定

新型インフルエンザ等の流行が国民の生命及び健康や社会経済活動等に与える影響は、病原性や感染性等に左右されるものであり、正確に予測することはできない。

このため、新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症以外の呼吸器感染症も念頭に、中長期的に複数の感染の波が生じることも想定している。

社会経済への影響の規模の目安として、職員の最大40%程度（※）が出勤できないことを想定して、「業務継続計画」を策定する。

※「新型インフルエンザ等対応中央省庁業務継続ガイドライン令和6年9月27日」に記載されている想定を適用。（米国の国土安全保障会議や労働安全衛生局のガイドライン等において、従業員の欠勤率が最大40%と想定されていることを踏まえたものとされている）

8 感染症発生時の優先業務

- (1) 業務継続の基本方針

市の業務は、次の方針に基づいて行うこととする。

- ア 新型インフルエンザ等対応業務を最優先で実施する。
- イ 優先継続業務については、適切に継続する。
- ウ 新型インフルエンザ等対応業務及び優先継続業務（＝発生時優先業務）以外の業務については、一時的に縮小又は停止（延期）する。なお、感染拡大につながるおそれのある業務については極力停止（延期）する。
- エ 発生時優先業務の実施に必要な人員及び資材等の配分は、全庁横断的に調整

する。

オ 職場における感染対策を徹底するとともに、テレワークや時差出勤等の活用により勤務体制を工夫する。

(2) 発生時優先業務の選定

ア 発生時優先業務の評価基準

職員の最大40%が出勤できないということを想定する。また、市の業務の実施に必要な物資やサービスの確保が困難になることも予想される。

発生時優先業務は、このような状況の中で、真に必要な業務に市の資源を集中するため選定するもので、業務の評価基準及び参考例は表2のとおりとする。

(表2) 業務の評価基準及び参考例

業務区分			優先度	選定基準
新型インフルエンザ等対応業務			S	・我孫子市新型インフルエンザ等対策行動計画で取り組むこととされている業務
通常業務	継続業務	強化業務	A	・新型インフルエンザ等発生時においても、縮小・停止(延期)すると市民の生命、財産の保全に大きな支障が生じる業務、又は市民に重大な不利益、不公平を及ぼす業務 ・新型インフルエンザ等発生により、業務量が増加するなど、平常時よりも強化を必要とする業務
		必須業務	B	・新型インフルエンザ等発生時においても、縮小・停止(延期)すると市民生活や社会機能の維持に重大な影響が生じる業務、又は法令上の処理期限や、実施の義務付けがあり、期限どおり実施しない場合は、市や市民に多大の損害、影響を及ぼすなど、平常時と同様に継続することが必須の業務
	縮小・変更業務		C	・新型インフルエンザ等発生時においても、業務を完全に停止(延期)することはできないが、需要が減少すると見込まれる業務 ・業務を完全に停止(延期)することができないが、通常どおり継続すべきとまではいえず、業務量の縮小又は実施方法の変更等により実施する業務
	停止可能業務		D	・新型インフルエンザ等発生時においては、緊急性を要しない、又は先送り(2～8週間程度)可能な不急の業務 ・業務を停止(延期)しても市民生活や社会機能の維持に与える影響が比較的少ない業務 ・流行が収まるまで停止(延期)することが可能な業務
	停止業務		E	・新型インフルエンザ等発生時において、継続することで感染拡大につながるおそれがあり、感染拡大防止の観点から、停止(延期)が望ましい業務

イ 時期区分に応じた業務継続

所属長は、次の時期区分に基づき「業務継続計画」を活用する。ただし、実際の状況に応じて、弾力的な活用を行うこととする。

時期区分		時期区分に応じた業務継続
準備期		・定期的な点検・見直し等により、新型インフルエンザ等発生時の業務継続に備える。 ・担当外職員への円滑な引継ぎに向け、各業務資料の整理・共有化や教育・訓練の実施、バックアップ要員の確保を図る。
初動期		国及び県の方針を適宜確認しながら、市対策本部等が立ち上がり、新型インフルエンザ等対策が実施されることを念頭に置く必要がある。 ・発生時の継続業務の確認を行い、発生時優先業務を実施するとともに、その他の業務（縮小・停止（延期））の業務量を計画的に減少させることができるよう体制を整える。
対応期	封じ込めを念頭に対応する時期	感染症を封じ込めることを念頭に、確保している医療提供体制で対応可能な範囲に感染を抑制するため、強力なまん延防止対策を行うことが想定される。 ・発生時優先業務の実施・継続のため、必要に応じてその他の業務（縮小・停止（延期））の業務量を段階的に減らす。
	病原体の性状に応じて対応する時期	ワクチンや治療薬の開発・普及が十分でない段階においては、感染拡大に合わせてまん延防止対策がより強化されるとともに、出勤できない職員の割合が上昇すること等によって、発生時優先業務の実施・継続がより難しくなることが予想される。 ・感染拡大の傾向を勘案しながら、計画的・段階的にその他の業務（縮小・停止（延期））の業務量を減らしつつ、発生時優先業務を実施する。
	ワクチンや治療薬等により対応力が高まる時期又は特措法によらない基本的な感染症対策に移行する時期	ワクチンや治療薬等により対応力が高まる時期においては、水際対策やまん延防止対策等の市民生活及び社会経済活動に大きく影響を与える措置について、リスク評価に応じて縮小等の検討がなされるとともに、関係機関における実施体制についても、縮小の検討がなされる。 ・その他の業務（縮小・停止（延期））の業務量を徐々に回復させつつ、通常体制への段階的な移行を図る。

ウ 各課の「業務継続計画」

■ 企画総務部

課名	業務名	優先度
企画政策課	庁内の総合調整と行政の見える化	D
	総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定と進行管理	D
	行政改革の推進	D
	ふるさと納税の推進	D
	地域資源を活かした都市ブランド化	D
	鉄道の輸送力と利便性向上	D
	平和事業の実施	D
	国際交流活動への支援	D
	広域行政の推進	D
人事課	職員の人事管理	A
	職員団体事務	C
	労働安全衛生、公務災害補償事務	C
	職員の研修事務	E
	職員の福利厚生事務	D
	職員の給与、共済事務	B
	特別職報酬等審議会	E
デジタル戦略課	庁内の総合的なICT利活用の推進及び計画	D
	電子自治体の推進電子自治体の推進	D
	ICTインフラの管理、運用及び整備	B
	庁内のICTの調達、構築及び運用における指導及び助言	D
	情報セキュリティ対策の実施	B
	自治体標準システム及び所管システムの管理、運用及び開発	B
	庁内の業務システムの管理及び運用における指導、助言及び支援	B
秘書広報課	広報の編集・発行	A
	ホームページの管理・充実	A
	報道機関への情報提供	B
	市長及び副市長の秘書	C
	儀式及び表彰	E
	市長会等	D
	市議会との連絡	C
	非常勤職員のうち委員会の委員等の任免	C
	市長の資産公開	D
	総合教育会議	C
	広聴活動の企画及び連絡調整	D
	市政相談	C
	市政懇談会	E
	パブリックコメント手続及びメール	D
	庁内調整を要する陳情・要望	D
	法律相談及び行政相談委員	D
	我孫子の魅力に係る情報発信	D

	フィルムコミッション事業	E
行政 管理 課	リスクマネジメントの推進に関すること	C
	行政手続法及び我孫子市行政手続条例に関すること	B
	行政不服審査会に関すること	B
	職員定数に関すること	C
	組織及び機構に関すること	C
	指定管理者制度の総括に関すること	C
	事務改善及び事務能率の管理に関すること	D
	国及び県の委託統計に関すること	B
	自主統計に関すること	E
	統計調査の編集及び分析に関すること	E
	政策法務に関すること	B
	例規の制定改廃及び法令の解釈運用に関すること	B
	議案の調製に関すること	B
	審査請求、訴訟、和解及び調停の総括に関すること	B
	公告式に関すること	B
	審査請求の受付及び裁決に関すること	B
	文書に関すること	C
	公印に関すること	B
	情報公開に係る事務の総合調整に関すること	B
	個人情報保護に係る事務の総合調整に関すること	B
	行政情報資料室の管理運営に関すること	D
	工事の検査に関すること	B
	工事の設計図書の指導に関すること	B
	建設工事の技術基準等の調整に関すること	B
	優良建設業者等の表彰に関すること	E

■ 財政部

課名	業務名	優先度
財政課	予算の執行調整（財政事務）	C
	予算・決算事務	C
	交付税事務	C
	起債事務	C
課税課	税務証明の発行事務	B
	軽自動車の登録・廃車受付	B
	税条例改正事務	B
	市税の賦課調定事務	B
	土地評価業務	B
	家屋評価業務	B
収税課	収税事務の企画及び統計に関すること	C
	市税の窓口収納に関すること	C
	市税の督促に関すること	B
	税務相談業務	E

	口座振替業務	B
	コンビニ収納業務	B
	固定資産評価審査委員会に関すること	C
	納税の啓発に関すること	C
	市税の徴収及び滞納処分に関すること	B
	徴収の嘱託及び受託に関すること	B
	市税の催告に関すること	C
	市税の納付相談に関すること	B
	差押財産の管理に関すること	D
	換価及び配当に関すること	B
	市税並びに他の課から移管を受けた国民健康保険税等の徴収及び滞納処分に関すること	C
	市税及び他の課から移管を受けた債権の催告に関すること	C
	市税及び他の課から移管を受けた債権の納付相談に関すること	C
資産管理課	庁舎の機能確保	B
	災害時の配車計画	B
	車両の借上げ及び燃料確保	C
	緊急通行車両の申請	C
	災害対策本部設置の設備・機材の確保	A

■ 市民生活部

課名	業務名	優先度
市民協働推進課	近隣センター等施設設備の法令上実施が義務付けられている点検・整備	C
	認可地縁団体の印鑑登録・証明書発行	C
	近隣センター・市民プラザ等の臨時休館	C
	市民活動ステーションの臨時休館	C
	各種イベント及びその準備（例：市民活動ステーション・まちづくり協議会主催イベントなど）	D
	自治会活動助成金、自治会集会所整備事業等補助金、自治会等自動体外式除細動器設置補助金等の相談、申請受付、審査、交付事務	C
	若い世代の市民活動応援助成金の相談、申請受付、審査、交付事務	D
	近隣センター等使用料の還付事務	C
	公募補助金の審査・交付事務	C
	地域会議の運営に関わる事務	D
	予約システムに関わる事務	C
	男女共同参画プランの推進に関すること	D
市民課	戸籍業務（戸籍の届け出受付、埋火葬及び改葬の許可、火葬場及び霊きゅう車の使用許可に関する業務等）	A
	住居表示業務（住居表示の付番、住居表示案内板の整備、住居表示に関わる証明書の発行）	C
	住民基本台帳業務（住民基本台帳法に基づく業務）	A
	マイナンバーカード業務（マイナンバーカード交付、電子証明の発行等）	A
	行政サービスセンター業務（各種証明書の発行、印鑑登録業務、マイナンバーカード	C

	ード交付等)	
	行政サービスセンター業務（旅券）	C
	行政サービスセンター業務（他課業務の取次）	C
	受付業務（転入、転居、転出等の住民異動）	C
	受付業務（各種証明書の交付）	C
	受付業務（印鑑の登録、廃止等の印鑑登録）	C
	受付業務（郵送による各種証明書の交付）	C
	受付業務（自動車の臨時運行許可）	C
	受付業務（保険、子ども関係等他課から依頼されている業務）	C
市民安全課	地域防災計画に関すること	B
	防災関係機関との連絡調整に関すること	B
	自主防災組織に関すること	C
	防災訓練の実施及び防災知識の普及に関すること	E
	防災行政無線に関すること	B
	防災資器材等の整備及び管理に関すること	C
	市民危機管理対策会議に関すること	B
	災害対策本部に関すること	A
	市国民保護計画に関すること	B
	災害対策基金に関すること	C
	防犯計画に関すること	C
	防犯関係機関との連絡調整に関すること	C
	防犯知識の普及及び防犯活動の推進に関すること	E
	空き家等の適切な管理に関すること	D
	犯罪被害者等支援に関すること	D

■ 健康福祉部

課名	業務名	優先度
社会福祉課	生活保護費支給事務	A
	社会福祉協議会等関連団体への情報提供、情報収集	A
	生活・DVなどに関する福祉相談	A
	福祉バスの運行	E
	平和記念式典、追悼式のイベント	E
	月例民協定例会	E
	福祉相談の窓口対応（電話対応は継続）	C
健康づくり支援課	感染症予防対策	S
	予防接種（住民接種）	S
	予防接種（住民接種以外）	B
	保健センター、休日診療所の管理運営	C
	集団で実施する健（検）診、栄養・歯科保健等に関する事業	C
	個別で実施する健（検）診、栄養・歯科保健等に関する事業	D
	医療体制整備	D
	健康増進計画及び食育推進行動計画の策定・進行管理	D
障	負傷者の安全確保	A

害 者 支 援 課	施設利用者の安全確保	B
	保護者・関係機関との連絡調整	B
	被災施設の現状把握	C
	在宅の要配慮者の状況把握	A
	要配慮者の訪問	B
	要配慮者名簿に基づく避難・安全確保	B
	あらき園の利用者の生活支援	E
	あらき園の利用者の送迎	E
	障害者福祉センターの利用者の機能訓練	E
	障害者福祉センターの利用者の送迎	E
	障害者の就労支援に関する相談	D
	チャレンジドオフィスあびこの運営	E
高 齢 者 支 援 課	高齢者福祉・介護保険に関する電話相談	A
	高齢者施設・介護保険施設への情報提供・情報収集	A
	介護認定調査・審査に関する業務	B
	高齢者福祉・介護保険に関する相談・申請の窓口対応	C
	介護相談員に関する業務	E
	つつじ荘の管理運営	E
	高齢者の権利擁護に関する業務	B
	集団で実施する健康教育・介護予防に関する業務	E
	高齢者の訪問指導等	E
	タートリンピック等各種イベント	E
	高齢者等の総合相談	A
	養護老人ホーム等の措置入所に関する業務	B
	高齢者生活支援事業	B
	きらめきデイサービス事業	E
国 保 年 金 課	国民健康保険の資格・給付・療養費などに関する業務	A
	国民健康保険の運営、保健指導、保健事業・普及及びその他に関する業務	C
	国民健康保険税の賦課、減免、被保険者の資格及び異動に関する業務	A
	国民健康保険税の国及び県の補助金に関する業務	B
	国民健康保険税の徴収及び滞納処分並びにその他に関する業務	C
	国民年金関係の受理、審査及び進達に関する業務	A
	国民年金制度の啓発などその他に関する業務	C
	後期高齢者医療の資格管理及び医療給付に関する業務	A
	後期高齢者医療の葬祭費支給に関する業務	A
	後期高齢者医療の保険料徴収及びその他に関する業務	C

■ 子ども部

課 名	業務名	優 先 度
子 ど も 支	学童保育室の管理運営に関する業務	A
	放課後子ども教室の管理運営に関する業務	E
	こども総合計画に関する業務	E
	子育てに係る支援及び事業の実施に関する業務	E

援 課	青少年団体の指導、育成及び援助に関する業務	E
	青少年相談員に関する業務	E
	児童手当に関する業務	E
	児童扶養手当に関する業務	E
	子ども医療費の助成に関する業務	E
	ひとり親家庭等医療費の助成に関する業務	E
	未熟児養育医療の給付に関する業務	E
	母子・父子家庭自立支援給付金に関する業務	E
	ひとり親家庭の相談・支援に関する業務	E
保 育 課	市立保育園の地域子育て支援事業（マイ保育園・園庭開放）	D
	産休・育休予約事業	C
	市立保育園運営事業（保育園で発症した場合、臨時休園）	B
	私立保育園・管外保育園への保育実施委託（保育園等で発症した場合、臨時休園）	B
	障害児保育・統合保育事業	D
	市立保育園園舎等補修事業	B
	世代間交流事業の促進	E
	乳児等通園支援事業運営（誰でも通園制度）	D
	社会福祉法人（保育課の所管に属するものに限る。）の設立等の許可及び認可	D
	地域型保育事業の認可	D
	乳児等通園支援事業の認可	D
	ファミリーサポートセンター事業の推進	D
	一時預かり事業	D
	私立保育園運営費補助金交付事業	B
	私立保育園等施設整備への補助	B
	企業参加の子育て支援（あかちゃんステーション）	D
	子育てサポーターの養成と地域活動の推進	D
	利用者支援事業	C
	子育て支援拠点事業	D
	病児・病後児保育事業	D
	私立幼稚園の運営支援	B
	幼稚園における子育て支援事業の実施（一時預かり事業）	D
	子育て支援各種イベント	E
子 ど も 相 談 課	子ども虐待対応（こども支援調整係）	B
	子ども総合相談（こども総合相談係）	C
	子ども短期入所事業（こども総合相談係）	D
	子育て世帯訪問支援事業（こども総合相談係）	D
	L I N E相談（こども総合相談係）	D
	障害児相談支援（こども通所支援係）	C
	障害児通所支援支給事務（こども通所支援係）	C
	障害児相談支援指定及び更新（こども通所支援係）	D
	ヤングケアラー支援（こども総合相談係）	C
	子ども虐待等防止対策地域協議会 代表者会議の開催（こども支援調整係）	D
	子ども虐待等防止対策地域協議会 実務者会議の開催（こども支援調整係）	E
	いじめ防止対策等連絡協議会（こども支援調整係）	E

	こども家庭センター かるがもの運営（こども総合相談係）	D
	通所支援部会（こども通所支援係）	E
	発達障害児支援計画の策定（こども通所支援係）	D
	虐待防止研修会（こども総合相談係）	E
	ヤングケアラー関係職員研修（こども総合相談係）	E
	里親の理解を深める研修（こども総合相談係）	E
	療育・教育システム連絡会（こども通所支援係）	E
	こども発達センターの相談業務	C
	こども発達センターの外来療育業務	E
	児童通所支援事業所「ひまわり園」	C
	保育所等訪問支援事業所「おひさま」	E
	相談支援事業所「なの花」	C

■ 環境経済部

課名	業務名	優先度
手賀沼課	熱中症警戒アラートへの対応	A
	手賀沼親水広場・水の館の管理運営（あびこん）	B
	手賀沼親水広場・水の館の管理運営（事務室機能）	B
	補助金交付事務（住宅用設備等脱炭素化・谷津ミュージアム地区支援・地域猫	C
	狂犬病予防に関する事務（畜犬登録の事務）	C
	再生可能エネルギー特措法に係る事務	C
	JBF、美手連、手賀沼流域フォーラム、クリーン手賀沼推進協議会、ふれあい清掃、Enjoy!手賀沼、谷津ミュージアムの会、自然エネの会等の会議	D
	各種水質調査委託（手賀沼、主要排水路、古利根沼など）	D
	環境基本計画の推進	D
	自治体等との会議（手水協、関東自治体フォーラム等）	D
	市の地球温暖化対策実行計画の推進	D
	審議会（環境審議会、谷津ミュージアム専門家会議）の開催	D
	地域猫に関する事務（苦情対応など）	D
	イベント等の開催（手賀沼関連、JBF、谷津ミュージアムなど）	E
	狂犬病予防に関する事務（集団接種）	E
	手賀沼親水広場・水の館の管理運営（研修室、プラネタリウムなど）	E
資源循環推進課	ごみ処理業務	B
	し尿処理業務	B
	補助金助成業務	C
	一般廃棄物処理基本計画に関する業務	C
	資源回収業務	B
	資源化施設整備計画業務	C
	し尿処理施設整備業務	C
生活衛生	空き缶類、吸い殻類、犬のふん等の散乱防止（ポイ捨て）に関すること	C
	看板設置の貸与に関すること	C
	路上喫煙防止に関すること	D
	自動販売機設置に関すること	D

課	環境美化推進員に関すること	D
	さわやかな環境づくり賞に関すること	E
	市民及び環境美化推進員からの不法投棄対応	B
	市所有地での不法投棄防止対策	D
	不法投棄パトロールの実施に関すること	D
	資源回収登録団体の申請・変更・廃止に関すること	D
	資源回収用具の管理方法調査に関すること	D
	クリーンカレンダーの作成・配布業務に関すること	B
	資源回収用具の発注・配布・管理に関すること	B
	集積所の設置に関すること	B
	集積所の寄付に関すること	B
	道路工事のお知らせの受付に関すること	C
	集積所違反排出物回収業務に関すること	C
	資源持ち去り対策に関すること	C
	可燃ごみ収集に関すること	A
	資源ごみ収集に関すること	A
	粗大ごみ収集に関すること	C
	公共施設給食残差等収集に関すること	B
	ひとり暮らし高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集に関すること（新規受付を除く）	B
	ひとり暮らし高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集の新規受付	C
	町内（公園）清掃ごみ収集業務	D
	動物死体の収集に関すること	B
	我孫子市開発行為に関する条例に基づく事前協議に関すること	B
	粗大ごみ手数料に関すること	C
	害虫駆除・害獣対策に関する問い合わせ	C
	アライグマの防除に関すること	E
	ムクドリの追い払いに関すること	E
	鳥インフルエンザに関すること	A
	特定外来生物に関すること（アライグマを除く）	E
	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関すること	C
	専用水道に関すること	D
	簡易専用水道に関すること	D
	小規模水道に関すること	D
	飲用井戸に関すること	D
	あき地に繁茂した雑草等に関すること	D
	大気汚染・悪臭防止対策事業	D
	水質汚濁・地下水汚染・土壌汚染防止対策事業	D
	騒音・振動規制対策事業	D
	典型7公害に係る相談及び苦情処理に関すること	D
	土砂等による埋立て等の規制に関すること	B
	放射能対策に関すること（食品・飲料物の放射性物質検査を除く）	D
	市民が持ち込む食品・飲料物の放射性物質検査に関すること	D
	生ごみ処理容器補助金に関すること	C
	災害時の消毒業務に関すること	B

	ペット霊園の設置及び許可等に関すること	C
商業観光課	生活品・物資補給対策本部設置・運営	A
	道路・交通・避難所人数の情報収集	A
	災害支援企業との連絡調整	A
	生活品・物資の配給及び受入対応	A
	商工関係団体との連絡調整	E
	手賀沼周遊レンタサイクル・ミニ鉄道事業	E
	我孫子市ふるさと産品育成事業	E
	我孫子インフォメーションセンター運営事業	E
	商店街活性化補助金	E
	手賀沼花火大会	E
	その他イベント主催・共催・後援	E
	消費生活相談事務	E
	消費生活展の実施	E
	石けん利用の推進	E
	消費生活安全確保地域協議会設置の検討	E
企業立地推進課	工業の改善発達、工業団体の指導育成に関すること	E
	産業用地の創出に関すること	E
	企業立地の促進に関すること	E
	起業・創業支援に関すること	E
	我孫子市中小企業資金融資制度の運用に関すること	C
	セーフティネット保証制度に関すること	A
	地域職業相談室の運営に関すること	E
	永年勤続表彰に関すること	E
	就労支援イベントの開催、補助金の運用に関すること	E
農政課	農業に関する電話相談	A
	融資・補助金事務のうち、緊急性の高い業務	A
	届出・申請受理	A
	学校給食の地元農産物、供給業務	B
	農業拠点施設（農産物直売所・飲食施設）	B
	援農ボランティア派遣業務	C
	促進・支援・対策に関する業務	D
	各種イベント	E

建設部

課名	業務名	優先度
道路課	道路課各種計画の策定・進行管理	D
	都市計画道路事業及び道路改良事業の計画・事業認可・用地	D
	国庫補助金・起債	B
	市道認定・廃止・変更	C
	道路境界 相談・査定・確定	C
	開発行為の指導	C
	道路用地の寄附、帰属	D

	道路台帳管理	D
	道路占用・施工承認	B
	車輛制限令	B
	道路及びその附帯施設の維持管理	B
	道路瑕疵	D
	街路樹	D
	道路改良事業及び都市計画道路の設計・工事	D
	バリアフリー対応・交通安全施設工事	D
	道路境界確定	D
交通政策課	駅施設の維持管理に関する業務	A
	地域公共交通に関する業務	B
	道路旅客輸送の整備に関する業務	B
	交通災害共済に関する業務	B
	放置自転車管理業務	B
	自転車駐車場管理業務	C
	交通安全に関する業務	E
下水道課	公共下水道事業計画	C
	流域下水道との調整及び協議	B
	区域外流入に関する事務	C
	公共下水道事業審議会	C
	公共下水道事業の経営及び分析	C
	予算及び決算	B
	下水道事業年報作成	D
	国及び県補助金並びに起債に関する事務	B
	固定資産の取得、管理、処分及び減価償却	C
	下水道使用料	B
	受益者負担金	B
	公共下水道の供用開始手続	B
	公金の出納その他の会計事務	B
	出納取扱金融機関等に関する事務	C
	下水道台帳の整備	C
	公共下水道施設の維持管理	B
	特定事業場、除害施設及び水質規制	D
	下水道の普及促進	E
	排水設備の設計審査、検査等	C
	下水道排水設備指定工事店に関する事務	D
	開発行為等における公共下水道の協議及び調整	C
	公共下水道の設計及び工事	B
	公共下水道工事に伴う物件補償	B
	下水道施設等の災害復旧工事	B
	総合地震対策事業	B
治水課	調査・計画策定業務	C
	公共下水道（雨水）計画策定業務	C
	補助金等申請業務	B

	用地事務	B
	水防業務	B
	河川、法定外公共物使用・占用業務	C
	施設点検業務	B
	雨水流出抑制指導	C
	開発行為等に伴う雨水調整池の帰属に係る業務	B
	雨水貯留タンク設置補助金交付業務	C
	準用河川及び幹線排水路等の改修工事	B
	災害復旧工事	A
	工事完了検査	B
	工事に伴う家屋補償	B

■ 都市部

課名	業務名	優先度
都市計画課	都市計画の総合調整	C
	都市計画情報の提供業務	C
	紛争と予防の調整	C
	市街地開発事業	C
	都市計画における建築規制等の届出受理業務	C
	景観形成に関する方針・計画等の策定・改定等	D
	公共施設及び公共サインの整備に係る景観誘導	C
	景観まちづくりの普及啓発	D
	景観アドバイザー相談	C
	建築行為や開発行為等の景観規制・誘導	C
	屋外広告物の表示等に係る許可・指導等	C
建築住宅課	災害時の市営住宅の修繕	A
	市営住宅の入居者管理	B
	小規模改良住宅その他市営住宅業務	C
	災害時の被災建築物応急危険度判定	A
	建築審査業務	B
	建築指導業務	B
	審査会運営、関係会議・協議等への出席	C
	耐震セミナーその他啓発・指導業務	D
	災害時の応急仮設住宅供給	A
	住宅政策業務	B
	住宅相談、派遣その他情報提供業務	D
公園緑地課	市内の公園・緑地等の巡回及び施設等の維持管理	B
	保存緑地等の助成支援	B
	開発行為及び建築行為申請に伴う協議	B
	生産緑地の買取りの申出に伴う協議	B
	墓地等の経営に関する協議	B
	保全緑地の維持管理	B
市	宅地の応急危険度判定	A

街 地 整 備 課	崖崩れの応急対応	A
	都市計画法 29 条開発許可、32 条事前協議、都市計画法 43 条、都市計画法 46 条及び都市計画法 81 条	B
	国土利用計画法に基づく事務	B
	公有地の拡大の推進に関する法律に関する事務	B
	開発行為関連事務	B

■ 会計課・議会事務局・監査委員事務局・選挙管理委員会事務局・農業委員会事務局

課名	業務名	優先度
会計課	各債権者への支払	A
	歳入金の出納・保管	B
	資金運用	E
議会事務局	文書の収受、発送、編さん及び保存に関すること	C
	公印の管理に関すること	B
	儀式、交際及び接遇に関すること	C
	議員の身分、議員報酬及び費用弁償に関すること	B
	職員の身分及び諸給与に関すること	B
	予算、経理並びに物品の購入、修理及び出納保管に関すること	B
	議長会及び事務研究会に関すること	C
	議場及び関係各室の管理に関すること	C
	議員の年金に関すること	B
	政務活動費に関すること	C
	情報の公開等に関すること	B
	乗用自動車の管理及び使用に関すること	C
	本会議に関すること	A
	委員会及び公聴会等に関すること	A
	議事日程及び諸般の報告に関すること	A
	議案の調整及び審査に関すること	A
	請願及び陳情に関すること	C
	議決、選挙及び決定事項の処理に関すること	A
	会議録その他会議記録の調製に関すること	B
	議場その他の警護及び傍聴人に関すること	C
	議会に関する各種の調査並びに資料の収集、保存及び整理に関すること	C
	議会に関する条例、規則等の制定改廃に関すること	A
	情報の収集整備に関すること	C
	議会史に関すること	D
	議会図書室及び図書の整備保存に関すること	D
	議会だより及び議会が発行する刊行物の編集及び発行に関すること	B
監査委員事務局	監査等事務	B
選挙管	選挙の執行	B

理 委 員 会 事 務 局	選挙人名簿等の登録及び抹消等異動整理に関する事	B
	選挙人名簿等の閲覧に関する事	C
農 業 委 員 会 事 務 局	農業委員会の管理運営	E
	農地に関する証明事務	E
	農地基本台帳の整備	E
	農地利用の適正化	E
	各種農業団体との連絡調整	E
	農地法第3条、4条、5条の許可及び、農地法第3条の3、4条、5条の届出	D

■ 水道局

課 名	業務名	優 先 度
経 営 課	水道事業経営の総合統制に関する事	B
	経営改善会議に関する事	B
	水道事業運営審議会に関する事	C
	水道事業計画及び実施計画の連絡調整に関する事	C
	職員の人事、給与、服務及び研修に関する事	B
	職員の福利厚生及び衛生管理に関する事	B
	ホームページの管理及び広報に関する事	B
	共用事務機器及び共用図書の管理に関する事	C
	文書の整理保存及び廃棄に関する事	C
	条例、規則及び規程等の制定改廃に関する事	B
	議会の議決を要する事件の議案の送付に関する事	B
	訟務及び賠償請求事務に関する事	C
	北千葉広域水道企業団に関する事	B
	入札及び契約に関する事	B
	公印に関する事	B
	車両及び建物等の損害保険に関する事	C
	庁舎の警備及び維持管理に関する事	C
	財務計画に関する事	C
	資産の取得、管理及び売却その他処分の総括に関する事	C
	予算に関する事	B
	水道料金体系に関する事	C
	企業債、国庫等の補助金に関する事	B
	公金の出納、保管その他の会計事務に関する事	B
	出納取扱金融機関及び収納取扱金融機関に関する事	D
	計理状況報告、出納監査及び決算審査に関する事	B

	資金の運用に関すること	D
	決算に関すること	B
	会計業務の包括業務委託に関すること	C
	量水器の検針及び使用水量の認定に関すること	B
	水道料金の調定及び請求、更正、還付、滞納整理に関すること	B
	給水停止処分に関すること	E
	水道料金の減免に関すること	B
	給水開始及び中止に関すること	B
	工事用臨時給水に関すること	C
	下水道使用料に係る受託に関すること	B
	文書の収受、発送に関すること	C
	料金関係業務の包括業務委託に関すること	B
	水道局における感染防止対策に関すること	A
工務課	取水施設、受水施設、浄水施設、配水施設及び送水施設の維持管理並びに運転管理に関すること	A
	管路施設等の維持管理に運転管理に関すること	C
	水源、取水計画、配水計画及び受水計画に関すること	B
	水道施設及び浄水場施設設備の新設、更新及び修繕に関すること	C
	浄水場の樹木剪定に関すること	D
	水質管理に関すること	A
	業務用無線の管理に関すること	C
	浄水場設備運転及び維持管理業務等包括委託に関すること	A
	管路施設等の整備計画及び耐震化計画に関すること	B
	管路施設等の漏水事故処理に関すること	B
	管路情報管理システムに関すること	C
	配水管路等自己施工工事に関すること	B
	災害対策用備蓄資機材の需給計画、保管及び維持管理に関すること	B
	給水装置に係る維持管理に関すること	C
	給水装置の漏水対応に関すること	B
	給水装置の廃止に関すること	C
	給水装置工事の受付、設計審査及び工事検査に関すること	C
	給水申込納付金、給水装置工事検査手数料及び給水装置工事設計審査手数料の調定及び徴収に関すること	B
	給水装置工事兼給水契約申込書及び給水装置工事完了図等の整理保存に関すること	C
	給水装置工事に係る道路占用許可申請に関すること	C
	指定給水装置工事事業者の資格審査決定に関すること	C
	新設量水器出庫、経年満期量水器交換及び量水器の維持管理に関すること	B
	簡易専用水道に係る設置の通知及び検査協力に関すること	C
	受水槽管理台帳の整理保存に関すること	B
	給水装置関係業務の包括業務委託に関すること	B

■ 消防本部

課名	業務名	優先度
総務課	消防施設内感染防止対策（衛生管理対策）	A
	人事管理	A
	職員の厚生（公務災害等）（市人事主管課との調整）	A
	消防車両等の維持管理	A
	消防広報の充実（予防課と調整）	C
	消防総務課主催の会議及び研修、イベント等	E
	職員出席の外部団体主催会議（災害対策関連会議を除く）及び研修	E
	市民等の施設見学及び講習等	E
	情報公開窓口	C
警防課	災害対策の連絡調整と防災業務	A
	水火災防御活動における後方支援	A
	救急救助事案活動における後方支援	A
	医療機関との連絡調整	A
	感染防御資機材の整備	A
	市民参加型イベント等への消防団参加	E
	市民を対象とした救急講習	E
	消防団活動（水火災等の災害活動を除く）	C
	窓口業務全般（申請、事前協議等）	C
予防課	火災の原因及び損害調査	A
	危険物の規制	A
	建築確認の同意	A
	消防用設備等の設置及び指導	A
	会議及び研修の開催、他市開催会議への出席、研修及びイベント等の参加	E
	窓口業務全般（法令上の実施義務付けのあるものを除く）	C
	予防査察	C
消防署	火災・救助・その他の災害業務	S
	救急業務	S
	通信指令業務	S
	各種講習会（自衛消防訓練・救急講習会等）	E
	消防が主催するイベント	E
	地理水利等の調査	C
	予防査察	C
	火災予防条例に基づく各種届出受理	C

■ 教育総務部

課名	業務名	優先度
総務課	部の企画調整	C
	公印及び例規類の整備保管	D
	教育委員会議	C
	教育委員会の規則等の制定及び改廃	D

	教育委員及び教育長の秘書事務	C
	教育行政の施策の総括及び各課の所掌事務の連絡調整	C
	儀式及び顕彰	E
	事務局職員の定数、任免その他の人事に関すること	C
	文書の受発及び保管	C
	附属機関の委員の任命及び委嘱	C
	事務局職員の研修及び福利に関すること	E
	議会との連絡	C
	教育行政相談受付	C
	教育振興基本計画の策定及び進行管理	D
	教育振興基金に関すること	D
	情報の公開等に係る受付及び実施に関すること	C
	学校施設の整備計画	C
	学校施設の建築に関すること	D
	校地及び校舎の維持管理	C
	施設台帳の整備保管	D
	学校施設の国庫補助及び起債に関すること	D
学校教育課	文部科学省の情報収集に伴う県教育委員会への報告業務に関すること	A
	学校再開に向けての業務	A
	学齢簿の編成業務	C
	児童生徒の就学業務	C
	就学援助業務	D
	児童生徒の就学免除業務	D
	通学区域業務	E
	通学区域審議会業務	E
	幼児教育振興審議会業務	E
	学校設置、廃止業務	E
	県職員服務業務	C
	学校組織編成業務	E
	学校教材、備品管理業務	E
	備品台帳整備業務	E
	学校予算事務	A
	国・県補助金事務	A
	学校教育調査事務	D
	県職福利厚生事務	D
	学校給食運営事務（補助金・支援金業務）	B
	学校給食運営事務（調理業務委託・給食実施関係）	B
	学校給食衛生管理事務	B
	教職員・児童生徒健康診断事務	C
	学校医等委嘱事務	C
	学校保健・学校安全事務	D
	学校教育施設環境衛生事務	D
	日本スポーツ振興センター事務	D
指	学校経営及び学校教育の指導援助に関すること	C

導 課	教育課程及び学習に関すること	C
	生徒指導及び教科外活動の指導助言に関すること	B
	教科用図書の採択に関すること	C
	研究校その他研究機関の指導助言に関すること	C
	教職員の研修に関すること	C
	コンピュータ教育に関すること	C
	進路指導に関すること	C
	学校の連合行事に関すること	C
	学校体育の振興に関すること	C
	学校教育におけるいじめに関すること	B
	いじめ防止対策委員会に関すること	C
	小中一貫教育の計画に関すること	C
	教育課程及び学習指導に関すること	C
	その他小中一貫教育に関すること	C
	少年の指導に関すること	B
	少年センターの管理運営に関すること	C
教 育 相 談 セ ン タ ー	教科書、教科用図書等の給付に関すること	E
	社会科副読本「わたしたちの我孫子」改訂・編集	E
	教職員論文の募集と実践の周知	E
	学級支援員、心の教室相談員、校内教育支援センター指導員、通訳等の派遣	E
	特別支援教育巡回事業の実施	E
	特別支援教育に係る連携及び人材育成（特別支援学校との連携、研修会等の実施）	E
	教育相談センターアドバイザー派遣	E
	学校における医療的ケア体制構築（看護師の派遣、関係機関との連携等）	B
	教育支援センターの管理及び運営	E
	長期欠席児童生徒支援に係る連携及び人材育成（連絡会、研修会等の実施）	E
	長期欠席児童生徒の月例報告・指導記録簿集約・統計	E
	国・県からの通知を各学校へ周知	E
	就学支援（教育支援委員会の運営、特別支援学級体験、就学相談、心理検査の実施）	E
	教育・発達相談の実施	D
	児童生徒からの悩み相談ホットライン	C
	療育・教育システム連絡会事務局	E
	課採用職員（会計年度任用職員）の人事管理	C

■ 生涯学習部

課 名	業務名	優 先 度
生 涯 学 習 課	生涯学習センター・公民館の管理運営	A
	ボランティア・リーダー及び講師の養成	E
	公民館事業に関すること	E
	生涯学習に関する相談	E
	部の企画調整	E
	生涯学習及び社会教育に関する調査	E
	生涯学習審議会に関すること	E

	視聴覚機材の管理	E
	社会人権教育に関すること	E
	成人式に関すること	E
	子ども部の青少年健全育成事業との連携	E
	その他社会教育に関すること	E
	生涯学習推進計画に関すること	E
	生涯学習関係機関との連絡調整	E
	文化施設整備基金に関すること	E
	その他生涯学習の振興に関すること	E
文化・スポーツ課	芸術文化振興に関すること	E
	歴史・文化財の保護・活用	E
	文化財施設の管理運営	E
	社会体育施設等の管理運営	E
鳥の博物館	博物館施設の管理に関すること	D
	博物館運営計画作成に関すること	D
	博物館資料等の収集、保管及び展示に関すること	D
	博物館資料の調査研究に関すること	C
	博物館資料の普及活動に関すること	E
	他の博物館、関係機関との交流及び資料の交換に関すること	E
図書館	図書館の開館、図書館の奉仕及びサービス等の運営業務	C
	関連団体の育成事業、関係機関との相互協力事業	D
	おはなし会等のイベント、集客するような業務	E
	図書館資料の収集、保存、管理及び提供に関すること	C
	施設管理に関すること	C
	移動図書館に関すること	C
	図書館の情報管理及び文書の受発等、総務的な業務	C

(2) 新型インフルエンザ等発生時の多様な勤務形態の実施

通勤時や職場内における職員の感染リスクを低減させるため、サテライトオフィス勤務、時差出勤、在宅勤務等を導入しながら業務を継続することが重要である。

国の基本的対処方針等、県の方針等に基づき、感染症拡大防止及び業務継続体制確保のため、多様な勤務形態を実施する。

9 業務継続計画の柔軟な運用

新型インフルエンザの流行規模は、病原体側の要因（出現した新型インフルエンザウイルスの病原性や感染力等）や宿主側の要因（人の免疫の状態等）、社会環境など多くの要素に左右される。

このため、すべての新型インフルエンザ等に業務継続計画をそのまま適用し、イベント・集会の休止等を行うことは、社会的な混乱を招くほか、市民生活にも大きな影響を及ぼすことが予想されることから、我孫子市新型インフルエンザ等災害警戒本部（我孫子市新型インフルエンザ等災害対策本部）の決定に基づき、被害の状況や事態の進行に応じて柔軟に運用するものとする。

10 必要な職員、物資・サービスの確保

職員の休暇等、関連事業者の休業、物資の不足など、業務を遂行するために必要な人員、物資、情報等の必要資源が、新型インフルエンザ等のまん延により被害を受け、十分に得られない事態になることも想定されるため考慮する必要がある。

（1） 職員の確保

ア 各所属は、職員の感染状況や出勤状況を把握し、発生時優先業務に重点的に職員を配置することにより、発生時優先業務の実施に必要な人員を確保するよう努める。

イ 各所属において、業務の縮小・停止（延期）を行っても、発生時優先業務等継続しなければならない業務の実施に必要な人員に不足が生じる場合は、原則として各部局内で対応することとし、その調整は各部局の主管課が行う。

ウ 各部局内において対応ができないと判断される場合は、各部局の主管課からの応援要請（必要人数、配置先、業務内容及び期間等を記載）を基に、我孫子市新型インフルエンザ等災害対策本部が調整を行う。

（2） 指揮命令系統の確認

管理職職員が、新型インフルエンザ等のり患等により一定期間不在となることが想定される。このような場合には、職務権限規程に基づく代決などにより代決者が業務を処理することとなるため、職員は事務処理に支障を生じないよう事前によく確認しておくことが重要である。

（3） 物資・サービスの確保

市が業務を継続するためには、事務用品の供給、庁舎管理、各種設備の点検・修理、情報システムの維持管理など、欠かすことのできない物資・サービスがある。

このような物資・サービスを提供する事業者に対しては、市の業務継続のため必要な物資・サービスの確保ができるよう体制の整備を要請する。

1 1 感染対策の検討・実施

(1) 平時における感染対策の検討

基本的な感染症対策を実施するとともに、感染リスクについて、業務内容も踏まえ所属ごとに評価し、感染リスクを低減する方法を検討する。

ア 発熱や咳などの症状のある職員の出勤を控えるように促すなど、発症者の入室を防ぐ方法などを検討する。

イ 多数の者と接触する機会のある所属等においても、その理解を得つつ、必要と思われる感染対策の実施を要請することも検討する。

(2) 発生時における感染対策

ア 職員への基本的な感染対策

(ア) 発熱、咳等の症状があれば出勤を控える。

(イ) 換気、マスク着用等の咳エチケット・手洗い等の基本的な感染対策等を行う。

(ウ) 出張等で外出する場合は、流行地域への移動を避け、公共交通機関のラッシュの時間帯を避けるなど、可能な限り人混みを避けて行動する。

イ 職場における感染対策の実行（職場の清掃・消毒・換気）

職場における感染防止のため、必要に応じ次の方法等により、職場の清掃・消毒等を行う。

(ア) 通常の清掃に加えて、特に机、ドアノブ、スイッチ、階段の手すり、椅子、エレベーターの押しボタン、トイレの流水レバー、便座等人がよく触れる場所などについて、消毒剤による拭き取り清掃を行う。

(イ) 職員の感染が判明し、その直前に職場で勤務していた場合には、当該職員の机の周辺や触れた場所などについて、消毒剤による拭き取り清掃を行う。

(ウ) 建物の構造や室内温度、外気温等に応じ可能な範囲で換気を行う。

ウ 特定接種の実施

国の示した特定接種の具体的運用に従い、新型インフルエンザ等対策を実施する職員に対し、本人の同意を得て接種を行う。

エ 職員の健康状態の確認等

職員が感染した場合、次の対応をとる。

また、職員に対して、本人や同居者等が感染した疑いがある場合には、所属長に報告するよう周知徹底する。

なお、所属長等は受けた報告内容の取扱いに十分留意する。

- (ア) 職員（又は家族）は、所属長に報告する。
- (イ) 所属長は（出先機関は主務課を通じて）、主管課に報告する。
- (ウ) 建物の構造や室内温度、外気温等に応じ可能な範囲で換気を行う。

オ 職員の感染への対応

新型インフルエンザの症状のある職員（※）で入院措置がなされないものに対して、療養休暇の取得等を要請するとともに、外出自粛を徹底するよう要請する。

※ 新型インフルエンザの症状については、「発熱、咳、全身倦怠感等」が想定されるが、新型インフルエンザが実際に発生した場合、その症状については、厚生労働省が速やかに公表する。

カ 職員の同居者等が発症した場合の対処

- (ア) 職員は、同居者等が感染した旨を所属長に報告するとともに、感染症法第44条の3第1項の規定に基づき外出自粛等の要請がされた期間は、自宅待機とする。
その間、マスクの着用、手洗いを徹底し、可能な限り生活空間を分ける等、家庭内感染防止に努める。
- (イ) 外出自粛の協力を求められた職員に対しては、特別休暇の取得等を認め、外出自粛の徹底を要請する。

1 2 その他

(1) 計画の見直し

「業務継続計画」は、「行動計画」を基に策定したものであり、「行動計画」の改正等、今後の状況の変化に応じ見直しを行う。

(2) 状況に応じた対応

「業務継続計画」は、広く感染症全般に対応するものだが、発生した感染症ごとに想定される被害や具体的な対応業務は異なることから、状況を踏まえた対応の検討も必要である。

業務継続計画の改訂について

従前の業務継続計画は、平成21年に新型インフルエンザが世界的に大流行したことを受け、「我孫子市新型インフルエンザ対策行動計画」（以下「行動計画」という。）と同じタイミングで、新型インフルエンザに限定した計画として策定された。その後、平成25年に新型インフルエンザ等対策特別措置法が施行されたことに基づき、平成26年に市の行動計画は改訂されたが、業務継続計画は、見直しをしていない状況だったが、令和2年に新型コロナウイルス発生時の各課の優先すべき業務等の見直し及び行動計画を踏まえ文言修正等のため改訂された。

今回、行動計画の改訂を受け、多様で柔軟な働き方の考え方や、新型コロナウイルス感染症対策として行われた事項等を踏まえ、見直しを各課に依頼し修正した。

○改訂箇所

1 策定の趣旨	令和元年から令和5年頃に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症も含めた文章に修正
2 業務継続計画で対象とする感染症	「行動計画」を基に、業務継続計画で対象とする感染症を新たに追加
3 計画の目標	感染拡大を可能な限り抑制し、市民の生命及び健康を保護することと、市民生活及び地域経済に及ぼす影響が最少となるようにすることの業務継続計画の目標を新たに追加
4 新型インフルエンザ等と震災との違い	必要となる業務を確実に遂行しなければならない点では、新型インフルエンザ等も震災も同様だが、その被害状況、影響度及び期間等は大きく異なるため、新たに追加
5 「行動計画」との関係	「行動計画」と「業務継続計画」との関係を明確にするため、新たに追加
6 計画策定の効果	業務継続計画の策定に伴う効果を明確にするため、新たに追加
7 前提となる被害状況の想定	従前は、「被害の想定」となっていた。職員の最大40％程度職員が出勤できない割合の根拠を新たに追記
8 感染症発生時の優先業務	従前は、「業務継続の考え方」、「市の業務水準の考え方」及び「各課の業務継続計画」となっていた。「業務継続の考え方」については、県の業務継続計画を参考に、全体の文書を整理した。「市の業務水準の考え方」については、発生段階の区分を行動計画の改訂に合わせた標記にし、時期区分に応じた業務継続の考え方を見直した。「各課の業務継続計画」については、「業務継続の考え方」を見直ししたことに伴い、各課の見直しの回答を反映した。
9 業務継続計画の柔軟な運用	考え方の変更はないため、「被害の状況や事態の進行に応じて」を加えたのみ
10 必要な職員、物資・サービスの確保	業務を遂行するために必要な人員、物資、情報等の必要資源が、十分に得られない事態になることを新たに追加
11 感染対策の検討・実施	業務継続のための対応として「平時における感染対策の検討」及び「発生時における感染対策」を県の業務継続計画を参考に新たに追加
12 その他	今後の業務継続計画の見直しの方針及び業務継続計画の活用に当たっての留意事項を新たに追加